令和６年度

主要施策の成果説明書

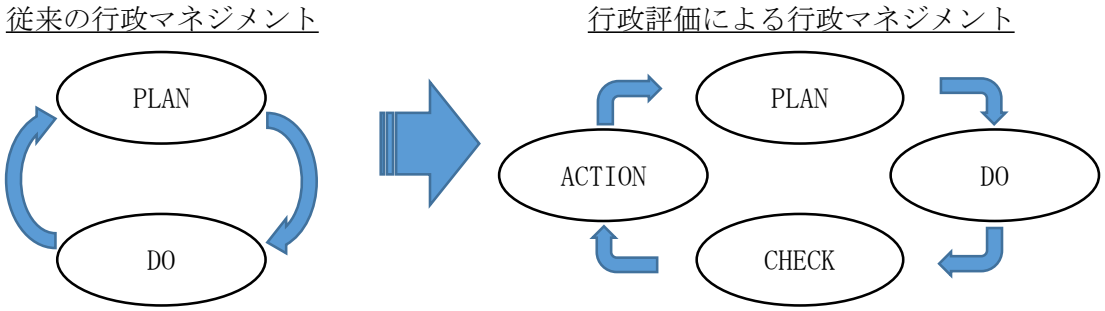
松　島　町

＜主要施策の成果説明書について＞

主要施策の成果説明書とは、地方自治法第233条第5項に基づき、当該決算に係る会計年度における主要な施策の成果を説明する書類として作成するものである。
この作成にあたっては、町民に対する説明責任や行政の透明性確保を目的として、令和元年度説明書から松島町行政評価制度の評価結果も併せて記載している。

1　松島町行政評価制度とは

行政評価制度とは、行政活動の目的を明確にしながら成果目標を設定し、その活動に対して投入された予算や人件費、成果物等を総括的に勘案しながら評価を行い、その評価結果に基づく改善を次の行政活動の企画・立案に反映させていく仕組みである。
これにより、全ての行政活動を計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、改善（ACTION）のマネジメントサイクルの中で行うことで、常に施策や事業の目的・目標を確認し、その遂行状況を把握・評価することにより、問題や課題を速やかに発見し、その見直し・改善等を行うことで、次の計画（PLAN）をより良い状態にしていくことを目的とした制度である。
また、行政活動を客観的に評価し、その評価結果を行財政運営に反映させることはもとより、町民に対して評価結果を公表することで、町民に対する説明責任や行政の透明性確保も目的としている。



2　導入目的

真に地域や時代のニーズにあった行政サービスを展開していけるよう、継続的に政策･施策を構成する事務事業の見直しを図り、業務の改善･改革に取り組む仕組みとして、次のような行政運営を目指すことを目的として導入した。
・長期総合計画における“まちづくり政策”の着実な実現、住民満足度の向上
・事業の選択、改廃等における住民や関係者への適切な説明責任の確保
・職員の改善改革意識の醸成
・行財政改革の推進

3　運用状況

平成28年度の導入以降、平成30年度までの3カ年を試行期間と位置付け、全職員を対象とした基礎研修等によりその目的などの情報共有を行い、全事務事業に対する評価の実施及び施策評価のマネジメントサイクルの実践を行うことにより制度構築を行った。
令和元年度からは本格運用を開始しており、今後ますます財政状況が厳しくなっていくことが想定される中、継続的に政策･施策を構成する事務事業の見直しを図りながら、必要な行政サービスを提供できるよう取り組んでいるところである。

＜主要施策の成果説明書の見方＞

款	項	目	
担当部署名			

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額 ①	決算額	財源内訳 ②				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源

目的	③

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	④	⑤	⑥	⑦	⑧

実績	⑨
課題方向性	⑩

①当該費目の予算額と決算額を記載しています。

②財源内訳には、国庫支出金、県支出金、地方債、その他、一般財源の区分により内訳を記載しています。

③当該費目の目的（趣旨、目標）を記載しています。

④「事務事業名」を記載しています。

⑤松島町行政評価制度において分類している業務タイプを記載しています。
Aタイプ･･･政策事業、主要な事業など
Bタイプ･･･法定受託事務、定型的・継続的な事務など
Cタイプ･･･作業管理・補助的作業、内部管理のための事務など

⑥ ※Aタイプの場合
松島町行政評価制度におけるの必要性評価3項目（必要性・妥当性・公平性）各5点の平均点を記載しています。
4.1～5.0･･･ますます必要性が高くなっている
3.1～4.0･･･依然、必要性が高い
2.1～3.0･･･必要である
1.1～2.0･･･必要性が低くなりつつあり、改善が必要
0.0～1.0･･･必要性がなく、早急な改善が必要
･･･Bﾀｲﾌﾟ、Cﾀｲﾌﾟの事業のため評価なし

⑦ ※Aタイプ、Bタイプの業務の場合
松島町行政評価制度における有効性評価3項目（適切性・
有効性・効率性）各5点の平均点を記載しています。
4.1～5.0･･･適切且つ効率的に実施しており、目標以上の成果・達成度であった
3.1～4.0･･･適切且つ効率的に実施しており、目標水準に達している
2.1～3.0･･･概ね目標水準に達している
1.1～2.0･･･目標水準をやや下回っており、改善が必要
0.0～1.0･･･目標水準を大きく下回っており、早急な改善が必要
･･･Cﾀｲﾌﾟの事業のため評価なし

⑧当該事業の目的がどのように達成されたのか、施策の執行においてどのような成果が出たのかを記載しています。

⑨当該費目の予算執行に係る実績を記載しています。

⑩当該施策の現況や課題と併せて、今後の方向性を記載しています。

＜松島町行政評価制度における評価項目について＞

○必要性評価

行政として当該事務事業を引き続き実施していく必要があるかどうかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
必要性	事業の必要性が事業開始時と比べて小さくなっていないかを評価する。 [5点]ますます必要性が高くなっている [4点]依然、必要性が高い [3点]必要である [2点]必要性が低くなりつつある [1点]必要性がなくなっている
妥当性	行政の関与が必要な事業かどうかを評価する。 [5点]法的な制限などがあり、行政が実施すべき事業である [4点]行政以外には実施できない事業である [3点]行政が行うことが妥当な事業である [2点]民間等でも実施でき、民間等で行うことが妥当な事業である [1点]民間等で実施すべき事業である
公平性	受益者に偏りがあるかどうかを評価する。 [5点]広い範囲に対して便益を提供しており、偏りは見られない [4点]広い範囲に対して、概ね広く便益の享受がなされている [3点]目的となる対象者に対して、便益を提供している [2点]限定された個人や団体等にのみ便益がもたらされており、改善が必要である [1点]実施による便益を提供できておらず、早急な改善が必要である

○有効性評価

行政として当該事務事業が機能しているか、有効なものであるかを、下記3項目により評価する。

評価項目	点数とその定義
適切性	事業の実施手段・プロセスが目標に対して適切なものかを評価する。 [5点]現在の手法が最も適切である [4点]現在の手法が適切性が高い [3点]現在の手法が一般的であり、特に問題はない [2点]現在の手法にはやや問題があり、改善の必要がある [1点]手法を変更する必要がある
有効性	事業の目的や目標とされる成果が達成されているかを評価する。 [5点]目標以上の成果・達成度であった [4点]目標水準に達している [3点]概ね目標水準に達している [2点]やや目標を下回っており、改善が必要である [1点]目標をかなり下回っており、早急な改善が必要である
効率性	費用対効果など事業効率が十分な水準にあるかを評価する。 [5点]効率は相当高められている [4点]効率は徐々に高まっている [3点]比較的効率的である [2点]効率は徐々に低くなっている [1点]効率はかなり低下している

目　　次

◆一般会計

款		項		目		ページ
1	議会費	1	議会費	1	議会費	1
2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	4
				2	文書費	9
				3	広報広聴費	11
				6	財産管理費	15
				8	企画費	17
				9	交通安全費	23
				10	諸費	25
				11	電子計算費	27
				12	町民バス運行費	29
				13	施設管理費	32
				15	地上デジタル放送無線共聴施設管理費	34
				17	ふるさと納税費	35
				18	地方創生費	38
				19	定額減税補足給付金事業費	40
				20	物価高騰対応重点支援地方創生事業費	41
		2	徴税費	1 2	税務総務費 賦課徴収費	42
		3	戸籍住民基本台帳費	1	戸籍住民基本台帳費	46
		4	選挙費	3	衆議院議員総選挙費	48
		5	統計調査費	1	統計調査総務費	50
				2	指定統計費	51
3	民生費	1	社会福祉費	1	社会福祉総務費	52
				2	障害者福祉費	54
				3	老人福祉費	59
				4	国民年金費	62
				5	介護保険対策費	63
				6	保健福祉センター管理費	64
				7	物価高騰対応重点支援給付金事業費（第三号）	66
				8	物価高騰対応重点支援給付金事業費（第四号）	67
				9	物価高騰対応重点支援給付金事業費（第二号）	68
		2	児童福祉費	2	児童措置費	69
				3	保育所費	70
				4	母子福祉費	72
				5	子ども医療対策費	73
				6	子育て支援事業費	74
				7	児童福祉施設費	77
				8	児童館費	78
				9	令和6年度低所得者の子育て世帯への加算給付金事業費	80
				10	令和6年度低所得者の子育て世帯への加算給付金事業費（第二号）	81
				11	低所得者の子育て世帯への加算給付金事業費	82

款		項		目		ページ
4	衛生費	1	保健衛生費	1	保健衛生総務費	83
				2	予防費	85
				3	健康館費	88
				4	母子衛生費	89
				5	環境衛生費	91
				6	公害対策費	96
				7	長寿健康対策費	97
		2	清掃費	1	塵芥処理費	98
				2	し尿処理費	99
5	労働費	1	労働諸費	1	勤労青少年ホーム費	100
				2	労働諸費	102
6	農林水産業費	1	農業費	1	農業委員会費	103
				3	農業振興費	105
				4	農地費	107
				5	園芸振興費	109
				6	畜産振興費	110
		2	林業費	2	林業振興費	111
		3	水産業費	2	水産業振興費	117
				3	漁港管理費	119
7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	120
				3	観光費	121
				4	文化観光交流館費	128
8	土木費	2	道路橋梁費	2	道路維持費	130
				3	道路新設改良費	132
		3	河川費	1	河川総務費	133
		5	都市計画費	1	都市計画総務費	134
				3	公園管理費	136
				5	街路事業費	139
		6	住宅費	1	住宅管理費	140
				2	木造住宅等震災対策事業費	142
9	消防費	1	消防費	1	非常備消防費	143
				2	水防費	145
				3	災害対策費	146
				4	避難施設管理費	148

款		項		目		ページ
10	教育費	1	教育総務費	2	事務局費	150
		2	小学校費	1	小学校管理費	152
				2	教育振興費（小学校）	154
				3	学校保健衛生費（小学校）	156
		3	中学校費	1	中学校管理費	158
				2	教育振興費（中学校）	159
				3	学校保健衛生費（中学校）	161
		4	社会教育費	1	社会教育総務費	163
				2	公民館費	167
				3	文化財保護費	170
				4	町民の森費	173
				5	地域交流センター費	175
				6	町史編纂費	176
		5	保健体育費	1	保健体育総務費	177
				2	海洋センター費	179
				3	給食施設費	180
		6	幼稚園費	1	幼稚園費	183
11	災害復旧費	1	農林水産業施設災害復旧費	1	農地災害復旧費	186
		2	公共土木施設災害復旧費	1	公共土木施設災害復旧費	187

◆特別会計

国民健康保険特別会計	188
後期高齢者医療特別会計	191
介護保険特別会計	193
介護サービス事業特別会計	201
観瀾亭等特別会計	202

一　般　会　計

一　般　会　計

1　款	1　項	1　目	議会費
担当部署名	議会事務局		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	116,470	113,823					113,823

目的

議会の会議内容等の情報を町民に提供し、議会に対する理解を深められるよう努める。
また、議員が町の課題などを的確に把握し、解決するための方策を調査・研究できるよう補佐し、併せて議長や議員と緊密に協議しながら適切に議会運営を実施していく。
議会運営に関わるデジタル化及びペーパーレス化を推進するため、タブレット端末を導入し、事務の効率化や紙資料の削減などを図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
議会事務経費	B	－	3.7	目標水準に達している。適切な議会運営ができるよう、常任委員会の調査や議員活動を補佐することができた。
会議録作成経費	B	－	3.7	目標水準に達している。迅速に会議録を公開するため、会議録反訳業者と綿密に連絡を取り、会議録の作成を行うことで、議会での議論を早く公開することができた。
議会広報広聴経費	B	－	3.0	目標水準に達している。議会の活動内容を住民に伝える手段として、議会だよりを年4回発行し、町民の議会活動への理解が深まるよう努めた。
議会タブレット運営経費	B	－	4.0	目標水準に達している。タブレット端末を導入し、議会運営に関わるデジタル化及びペーパーレス化の推進を図った。

実績

【議会事務経費】

1　会議の開催状況

○定　例　会

	会　　期	日数	審議件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	継続審査	審議未了	一般質問		備　　考
										人数	件数	
第2回	6月6日 ～ 6月10日	5	19	19	0	0	0	0	0	8	12	
第3回	9月4日 ～ 9月19日	16	29	29	0	0	0	0	0	7	10	
第4回	12月5日 ～ 12月9日	5	18	18	0	0	0	0	0	10	13	
第1回	3月3日 ～ 3月18日	16	26	26	0	0	0	0	0	8	13	令和7年

○臨　時　会

	会　　期	日数	審議件数	原案可決	修正可決	否決	撤回	継続審査	審議未了	備　　考
第2回	8月5日	1	2	2	0	0	0	0	0	
第1回	1月27日	1	1	1	0	0	0	0	0	令和7年

（次頁へ続く）

1　款	1　項	1　目

実績

【会議録作成経費】　1,568,600円

会議時間　計85時間
・定例会（年4回）　59　時間
・臨時会（年2回）　2　時間
・決算審査特別委員会　20.5時間
・議員全員協議会　3.5時間

【議会広報広聴経費】

広報「議会だより」の発行
・発行回数　年4回　（定例会ごと）　※発行月　5月・8月・11月・2月
・発行費用　1,276,308円
・発行部数　1回あたり5,450部

【議員の報酬等経費・その他の議員活動】

1　委員会調査・審査

(1) 総務経済常任委員会
○委員会開催日数　8日間
○所管事務調査
◇体験交流による地域活性化について
※調査期間　令和5年12月～令和7年9月まで
○付託事件審査　なし
○行政視察
◇山梨県小菅村、長野県塩尻市（2泊3日）
日程　令和6年7月3日～5日
・小菅村　関係人口の創出について
・塩尻市　空き家対策の取り組みについて
◇宮城県東松島市
日程　令和6年11月20日
・空き家対策について

(2) 教育民生常任委員会
○委員会開催日数　14日間
○所管事務審査
◇郷土愛を育む学校給食のあり方について
※調査期間　令和5年12月～令和6年9月まで
◇子育て支援の充実について
※調査期間　令和6年9月～令和7年9月まで
○付託事件審査
◇陳情第１号
現行の健康保険証の存続を求める意見書提出のための陳情について
※調査期間　令和6年3月～6月
○行政視察
◇兵庫県宍粟市、兵庫県香美町（2泊3日）
日程　令和6年7月10日～12日
・宍粟市　学校給食における地産地消推進等について
・香美町　日本一のふるさと給食について
◇宮城県利府町
日程　令和7年2月5日
・利府町中央児童センター「ぺあくる」について

（次頁へ続く）

1　款	1　項	1　目

実績

(3) 広報広聴常任委員会
○開催日数　26日間　（常任委員会1日間　広報分科会16日間　広聴分科会9日間）
◇議会広報紙の編集・発行及び配布
◇議会における情報通信技術の活用
◇議会報告会及び一般会議の開催に必要な企画及び調整
◇広報及び広聴の活動により明らかになった政策課題の整理
○行政視察（広報分科会）
◇埼玉県滑川町（1泊2日）
日程　令和6年11月11日・12日
・議会だよりの編集、作成について

(4) 議会運営委員会
○開催日数　10日間
◇議会開会に伴う議会運営についての審査
◇議長の諮問事項及び議会活性化に伴う調査研究
○行政視察
◇岩手県雫石町、矢巾町（1泊2日）
日程　令和6年11月14日・15日
・議会運営及び議会活性化の取り組みについて
・タブレット端末の活用状況について

2　その他の会議
(1) 全員協議会
○開催日数　3日間（令和6年6月10日、8月5日、12月9日）
・協議3件　①温泉汚水に係る下水道使用料金軽減の見直し（案）について（6月10日）
②公共施設の使用料等の見直し（案）について（8月5日）
③松島町子ども・子育て支援事業計画（第三期）素案について（12月9日）

(2) 議員懇談会
○開催日数　1日間（令和6年4月16日）
・議場整備案について

(3) 一般会議
○開催日数　1日間（令和6年7月17日）
◇松島の観光について
参加者：一般社団法人松島観光協会3名・議員12名

(4) 議会報告会
○開催場所　12行政区
○開催日　令和6年11月3日～11月24日
◇タブレット端末導入について
◇令和6年第3回松島町議会定例会の議案審議等について
参加人数：163名・議員14名

【議会タブレット運営経費】

1　タブレット端末運営経費	1,530,496円
・タブレット端末初期設定料等	267,300円
・タブレット端末賃借料（令和6年11月～令和7年3月分）	561,000円
・ペーパーレス会議システム使用料（令和6年11月～令和7年3月分）	165,000円
・タブレット端末周辺機器購入	537,196円

2　タブレット端末運用状況
・令和6年12月定例会　試行運用　　・令和7年 3月定例会　運用開始

課題方向性

議会活動を町民に理解してもらえるよう議員と連携して情報発信に努める。また、他自治体議会事務局と情報交換を行いながら、議員の調査研究及び議長が円滑に議会運営が行えるよう努める。
タブレット端末をスムーズに利活用できるよう、議員、事務局ともに成熟度を高め、議会運営に関わるデジタル化及びペーパーレス化を図る。

一　般　会　計

2　款	1　項	1　目	一般管理費
担当部署名	総務課総務管理班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	285,549	281,804		681		1,735	279,388

目的

職員の労働環境を整備し、スキルアップを図るための職員の研修を実施することにより、人材育成、組織の活性化を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
職員衛生管理経費	C	―	―	希望する職員（会計年度任用職員を含む）が人間ドックを受診できるようにした。 ストレスチェックについても全職員（会計年度任用職員含む）を対象として実施し、心身の健康管理に対する意識啓発に努めた。
研修経費	A	3.7	3.0	市町村職員研修所等が主催する県内研修への参加のほか、県外研修にも職員を派遣し、専門性の高い研修を受講させることができた。 また、職場内研修を実施することにより職務に必要な基本的知識、技能の習得に貢献することができた。

実績

【職員衛生管理経費】

健康診断

・職員等健康診断実施状況

健　診　区　分	職員	会計年度任用職員	計	受診区分割合
定期健康診断	41人	45人	86人	37.1%
人間ドック（30歳以上の職員で希望者）	130人	16人	146人	62.9%
町福利厚生事業	67人	15人	82人	
市町村共済事業・地方職員共済事業	63人	1人	64人	
未受診者	0人	0人	0人	0.0%
計	171人	61人	232人	100.0%

・受診結果

受　診　結　果　区　分	職員		会計年度任用職員		計	受診結果区分割合
	定期健診	人間ドック	定期健診	人間ドック		
異常なし	6人	1人	0人	0人	7人	3.0%
軽度異常の項目あり	14人	14人	15人	0人	43人	18.5%
要経過観察の項目あり	19人	54人	15人	6人	94人	40.5%
要治療の項目あり	0人	9人	0人	3人	12人	5.2%
要精密検査の項目あり	2人	52人	15人	7人	76人	32.8%
（うち要医療継続項目あり）	(5人)	(52人)	(19人)	(12人)	(88人)	
計	41人	130人	45人	16人	232人	100.0%

・各種がん検診等受診状況（職員）

健診区分	対象区分	受診人数
脳ドック	希望者	16人
子宮がん検診	希望者	31人
乳がん検診	希望者	22人
前立腺がん検診	希望者	1人

（次頁へ続く）

実績

・ストレスチェック実施状況

区分	対象者数	受験者数	高ストレス判定者数	高ストレス割合
職員	161人	157人	22人	14.0%
会計年度任用職員	59人	57人	6人	10.5%
合計	220人	214人	28人	13.1%

※対象者は、病休及び育休・産休の職員を除く

・心と身体の健康相談会（個別相談会）相談者数　　2人

【研修経費】

職員研修

（研修所等派遣）

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
新規採用職員研修	採用から半年が経過し、より地域住民の視点に立った行政の担い手としての使命や、公務員として必要となる基礎知識と技能を学ぶことで職務遂行能力の向上を図る。	・公務員としての使命 ・コミュニケーション ・地方自治のしくみ ・自治体職員とまちづくり ・地方公務員制度 ・CS接遇	2人
一般職員研修Ⅰ	職場で中心的な役割を担っていく中堅職員を目指し、職務遂行に必要な知識を習得するとともに、環境の変化に対応するために必要な能力の向上を目指す。	・まちづくりの視点 ・発想力、創造力育成 ・行政と法の関係論 ・自己管理能力向上	3人
一般職員研修Ⅱ	中堅職員として、魅力あるまちの創造や地域課題を解決するための政策形成の基礎知識と職場内のマネジメント能力の向上を図る。	・地域活性化と行政の役割 ・チームマネジメント ・政策形成入門	5人
監督者研修Ⅰ	監督職員としての職責を自覚し、町を取り巻く環境の変化や地域の課題を的確に捉え、チームリーダーとしての職務遂行能力の向上を図る。	・財務会計実務 ・監督者としての心構え	5人
管理者研修Ⅱ	今日の地方公共団体を取り巻く環境の変化や行政課題を的確に捉え、管理者として組織を効率的かつ効果的に運営するため必要となるマネジメント能力の向上を図る。	・マネジメントの語義 ・企業と地方自治体のマネジメントの違いや留意点 ・管理職の責務と役割確認 ・戦略、事業、職員、組織のマネジメント ・事業スクラップの考え方 ・部下指導の理念	2人
クレーム対応研修	苦情やトラブルの本質を学び、自治体事例の活用により、特に難クレーム・不当クレームに対する実践的な対応力を身につける。	・クレーム対応の基礎知識、技法 ・公務員の業務に特化したクレームの対応技法	1人

（次頁へ続く）

2　款	1　項	1　目

実績

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
条例・規則作成研修（基礎編）	法制執務の基礎や条例規則の立案形成などを学び、実務遂行能力の向上を図る。	・法制執務 ・基礎的な法令用語や法令文の表現 ・条例規則概論 ・条例規則の立案方式	3人
条例・規則作成研修（実践編）	基礎的な条例・規則の立案方式の理解をさらに深め、実践的な立法技術や法令読解力の向上を図る。	・法制執務概論 ・条例規則の立案方式 ・条例立案過程での留意点 ・新旧対照表の基礎知識	1人
民法研修（親族・相続編）	法律の仕組みなどの基礎知識から、自治体職員として、業務遂行上必要となる民法の知識について、事例や判例を通して修得する。	・民法の概要 ・親族、相続に関する各論について	1人
SNSを活用した情報発信力向上研修	自治体の戦略的な情報受発信の考え方、SNSの活用におけるメリット・デメリット、表現方法及び周知について学び、SNSを活用した情報発信能力の向上を図る。	・自治体における情報発信の意義と動向 ・SNS活用事例紹介 ・SNSにおける表現の向上 ・SNSの周知力の向上 ・活用における注意点	3人
コミュニケーション研修	職場や住民との良好な人間関係を築くため、また、職務を円滑に遂行するために必要となる、コミュニケーションに関する知識や技能を、様々な演習を通して学ぶ。	・コミュニケーションの基本 ・コミュニケーションスキル向上 ・アンガーマネジメント	1人
契約事務研修	契約事務を適切に執行するために必要となる、民法や地方自治法の基礎的な知識について学ぶ。	・契約法の基礎 ・契約成立の効果 ・契約手続 ・契約の履行と履行確保	1人
私債権管理・回収研修	私債権の管理・回収に関する基礎的知識の習得と実務遂行能力の向上を図る。	・公債権と私債権の区分 ・債権管理に関する法令 ・民法改正の概要と影響 ・不納欠損処理の考え方	3人
折衝力・交渉力研修	関係団体や住民との折衝・交渉に必要な基礎知識、説得や傾聴技法、意思疎通能力、顧客対応能力等のスキルを習得する。	・折衝、交渉の基本 ・折衝、交渉時に必要な論理的思考 ・折衝力、交渉力のスキル向上	1人
ファシリテーション研修	住民との協働のまちづくりや日常業務における会議において、合意形成や相互理解を導くために有効なファシリテーション技法を習得する。	・ワークショップとファシリテーター ・ワークショップの「場づくり」 ・話し合いを「見える化」する方法	2人
新規採用職員研修（県町村会）	町村等の新規採用職員に対し自治体職員として必要な知識や基本的な心構えを習得させ、勤務能率の向上を図る。	・地方自治とは ・予算のしくみ ・文書の取扱い ・接遇 ・仕事の進め方	2人
行政課題研修Ⅱ（県町村会）	町村が抱える行政課題に対し、的確に対応するための知識の習得及び解決能力の向上を図る。	・情報の効果的な伝え方について	3人

（次頁へ続く）

2　款	1　項	1　目

実績

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
DX推進リーダー育成研修（全国市町村国際文化研修所）	自治体DXの全体像の把握とともに、システム調達や運用・保守業務などDX推進リーダーに求められる知識の習得及びDX推進リーダーとしての必要な知識の習得を目指す。	・自治体DX推進における国の動向 ・最適なシステム導入について ・DX推進リーダーに求められる役割	1人
児童虐待への対応（全国市町村国際文化研修所）	児童虐待の社会的背景や現状と課題、関係機関との連携など先進事例等を通じて学び、その対応策を企画立案・実践できる能力の向上を図る。	・児童虐待防止対策の最近の動向と市町村に期待する役割 ・児童虐待の現状と課題 ・虐待の問題を抱える家族の支援について ・法的知識と重大ケースの防止	1人
空き家対策（市町村職員中央研修所）	空き家問題を様々な視点から学び、その対策を効果的に推進していく上で必要な専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を目指す。	・空き家問題を巡る背景や国の動向 ・予防対策 ・先進取組事例等	1人
法令実務A（基礎）（市町村職員中央研修所）	行政法その他法に関する基礎的知識、基本的な立法技術等に関する講義、条例の改正演習等により、基礎的な法務能力の習得を目指す。	・行政法の基礎 ・地方分権と条例 ・課題演習	1人
研修所等派遣研修受講者数			43人

（職場研修）

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数
新規採用職員研修	入庁して日の浅い職員を対象として、町役場職員として必要な知識を身につける。	（総務課総務管理班） ・松島町役場で働く上での基礎管理	5人
人事評価者研修（2回開催）	人事評価を正しく運用するための理解を深める。	（株式会社　ぎょうせい） ・人事評価の理解を深める ・基本や目標設定の方法を学ぶ	34人
会計事務担当者研修	入庁5年以内の職員及び希望者を対象として、効率的な会計業務を行うため、基礎的な会計事務の方法を身につける。	（会計課） ・会計事務とは ・会計事務の注意点（歳出・歳入）	15人
職員ストレスチェックに係るセルフケアセミナー（4回開催）	ストレスチェック結果を基に、職員一人一人の心の健康づくりを啓発し、セルフケアの推進を図る。	（一般財団法人　宮城県成人病予防協会） ・働く人のストレスの現状 ・睡眠の役割と現状 ・適切な睡眠とは ・睡眠の質を上げる生活習慣 ・ストレスケア	118人
職場研修受講者数			172人

（次頁へ続く）

2　款	1　項	1　目

実績

【一般庶務経費】

・顧問弁護士への法律相談　8件
（滞納整理、事故対応、訴訟対応等に関すること）

・障害者雇用状況（令和6年6月1日現在）

算定基礎となる職員数	法定雇用率	法定雇用定数	障害者である職員数	実雇用率	不足数
192人	2.8%	5人	5人	2.6%	0人

※職員数等は障害者任免状況通報に係る算定方式によるもの
（教育委員会事務部局及び会計年度任用職員を含む）

【能登半島地震職員派遣】

・派遣期間等

派遣期間	派遣人数	支援業務	派遣先
令和6年8月3日～10日	1	公費解体申請受付業務	石川県珠洲市

課題方向性

引き続き人間ドックや健康診断、ストレスチェック等を実施し職員の健康維持を図るほか、衛生委員会を通じた職場環境の改善に努めていく。

職員の能力・資質の向上を図るため、市町村職員研修所等における専門研修の受講機会を確保する。また、時間効率と受講機会の向上を目指し、eラーニングを活用した研修を実施していく。

一　般　会　計

2　款	1　項	2　目	文書費
担当部署名	総務課総務管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,626	5,402				1	5,401

目的

町が保有する情報の公開を図るとともに、町の諸活動を町民に説明する責務を果たすことで、公正で民主的な行政の運営に資する。
文書収受・整理については、正確かつ適切な事務処理を通して、適正な公文書管理を実施する。
規程形式文書審査については、例規システムを活用し、法令等改廃情報の把握や適切な審査を行う。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
情報公開事務経費	B	－	3.3	松島町情報公開条例に基づき、全ての人を対象として適切な情報の開示を行い、町民の知る権利の充実及び町政の透明化が図られた。
文書法令関係経費	C	－	－	日々送付される文書について、事務部局ごとに遅滞なく適切な処理及び保管を実施し、適正な公文書管理ができた。 また、例規システムを活用することにより改廃情報を適切に把握し、迅速な審査及び適正な条例の制定・改正を行うことができた。

実績

【情報公開事務経費】

・松島町情報公開条例及び松島町個人情報の保護に関する法律施行条例の規定による開示等の件数

（単位：件）

処理内容	開示請求件数	全部開示決定件数	部分開示決定件数	不開示決定件数	文書不存在	不服申立処理件数
件　　数	5	5	0	0	0	0

【文書法令関係経費】

・総務管理班において行った文書整理、文書収受及び文書保存の冊数

文書整理　（単位：冊）

区　　分	文書引継冊数	文書廃棄冊数
冊　　数	364	16

文書収受　（単位：件）

事務部局	収受総数
町長の事務部局	2,343
教育委員会	413
選挙管理委員会	4
農業委員会	92
固定資産評価審査委員会	0
計	2,852

（次頁へ続く）

2　款	1　項	2　目

実績

・文書保存　（単位：冊）

事務部局	保存総数
町長の事務部局	3,653
教育委員会	59
選挙管理委員会	261
農業委員会	96
固定資産評価審査委員会	2
計	4,071

※令和7年3月31日現在における庁舎書庫内保存文書冊数

【例規関係審査・追録等経費】

・規程形式文書審査事務取扱規程第2条の規定による審査実施件数

（単位：件）

区分	条例	規則	訓令	その他	計
件数	21	22	12	44	99

・松島町例規集編纂等業務委託　2,486,000円

課題
方向性

書庫内に保管している保存文書の適切な管理を行っていくとともに適切な情報公開に努めていく。

例規システムの活用を促進し業務の効率化を図っていく。

一　般　会　計

2　款	1　項	3　目	広報広聴費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,063	7,277				1,750	5,527

目的

あらゆる機会をとらえて情報の提供を行うとともに、地域または全町の建設的な意見を集約して、相互理解のもとに、まちづくりを推進する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
広報紙発行経費	B	-	3.0	お知らせ記事の縦書きを横書きに変更して視認性に考慮し、町内の行事や地域の身近な情報から町政や町の動向まで、町民に必要な情報がまとまった広報紙を作った。
広報事務経費	B	-	3.0	町民に情報が届くように町ホームページをはじめ、必要に応じてLINEセグメント配信やテレビ回覧版を活用し、行政情報等を即時に発信した。
広聴事務経費	C	－	－	定期的に相談会を開催することで、町民が不安を抱えたままの状態や問題の長期化を防ぎ、安心した暮らしに繋がっている。

実績

【広報紙発行経費】

広報まつしま発行　　3,123,120 円　1ページあたり1.95円（税抜き）
・発行回数及び部数　　毎月　5,600部（年間　67,200部）
・配布先　　町内全世帯及び関係機関

【広報事務経費】
（近年におけるアクセス数等の推移の状況については別頁（13頁・14頁）参照）

1　松島町ホームページの管理・運営
・アクセス数
令和6年4月1日～令和7年3月31日　2,069,592 件
・外国語翻訳機能利用回数
令和6年4月1日～令和7年3月31日　13,263 件

2　松島町フェイスブックアカウントの管理・運営
・アクセス数
令和6年4月1日～令和7年3月31日　64,940 件
・フォロワーの増減数
令和6年4月1日～令和7年3月31日　6 件

3　松島町インスタグラムアカウントの管理・運営
・フォロワーの増減数
令和6年4月1日～令和7年3月31日　316 件
・投稿への「いいね」数
令和6年4月1日～令和7年3月31日　2,496 件
・投稿数
令和6年4月1日～令和7年3月31日　33 件

4　松島町ラインアカウントの管理・運営
・友達登録者の増加数
令和6年4月1日～令和7年3月31日　299 件

（次頁へ続く）

2　款	1　項	3　目

実績

【広聴事務経費】

1　弁護士無料法律相談（毎月第2金曜日）　計　59 件
　①近隣トラブル関係　3 件
　②金銭関係　17 件
　③婚約・離婚関係　2 件
　④相続関係　21 件
　⑤その他　16 件

2　行政相談（毎月第1火曜日）　計　3 件
　①行政関係　1 件
　②その他　2 件

・行政相談出前講座の開催　2回

開 催 日	場　所	内　　容	参加者
令和6年 10月17日	本郷ふれあいセンター	行政相談制度の認知度向上を図り、行政相談の利用促進を目的として、地域に出向いて行政相談制度の紹介と参加者の行政相談に対応する。	7人
令和6年 10月18日	初原コミュニティーセンター		13人

課題方向性

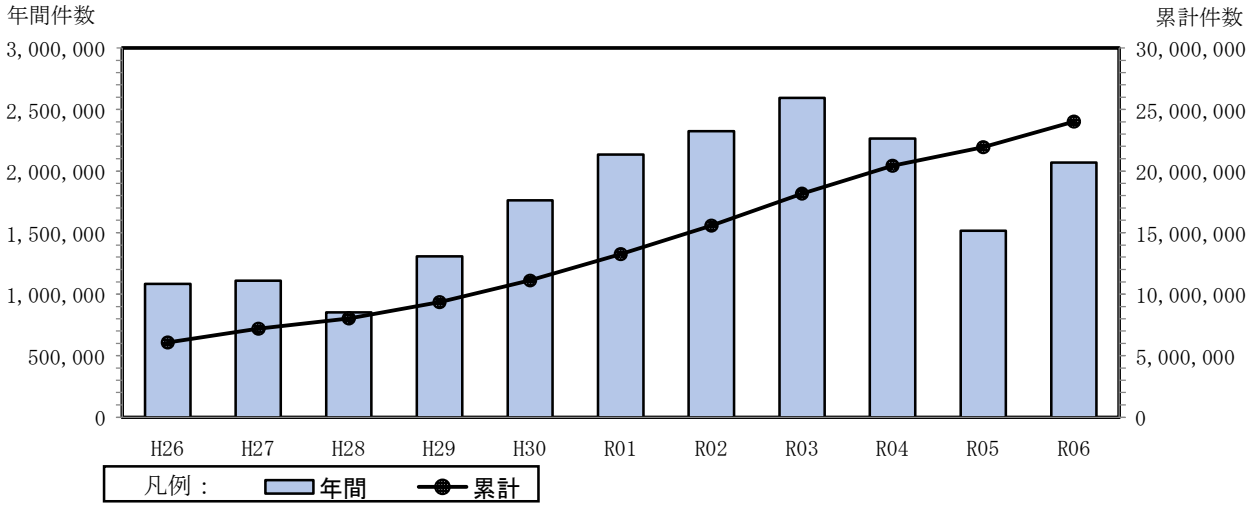
広報紙の発行については、限られた紙面の中で町民が必要とする情報を取捨選択し、見やすさとわかりやすさに留意し、読み手に情報が伝わる紙面構成に引き続き努める。また、デジタル社会における情報発信のツールとして、町ホームページをはじめ、各種SNS、即時発信が可能なテレビ回覧板を活用し、町内外へ適宜情報を発信する。

広聴事務については、法律相談及び行政相談の実施日を広報や町ホームページにて周知し、町民の困り事を解消できる相談会を定期開催する。また、行政相談月間内に特設の相談所を開設するなどし、行政相談制度の周知及び町民がより相談しやすい環境づくりに努める。

【松島町ホームページ閲覧状況】

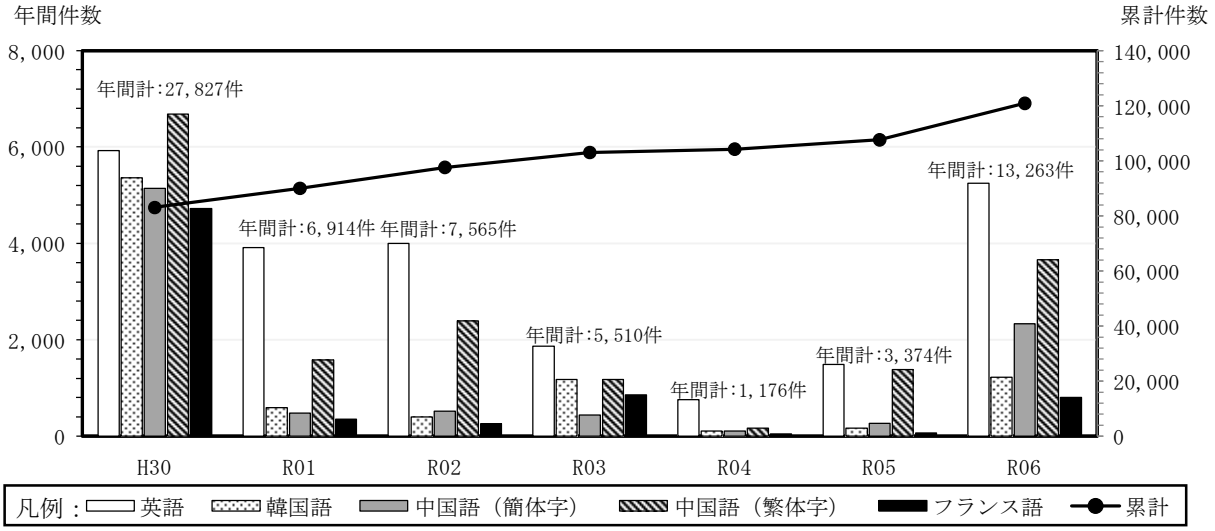
・ アクセス数

令和6年 4月1日	～	令和7年3月31日	2,069,592 件
平成9年10月 開設	～	令和7年3月31日	24,012,073 件



・ 外国語翻訳機能利用回数

令和 6年4月1日	～	令和7年3月31日	13,263 件
平成24年4月 開設	～	令和7年3月31日	120,863 件



・ 言語別利用回数

① 年間件数 （令和6年 4月1日 ～ 令和7年3月31日）

■ 英語	5,248 件
■ 韓国語	1,222 件
■ 中国語（簡体字）	2,329 件
■ 中国語（繁体字）	3,661 件
■ フランス語	803 件

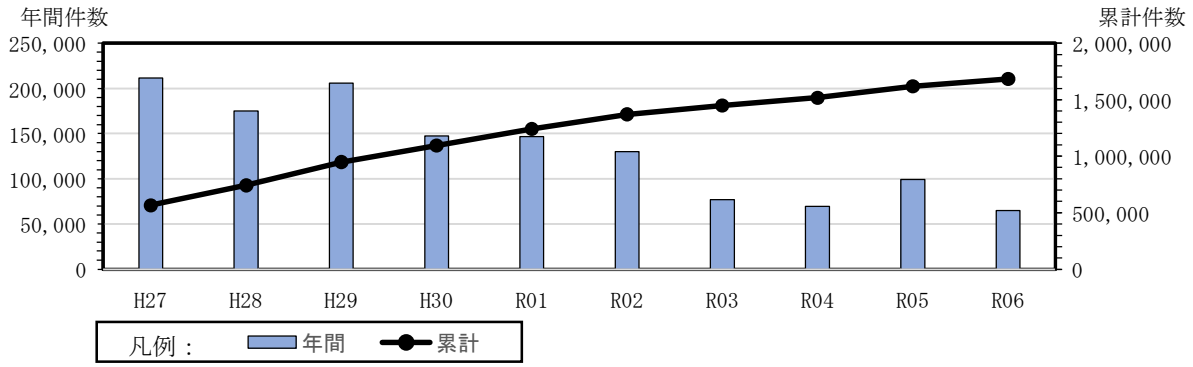
② 累計件数 （平成24年4月 開設 ～ 令和7年3月31日）

■ 英語	44,896 件
■ 韓国語	23,794 件
■ 中国語（簡体字）	15,533 件
■ 中国語（繁体字）	25,148 件
■ フランス語	11,492 件

【松島町フェイスブックアカウント閲覧状況】

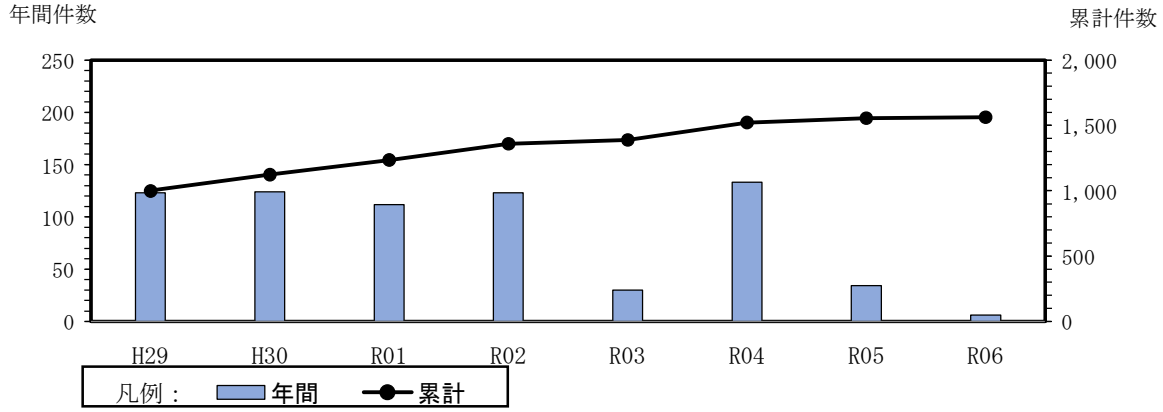
・アクセス数

令和 6年4月1日　～ 令和7年3月31日　64,940 件
平成25年4月 開設 ～ 令和7年3月31日　1,682,204 件



・フォロワーの増減数

令和 6年4月1日　～ 令和7年3月31日　6 件
平成25年4月 開設 ～ 令和7年3月31日　1,562 件



【松島町インスタグラム閲覧状況】

・フォロワーの増減数

令和 6年 4月1日　～ 令和7年3月31日　316 件
平成30年10月 開設 ～ 令和7年3月31日　2,092 件

・投稿への「いいね」数

令和 6年 4月1日　～ 令和7年3月31日　2,496 件
平成30年10月 開設 ～ 令和7年3月31日　39,810 件

・投稿数

令和 6年 4月1日　～ 令和7年3月31日　33 件
平成30年10月 開設 ～ 令和7年3月31日　497 件

【松島町ライン登録状況】

・友達登録者の増加数

令和 6年 4月1日　～ 令和7年3月31日　299 人
令和 3年10月 開設 ～ 令和7年3月31日　1,743 人

一　般　会　計

2　款	1　項	6　目	財産管理費
担当部署名	財務課財政班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	83,221	79,862				6,898	72,964

目的

財政班所管町有財産の維持管理、入札契約の事務効率化及び公用車の事故防止啓発に努める。財務諸表から本町の財政状況等を把握し貸付等の資産有効活用を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
庁舎外施設維持管理経費	B	－	3.3	施設管理の契約複数年化や設備修繕の優先順位を定め適切に対応できた。防犯カメラを設置し庁舎内の安全管理に努めることができた。
契約事務経費	B	－	3.3	宮城・黒川郡管内で実施する入札参加資格業者の登録作業の事務局として適切に登録作業を完了した。
普通財産管理経費	B	－	3.7	普通財産の適切な維持管理に努めるとともに、貸付や払い下げを行い、資産を有効に活用することができた。
公共財産管理経費	B	－	3.7	公共物（共用財産）の適切な維持管理に努めるとともに、貸付を行い、資産を有効に活用することができた。
松島フットボールセンター管理経費	B	－	3.0	宮城県サッカー協会と協力し、松島フットボールセンター施設の適切な維持管理に努めることができた。
地方公会計整備事業	A	3.7	4.0	令和5年度決算の統一的な基準による財務書類を作成し、同規模自治体平均値と比較した分析を実施した。
各種基金管理	A	3.7	3.0	基金を適切に運用した。

実績

【庁舎外施設維持管理経費】

・修繕料	庁舎空調機修繕料他	（　4 件）	219,868 円
・手数料	事業系ごみ処理手数料他	（　5 件）	622,841 円
・委託料	庁舎宿日直業務委託料他	（　8 件）	9,658,530 円
・用地賃借	庁舎用地賃借料	（　1 件）	11,580,360 円
・機器賃借等	電話交換機等設備リース料他	（　6 件）	1,969,710 円
・備品購入	充電式刈払機	（　1 件）	21,780 円

【公用車管理経費】

・修繕料	公用車修繕料	（　2 件）	55,363 円
・手数料	安全運転管理者講習手数料他	（　6 件）	108,110 円
・車両賃借	公用車リース料	（　5 件）	3,756,288 円

・研修会等　安全運転講習会（令和7年3月21日開催：15人参加）
（安全運転に係る動画視聴、エコドライブの推進）
安全運転管理者・副安全運転管理者講習（令和6年8月21日開催：4人受講）

【契約事務経費】

・委託料　入札参加資格登録業者情報入力業務委託料（令和7･8年度登録分）　605,000 円

登録総数	（　2,663 者、	うち町内業者	64 者）
・建設工事	（　999 者、	うち町内業者	20 者）
・設計コンサル	（　411 者、	うち町内業者	2 者）
・物品・役務	（　1,253 者、	うち町内業者	42 者）

※町内業者　松島町内に本店又は本店から委任された支店、営業所を有する業者

・入札監視委員会
令和6年7月29日開催　審議案件（建設工事　3件　業務委託　6件）
令和7年1月29日開催　審議案件（建設工事　2件　業務委託　7件）

（次頁へ続く）

2　款	1　項	6　目

実績

【公共財産管理経費】
・ 委託料　　自然公園他草刈等業務委託他　（　4 件）　3,029,400 円

【普通財産管理経費】
・ 委託料　　草刈等業務委託他　（　3 件）　434,500 円

【松島フットボールセンター管理経費】
・ 修繕料　　屋外受変電設備屋根修繕料他　（　2 件）　495,286 円
・ 手数料　　簡易給水施設等検査手数料　（　1 件）　14,667 円
・ 委託料　　機械警備業務委託他　（　6 件）　1,069,638 円
・ 機器賃借等　AED賃貸借料　（　1 件）　32,736 円
・ 工事請負費　低圧ケーブル更新工事　（　1 件）　4,455,000 円

【地方公会計整備事業】
・ 委託料　　財務書類作成等業務　1,056,000 円

〈令和5年度財務分析結果〉

指標	計算式	松島町	同規模団体平均値	分析結果等
純資産比率	純資産合計額÷資産合計額×100	85.4%	81.4%	企業会計の自己資本比率に相当し、この比率が高いほど健全であるといえる。同規模団体より良好な数値である。
住民1人当たりの資産額	資産合計額÷人口	308万円	313万円	住民人口に対して行政面積が広いので資産額は多い傾向にある。震災後の避難施設や道路整備で資産額が増加した。
住民1人当たりの負債額	負債合計額÷人口	45万円	57万円	地方債発行抑制で借入残高は横ばいとなった。償還は財政状況と社会情勢に影響されるため、新規発行は計画的に行う必要がある。
資産老朽化比率	減価償却累計額÷取得価額等×100	68.8%	63.3%	100%に近いほど償却資産の老朽化が進んでいるといえる。6割以上が帳簿上の価値を失っており、施設更新等は計画的に行う必要がある。
住民1人当たりの行政コスト	純行政コスト÷人口	57万円	59万円	減価償却費や他会計繰出金の負担が大きいため、公営企業の収支バランスの適正化を進める必要がある。
受益者負担割合	経常収益÷経常費用	7.7%	4.7%	経常費用に対する使用料・手数料等の割合である。経常収益の増により同規模団体平均値より上回った。

※同規模団体･･･人口1万～3万人未満の市町村
※参考･･･宮城県内の同規模団体（11町）
蔵王町、大河原町、村田町、丸森町、山元町、七ヶ浜町、大和町、加美町、涌谷町、美里町、南三陸町

【財産運用】
・ 行政財産目的外使用許可　（　20 件）　320,247 円
・ 公共物使用許可　（　45 件）　1,930,200 円
・ 土地貸付　（　27 件）　2,476,622 円
・ 土地建物貸付　（　3 件）　1,010,340 円
・ 土地売払い　（　2 件）　2,849,520 円

課題方向性

町有財産の維持管理に努め施設の長寿命化を図り、貸付等を推進し有効活用する。また、地域より町有地の支障木撤去及び草刈りの要望が増加しているため、関係課や地域と連携しながら適時に対応する。

一　般　会　計

2　款	1　項	8　目	企画費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,162	19,039		2,107		8,100	8,832

目的	町民等の満足度を高める施策を効率的・効果的に推進し、誰もが「住んでよかった」、「今後も住み続けたい」と感じられるまちづくりを推進する。

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	企画事務経費 (総合計画審議会)	B	－	4.0	令和6年9月に開催した総合計画審議会において、次期松島町長期総合計画の策定について諮問を行った。策定状況は定期的に報告し、総合計画審議会委員に対する周知を図った。
	企画事務経費 (広域行政等)	B	－	3.3	国又は県等に対する要望活動は、各協議会と協働しながら実施した。 塩釜地区広域行政連絡協議会では、地区内の自治体職員を対象に交流事業及び研修事業を実施し、職員としての能力向上に努め、自治体間の連携強化を図った。 仙台都市圏広域行政推進協議会では、「どこでもパスポート」事業を実施し、小中学生を対象に公共施設の利用促進と学習機会の創出を図った。
	長期総合計画関連費	B	－	4.0	まちづくり検討委員会及びまちづくり検討庁内委員会を開催し、現行の長期総合計画の施策評価を行うとともに、将来の町における課題整理を行った。また、両委員会の結果については、総合計画審議会にて報告し、意見等を伺い、基本構想骨子案を作成した。 また、タウンミーティングを行い、幅広い年代から意見を得た。
	景観形成推進経費	B	－	3.3	良好な景観形成を保持するため、事業者からの事前相談や事前協議、届出制度による協議を重ね、適切に対応することで良好な景観形成に寄与した。
	企業立地・誘致関連経費	A	4.7	4.0	宮城県主催の企業立地セミナー（東京・名古屋）に参加し、計129社の企業と情報交換を行った。 また、初原地区で整備を進めている「松島イノベーションヒルズ」への企業誘致活動を強化し、企業訪問や打合せを実施したことで、立地に意欲を示す企業の創出に繋げた。
	定住促進事業費	A	4.3	4.0	東京都で開催された移住イベントに2回参加し、地方移住を検討している方の個別相談に応じるとともに本町のPRを行い、移住先としての魅力発信に取り組んだ。 また、空き家バンク事業において不動産取引等関連協会と協定を締結し、協力業者の専門的な知見を踏まえた、より効果的な事業の運営を行うことができ、空き家等の流通促進が図られた。
	定住促進事業費 （定住促進事業補助金）	A	3.7	3.7	子育て世代の定住促進を目的として対象要件を見直し補助金を交付した。定住促進事業補助金の活用を検討している方からの問合せが多く、本町の定住促進に寄与している。

（次頁へ続く）

2　款	1　項	8　目

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
国土利用計画法関連経費	C	－	－	一定規模以上の土地売買に関する届出について、国土利用計画法に基づき、適正かつ計画的な土地利用を図った。
行政評価事務経費	A	4.0	3.3	行政評価システムを活用した、施策や事務事業における目的や必要性の明確化、課題や実施状況の整理を行い、事中・事後の各所管及び意思決定者による行政評価を行った。

実績

【企画事務経費(総合計画審議会)】

・総合計画審議会の開催

開催日	内　　容	場　　所
令和6年 9月30日	○次期松島町長期総合計画の策定体制及びスケジュール等 ○アンケート調査について (出席委員：11人、欠席委員：4人)	役場3階 大会議室
令和6年 12月25日	○町民アンケート実施結果について（速報） ○松島町まちづくり検討委員会実施結果のまとめ ○次期松島町長期総合計画基本構想骨子案について (出席委員：10人、欠席委員：5人)	役場3階 大会議室

【企画事務経費（広域行政等）】

1　塩釜地区広域行政連絡協議会

(1) 協議会及び幹事会の開催（協議会2回、幹事会4回）
・宮城県に対する要望
・ふるさと納税二市三町共通返礼品事業
・二市三町交流研修事業

(2) 宮城県に対する要望
・塩釜地区二市三町の圏域振興に係る行政課題について

(3) 負担金　22,000 円
・塩釜地区広域行政連絡協議会負担金

2　仙台都市圏広域行政推進協議会

(1) 協議会及び幹事会の開催（協議会2回、幹事会2回）
・国及び宮城県に対する要望

(2) 国及び宮城県に対する要望
・圏域振興に係る行政課題について

(3) 「どこでもパスポート」事業の実施
・圏域の小学校1年生に対し約18,000冊配布

(4) ホームページの公開

(5) 負担金　68,000 円
・仙台都市圏広域行政推進協議会負担金

(次頁へ続く)

2　款	1　項	8　目

実績

【長期総合計画関連経費】

1　まちづくり検討委員会の開催

開催日	内　　容	場　　所
令和6年 8月1日	○次期松島町長期総合計画とまちづくり検討委員会について ○自分が知っている「松島町」の共有 （出席委員：10人、欠席委員：4人）	役場3階 大会議室
令和6年 9月3日	○松島町の10年間の振り返りと将来に向けて（1回目） （出席委員：11人、欠席委員：3人）	松島町 文化観光交流館 2階講座室
令和6年 10月21日	○松島町の10年間の振り返りと将来に向けて（2回目） （出席委員：11人、欠席委員：3人）	役場3階 大会議室
令和6年 11月18日	○分野毎に今後必要なことの検討（内容・優先順位等） （出席委員：9人、欠席委員：5人）	役場3階 大会議室
令和6年 12月20日	○町民アンケートの結果について（速報） ○次期松島町長期総合計画骨子案について （出席委員：7人、欠席委員：7人）	役場3階 大会議室

2　まちづくり検討庁内委員会の開催

開催日	内　　容	場　　所
令和6年 7月26日	○松島町長期総合計画及びまちづくり検討庁内委員会について ○これからの長期総合計画策定やまちづくりについて	役場3階 301会議室
令和6年 8月23日	○行政視点の次期計画の考え方 ○評価シートの記入について	
令和6年 10月16日	○評価シートの確認 ○評価シートに伴う各課ヒアリングについて	
令和6年 12月13日	○評価シート・ヒアリング結果に基づく分野毎の課題整理 ○基本構想骨子案の検討	
令和7年 3月26日	○松島町長期総合計画に係る政策及び施策の評価・検証	書面開催

3　タウンミーティング

開催日	参加人数	テーマ	場所
令和6年 5月15日	9人	ボランティア・地域貢献	松島町文化観光交流館 １階会議室
令和6年 8月2日	6人	子育て・教育・観光	松島町文化観光交流館 ２階講座室

（次頁へ続く）

4 子ども版タウンミーティング

(1) 出前講座

団体名	開催日	参加人数	内　　容
第一小学校	令和6年10月30日 令和6年11月 7日	55人	「松島町長期総合計画（子ども版）」を用いて、町政やまちづくりについての説明後、グループに分かれて、町の「よいところ・よくしたいところ・よくするには」を観点にしたワークショップを実施した。
第二小学校	令和6年11月 6日 令和6年11月14日	14人	
第五小学校	令和6年10月23日	11人	

(2) こども未来アカデミー

団体名	開催日	発表班数	内　　容
第一小学校	令和7年 1月30日	12班	児童がグループごとにまとめた、まちづくりへの意見及び提案について発表会を実施した。 また、各小学校において、町長と児童との意見交換会を実施した。
第二小学校	令和7年 2月12日	3班	
第五小学校	令和7年 1月15日	3班	

・ 児童の提案について町長が感想を伝え、質疑応答等の双方向のやり取りを経て、児童がまちづくりに関心を深める体験とすることができた。
・ 参加した町内小学校の6年生児童 計80名にアカデミー修了証を配布した。
・ ワークショップで児童から出た意見と提案発表の内容を文化観光交流館に展示した。

【景観形成推進経費】

1　景観計画の運用状況について

実績

(1) 景観条例における事前協議　83 件

景観条例に基づき、町全域を対象に事業の企画・提案などの段階から事業者と景観形成に関する協議を実施した。

・ 建築物　8 件（松島：5件、高城：2件、北小泉：1件）
・ 工作物　75 件（松島：8件、高城：9件、磯崎：28件、手樽：6件、竹谷：1件 幡谷：15件、根廻：8件）
・ 開発行為　0 件
・ 土砂の採取等　0 件

(2) 景観法における届出　26 件

景観法に基づき、「特別名勝松島」指定区域外における行為の届出に関する審査事務を実施した。

・ 建築物　2 件（北小泉：2件）
・ 工作物　23 件（竹谷：1件、幡谷：16件、根廻：6件）
・ 開発行為　0 件
・ 土砂の採取等　1 件（北小泉：1件）

【企業立地・誘致関連経費】

1　企業誘致に関する取組

・ 宮城県企業立地セミナーin Tokyo、宮城県企業立地セミナーin Nagoyaに参加

開催日	内　　容	場　　所
令和6年 8月6日	○宮城県企業立地セミナーin Tokyo セミナーにて直接情報交換を実施した企業　72社 （参加企業：126社）	ロイヤルパークホテル （東京都）
令和7年 2月4日	○宮城県企業立地セミナーin Nagoya セミナーにて直接情報交換を実施した企業　57社 （参加企業：118社）	名古屋東急ホテル （愛知県）

・ 町内立地に向けた協議を実施した企業　25 社

（次頁へ続く）

実績

【定住促進事業費】

1　移住・定住イベントへの参加　　2回

名　称	開 催 日	場　所	内　　容	問合件数
みやぎ移住・交流フェア2024	令和6年11月17日	東京交通会館（東京都）	よりUJ（東北出身者）に広く、より30代に深く宮城県の魅力を伝えることをテーマとして、自治体ブースを設置し来場者の相談会を実施した。 宮城県内35市町村および来場者206組276名が参加した。	13件（22名）
みやぎ移住交流フェアLite	令和7年2月2日	東京交通会館（東京都）	住まいと仕事を切り口に宮城県への関心を高め、移住促進に繋げることを目的として、自治体ブースを設置し来場者の相談会を実施した。 宮城県内14市町と来場者41組56名が参加した。（参加自治体：気仙沼市・名取市・角田市・岩沼市・栗原市・大崎市・蔵王町・川崎町・丸森町・松島町・利府町・色麻町・美里町・南三陸町）	8件（12名）

2　空き家バンク

(1) 新規登録及び売買等契約成立件数

（単位：件）

区　分	建　物			土　地	計
	戸建て住宅	空き部屋	事務所・店舗		
年度当初登録数①	5	5	0	6	16
年度内新規登録数②	4	0	3	4	11
年度内売買等契約成立数③	3	4	1	4	12
年度末登録数（①＋②－③）	6	1	2	6	15

・ 利用希望者登録数　　12名
・ 登録事業者数　　6者

(2) 空き家バンク事業に関する協定

令和6年8月21日に、町内の空き家等の流通促進や建物の継続利用による空き家発生予防の更なる強化を目的として、公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部との３者による協定を締結した。本協定に基づき、両協会会員に対して、空き家バンク登録事業者としての登録申請に係る連絡等への協力が得られている。

3　空き家相談会

一般社団法人復興支援士業ネットワークと町の共催で、町内に空き家等を所有している方を対象に空き家相談会を実施した。

宅地建物取引士、行政書士、司法書士、社会福祉士等の有識者が相談対応を行い、空き家バンクの登録にも繋がった。

開催日	相談件数	場所
令和6年10月19日	6件	松島町文化観光交流館２階講座室
令和6年11月30日	6件	

（次頁へ続く）

2　款	1　項	8　目

実績

【定住促進事業費（定住促進事業補助金）】

1　松島町定住促進事業補助金
・交付数　町外：7世帯　18名　3,000,000円

2　松島町移住支援金
・交付数　2世帯　4名　2,600,000円

3　新婚世帯応援事業支援金
・交付数　4世帯　396,000円

4　出会いサポート支援金
・交付数　1名　10,000円

【国土利用計画法関連経費】

1　土地売買等届出書　2件（松島：1件、手樽：1件）
国土利用計画法に基づき、土地の投機的取引や地価の高騰を抑制するとともに、適正かつ合理的な土地利用の確保を図るため、市街化区域は2,000㎡以上、市街化区域を除く都市計画区域は5,000㎡以上、都市計画区域外は10,000㎡以上の土地取引をしたときに届け出るもの。

2　土地有償譲渡届出書　6件（高城：6件）
公有地の拡大推進に関する法律に基づき、公有地拡大の計画的な推進を図り、地域の秩序ある整備と公共の福祉の増進に資することを目的として、都市計画施設等の区域内に所在する土地200㎡以上、市街化区域内の土地5,000㎡以上、市街化調整区域内を除く都市計画区域内に所在する土地10,000㎡以上を有償で譲渡しようとするときに届け出るもの。

【行政評価事務経費】

1　松島町行政評価システムリース　1,782,000 円
行政評価（行政活動の目的を明確にしながら成果目標を設定し、その活動に対して投入された予算や人件費、成果物等を総括的に勘案しながら評価を行い、その評価結果に基づく改善を次の行政活動の企画・立案に反映させていくもの）の実施に関して、各事務事業の目的や実施状況等の管理をシステムにより行っているもの。

課題方向性

まちづくり検討委員会や検討庁内委員会等の中で、現長期総合計画に基づく各施策の評価と課題の整理を行い、新たなまちづくりの指針、目標となる次期長期総合計画の完成を目指す。
また、人口減少を緩和するための施策として企業誘致活動や定住支援事業に取り組み、雇用の創出、若い世代の定住の促進を図り、より良いまちづくりを今後も推進していく。

一　般　会　計

2　款	1　項	9　目	交通安全費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,840	6,665		272		117	6,276

目的

住民や松島を訪れる方の安全を確保するため、事故防止に向けた交通安全意識の向上を図る啓発活動を推進するとともに、安全な道路交通環境を保持するための交通安全施設等の整備や危険箇所の改善に努める。

さらに、交通安全協会等の関係団体及び警察等の協力を得ながら安全運転の啓発と交通安全思想の普及を推進する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
交通安全指導啓発事業経費	B	－	3.7	交通安全指導員による交通安全啓発活動や児童向け交通安全教室を実施し、交通安全ルールの周知やマナーの向上を図ることができた。 また、交通安全協会や交通安全母の会などの各種交通安全団体や警察と連携して実施した、交通安全運動及び飲酒運転根絶啓発活動を通じて、交通安全意識の向上を図ることができた。
交通安全施設整備事業経費	B	－	3.3	見通しの悪い交差点へのカーブミラーの設置や老朽化したカーブミラーを交換し、安全、安心な交通環境を整備した。
臨時運行許可事務経費	B	－	3.7	自動車臨時運行に伴う許可申請の審査及び許可について、道路運送車両法第34条第2項の規定に基づき適正な受付業務を行うことができた。

実績

【交通安全指導啓発事業経費】

1　交通安全指導員による街頭指導（交通安全指導員数15人）

(1)　総出動回数　　延べ 576回　（月平均　延べ48回）

(2)　出動内容

①交通安全日街頭指導
②春の交通安全運動
③秋の交通安全運動
④交通安全教室交通指導
⑤松島パークフェスティバル
⑥松島流灯会　海の盆
⑦全日本実業団対抗女子駅伝競走大会
⑧かき祭り
⑨各種行事の街頭指導
⑩各地区行事の街頭指導

2　松島町内における交通事故発生件数の推移

	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
発生件数 （前年比）	21 （△ 3）	24 （△ 5）	29 （△ 3）	32 （ 9）	23 （△ 8）	31 （△ 4）
死 者 数	0	0	2	0	2	0
傷 者 数	25	32	34	39	30	41

※期間は、各年1月1日から12月31日まで

3　交通安全教育

小学校・幼稚園における交通安全教室　　4回
（松島第一小学校、松島第二小学校、松島第五小学校及び松島第五幼稚園、松島第一幼稚園）

（次頁へ続く）

2　款	1　項	9　目

実績

4　交通安全思想普及活動
- 春の交通安全町民総ぐるみ運動　運動期間：4月 6日～4月15日（10日間）
- 秋の交通安全町民総ぐるみ運動　運動期間：9月21日～9月30日（10日間）
- 交通安全施設の点検　毎月

5　交通安全啓発活動
- 高齢者等事故防止啓発活動　4回（4施設）
- 児童等事故防止啓発活動　4回（4施設）
- 飲酒運転撲滅啓発活動　1回
- 広報車による啓発活動　毎月

6　交通安全団体に対する事業費補助
- 塩釜地区交通安全協会松島支部　250,000 円
- 松島町交通安全母の会　100,000 円

【交通安全施設整備事業経費】

1　交通安全施設整備事業

- カーブミラー設置工事　N ＝ 6基　1,965,700 円
  - ○シングルミラー設置工　N ＝ 5基
  - ○ダブルミラー設置工　N ＝ 1基

課題方向性

各種交通安全団体や警察の協力の下「交通死亡事故ゼロ2年間」の記録を令和6年12月に達成することができた。記録の継続に向けて、関係機関と連携し、児童や高齢者への啓発活動や交通安全教室を開催するなど、交通事故防止の徹底を図る。

また、区画線やカーブミラー等の整備については、住民からの要望や調査にて危険箇所の把握に努め、緊急性の高い箇所から整備を行う。

一　般　会　計

2　款	1　項	10　目	諸費
担当部署名	総務課総務管理班・総務課環境防災班・企画調整課		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	361,508	360,712	23	324			360,365

目的

自治活動の普及推進を図り、町民の自治意識の高揚と社会福祉の増進に寄与する。
警察や学校などの関係機関と連携して、防犯対策等の普及を図り、犯罪を未然に防ぎ住民の安全を確保する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
自治振興経費 ※総務課総務管理班所管	B	－	3.3	行政区長を通じ町と町民の連絡を密にすることで行政事務の円滑な運営が図られた。 行政区長等の任期満了に伴う役員改選にあわせ、作成した業務マニュアルを配布し事務引継の負担軽減を図った。
表彰式典関係経費	B	－	3.7	表彰基準に基づき表彰者の選定を行い、文化観光交流まつりにおいて、善行者・功労者の表彰を行った。
災害補償等関係経費	B	－	3.7	全国町村会総合賠償補償保険に加入し、町の損害賠償責任に備えた。対象事案には事故対応等を適正に行った。
防犯対策関係経費	B	－	3.3	地域住民の安全安心を確保するため、各地区防犯指導隊や警察と連携し、防犯パトロール並びに啓発活動を通じて犯罪の未然防止に繋げた。 また、安全安心メールや各種SNSを活用し、特殊詐欺への注意喚起等を行ったほか、防犯灯のLED化の更新費用や電気料の助成を通じて、犯罪が発生しにくい環境を整備した。
自治振興経費 ※企画調整課所管	B	－	3.3	品井沼ステーション有限会社の運営を支援することで、品井沼駅の利便性及び周辺地域の安心安全に繋がり、地域コミュニティの維持となっている。
自衛官募集関係経費	B	－	3.7	採用試験に係る情報や条件について毎月広報まつしまに募集記事を掲載し周知することで、自衛官採用に繋がる募集事務を推進した。

実績

■総務課 総務管理班所管

【自治振興経費】

・行政区長等報償　112 人　18,338,400 円

【表彰式典関係経費】

・善行者・功労者表彰式
開催日　令和6年10月27日
会　場　松島町文化観光交流館
表彰者　善行者（2名）功労者（3名）

【災害補償等関係経費】

・全国町村会総合賠償補償保険料　1,366,995 円
・保険適用申請対応件数　3 件

（次頁へ続く）

2　款	1　項	10　目

実績

■総務課 環境防災班所管

【防犯対策関係経費】

1　松島町における犯罪認知件数

	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
認知件数	56	62	45	37	33	86
(前年比)	(△ 6)	(17)	(8)	(4)	(△ 53)	(20)

※期間は、各年1月1日から12月31日まで

2　主な防犯活動
・地域安全運動による防犯パトロール等
春の地域安全運動　(運動期間： 4月 15日 ～ 5月 14日)
夏の地域安全運動　(運動期間： 7月 15日 ～ 8月 25日)
全国地域安全運動　(運動期間：10月 11日 ～10月 20日)
年末年始の地域安全運動　(運動期間：12月 1日 ～ 1月 7日)
・定期的な町内パトロール活動（随時）

3　防犯指導隊への補助　6団体　360,000 円

4　防犯灯設置等補助　104 基　2,017,312 円
（松島区・本郷区・磯崎区・手樽区・北小泉区・幡谷区・初原区・桜渡戸区）

5　防犯灯電気料助成　1,565 基　2,721,593 円
（12行政区・品井沼街灯組合）

■企画調整課所管

【自治振興経費】

・品井沼ステーション運営費補助金　900,000円

課題方向性

■総務課 総務管理班所管
行政役員のなり手不足等の各地区の課題について、区長等と連携し課題の把握と解消に努めていく。
善行者・功労者の表彰については、町への貢献に敬意を表し、引き続き年1回の表彰を実施する。

■総務課 環境防災班所管
巧妙化し続発する特殊詐欺等の犯罪について、警察との連携により情報を共有するとともに、安全安心メールや各種SNSを活用して、犯罪に巻き込まれることがないよう注意喚起に努める。
また、各地区防犯指導隊や警察と連携した防犯パトロールによる安全確保や、夜間における犯罪の未然防止に向けた防犯灯のLED化により、安全安心な生活環境の構築を図る。

■企画調整課所管
品井沼駅の利便性向上及び地域コミュニティの維持・活性化を図るため、引き続き運営費の補助を実施する。
自衛官募集事務については、引き続き広報に募集記事を掲載し、自衛官採用に繋げる。

一　般　会　計

2　款	1　項	11　目	電子計算費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	64,018	61,653	6,783			5,428	49,442

目的

情報通信ネットワークと電算システムの管理・運用を最適化し、事務処理の高度化と効率化を推進することで、町民の利便性向上と行政サービスの質的向上を図るとともに、DX推進基本方針に沿ったデジタル社会実現を目指し、新たな町民ニーズに柔軟に対応できる行政基盤を整備する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
基幹系システム経費	A	4.3	3.7	住基・税務・福祉等の庁内各業務において、データセンターを活用したクラウドシステムの運用・保守を行った。また、次期標準準拠システムの令和7年度末までの移行について、システム事業者及び回線事業者の選定を行った。
公会計システム経費	A	4.3	3.7	財務会計・契約管理・人事給与等の庁内各業務において、効果的かつ適切なシステムの運用を行った。次期財務会計システムに係る事業者選定を行い、令和7年度のシステム改定について準備を進めることができた。
地域情報システム整備事業経費	B	－	4.7	庁内情報ネットワーク環境下で使用するハードウェア及びソフトウェア並びに東北・新潟の7県で共同調達している自治体情報セキュリティクラウドを運用した。ハードウェアの再リースを活用することで経費を削減できた。
デジタル推進事務経費	A	3.7	4.0	松島町DX推進基本方針に基づき庁内のDXに資するシステム等の運用を行った。導入期にはトライアル制度等を活用し、十分な準備や効果検証を安価に行うことができた。また、県下自治体による共同調達にも参加した。

実績

【基幹系システム経費】

1　基幹系システム大量データ作成業務委託　464,640 円

2　ガバメントクラウド接続回線構築及び回線運用管理補助業務委託　2,907,850 円

3　基幹系システム再賃借料　37,101,295 円
（ハードウェア、ソフトウェア、LGWAN及びセキュリティ強化対策保守含む）

4　自治体中間サーバ・プラットフォーム利用負担金　6,977,000 円

【公会計システム経費】

1　公会計システム賃借料　6,611,000 円
（ハードウェア及びソフトウェア保守含む）

【地域情報システム整備事業経費】

1　地域情報システム賃借料（現行PC　令和6年4月～令和7年3月の12ヶ月分）　1,025,280 円

2　地域情報システム賃借料（新PC　令和7年2月・3月の2ヶ月分）　1,298,660 円

3　宮城県自治体情報セキュリティクラウド運用費負担金　846,400 円

4　地方公共団体情報システム機構（J-LIS）一般事業負担金　45,000 円

5　宮城県高度情報化推進協議会会費　7,000 円

（次頁へ続く）

2　款	1　項	11　目

実績	【デジタル推進事務経費】 1　申請書作成支援システムリース料（令和6年4月～令和7年3月の12ヶ月分）　356,400 円 財務課・町民福祉課の窓口にてマイナンバーカード等から申請書類を作成するシステム 2　音声認識文字入力ソフト使用料（令和6年5月～令和7年3月の11ヶ月分）　955,900 円 AIによる音声データの自動文字起こしを行うソフトウェア 3　公用チャットツール使用料（令和6年10月～令和7年3月の6ヶ月分）　528,000 円 職員の公用連絡ツールとして利用するメッセージ送受信システム 4　公用グループウェア使用料（令和6年10月～令和7年3月の6ヶ月分）　369,600 円 スケジュール機能と情報共有（掲示板）機能を有するグループウェア 5　デジタル研修ツール実証実験に係るシステム使用料　275,000 円 （令和6年10月～令和7年3月の6ヶ月分） 人材研修事業者の作成した動画による職員研修システムの試験導入 6　みやぎ電子申請サービス（オプション分）使用料　34,591 円 （令和7年2月・3月の2ヶ月分） 県が主導し県内市町村で共同調達する電子申請システムに係るオプション 7　みやぎ電子申請サービス負担金（令和7年2月・3月の2ヶ月分）　59,400 円 県が主導し県内市町村で共同調達する宮城県・市町村共同電子申請サービス
課題 方向性	庁内業務についてデジタルを前提としてBPRを進め、町民の利便性向上と業務効率化を図るとともに、職員への情報倫理研修等を行い、安全な行政運営を目指す。また、令和7年度末までに自治体情報システムを標準化・共通化するため、次期総合行政ネットワーク（LGWAN）の更新や、政府共通クラウドサービス「ガバメントクラウド」への接続準備を引き続き行い、庁内ネットワークの再構築やサーバ等ハードウェアの入れ替えを円滑に進める。

一　般　会　計

2　款	1　項	12　目	町民バス運行費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	46,285	45,314				763	44,551

目的

公共交通空白地域における生活利便性の向上、福祉の増進を図るとともに、高齢者や学生をはじめとする交通弱者の移動手段として町内全域に町営の路線バスを運行させ、交通地域格差の是正に努める。

また、持続可能な公共交通体系を目指し、町民の地域間交流を促進させ、活力のあるまちづくりに寄与する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
町民バス運行事務経費	A	3.7	3.0	バスの運行状況を即座に把握できるよう、バスロケーションシステムを導入し、ホームページ等にて周知を図ったほか、利便性の高い運行となるよう、乗降調査と利用者アンケートを実施し、町民ニーズの把握に努めた。
町民バス運行経費	A	3.7	3.0	令和6年度から町民バスの運行業務を民間事業者に委託したことにより、安全で安心な運行体制を構築することができた。また、車両の維持管理を適切に行うことにより、快適に乗車できる環境を常に保つことができた。

実績

○　運行・利用状況

内容／路線	便数	運行日数	走行距離（km）	利用人数（人）	収入金額(円)
北松島線〔中廻含む〕	10	308	95,448	12,331	293,800
松島東線	4	308	33,544	2,232	43,300
松島西線	5	308	37,999	8,500	177,000
定期券・回数券	―	―	―	―	249,260
計	―	―	166,991	23,063	763,360

課題方向性

受託事業者と連携しながら、引き続き運行管理の徹底による安全で安心なバスの運行と、車両や運行状況の適正管理による、利用者が快適に利用できる体制の構築を図る。また、乗降調査や利用者アンケートの分析を進め、町民ニーズに即した運行ダイヤの見直しを行う。

令和6年度町営バス月別利用状況

(北松島線分)

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	接種券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数				利用者数	使用料収入額	
4	26	8,095	623	35	44	111	190	44	8	20	72	1	313	0	1,199	24,200	
5	27	8,446	637	36	46	117	199	61	8	21	90	0	296	0	1,222	25,500	
6	25	8,005	606	45	45	123	213	54	2	20	76	1	299	0	1,195	26,600	
7	27	8,346	646	36	45	132	213	41	0	15	56	0	322	0	1,237	27,900	
8	27	8,043	390	17	32	114	163	18	3	17	38	3	259	0	853	24,500	
9	25	7,832	381	52	41	125	218	49	0	19	68	1	289	0	957	26,900	
10	27	8,608	404	32	43	127	202	31	1	20	52	2	312	0	972	27,400	
11	26	8,039	433	45	50	109	204	43	2	12	57	0	265	0	959	23,000	
12	24	7,437	355	37	37	97	171	27	2	2	31	0	291	0	848	19,600	29～31日運休
1	24	7,367	430	45	47	92	184	22	0	0	22	0	271	0	907	18,400	1日～3日運休
2	24	7,342	444	27	41	125	193	26	2	2	30	0	244	0	911	25,200	
3	26	7,888	576	10	41	119	170	26	4	8	38	3	284	0	1,071	24,600	
合計	308	95,448	5,925	417	512	1,391	2,320	442	32	156	630	11	3,445	0	12,331	293,800	
月平均		7,954	494	35	43	116	193	37	3	13	53	1	287	0	1,028	24,483	

(松島東線分)

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	接種券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数				利用者数	使用料収入額(円)	
4	26	2,794	204	0	0	6	6	21	0	31	52	0	1	0	263	4,300	
5	27	3,086	166	0	0	1	1	18	9	27	54	0	1	0	222	2,900	
6	25	2,852	128	0	0	1	1	20	5	37	62	0	1	0	192	3,900	
7	27	2,830	211	0	0	3	3	14	14	18	46	0	0	0	260	2,400	
8	27	2,502	65	0	0	10	10	5	7	10	22	0	2	0	99	3,000	
9	25	2,844	80	0	0	14	14	18	10	28	56	0	0	0	150	5,600	
10	27	3,126	69	0	0	2	2	31	0	31	62	1	0	0	134	3,500	
11	26	2,931	65	0	0	12	12	29	0	24	53	0	18	0	148	4,800	
12	24	2,576	78	0	0	7	7	19	9	17	45	0	19	0	149	3,100	29～31日運休
1	24	2,620	126	0	0	7	7	27	1	19	47	0	1	0	181	3,300	1日～3日運休
2	24	2,659	147	0	0	5	5	22	8	21	51	0	0	0	203	3,100	
3	26	2,724	192	0	0	10	10	8	4	14	26	1	2	0	231	3,400	
合計	308	33,544	1,531	0	0	78	78	232	67	277	576	2	45	0	2,232	43,300	
月平均		2,795	128	0	0	7	7	19	6	23	48	0	4	0	186	3,608	

（ 松島西線分 ）

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	接種券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数				利用者数	使用料収入額(円)	
4	26	3,304	495	0	0	65	65	41	0	7	48	4	74	0	686	13,700	
5	27	3,340	524	4	0	70	74	47	0	10	57	3	74	0	732	15,000	
6	25	3,220	509	4	0	63	67	48	0	3	51	0	70	0	697	12,900	
7	27	3,459	548	3	6	120	129	35	2	16	53	0	85	0	815	25,600	
8	27	3,423	441	0	5	71	76	16	3	8	27	2	77	0	623	15,000	
9	25	3,101	425	2	4	89	95	37	8	5	50	4	66	0	640	18,300	
10	27	3,276	465	0	1	59	60	32	8	9	49	1	110	0	685	12,700	
11	26	3,057	450	2	2	41	45	32	4	13	49	1	80	0	625	9,500	
12	24	2,933	444	0	3	59	62	25	9	25	59	0	74	0	639	14,300	29～31日運休
1	24	3,017	583	1	3	54	58	39	11	18	68	0	59	0	768	12,600	1日～3日運休
2	24	2,832	565	4	4	66	74	38	9	16	63	0	50	0	752	14,800	
3	26	3,037	664	1	4	58	63	25	8	10	43	0	68	0	838	12,600	
合計	308	37,999	6,113	21	32	815	868	415	62	140	617	15	887	0	8,500	177,000	
月平均		3,167	509	2	3	68	72	35	5	12	51	1	74	0	708	14,750	

（ 合 計 ）

定期券・回数券(円)	249,260

月	運行日数	走行距離(km)	70才以上無料カード利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児乗車券利用人数	身体障害者乗車券利用人数	接種券利用人数	合計		備考
				定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数	定期券利用人数	回数券利用人数	乗車券利用人数	小計利用人数				利用者数	使用料収入額(円)	
合計	308	166,991	13,569	438	544	2,284	3,266	1,089	161	573	1,823	28	4,377	0	23,063	763,360	

（回数券・定期券販売実績）

種類	回数券		定期券									販売金額(円)
区分	一般	小中学生	中学生			高校生			一般(69歳以下)			
	2,000円	1,000円	1,800円	5,130円	9,720円	3,600円	10,260円	19,440円	6,000円	17,100円	32,400円	
販売数(件)	45	23	13	8	2	6	3	0	0	0	0	249,260

一　般　会　計

2　款	1　項	13　目	施設管理費
担当部署名	総務課総務管理班・建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,971	5,500			1,300		4,200

目的

集会施設の適切な維持管理を行い、住民のための地域コミュニティの場として、安全かつ利用しやすい環境を提供する。また、公衆便所の適切な維持管理を行い、利用しやすい環境を提供する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
集会施設指定管理経費	B	－	3.3	集会施設17施設について、行政区等への指定管理により適正な管理運営を行うことができた。
集会施設等維持管理経費 ※総務課総務管理班所管	B	－	3.3	集会施設個別施設計画により廃止の方向性となっている施設のうち、地域との協議の整った1施設について解体工事を実施した。
集会施設等維持管理経費 ※建設課管理班所管	C	－	－	集会施設の設備修繕並びに適切な維持管理を実施することにより、良好な利用環境の整備を図り、地域住民のコミュニティ構築の場を提供した。
高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費	C	－	－	公衆便所の定期的な清掃等適切な維持管理を実施し、利用環境の充実を図った。

実績

■総務課 総務管理班所管

【集会施設指定管理経費】

1　委託料
・集会施設　17施設　2,063,080 円

【集会施設等維持管理経費】

1　工事請負費
・反町支館解体工事　1,485,000 円

■建設課　管理班所管

【集会施設等維持管理経費】

1　需用費（修繕料）　495,154 円
・初原コミュニティーセンター（エアコン・照明・換気扇）　306,790 円
・中通支館（屋根・洋式便器タンク）　76,604 円
・萱倉支館（給湯器）　48,400 円
・垣ノ内集会場（便所配線）　33,000 円
・北小泉・下竹谷地区コミュニティーセンター（屋根）　30,360 円

（次頁へ続く）

2　款	1　項	13　目

実績	【高城町駅前、愛宕駅前、元禄潜穴公衆便所維持管理経費】 1　需用費（修繕料）　94,930 円 ・高城町駅前公衆便所（電気設備）　65,780 円 ・愛宕駅前公衆便所（小便器）　29,150 円 2　委託料　432,740 円 ・公衆便所清掃業務委託 高城町駅前公衆便所（週2回） 愛宕駅前公衆便所　（週2回） 元禄潜穴公衆便所　（週2回）
課題 方向性	■総務課 総務管理班所管 集会施設個別施設計画に基づき、廃止の方向性とした施設に関する取り扱いについて、地区と協議のうえ決定していく。 ■建設課 管理班所管 集会施設や公衆便所は利用頻度が高く設備数も多い。故障等が確認された場合は適宜修繕が必要となるため、迅速な修繕等対応と維持管理を継続し、利用しやすい施設環境を提供していく。

一　般　会　計

2　款	1　項	15　目	地上デジタル放送無線共聴施設管理費
担当部署名	企画調整課・建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,627	1,157					1,157

目的

町内で地形等の理由により地上デジタル放送が難視聴になっている地区（難視聴地区）に設置した地上デジタル放送無線共聴施設について、維持管理を実施する。
また、松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を交付し、良好な地上デジタル放送の受信環境を維持する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）※企画調整課所管	B	－	3.7	難視聴地区の組合に補助金を交付することで、良好な地上デジタル放送の受信環境維持に寄与した。
地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）※建設課管理班所管	B	－	3.7	地上デジタル放送無線共聴施設の保守点検を行い施設の保全に努め、難視聴地区への安定した電波供給を行った。

実績

■企画調整課所管

【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（補助金）】

・松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金
　帰命院地区テレビ共同受信組合　（129世帯）　120,000円

■建設課 管理班所管

【地上デジタル放送無線共聴施設管理経費（保守）】

1　地上デジタル放送無線共聴施設（受信・送信点11箇所）の維持管理
　・松島海岸、小石浜地区　（受信点：3箇所　送信点：5箇所）
　・反町、初原地区　（受信点：1箇所　送信点：2箇所）

2　委託料　767,800円
　・地上デジタル放送無線共聴施設保守点検業務委託（年1回）

課題方向性

■企画調整課所管
松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を引き続き交付し、当該地区における地上デジタル放送の受信環境の維持に努める。

■建設課 管理班所管
常に良好な地上デジタル放送の視聴環境を保持するため、適切な維持管理を継続して実施する。また、施設が原因となる電波障害が発生した場合、原因究明や部品調達に時間を要する場合もあることから応急対応方法を整理していく。

一　般　会　計

2　款	1　項	17　目	ふるさと納税費
担当部署名	財務課財政班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	136,365	132,951				91,529	41,422

目的

松島町を応援して下さる方からの寄附金を活用し、寄附者の思いに反映した魅力あるまちづくり事業を展開する。また、返礼品により町の魅力を発信するとともに、返礼品事業者の販路拡大と、松島町に対する興味・関心を高め、来町を促すことで地域の活性化を図ることを目的とする。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
ふるさと納税費	A	4.3	3.7	新たなポータルサイトの開設による寄附窓口拡大の効果もあり、前年度と比較して寄附金額の増加が図られた。また、15件の事業に対する財源として寄附金を活用することができた。

実績

1　ポータルサイト決済手数料（郵便振替・クレジット・アプリ・ポイント決済等）

区　分　等	件　数	金　額
ふるさとチョイス	319　件	223,087　円
楽天ふるさと納税	622　件	907,924　円
ふるなび	95　件	178,321　円
ANAのふるさと納税	39　件	67,012　円
JRE MALLふるさと納税	197　件	89,639　円
JALふるさと納税	36　件	39,127　円
自治体窓口等	6　件	180　円
決済手数料　合計	1,314　件	1,505,290　円

2　オンラインワンストップ利用手数料

区　分　等	件　数	金　額
オンラインワンストップ利用	278　件	95,370　円

3　トラベルクーポン利用手数料

区　分　等	件　数	金　額
トラベルクーポン利用	75　件	2,115,000　円

4　ポータルサイト掲載料

区　分　等			金　額
ふるさとチョイス	(平成30年 5月～)	寄附額の10%	2,391,840　円
楽天ふるさと納税	(令和 2年12月～)	寄附額の5.1%	1,798,345　円
ふるなび	(令和 3年11月～)	寄附額の10～12%	1,191,410　円
ANAのふるさと納税	(令和 3年12月～)	寄附額の8%	377,696　円
JRE MALLふるさと納税	(令和 3年12月～)	寄附額の7%	488,950　円
JALふるさと納税	(令和 4年12月～)	寄附額の8%	264,616　円
セゾン	(令和 5年 4月～)	寄附額の10%	12,980　円
auPAY	(令和 5年 4月～)	寄附額の10%	79,640　円
KABU&ふるさと納税	(令和 6年10月～)	寄附額の10%	155,430　円
ポータルサイト掲載料合計			6,760,907　円

5　ふるさと納税業務委託料

区　分　等	金　額
ﾃﾞｰﾀ管理・返礼品手配・受領証明書発送等	5,921,218　円
返礼品代金	23,823,080　円
返礼品送料	1,188,701　円
業務委託料合計	30,932,999　円

（次頁へ続く）

実績

6 寄附実績

・寄附受付窓口別

寄附受付窓口区分	件 数	寄附額
ふるさとチョイス	447 件	21,744,000 円
楽天ふるさと納税	526 件	30,947,000 円
ふるなび	108 件	10,811,000 円
ANAのふるさと納税	39 件	4,292,000 円
JRE MALLふるさと納税	197 件	6,350,000 円
JALふるさと納税	36 件	3,007,000 円
セゾン	8 件	118,000 円
auPAY	8 件	724,000 円
KABU&ふるさと納税	69 件	1,413,000 円
さとふる	40 件	3,178,000 円
現地決済型	96 件	7,956,000 円
自治体窓口等	11 件	950,000 円
合 計	1,585 件	91,490,000 円

・支払手段別

支払手段別区分	件 数	寄附額
郵便振替	13 件	785,000 円
クレジットカード決済	1,411 件	86,661,281 円
アプリ決済	126 件	3,245,310 円
ポイント決済	26 件	326,409 円
銀行振込	3 件	52,000 円
現金支払い	6 件	420,000 円
合 計	1,585 件	91,490,000 円

・返礼品カテゴリー別

返礼品カテゴリー区分		件 数	寄附額
米・パン	【 6 品目 】	912 件	20,360,000 円
野菜・果物	【 1 品目 】	9 件	108,000 円
水産物	【 2 品目 】	0 件	0 円
加工食品・飲み物	【 8 品目 】	73 件	2,453,000 円
菓子・スイーツ	【 7 品目 】	74 件	1,062,000 円
酒類	【 2 品目 】	5 件	97,000 円
セット・詰め合わせ	【 6 品目 】	30 件	429,000 円
雑貨	【 5 品目 】	1 件	14,000 円
民芸・工芸	【 2 品目 】	2 件	24,000 円
宿泊券・チケット	【 25 品目 】	383 件	58,987,000 円
その他	【 1 品目 】	0 件	0 円
現地決済型	【 10 施設 】	96 件	7,956,000 円
希望無し（返礼品を希望しない申出があった寄附）		0 件	0 円
対象外(災害支援ふるさと納税等返礼品の対象とならない寄附)		0 件	0 円
合 計		1,585 件	91,490,000 円

・使途別

使 途 区 分	件 数	寄附額
道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	192 件	11,622,000 円
環境、安全・防災に関する事業	195 件	8,561,000 円
福祉・保健・医療に関する事業	177 件	10,434,000 円
教育に関する事業	312 件	16,164,000 円
観光、歴史・文化に関する事業	323 件	21,087,000 円
産業振興、コミュニティに関する事業	69 件	2,695,000 円
魅力あるまちづくりを推進するため必要と認められる事業	317 件	20,927,000 円
合 計	1,585 件	91,490,000 円

（次頁へ続く）

実績

・寄附金額別

寄附金額区分	件　数	寄附額
10,000円未満	0　件	0　円
10,000円以上30,000円未満	1,028　件	17,781,000　円
30,000円以上50,000円未満	94　件	3,425,000　円
50,000円以上100,000円未満	165　件	9,615,000　円
100,000円以上200,000円未満	116　件	17,259,000　円
200,000円以上	182　件	43,410,000　円
合　　計	1,585　件	91,490,000　円

7　ふるさと納税基金

（単位：円）

使　途		積立残高	積立額	取崩額	残　高	充当事業
①	道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	25,077,000	11,622,000	11,800,000	24,899,000	三浦線区画線工事 1,300,000 町道松島・磯崎線外側溝改良工事 9,000,000 品井沼地区道路整備 1,500,000
②	環境、安全・防災に関する事業	26,983,850	8,561,000	6,400,000	29,144,850	松くい虫対策
③	福祉・保健・医療に関する事業	21,338,000	10,434,000	3,200,000	28,572,000	健康増進計画策定業務 2,500,000 視覚検査用備品購入 700,000
④	教育に関する事業	22,903,773	16,164,000	9,140,000	29,927,773	こども英語ガイド 140,000 一小放送設備購入経費 2,700,000 ICT支援員配置業務 6,300,000
⑤	観光、歴史・文化に関する事業	32,758,864	21,087,000	5,400,000	48,445,864	松島海岸駅観光案内所運営業務 2,400,000 観光パンフレット作成業務 2,200,000 観光パンフレット印刷業務 800,000
⑥	産業振興、コミュニティに関する事業	4,309,900	2,695,000	1,000,000	6,004,900	創業者支援補助金
⑦	その他魅力あるまちづくりを推進するため、必要と認められる事業	321,366,000	20,927,000	7,600,000	334,693,000	長期総合計画策定業務 5,800,000 国土利用計画策定業務 1,800,000
基金運用利子収入分		76,619	39,303		115,922	
合計		454,814,006	91,529,303	44,540,000	501,803,309	

課題方向性

現地決済型、ポータルサイトの拡充で寄附件数、金額ともに増加した。物価高などの社会情勢も影響したが、特に米や宿泊クーポンに申込みが多く集まり、返礼品を通して町の魅力を発信できた。

現地決済型が使用できる場所を増やし、町に訪れた方の回遊性を高めるとともに、返礼品提供者の販路拡大と松島町への興味・関心を高めることで地域活性化を図る。

一　般　会　計

2　款	1　項	18　目	地方創生費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,804	18,477				18,101	376

目的

松島町を応援していただける企業からの寄附金を、本町の重点戦略である「定住」、「子育て」、「交流」に係る事業の財源として充てることで、重点戦略の各種課題解決を図り、町の将来像である「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち　松島」を目指す。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
まち・ひと・しごと創生寄付活用事業（企業版ふるさと納税費）	A	4.3	3.0	14事業者より企業版ふるさと納税の寄附（物納含む）をいただき、町の重点戦略に関する事業の財源に充てることで、本町の重点戦略の実現につながる事業の推進を図った。

実績

1　寄附実績

・重点戦略別寄付額　（単位：円）

重点戦略	寄附事業者数	寄附額
「定住」	7 事業者	15,850,000
「子育て」	5 事業者	1,550,000
「交流」	3 事業者	700,000
合　　計	13 事業者	18,100,000

※複数の重点戦略に同一事業者が寄附した場合も合計は1事業者でカウント

・企業版ふるさと納税を財源とした重点戦略別事業充当状況

（単位：円）

重点戦略別事業	充当額
「定住」に関する事業	11,000,000
「子育て」に関する事業	1,487,320
「交流」に関する事業	0
合　　計	12,487,320

・寄附受付窓口別寄附額　（単位：円）

区　分　等	寄附額	委　託　料　等	
株式会社エージェント	200,000	寄附額の11～16.5%	33,000
株式会社トラストバンク	0	寄附額の11%	0
株式会社RCG	0	寄附額の22%	0
株式会社ジチタイアド	300,000	寄附額の22%	66,000
株式会社七十七銀行	2,000,000	寄附額の11%	220,000
自治体窓口	15,600,000		
合　　計	18,100,000		319,000

（次頁へ続く）

2　款	1　項	18　目

実績

2　企業版ふるさと納税基金残高

（単位：円）

重点戦略	前年度基金残高	積立額	取崩額	年度末残高	繰入事業
「定住」	2,674,000	15,850,000	11,000,000	7,524,000	根廻・初原線道路整備事業
「子育て」	4,100,000	1,550,000	1,487,320	4,162,680	松島町児童福祉施設及び幼稚園防犯カメラ設置工事
「交流」	3,870,000	700,000	0	4,570,000	
基金運用利子収入分	2,782	1,652	0	4,434	
合　計	10,646,782	18,101,652	12,487,320	16,261,114	

3　物品寄附実績

（単位：円）

寄附企業名	物品の品名	個数	寄附相当額
株式会社あいホーム	ウォーターレストイレ「クレサナ」	1	772,200
	災害時用寝袋兼敷物「おまもりぶくろ」	1	320,000
合　計			1,092,200

課題方向性

本町の政策や事業に対し賛同を得た14事業者からの寄附実績（物納を含む）となったが、当初予算に目標とした額には達しなかった。一方では、各課に企業版ふるさと納税を活用した主要プロジェクトを提案してもらい、重点戦略「子育て」における子どもがのびのびと遊べる場創出プロジェクトを立ち上げることができたことから令和7年度においても引き続き主要プロジェクトを募集し、企業が本町を応援したくなるようなまちづくりの提案を目指し各課との連携を図っていく。

一　般　会　計

2　款	1　項	19　目	定額減税補足給付金事業費
担当部署名	財務課税務班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	111,376	109,689	109,689				

目的

国における、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」（令和5年11月2日閣議決定）により、所得税・個人住民税の定額減税の実施に伴い、減税しきれない方々に対し迅速かつ着実に給付を実施し、急激な物価高騰から町民の生活を守る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
定額減税補足給付金事業	B	－	4.0	申請を要しないプッシュ式による給付を実施することにより迅速な給付を行い、急激な物価高騰に対する一助になった。

実績

【定額減税補足給付金事業】

1　給付対象者
定額減税可能額が、令和6年に入手可能な課税情報を基に把握された当該納税義務者の「令和6年分推計所得税額」（令和5年分所得税額）又は「令和6年度個人住民税所得割額」を上回る者

2　給付額
定額減税可能額が減税前税額を上回る（減税しきれない）と見込まれる所得税及び個人住民税の合算額

3　支給実績
・支給人数　2,611人

・支給額　107,290,000円

一　般　会　計

2　款	1　項	20　目	物価高騰対応重点支援地方創生事業費
担当部署名	産業観光課産業振興班		（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	72,459	10,426	6,950				3,476

目的	
	エネルギー価格や物価高騰等により大きく影響を受けた住民生活に対して商品券の配布による家計負担軽減や事業者に対する事業継続支援を行うことで地域経済の回復を促す。

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	No.1 家計応援商品券配布事業	A	3.7	3.0	エネルギーや食料品等の物価高騰の影響を受けている町民に対して、町内の事業所で使用できる商品券を配布し、家計負担の軽減及び地域経済の活性化を図ることができた。
	No.2 水田作付転換農家物価高騰対策支援事業	A	3.3	3.3	エネルギーや資材等の物価高騰の影響を受けている農業者の負担軽減を図るため、肥料等資材購入費用の一部を支援することで、事業継続を支援することができた。
	No.3 畜産業物価高騰対策支援事業	A	3.3	3.3	エネルギーや飼料等の物価高騰の影響を受けている畜産業者の負担軽減を図るため、飼料等購入費用の一部を支援することで、事業継続を支援することができた。
	No.4 園芸農家物価高騰対策支援事業	A	3.3	3.3	エネルギーや資材等の物価高騰の影響を受けている園芸農家の負担軽減を図るため、燃料代の一部を支援することで、事業継続を支援することができた。
	No.5 カキ養殖漁業物価高騰対策支援事業	A	3.3	3.7	エネルギーや資材等の物価高騰の影響を受けているカキ養殖漁業者の負担軽減を図るため、燃料代の一部を支援することで、事業継続を支援することができた。

実績

【No.1　家計応援商品券配布事業】

1　概算交付額（令和6年度事務費分）　350,000 円

【No.2　水田作付転換農家物価高騰対策支援事業】

1　交付決定件数　30 件
2　交付決定額　4,558,300 円

【No.3　畜産業物価高騰対策支援事業】

1　交付決定件数　12 件
2　交付決定額　1,500,000 円

【No.4　園芸農家物価高騰対策支援事業】

1　交付決定件数　3 件
2　交付決定額　1,258,400 円

【No.5　カキ養殖漁業物価高騰対策支援事業】

1　交付決定件数（宮城県漁業協同組合松島支所）　1 件
※漁協から交付を受けた、カキ養殖業者数31件
2　交付決定額　2,736,840 円

一　般　会　計

2　款	2　項	1 2　目	税務総務費 賦課徴収費
担当部署名	財務課税務班・特別滞納整理室		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	79,838 46,068	79,349 41,268		9,497 10,666		494 633	69,358 29,969

目的

課税資料の収集と課税台帳の整備をし、適正な課税を行う。
また、的確な滞納整理を行い、徴収率の向上及び収入未済額の縮減を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
納税貯蓄組合関係事務	A	2.0	2.5	納税貯蓄組合事務については、確実な納期内納入の確保に努めた。 また、住民税賦課事務における確定申告受付事務及び固定資産税賦課事務における新築家屋調査に係る受付事務の効率化を図るため、オンラインで受付ができるようシステムの構築を行った。 その他賦課関係事務については、軽自動車税や諸税など、提出を受けた申告書に基づき適正な課税に努めた。 徴収率については、換価の猶予適用等を実施するなど、現年課税分を優先した納付の徹底、さらには滞納整理、滞納処分を早期に着手したことにより、現年課税分全ての税目で前年を上回る結果となった。 また、転出者等の町外滞納者に対する徹底した財産調査の結果、給与等の差押えを前年より多く執行することができたため、滞納繰越分の徴収率も前年を上回ることができた。
住民税賦課事務	B	－	3.3	
固定資産税賦課事務	B	－	4.0	
徴収関係事務	B	－	3.7	
その他賦課関係事務	B	－	4.3	
特別滞納整理事務	A	4.3	4.0	
（参考） 国保税賦課徴収事務	B	－	4.0	

実績

1　個人町民税

・現年課税分の内訳

所得区分		課税額（千円）	納税義務者（人）
給与所得者		409,334	4,988
営業等所得者		24,851	270
農業所得者		1,372	19
その他の所得者		43,410	1,311
家屋敷等のみ		51	17
計		479,018	6,605
内訳	特別徴収にかかる課税	403,014	5,785
	普通徴収にかかる課税	76,004	820

※所得区分は、総務省統計の課税状況等調査区分による。
※「その他の所得者」の主な者は、年金所得者、譲渡所得者である。

・申告相談受付　期　間　令和　7　年　2月　17　日～　3月　17　日
　　場　所　松島町文化観光交流館
　　件　数　確定申告　1,028 件
　　町・県民税申告　426 件

2　法人町民税

・現年課税分の内訳

区　　分	課税額（円）	納税義務者（事業所）
均等割	33,044,200	351
税　割	24,804,900	124
計	57,849,100	475

※納税義務者（事業者）均等割のうち税割分も含む。

（次頁へ続く）

実績

3　固定資産税

・現年課税分の内訳

区　　分	課税額（円）	納税義務者（人）
土　　地	214,669,300	5,246
家　　屋	405,920,700	4,874
償却資産	356,448,400	254
国有資産等所在市町村交付金	2,999,200	3
計	980,037,600	10,377

4　軽自動車税

・現年課税分の内訳

区　　分		課税額（円）	課税台数（台）
環境性能割	軽自動車	2,400,000	112

区　　分		課税額（円）	課税台数（台）
種別割	原動機付自転車	628,400	300
	軽自動車	36,106,900	4,116
	小型特殊自動車	846,100	319
	二輪の小型自動車	1,098,000	183
計		38,679,400	4,918

5　町たばこ税

区　　分	課税額（円）	売上本数（本）
製造たばこ	89,651,770	13,683,115
計	89,651,770	13,683,115

6　入湯税

・現年課税分の内訳

区　　分	課税額（円）	入湯者数（人）
宿　　泊	31,892,550	212,617
日帰り	2,234,200	44,684
計	34,126,750	257,301

7　都市計画税

・現年課税分の内訳

区　　分	課税額（円）	納税義務者（人）
土　　地	27,620,400	3,551
家　　屋	42,265,500	3,444
計	69,885,900	6,995

（次頁へ続く）

実績

8　徴収の状況

・現年課税分

区分 / 税目	令和6年度 調定額（千円）	令和6年度 収入済額（千円）	令和6年度 徴収率(%)	令和5年度 調定額（千円）	令和5年度 収入済額（千円）	令和5年度 徴収率(%)	比較増減 調定額（千円）	比較増減 収入済額（千円）	比較増減 徴収率(%)
町民税	536,867	534,197	99.5	560,078	555,771	99.2	△ 23,211	△ 21,574	0.3
（個人）	479,018	476,406	99.5	507,449	503,551	99.2	△ 28,431	△ 27,145	0.3
（法人）	57,849	57,791	99.9	52,629	52,220	99.2	5,220	5,571	0.7
固定資産税	980,038	977,383	99.7	1,019,787	1,016,818	99.7	△ 39,749	△ 39,435	0.0
軽自動車税	41,079	41,017	99.8	39,770	39,619	99.6	1,309	1,398	0.2
町たばこ税	89,652	89,652	100.0	92,064	92,064	100.0	△ 2,412	△ 2,412	0.0
入湯税	34,127	34,127	100.0	39,541	39,541	100.0	△ 5,414	△ 5,414	0.0
都市計画税	69,886	69,549	99.5	71,089	70,726	99.5	△ 1,203	△ 1,177	0.0
計	1,751,649	1,745,925	99.7	1,822,329	1,814,539	99.6	△ 70,680	△ 68,614	0.1
※国民健康保険税	200,800	194,851	97.0	201,922	194,796	96.5	△ 1,122	55	0.5

・滞納繰越分

区分 / 税目	令和6年度 調定額（千円）	令和6年度 収入済額（千円）	令和6年度 徴収率(%)	令和5年度 調定額（千円）	令和5年度 収入済額（千円）	令和5年度 徴収率(%)	比較増減 調定額（千円）	比較増減 収入済額（千円）	比較増減 徴収率(%)
町民税	8,800	3,732	42.4	11,107	2,491	22.4	△ 2,307	1,241	20.0
（個人）	8,289	3,323	40.1	10,963	2,490	22.7	△ 2,674	833	17.4
（法人）	511	409	80.0	144	1	0.7	367	408	79.3
固定資産税	11,140	2,643	23.7	12,065	2,768	22.9	△ 925	△ 125	0.8
軽自動車税	199	78	39.2	117	28	23.9	82	50	15.3
町たばこ税	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
入湯税	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
都市計画税	956	271	28.3	1,015	333	32.8	△ 59	△ 62	△ 4.5
計	21,095	6,724	31.9	24,304	5,620	23.1	△ 3,209	1,104	8.8
※国民健康保険税	23,869	5,823	24.4	30,384	5,717	18.8	△ 6,515	106	5.6

9　納税貯蓄組合関係

・納税貯蓄組合からの収入状況

税目	収入件数(件)	収入金額(円)	組合数
個人町県民税・森林環境税	102	2,719,000	17
固定資産税・都市計画税	987	15,531,600	
軽自動車税	139	921,500	
国民健康保険税	675	6,334,200	
計	1,903	25,506,300	

※本表の件数は、期別単位で集計している。

・補助金交付額　　町税関係（一般会計）　479,088 円
　　国民健康保険税関係（国保会計）　166,675 円

10　口座振替の状況

税目	口座振替 請求(依頼)件数(件) ①	口座振替 請求(依頼)金額(千円) ②	口座振替 振替件数(件) ③	口座振替 振替金額(千円) ④	口座振替 振替不能件数(件) ①-③	口座振替 振替不能金額(千円) ②-④
個人町県民税・森林環境税	811	28,405	782	27,512	29	893
固定資産税・都市計画税	8,869	214,867	8,717	212,629	152	2,238
軽自動車税	635	4,136	623	4,044	12	92
国民健康保険税	5,826	61,899	5,713	60,656	113	1,243
計	16,141	309,307	15,835	304,841	306	4,466

※本表の件数は、期別単位で集計している。

（次頁へ続く）

2　款	2　項	12　目

実績

11　コンビニ収納等の状況

	税　目	現年課税分		滞納繰越分		計	
		件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)
コンビニ収納	個人町県民税・森林環境税	1,842	41,234	96	1,861	1,938	43,095
	固定資産税・都市計画税	7,356	104,984	30	389	7,386	105,373
	軽自動車税	2,179	18,219	0	0	2,179	18,219
	国民健康保険税	4,769	48,369	167	1,747	4,936	50,116
	計	16,146	212,806	293	3,997	16,439	216,803
スマホ決済	個人町県民税・森林環境税	92	2,433	8	81	100	2,514
	固定資産税・都市計画税	221	4,153	11	218	232	4,371
	軽自動車税	54	449	0	0	54	449
	国民健康保険税	178	1,943	11	107	189	2,050
	計	545	8,978	30	406	575	9,384
QRコード	個人町県民税・森林環境税	840	39,709	3	76	843	39,785
	固定資産税・都市計画税	5,223	643,884	7	130	5,230	644,014
	軽自動車税	954	7,306	0	0	954	7,306
	国民健康保険税	1,832	23,377	20	268	1,852	23,645
	計	8,849	714,276	30	474	8,879	714,750
合計		25,540	936,060	353	4,877	25,893	940,937

12　催告文書等発送

区分	件数(件)
督促状	6,152
催告書	1,804

13　滞納処分等状況

区　分		件数(件)
差　押	動産	0
	不動産	3
	預貯金	243
	給与（賞与）・年金	17
	国税・県税還付金	6
	その他債権	2
	自動車・小型船舶	0
参加差押	動産	0
	不動産	2
差押・参加差押計		273
交付要求		6
徴収猶予		0
換価の猶予		47
捜索		0
滞納処分執行停止		21

課題方向性

税務基幹系システムについては、国が定めた標準仕様に準拠したシステムとなることから、確実な移行を実施し、適正、公平な課税を効率的に行っていく。

滞納整理事務については、税収確保と税負担の公平性を保つため、財産差押など滞納処分の早期着手に務めていく。

また、現年度課税分の新規滞納繰越防止のため催告等を積極的に行い、併せて滞納処分を効果的に実施するとともに、納期限内納付を推進するため地方税統一ＱＲコードやコンビニ納付など納税方法の周知も行っていく。

一　般　会　計

2　款	3　項	1　目	戸籍住民基本台帳費
担当部署名	町民福祉課町民サービス班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	63,469	61,209	15,331	18		4,446	41,414

目的

戸籍法や住民基本台帳法等の各種法令に基づき、住民の居住関係、身分関係等を正確・迅速に記録し、住民ニーズに即した各種証明書やマイナンバーカード等の交付に努め、行政サービスの向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
戸籍・住民基本台帳事務経費	B	－	3.7	戸籍や住民基本台帳について、正確な記録等の事務処理を行ったことにより行政サービスの向上に繋がった。また、戸籍法等の改正に伴う戸籍情報システム改修について適切に実施した。
住民基本台帳ネットワークシステム業務経費	B	－	3.7	住民基本台帳ネットワークシステムによる正確な記録等の事務処理により、本人確認情報の記録や、住民票等の記載事項に関する通知等の送受信が行われ、行政サービスの向上に繋がった。
番号制度（マイナンバー）導入事業	B	－	3.7	マイナンバーカードの誤交付が無いよう注意を払い事務を行ったことで、普及に寄与することができた。
コンビニ交付システム業務経費	B	－	3.7	コンビニ交付システムの安定的な稼働により、住民及び本町に本籍を有する者の利便性向上に繋がった。

実績

1　戸籍事務

・本籍数・本籍人口数（令和7年3月31日現在）

本籍数	7,083
本籍人口数	16,354

・戸籍編纂　（単位：件）

新戸籍編製数	66
除籍数	149

・戸籍届出件数　（単位：件）

出生	80	婚姻	135	失踪	2	名の変更	1
国籍留保	1	離婚	38	入籍	25	転籍	47
認知	3	法第77条の2※	20	分籍	1	職権訂正	5
養子縁組	8	未成年者の後見	2	帰化	1	不受理申出	5
養子離縁	3	死亡	283	氏の変更	2	合計	662

※ 戸籍法第77条の2（離婚の際に称していた氏を称する届）

・戸籍謄抄本交付件数　（単位：件）

種別	一般交付			公用交付	合計
	窓口交付	コンビニ交付	コンビニ交付率		
戸籍謄本	1,536	201	11.6%	733	2,470
戸籍抄本	254	70	21.6%	32	356
除籍謄本	1,578	－	－	1,794	3,372
除籍抄本	19	－	－	4	23
受理証明	40	－	－	－	40
戸籍届出証明	4	－	－	－	4
広域交付戸籍謄本	211	－	－	77	288
広域交付除籍謄本	445	－	－	155	600
合計	4,087	271	6.2%	2,795	7,153

（次頁へ続く）

2　款	3　項	1　目

実績

2　住民基本台帳事務

・住民基本台帳登録者数（令和7年3月31日現在）

人口及び世帯数	日　本　人	12,730 人	5,661 世帯
	外　国　人	112 人	95 世帯
	合　計	12,842 人	5,756 世帯

・異動関係

区　分		処　理　件　数	
転　入　届		265 件	365 人
転　出　届		272 件	342 人
転　居　届		93 件	192 人
世帯主変更届		124 件	
住民票職権修正		370 件	
内　訳	出　生	39 件	
	死　亡	242 件	
	その他修正	89 件	

・交付件数　（単位：件）

種　別	一般交付			公用交付	合　計
	窓口交付	コンビニ交付	コンビニ交付率		
住民票謄本	1,594	960	19.0%	156	5,429
住民票抄本	2,507			212	
住民票閲覧	41	－	－	156	197
附　票	378	31	7.6%	789	1,198
広域交付住民票	16	－	－	－	16
合　計	4,536	991	17.9%	1,313	6,840

・住基カード有効枚数(※)　1 枚
・マイナンバーカード有効枚数(※)　9,963 枚　年度内交付枚数　1,081 枚
※令和7年3月31日現在の有効枚数。転出・転入・死亡等により増減する。

3　印鑑登録事務
・新規登録件数　269 件　・登録済累計　9,266 件　・印鑑再登録　130 件
・交付件数　（単位：件）

種　別	一般交付			公用交付	合　計
	窓口交付	コンビニ交付	コンビニ交付率		
印鑑証明	2,662	747	21.9%	15	3,424

4　埋火葬許可に関する事務
・許可件数　232 件

5　戸籍住民基本台帳等手数料

種　別		窓口交付数(件)	手数料(円)	コンビニ交付数(件)	手数料(円)	手数料計(円)
戸籍関係		4,087	2,447,350	271	121,950	2,569,300
住民票関係		4,536	928,000	991	198,200	1,126,200
印鑑証明(※)		2,792	558,400	747	149,400	707,800
その他証明	身分証明	172	34,400	－	－	34,400
	独身証明	20	4,000	－	－	4,000
	不在住証明等	23	4,600	－	－	4,600
合　計		11,630	3,976,750	2,009	469,550	4,446,300

※ 窓口交付数及び手数料には印鑑再登録分を含む。

課題方向性

各種法令に基づき、適法な記録・証明等を行い、正確・迅速な事務処理により行政サービスの向上に努める。
なお、マイナンバーカードの交付・更新手続き件数の増加が見込まれることから、窓口業務の運用見直し検討や今後の戸籍の振り仮名追加対応等の法改正に伴う事務の追加、システム標準化・共通化対応を滞りなく実施できるように今後の動向を注視する必要がある。

一　般　会　計

2　款	4　項	3　目	衆議院議員総選挙費
担当部署名	選挙管理委員会事務局		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,859	9,851	9,851				

目的

衆議院議員総選挙により、小選挙区選出議員・比例代表選出議員・最高裁判所裁判官国民審査の投票を行い、国会議員選出と最高裁判所裁判官の国民審査を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
衆議院議員総選挙費	B	－	3.7	期日前投票の割合が4.04%上昇し、全投票者の内4割を超える結果となった。 また、前回の衆議院議員総選挙と比べ本町の投票率は-5.65%減少したが、県平均52.16%、全国平均58.85%より高い結果であった。

実績

1　選挙期日の公示日　　令和6年10月15日

2　選挙の期日（投開票日）　令和6年10月27日

3　期日前投票者数

投票日	期日前投票者数（人）			期日前投票者数が投票者総数に占める割合（%）		
	男	女	計	男	女	計
R6.10.27	1,264	1,450	2,714	39.49	42.52	41.05
R3.10.31	1,272	1,528	2,800	35.53	38.34	37.01

+4.04

4　投票の結果（小選挙区）

区分	有権者数（人）	投票者数（人）	投票率（%）
男	5,486	3,201	58.35
女	5,976	3,410	57.06
計	11,462	6,611	57.68

－5.65

＊前回(R3.10.31)の投票率

投票率（%）
62.66
63.94
63.33

5　開票の結果（小選挙区）

【候補者別得票数】（得票順）

安住　淳	3,293 票
いとう　信太郎	2,488 票
さとう　ゆういち	364 票
大林　まさひで	324 票

投票総数
6,611 票
有効投票数
6,469 票
無効投票数
142 票

（次頁へ続く）

2　款	4　項	3　目

実績

6　開票の結果（比例代表）

政党別得票数		
届出順	政党名	得票数
1	自由民主党	2,054.000
2	日本共産党	426.000
3	社会民主党	98.000
4	国民民主党	471.420
5	公明党	823.000
6	日本維新の会	291.000
7	参政党	141.000
8	立憲民主党	1,718.579
9	れいわ新選組	445.000
計		6,467.999

投 票 総 数
6,610 票
有効投票数
6,468 票
按分切捨票数
0.001 票
無効投票数
142 票

7　開票の結果（最高裁判所裁判官国民審査）

裁判官氏名	罷免可とする得票数	罷免不可とする得票数
尾島　明	489	5,940
宮川　美津子	449	5,980
今崎　幸彦	481	5,948
平木　正洋	401	6,028
石兼　公博	413	6,016
中村　愼	402	6,027

投 票 総 数
6,577 票
有効投票数
6,429 票
無効投票数
148 票

課題
方向性

急な解散総選挙となり、事前の周知不足、開票会場の変更、期日前および当日立会人や選挙事務従事者の確保等に苦慮する場面があった。
また、投票用紙読み取り分類機の導入により開票事務がスムーズに行うことができた。今後においては選挙日程に縛られず進められる事務の整理とミスのない選挙執行を前提に合理化を進めていく。

一　般　会　計

2　款	5　項	1　目	統計調査総務費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,173	8,030		16		4	8,010

目的

本町の町勢概要を示すため、松島町統計資料を作成し、発行する。
また、正確かつ円滑な統計調査事務の実施及び向上に資するため、統計調査員の確保を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
統計調査員確保対策経費	B	－	3.3	松島町統計調査員事務研究会に対する補助金の交付により、研究会において移動研修会の実施や宮城県統計大会への参加が行われ、統計調査員の資質向上や統計調査に対する意識啓発を図れた。また、令和6年度において実施した統計調査においては、研究会会員から指導員・調査員としての協力を得られた。

実績

【統計書等発行経費】

1　松島町統計資料の発行
(1)　発行時期　令和7年3月
(2)　発行部数　松島町統計資料：100部
松島町統計資料ダイジェスト版：300部

【統計調査員確保対策経費】

1　松島町統計調査員事務研究会会員数（各年度末時点）
（単位：人）

年度	総数	男	女
令和4年度	25	18	7
令和5年度	26	19	7
令和6年度	24	17	7

2　松島町統計調査員事務研究会への運営費補助金　64,000 円

課題方向性

町勢の全般にわたる基礎的な資料となる統計資料の作成及び発行を継続して行い、庁内での配布や町ホームページへの掲載を通じ、各種行政施策への活用、町民への情報発信を図る。
松島町統計調査員事務研究会については、会員数の減少や高齢化が進んでいることから、新規会員の増加を図るため、各行政区や現会員への推薦依頼、町広報紙等を活用した会員の募集を行う。

一　般　会　計

2　款	5　項	2　目	指定統計費
担当部署名	企画調整課		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,325	1,126		1,058			68

目的	各種統計調査を迅速かつ正確に実施し、行政施策の企画・立案等の基礎資料を得る。

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	経済センサス調査区設定	B	－	3.0	令和5年度に設定した調査区について、調査区の変更等を確認し、基準日における適正な管理及び把握を行った。
	国勢調査	B	－	3.0	令和7年国勢調査の実施に向けて、国から示された基準に基づき、地域の実情に合わせた調査区の設定を行った。
	農林業センサス	B	－	3.0	指導員及び調査員への説明会を通じた調査を実施の上、宮城県へ調査書類一式を提出し、農林業の実態把握、農林業施策の推進に必要な基礎資料が得られた。

実績

【経済センサス調査区設定】
事業所及び企業を対象に実施する本調査の調査区について、令和5年度に設定した31調査区に変更がなかったことを確認し、宮城県へ報告書を提出した。（基準日：令和6年6月1日）

【国勢調査】
日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象に実施する本調査の調査区について、調査員の調査担当区域の明確化、調査の重複・脱漏の防止、調査の正確性を期するため、令和7年国勢調査に係る112の調査区を設定し、宮城県へ関係書類一式を提出した。（基準日：令和6年10月1日）

【農林業センサス】
国内における農林業の生産構造や就業構造を明らかにすることを目的とした本調査について、令和7年1月8日・9日に、指導員及び調査員に対する説明会を開催し、基準日時点での調査を実施の上、宮城県へ調査書類一式を提出した。

1　調査基準日：令和7年2月1日
2　指導員数：2名
3　調査員数：34名
4　調査区数：46調査区
5　客体候補名簿：708枚
6　農林業経営体調査票：151部（うち、オンライン回答：14部）

課題方向性

円滑な調査を行い、各種統計調査の目的に沿った基礎資料の取得が図れるよう、調査毎のスケジュール整理、指導員・調査員の確保対策及び説明会の開催を通じた適切な指示を行い、引き続き適正な事務の執行に努める。

一　般　会　計

3　款	1　項	1　目	社会福祉総務費
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	207,367	206,036		72		103	205,861

目的

社会福祉団体、関係機関と連携し、地域社会における諸問題に取り組み、社会福祉の向上を図る。また、高齢者や障がい者を含めた低所得世帯の相談窓口となり、支援を行うことで、地域住民の生活の安定を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
民生委員等に要する経費	B	－	3.0	民生委員児童委員の活動を支援し、複雑化、多様化する地域課題に対応し、地域の見守り役として地域住民の安心、安全、生活不安の解消に繋げた。
社会福祉協議会に要する経費	B	－	3.0	社会福祉協議会の地域福祉活動を支援し、地域住民の安心、安全に繋げた。
社会福祉団体等に要する経費	B	－	3.0	人権擁護委員協議会、遺族会、保護司会、更生保護女性会の活動を支援することにより、町民へ必要情報等を定期的に周知することができた。
その他社会福祉に要する経費	B	－	3.0	生活困窮者等への支援や相談を関係機関等と連携しながら適切に行うことができた。

実績

【民生委員等に要する経費】

1　民生委員児童委員活動報償　1,776,000 円
・支給人数　37人

【社会福祉協議会に要する経費】

1　社会福祉法人　松島町社会福祉協議会　8,500,000 円
社会福祉協議会の地域福祉活動に関する事業の経費について助成を行った。

【社会福祉団体等に要する経費】

1　塩釜地区人権擁護委員協議会　43,000 円
塩釜地区人権擁護委員協議会の事業に要する経費について助成を行った。

2　塩釜地区保護司会松島分会　200,000 円
保護司会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。

3　松島町更生保護女性会　30,000 円
更生保護女性会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。

4　松島町遺族会　50,000 円
戦没者遺族の援護事業に係る経費について助成を行った。

（次頁へ続く）

3　款	1　項	1　目

実績	【その他社会福祉に要する経費】 1　生活保護申請受付件数　25件　相談件数　41 件 2　行旅死亡人火葬費用等　2件　97,600 円 3　身寄りが無い方に係る遺骨の納骨　5 件　55,000 円
課題 方向性	社会情勢の変化に伴う物価高騰の影響により、地域社会においても住民生活に大きな影響が生じているため、各種社会福祉団体においても地域の実情を踏まえた活動を実施していく必要がある。

一　般　会　計

3　款	1　項	2　目	障害者福祉費
担当部署名	町民福祉課福祉班・こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	459,084	435,108	201,222	117,912		63	115,911

目的

障害者自立支援給付事業及び地域生活支援事業の実施により、福祉サービス体制の充実を図り、障がい者・障がい児の自立や社会参加を支援すると共に、家族や支援者の負担の軽減につなげる。
また、心身障がい者の医療費を助成することにより、医療機会を確保し、心身障がい者の家庭の経済的安定と福祉の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
障害者自立支援給付事業	B	－	3.0	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス（介護給付及び訓練給付）の支給決定、補装具費及び自立支援医療給付を実施し、障がい者の日常生活の支援に努めた。また、児童福祉法に基づく障害児通所支援給付を行った。
相談支援事業	B	－	3.0	町内の障がい者（児）からの相談に対し、相談支援専門員による支援を行えるよう、特定指定相談支援事業所を設置し、適切な計画作成業務や障害福祉サービスの適正な利用ができるよう努めた。
地域活動支援センター事業	B	－	3.0	障がい者（児）並びに保護者や家族が交流できる場所として、地域活動支援センター希望園を設置し、創作作業等を通して、日常生活や社会生活への支援を実施することができた。
地域生活支援事業	B	－	3.0	障がい者（児）に対して、日常生活用具（ストーマ・人工鼻等）購入に係る助成を実施した。 また、外出のための移動支援、訪問入浴サービスの支給を実施し、日常生活の支援を行うことができた。
障害者医療対策費	B	－	3.0	重度の身体障がい者（身体障害者手帳1級、2級及び内部障害3級）、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級の方の医療費に関して助成を行い、経済的負担の軽減を図った。
在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業	B	－	3.0	町内に住所を有する在宅酸素療法を必要とする呼吸器機能障がい者に対し、酸素濃縮器の使用による電気料を一部助成し、経済的負担の軽減を図ることができた。
身体障害者相談員事業	B	－	3.0	相談員は、障がい者からの相談を受け、必要に応じ助言や指導を行い、地域活動の促進や関係団体との連携を図り、広く福祉の増進に努めることができた。
福祉団体等に要する経費	B	－	3.0	松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会へ助成を行うことで、会員相互の交流や情報交換、関係機関との連携などが図られた。
障害者自立支援推進委員会経費	A	3.7	3.0	令和6年度からの障がい福祉計画及び障がい児福祉計画、障がい者計画について、委員会へ書面にて報告し、関係者間の連携、情報共有が図られた。
障害者福祉助成事業	B	－	3.0	在宅で障がいの重い方々を対象に、外出支援として福祉タクシー券及びガソリン利用券の共通券を配布し、また、在宅生活で常時おむつを必要とする方に、紙おむつ購入費用を助成し、経済的負担の軽減を図った。
難聴児補聴器購入助成事業	B	－	3.0	町内在住の身体障害者手帳の交付対象とならない軽度または中等度の難聴児の補聴器購入に係る費用を助成し、難聴児を養育する家庭の経済的・精神的負担の軽減に繋がる体制を確保した。

（次頁へ続く）

実績

■町民福祉課　福祉班所管

【障害者自立支援給付事業】

1　障害支援区分にかかる審査判定

障がい福祉サービスのうち介護給付利用申請者について、障害支援区分の審査判定を塩釜地区消防事務組合の障害支援区分審査会にて実施し、審査判定を行った。

○ 審査受付数　27 人

2　障がい福祉サービス等事業

○ 障がい福祉サービス　258,320,952 円

・ 障がい福祉サービス受給者証交付　130 人

・ 利用者数及び支給額

サービス種類	受給者数（人）	延利用月数（月）	支給額（円）
居宅介護	30	232	14,038,098
行動援護	3	6	48,490
同行援護	6	33	1,078,527
療養介護	2	24	6,161,130
生活介護	29	337	68,656,939
短期入所	26	162	6,326,190
施設入所支援	14	174	23,813,907
共同生活援助（GH）	23	248	36,831,417
宿泊型自立訓練	－	－	0
自立訓練（生活訓練）	－	－	0
就労移行支援	10	56	11,542,671
就労継続支援（A型）	11	122	16,369,804
就労継続支援（B型）	48	483	61,418,607
就労定着支援	5	44	1,401,835
計画相談支援	121	361	6,587,206
地域定着支援	3	33	131,730
特定障害者特別給付費（施設）	－	－	1,839,361
特定障害者特別給付費（GH）	－	－	2,075,040

○ 障がい児通所支援　45,905,695 円

・ 障がい児通所支援受給者証交付　45 人

・ 利用者数及び支給額

サービス種類	受給者数（人）	延利用月数（月）	支給額（円）
障害児相談支援	45	135	2,810,445
児童発達支援	12	141	14,483,022
放課後等デイサービス	33	354	28,518,433
保育所等訪問支援	2	4	93,795

○ 補装具費給付事業（購入及び修理）　3,240,116 円

（補聴器、短下肢装具、義足、車いす、視覚障害者安全つえなど）

・給付件数　延べ　36 件

○ 高額障害児通所給付事業　0 円

給付世帯　0世帯

○ 高額障害福祉サービス等給付事業　22,732 円

給付世帯　1世帯

（次頁へ続く）

実績

○ 自立支援医療（更生医療）給付事業 46,402,943 円
・利用者　実人数　59 人
（内臓障害(腎臓)57人、免疫機能障害1人、心臓機能障害1人）

○ 自立支援医療（育成医療）給付事業 7,482 円
・利用者　実人数　1 人
（音声・言語・そしゃく機能障害1人）

○ 療養介護医療給付事業 1,289,046 円
・利用者　実人数　2 人
（身体障害者2人）

【相談支援事業】

○ 宮城東部地域生活支援拠点等事業 2,566,300 円
在宅で暮らす障がい者や障がい児とその家族等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう相談支援事業を実施した。
また、家族等が緊急かつやむを得ない事情等により一時的に不在となる場合等のセーフティネットとして緊急の受け入れ体制を整備した。
さらに、地域における障がい者等への支援体制に関する課題について、地域の実情に応じた体制整備を行うため、二市三町で構成する宮城東部地域自立支援協議会において、情報共有や関係機関等の連携の緊密化を図った。
・相談件数　151 件
・実人数　12 人

○ 障がい者等一般相談支援事業 6,508,700 円
松島町の障がい者の相談支援並びに計画相談支援への対応、災害時の支援等を委託した。
地域の障がい者及びその家族等からの福祉に関する各般の相談に対して必要な情報提供や援助支援、関係機関との連携を図り、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要な相談支援事業を実施した。
・相談件数　2,457 件
・実人数　258 人

【地域活動支援センター事業】

希望園を地域活動支援センターとして開所し、週1日は障がい者の交流サロンとして、週4日は障がい児及び保護者の日中支援事業として、障がい者や障がい児、その家族の方が交流し、社会参加しやすい環境をつくり、日常生活又は社会生活を営むことができるよう事業を実施した。

○ 地域活動支援センター基礎的事業（毎週水曜） 1,557,000 円
通所者 実11人 延べ 242人 （1日平均4.8人）

○ 地域活動支援センター日中一時支援事業 6,372,000 円
通園児 実18人 延べ 861人 （1日平均4.5人）

【地域生活支援事業】

○ 日中一時支援事業（町外等利用分） 11,529 円
町外の施設を利用して、障がい児や障がい者の日中一時支援を実施し、療育支援と保護者の介護負担の軽減を図った。
・利用者　実人数　3 人
・利用回数　延べ　3 回

○ 移動支援事業 1,588,860 円
一人では外出困難な障がい児や障がい者に対して、ガイドヘルパー等を派遣し、外出支援をした。
・利用者　実人数　8 人
・利用件数　延べ　285 件

（次頁へ続く）

実績

○ 日常生活用具給付事業 4,870,174 円
障がい者に必要な日常生活用具（ストーマ装具、人工鼻、人工喉頭、点字ディスプレイ等）の給付を実施し、自立支援を図った。
・利用者　実人数　50 人
・利用件数　延べ　534 件

○ 訪問入浴サービス事業 523,908 円
居宅において入浴することが困難な障がい者に対し、訪問入浴サービス事業を実施することにより、障がい者の身体の清潔の保持及び心身機能の維持等を図った。
・利用者　実人数　1 人
・利用回数　延べ　46 回

○ 意思疎通支援事業（コミュニケーション支援事業） 16,000 円
聴覚障がい者等に対し、手話通訳者等を派遣し、他の者との意思疎通の仲介を実施することにより、日常生活上の便宜の供与、社会参加の促進及び交流活動の充実を図った。
・利用者　実人数　1 人
・利用回数　延べ　1 回

○ 自動車改造費助成事業 100,000 円
障害者の所有する自動車の運転を補助するために行う改造に要する費用の一部に対し助成金を支給することにより、障害者の社会参加を促進した。
・利用者　実人数　1 人

【障害者医療対策費】
身体障害者手帳1・2級及び内部障害の3級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級、特別児童扶養手当1級の方に医療費を助成し、障がい者の適正な医療の確保と経済的負担の軽減に努めた。

年度	対象者数(人)	助成件数(件)	助成額(円)
令和4年度	330	6,863	31,034,799
令和5年度	332	7,872	33,515,477
令和6年度	336	7,844	34,748,989

※対象者数（人）は、各年度10月1日現在

【在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業】
在宅酸素の療法を必要とする呼吸器機能障がいのある方に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料金の一部を助成し、障がい者の家庭の経済的負担の軽減を図った。
・ 利用者　16 人
・ 助成額　268,670 円

【身体障害者相談員事業】
身体障害者相談員が、障がいのある方の更生援護（身体障害者手帳の交付、自立支援医療、補装具の修理、年金など）に関する相談を受け、助言・指導を行った。
・ 相談員　3 人
・ 相談件数　13 件
・報償費　73,440 円

【福祉団体等に要する経費】
○ 松島町心身障害児（者）を持つ手をつなぐ親の会 43,000 円
障がい者の手をつなぐ親の会事業の助成を通じて、研修や会員相互の親睦を図り、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。

○ 松島町障がい者福祉協会 0 円
会員である障がい者の自立更生に努め、スポーツ体験事業（競技名ボッチャ）などの事業を通じて、地域在住の障がい者の福祉増進が図られた。令和7年度は、繰越金等で事業が運営できることから、補助金交付申請はなかった。

（次頁へ続く）

3　款	1　項	2　目

実績

【障害者福祉助成事業】

○障害者福祉タクシー券・燃料費助成事業　3,237,500円

障がい者の外出支援及び社会参加の支援のため、在宅で重度の身体・知的・精神・難病等の障がい者を対象にタクシー利用とガソリン等燃料費の共通券の助成を実施した。

・支援対象者
　身体障害者手帳1・2級所持者
　療育手帳A所持者
　精神保健福祉手帳1・2級所持者
　特定疾患・小児慢性特定疾患受給者重症者認定の方
・交付者数　293 人

○障害者（児）紙おむつ購入助成事業　6,000円

在宅で生活する常時おむつを使用している障がい者（児）を対象に、紙おむつ購入に係る費用を助成し、介護者の負担軽減を図った。

・支援対象者
　満64歳以下で松島町の住民基本台帳に登録され、かつ、居住する方で、身体障害者手帳又は療育手帳保持者（社会福祉施設、医療施設に入所又は入院している方、他制度での給付者は除く）
・交付者数　3 人

【難聴児補聴器購入助成事業】

身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中等度の難聴児を養育する家庭の経済的負担の軽減を図るため、補聴器購入費用等の一部を助成する体制を確保していたが、令和6年度は申請はなかった。

・申請者　0 人　0 円

■町民福祉課 こども支援班所管

【障害者自立支援給付事業】

1　障がい福祉サービス等事業

○未熟児養育医療給付事業　116,984 円

・利用者　実人数　1人

課題方向性

町内在住又は町外施設に入所している障がい者及び障がい児へ適切な障害サービスを提供するため、相談支援事業所等と連携し、利用者のニーズに対応できるよう努める。

また、二市三町で構成している宮城東部地域自立支援協議会で情報共有や協議を行い、塩釜圏域等の事業所を利用できるよう、地域の実情に応じた支援体制を整備していく。

一　般　会　計

3　款	1　項	3　目	老人福祉費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	337,242	335,322		41,702		12,327	281,293

目的

高齢者自身が生きがいをもって、社会参加や社会貢献、健康づくりに取り組めるよう、様々な高齢者福祉に関する事業を実施し、在宅福祉の向上に努める。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
老人クラブ助成事業	B	－	4.0	スポーツ活動、研修会、地域での声がけ活動、石巻ブロックでの広域活動等を通じて、会員相互の親睦及び高齢期の健康づくり、介護予防を図る一助となった。
ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業	B	－	3.7	緊急通報システムを設置または貸与し、虚弱なひとり暮らしの高齢者の安心を確保し、自立した生活につなげることができた。
老人福祉施設入所措置事業	B	－	3.7	やむを得ない事情により保護が必要な高齢者に対し、調査を実施し、実情を把握しながら適切な措置や保護等必要な支援を行った。
敬老会関係経費	B	－	3.0	77歳以上の町内高齢者を対象に、祝辞・記念品を贈呈した。
敬老祝金等支援事業	B	－	3.3	88歳(米寿)の祝金として2万円、99歳(白寿)は10万円贈呈した。
ふれあい施設等維持管理経費	B	－	3.7	高齢者の介護予防に関する事業や余暇活動が安心・安全に行えるよう、ふれあいの家等の維持管理業務として、光熱水費の管理、各種修繕、施設保守点検業務等を適切に実施した。
宅配夕食サービス事業	B	－	3.7	食生活に不安を抱えるひとり暮らし高齢者等に栄養バランスのとれた食事を提供した。配達時は見守りも併せて実施し、高齢者が安心して在宅生活を送る一助となった。
高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）	B	－	3.7	75歳以上の高齢者のみの非課税世帯等の他、在宅の要介護4以上の認定者がいる非課税世帯等に対し、タクシー利用に係る外出支援及び経済的負担の軽減を図ることができた。また、在宅で常時紙おむつを必要とする高齢者に対し紙おむつ購入に係る経済的負担の軽減を図ることができた。
避難行動要支援者対策事業	B	－	3.0	庁内で連携し対象要件に該当する方の名簿について、地域の防災組織等、避難協力関係機関へ配布した。災害時の協力体制構築を図ることができた。

（次頁へ続く）

実績

■高齢者の状況　（令和6年3月31日現在）

	65歳以上		75歳以上		ひとり暮らし		高齢者のみ世帯	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	世帯数（世帯）	割合(%)
松島町	5,239	40.2	3,006	23.1	1,120	21.4	2,031	35.50
宮城県	657,655	29.5	348,083	15.6	157,439	23.9	276,472	26.47
国	3624.3万	29.3	2077.7万	16.8	－	－	－	－

※国は令和6年9月15日現在推計（総務省データ）
※ひとり暮らしは、65歳以上人数に対する割合
※高齢者のみ世帯は、松島町及び宮城県のそれぞれの世帯数に対する割合

【老人クラブ助成事業】

1　主な活動内容
研修会、スポーツ活動、友愛訪問活動、県老連老人クラブ大会、県老連シニアスポーツ大会、石巻ブロック二市二町老連交流会等
2　会員数　401 人
3　単位老人クラブ（9クラブ）補助金　461,000 円
4　老人クラブ連合会補助金　320,000 円

【ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業】
高齢者ひとり暮らし世帯又は高齢者のみの世帯に対し緊急通報システムにおける緊急時の対応を行った。
1　固定電話回線利用型
・緊急通報システム機器利用実台数（年間）　3 台
・事業費　71,990 円

2　携帯端末利用型
・緊急通報システム機器利用実台数（年間）　20 台
・事業費　808,566 円

【老人福祉施設入所措置事業】　5,694,513 円
家庭の事情や心身の障害、経済的な事情等で在宅生活が困難な方を養護老人ホーム、視覚障害老人ホームへ継続して措置を行った。また緊急的に、緊急ショートステイ、やむを得ない事由による措置による保護を行った。

1　施設入所措置者数（養護老人ホーム1人・視覚障害老人ホーム1人）　2 人
2　緊急ショートステイ利用者数　1 人
3　やむを得ない事由による措置者数　1 人

【敬老会関係経費】　1,797,008 円

1　対　象　77歳以上の高齢者　計2,589人
2　内　容　対象者に記念品と祝辞を贈呈した。

【敬老祝金等支援事業】　3,940,000 円

1　88歳に達した方（米寿　2万円）　132 人
2　99歳に達した方（白寿　10万円）　13 人

（次頁へ続く）

3　款	1　項	3　目

実績

【宅配夕食サービス事業】　13,896,674 円

社会福祉協議会に業務を委託し、調理等が困難な単身または高齢者世帯等の希望する高齢者に、栄養バランスのとれた夕食を宅配し、併せて安否確認を実施した。

延べ実施日数	305　日
延べ配食数	11,599　食
１日平均食数	38　食

※登録者数　90人（男性:38人、女性:52人）
※利用頻度　週6回 ：　37人
週5回 ：　9人
週3～4回 ：21人
週1～2回 ：23人

【高齢者福祉助成事業（タクシー利用助成・紙おむつ購入助成）】　2,238,144 円

①　高齢者等タクシー助成事業　1,692,144 円

対　象　要　件	1人(世帯)あたりの助成額	対象者数	交付者数
75歳以上の住民税非課税世帯等	6,000円	375人	311人
在宅の要介護4又は5の認定者がいる住民税非課税世帯等	12,000円	8人	4人

②　紙おむつ購入助成事業　546,000 円

対　象　要　件	1人あたりの助成額	対象者数	交付枚数	使用枚数
65歳以上で常時紙おむつが必要な在宅の方	1,500円×2回(6月･12月) (1回あたり500円券3枚)	延べ　409人	1,227枚	1,092枚

【避難行動要支援者対策事業】　83,623 円

・対象者　要介護3～5、身体障害者手帳1,2級、精神障害者手帳1級、療育手帳A,B、その他高齢単身または高齢世帯で登録を希望する方
・避難行動要支援者名簿登録者数　369 人

課題方向性

年々高齢化率が上昇し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加しており、高齢者が安心して暮らせる地域づくりが求められることから、高齢者の見守り支援や老人クラブ活動等、高齢者が地域社会とつながる活躍の場づくり支援に努めていく。

一　般　会　計

3　款	1　項	4　目	国民年金費
担当部署名	町民福祉課町民サービス班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,151	4,948	3,515				1,433

目的

法定受託事務である国民年金の事務事業について年金事務所と協力・連携し、資格取得・喪失等の届出の受理及び報告事務をはじめ、相談業務や広報を行うことで、年金事業の円滑な運営を推進し、被保険者の将来の保障を確保する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
国民年金事務に要する経費	B	－	4.0	国民年金の法定受託業務として、年金事務所と連携を密にし、各種手続きや相談業務について迅速に対応することができた。特に障害年金の手続きに力を入れ、適切に対応することができた。

実績

【国民年金事務に要する経費】

1　法定受託事務（町の受付状況）

（単位：人）

区分＼年度	令和6年度	令和5年度	区分＼年度	令和6年度	令和5年度
資格取得届	196	183	任意加入	1	2
資格喪失届	2	5	付加年金加入	6	3
種別変更届	25	21	免除申請(一般)	82	113
口座振替納付申出	4	9	免除申請(学生)	17	10
老齢基礎年金請求	2	3	免除該当(法定)	8	5
障害基礎年金請求	11	3			
未支給年金請求	48	42			

2　被保険者状況

・第1号被保険者状況　（単位：人）

区分＼年度		令和6年度	令和5年度
年間平均被保険者		1,231	1,239
内訳	付加年金加入者数	51	45
	免除者数	555	573
	20歳到達者	82	90

課題方向性

各種年金制度について、迅速かつ円滑に手続きを進めることができるよう年金事務所との連携を密にしていく。また、ねんきんネットの広報を強化し、将来の保障の確保へ向け未加入者の加入促進や納付が困難な方への免除申請の促進を図る。

一　般　会　計

3　款	1　項	5　目	介護保険対策費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	313,602	313,512	8,419	4,413			300,680

目的

一般会計から介護保険特別会計へ町負担分の繰り出しを行うことにより、円滑で安定的な介護保険制度の運営を図る。
低所得者の利用者負担額を軽減することにより、施設等の円滑なサービス利用につなげる。また、軽減措置を実施した社会福祉法人等に対し、軽減額に応じ補助金を交付する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
介護保険対策費	B	－	4.7	社会福祉法人等が運営する特別養護老人ホーム等に入所中の低所得者の食費や居住費の利用料の軽減を実施することで、低所得者の円滑なサービス利用に繋がった。
介護保険特別会計繰出	B	－	4.7	介護保険特別会計に法定給付町負担分や必要人件費及び事務費を適切に繰り出すことで、介護保険事業を安定的に運営することができた。

実績

【介護保険対策費】

利用料の軽減対策

・社会福祉法人等利用者負担軽減措置
　特別養護老人ホーム(1施設)　　利用者数　1 人
　　軽減額　249,193 円

【介護保険特別会計繰出】

介護保険特別会計への繰出金　313,406,000 円

（内訳）
・介護給付費分（町負担割合　12.5%）　233,822,000 円

・地域支援事業分
　介護予防・日常生活支援総合事業分（町負担割合　12.5%）　5,132,000 円
　包括的支援・任意事業分（町負担割合　19.25%）　7,486,000 円

・低所得者保険料軽減分（町負担割合　25%）　17,878,000 円
　軽減対象者　1,651人

・職員給与費等分　27,189,000 円

・事務費分　21,899,000 円

課題方向性

低所得者の相談対応や制度の周知・情報提供を継続して行うとともに、適切な事務処理を実施し、今後も継続的に安定した介護保険制度の運営を図る。

一　般　会　計

3　款	1　項	6　目	保健福祉センター管理費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	182,444	177,097			130,600	5,228	41,269

目的

住民の健康保持・増進及び介護予防の拠点として、また、憩いの場として安心・安全に利用できるよう適切に維持管理を実施する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
保健福祉センター維持管理経費	A	3.3	3.3	大規模改修工事の2期工事においては、ふれあいの湯を5か月間の営業休止期間を設け、期間内に計画的に改修工事を推進し、予定どおり1月より再開することができ、利用者の安心・安全に寄与することができた。

実績

【保健福祉センター維持管理経費】

1　保健福祉センター利用状況

（単位：人）

	各種保健福祉事業他						ふれあいの湯			合計
	健康増進事業	母子保健事業	地域支援事業	介護保険事業	一般利用他	小計	町内	町外	小計	
4月	18	22	50	162	44	296	2,154	236	2,390	2,686
5月	46	23	86	131	73	359	2,196	214	2,410	2,769
6月	65	30	58	260	713	1,126	1,177	96	1,273	2,399
7月	83	19	52	160	44	358	1,987	177	2,164	2,522
8月	2,046	32	44	161	2	2,285	0	0	0	2,285
9月	567	33	54	135	65	854	0	0	0	854
10月	60	22	64	159	124	429	0	0	0	429
11月	92	7	47	138	122	406	0	0	0	406
12月	67	25	57	155	56	360	0	0	0	360
1月	70	14	58	173	39	354	1,674	125	1,799	2,153
2月	66	21	52	170	118	427	2,137	169	2,306	2,733
3月	7	71	47	170	10	305	2,406	200	2,606	2,911
計	3,187	319	669	1,974	1,410	7,559	13,731	1,217	14,948	22,507

○保健福祉センターで実施した主要保健福祉事業

(1) 健康増進事業
総合健診、健康相談、食生活改善推進員会

(2) 母子保健事業
母子健康手帳交付、乳幼児健診、予防接種手帳交付他

(3) 介護保険関係
介護認定新規申請・更新申請・区分変更申請等の受付相談業務
住宅改修、福祉用具購入等の申請・相談業務
介護サービス事業者及び介護支援専門員等の相談業務

(4) 地域支援事業
地域包括支援センター業務（総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント、介護者交流会他）

（次頁へ続く）

3　款	1　項	6　目

実績

2　ふれあいの湯利用状況（再掲）　（単位：人）

	町内								町外					計	入浴料（円）
	60歳以上			高校生～59歳			中学生以下	小計	高校生以上		小・中学生	乳幼児	小計		
	減免無し	災害免除	減免有り	減免無し	災害免除	減免有り			一般	災害免除					
R6年度	11,321	－	666	1,453	－	97	194	13,731	1,186	－	14	17	1,217	14,948	1,909,600
R5年度	18,742	－	1,152	2,145	－	186	145	22,370	2,077	－	43	38	2,158	24,528	3,161,200
R4年度	19,385	49	1,042	2,397	3	170	96	23,142	1,477	15	29	37	1,558	24,700	3,031,500

障がい者手帳を所有する町民に対し、ふれあいの湯使用料5割減免を継続実施（延べ763人）

○ふれあいの湯利用登録状況
・60歳以上の方の利用登録　470 人　（町内420人、町外50人）
・障がい者の利用登録　21 人　（うち、60歳未満5人）

3　松島長松園デイサービスセンター利用状況

・指定管理期間　令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
・指定管理者　社会福祉法人　千賀の浦福祉会

	年間活動日数（日）	延べ人数（人）	1日平均利用人数（人）
令和6年度	243	5,484	22.6
令和5年度	244	5,886	24.1
令和4年度	243	5,664	23.3

4　保健福祉センター修繕の状況

・相談室ブラインド修繕　59,400 円
・外灯修繕　97,680 円
・ふれあいの湯サーモスタット混合栓取付修繕　468,600 円
・健康増進ホール硝子修繕　360,360 円
・浄化槽調整ポンプ制御フロート交換修繕　99,000 円
・通路避難誘導灯修繕　165,000 円
・非常用照明設備修繕　393,800 円
計　1,643,840 円

5　大規模改修事業実施状況（令和6年度分）
ボイラー設備、排煙窓、ふれあいの湯ろ過機械設備等の改修工事を実施した。

(1) 委託料
・松島町保健福祉センター大規模改修工事施工監理業務委託　6,400,000 円

(2) 工事請負費
・松島町保健福祉センター大規模改修工事　127,400,000 円

課題方向性

大規模改修工事を計画的に進め、保健福祉センターの長寿命化を図ることができた。今後も引き続き利用者が安心して利用できるよう、定期的にメンテナンスを実施し、適切な施設運営に努めるとともに、定期点検や修繕等については計画的かつ迅速に行う。

一　般　会　計

3　款	1　項	7　目	物価高騰対応重点支援給付金事業費（第三号）
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,109	23,107	21,154				1,953

目的

物価高騰による影響が大きい低所得世帯のうち、令和6年度新たに住民税非課税世帯等となった世帯の世帯主に対し、給付金を支給することで経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
物価高騰対応重点支援給付金事業費（第三号）	B	―	3.3	エネルギーや食料品等の物価高騰による影響を受けている低所得世帯に対し経済的負担の軽減が図られた。

実績

【住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業】

1　給付対象者
- 令和6年6月3日において、松島町の住民基本台帳に登録されている令和6年度住民税非課税世帯又は均等割のみ課税世帯の世帯主のうち、令和5年度に実施した給付金事業の支給対象ではない者

2　支給額
- 1世帯につき100,000円

3　支給実績
- 対象世帯数　210 世帯
- 支給世帯数　205 世帯
- 辞退世帯数　1 世帯
- 支給率　97.6 %
- 支給額　20,500,000 円

一　般　会　計

3　款	1　項	8　目	物価高騰対応重点支援給付金事業費（第四号）
担当部署名	町民福祉課福祉班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	49,377	41,759	41,759				

目的

物価高騰による影響が大きい住民税非課税世帯に対し、給付金を支給することで経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
物価高騰対応重点支援給付金事業費（第四号）	B	―	3.3	エネルギーや食料品等の物価高騰による影響を受けている低所得世帯に対し経済的負担の軽減が図られた。

実績

【住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金事業】

1　給付対象者
- 令和6年12月13日において、松島町の住民基本台帳に登録されている令和6年度住民税非課税世帯の世帯主

2　支給額
- 1世帯につき30,000円

3　支給実績（令和7年3月31日時点）
- 対象世帯数　1,453 世帯
- 支給世帯数　1,373 世帯
- 支給率　94.4 %
- 支給額　41,190,000 円

※当該給付金事業については、令和7年度に繰越事業として継続実施

一　般　会　計

3　款	1　項	9　目	物価高騰対応重点支援給付金事業費（第二号）
担当部署名	町民福祉課福祉班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,506	34,142	34,142				

目的

物価高騰による影響が大きい低所得世帯（住民税均等割のみ課税世帯）に対し、給付金を支給することで経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
物価高騰対応重点支援給付金事業費（第二号）	－	－	－	エネルギーや食料品等の物価高騰による影響を受けている低所得世帯に対し経済的負担の軽減が図られた。

実績

【住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金事業】

1　給付対象者
・令和5年12月1日において、松島町の住民基本台帳に登録されている令和5年度住民税均等割のみ課税世帯の世帯主

2　支給額
・1世帯につき100,000円

3　支給実績
・対象世帯数　339 世帯
・支給世帯数　338 世帯
・辞退世帯数　1 世帯
・支給率　99.7 %
・支給額　33,800,000 円

※当該給付金事業については、令和5年度からの繰越事業として実施

一　般　会　計

3　款	2　項	2　目	児童措置費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	191,180	190,020	114,680	20,282			55,058

目的

児童を養育している保護者を対象に、児童手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健全な育成を促す。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
児童手当等支給経費	B	―	3.0	令和6年10月から高校生年代（18歳）まで支給対象が拡充され、対象の児童を養育している保護者に児童手当を支給することで、子育て世帯の生活の安定及び児童の健全な育成に寄与できた。

実績

【児童手当等支給経費】

令和6年6月に公布された「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」により、令和6年10月分（12月支給分）から児童手当の支給対象が拡充された。

〇主な改正内容

所得制限の撤廃、支給対象が高校生年代（18歳）まで拡充、多子加算の対象範囲拡大、第3子以降の支給額が月額30,000円、支給回数が年3回から6回（2か月に1回）

1　児童手当の支給（令和6年6月･10月･12月、令和7年2月･4月支払分）

高校生年代（18歳）までの児童を養育するものに支給される。

・支給額（月額）

年齢･世代	令和6年9月まで		令和6年10月から	
	第1･2子	第3子以降	第1･2子	第3子以降
0～2歳	15,000円	15,000円	15,000円	30,000円
3歳～小学生	10,000円	15,000円	10,000円	30,000円
中学生	10,000円	10,000円	10,000円	30,000円
高校生	0円	0円	10,000円	30,000円

2　支給実績

年　度	給付区分	3歳未満対象児童（人）	3歳以上小学校修了前対象児童（人）	小学校修了後中学校修了前対象児童（人）	支給額（円）
令和4年度	一般	1,674	1,421（第3子～） 6,498（第1・2子）	2,820	141,160,000
	特例	17	216	78	
令和5年度	一般	1,616	1,348（第3子～） 6,437（第1・2子）	2,840	138,535,000
	特例	23	170	68	
令和6年度9月まで	一般	1,002	846（第3子～） 4,173（第1・2子）	1,840	88,580,000
	特例	12	78	56	

年　度	認定順位	3歳未満対象児童（人）	3歳以上小学校修了前対象児童（人）	小学校修了後中学校修了前対象児童（人）	高校生年代対象児童（人）	支給額（円）
令和6年度10月から	第3子～	167	770	156	30	101,375,000
	第1･2子	555	3,196	1,278	1,462	

課題方向性

法令に基づいた支給を行っており、児童の健全育成と保護者の経済的負担を軽減する制度であることから、今後も適正な給付に努める。

一　般　会　計

3　款	2　項	3　目	保育所費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	147,076	143,310	857	857		16,697	124,899

目的

保護者が就労等で家庭で保育ができない児童を預かり、月齢にあった保育を行うことで、子どもの心身の健やかな成長を促す。
また、子どもたちが安心して快適に楽しく過ごせる環境づくりに努めるとともに、保護者とのよりよい信頼関係を築けるよう保護者との対話を大切にした保育所を目指す。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
保育所管理運営費	A	3.7	3.7	保護者が就労、疾病等の理由で家庭で保育のできない児童を預かることで、保護者の負担を軽減するとともに、保護者が安心して子育てのできる環境を整えた。 保育所の環境整備や給食調理の民間委託により、入所児童の安全確保や保育士の負担軽減、安全安心で栄養バランスのとれた給食の提供など、安定した保育所運営を行うことができた。
一時預かり保育事業	A	3.0	3.0	就労、通院、求職活動などで一時的に保育が困難となった保護者のニーズに対応することができた。 また、育児疲れのリフレッシュのために利用してもらうことで、保護者のメンタルケアにもつながった。

実績

【保育所管理運営費】

1　通常保育事業

○ 入所児童状況（令和7年3月31日現在）

保育所名	定員（人）	保育実児童数（人）	年間延保育児童数(人)	充足率（%）
高城保育所	120	97	1,164	80.8

2　（特別）延長保育事業

保護者の就労形態の多様化に対応するため、高城保育所で午前7時30分から午後6時まで延長保育、午前7時から午後7時まで特別延長保育を実施し、勤務先が遠い保護者や勤務時間が長い保護者などが利用した。

○ 延長保育　（単位：人）

実保育児童数	7:30～8:00			16:00～18:00		
	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均
61	7,833	27	31.3	10,330	35	41.1

○ 特別延長保育　（単位：人）

実保育児童数	7:00～7:30			18:00～19:00		
	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均	延べ児童数	一日平均児童数	平日のみ平均
33	1,810	6.2	7.2	2,335	8	9.4

（次頁へ続く）

3　款	2　項	3　目

実績

3　施設等修繕　662,526 円

・0歳、1歳児クラス仕切り柵及び畳修繕
・玄関庇雨漏り修繕
・0歳、1歳児クラスエアコン修繕　等

4　委託料　13,565,762 円

・保育所給食調理等業務委託
・保育所機械警備業務委託　等

5　工事請負費　1,880,230 円

・防犯カメラ設置工事　N=3基
・2歳児クラスエアコン設置工事　N=1台

6　備品購入費

・すなばスコップ、チビこぐますべり台、ピタゴラスキューブ 他　643,269 円

【一時預かり保育事業】

高城保育所において、保護者の就労や求職活動、入院・通院・出産・介護・冠婚葬祭等の緊急時、保護者の育児疲れ等のリフレッシュ・災害時のボランティア活動・学校行事等の際に、預け先のない1歳から就学前までの乳幼児を一時的に預かる事業として実施した。

○利用実績（利用延べ人数・年齢別延べ人数）　（単位：人）

登録児童数	利用児童数		利用年齢				
	半日	1日	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
4	9	2	6	5	0	0	0

○利用料金

世帯区分	半日利用	1日利用	給食利用
生活保護法による被保護世帯	0円	0円	300円
上記以外の世帯	1,000円	2,000円	300円

課題
方向性

核家族世帯及び女性の社会進出の増加により、3歳未満の子どもの入所希望が増えている。
特に、保護者の復職時における0歳、1歳児の入所希望が多く、充足率は昨年度に比べて低くなったが、施設規模の理由から途中入所を希望する場合に待機児童が生じた。
高城保育所の一時預かり保育事業は、車のない保護者でも利用ができるなどのメリットがあり、利用実績も増加しているため、今後も継続して実施していく。
近年、急増している支援が必要な児童について、一人ひとりの個性を生かしたきめ細かい保育ができるよう、保育士の加配や専門的な知識と技術習得などの体制づくりが必要である。

一　般　会　計

3　款	2　項	4　目	母子福祉費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,238	1,875		872			1,003

目的

ひとり親家庭の父母及び子どもにかかる医療費の自己負担分を助成することにより、当該家庭の経済的負担を軽減し、生活の質を高めることを目的とする。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
母子・父子家庭医療費支給	B	－	3.3	ひとり親家庭の父母及び子どもにかかる医療費のうち、自己負担分を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会の確保と、医療費の経済的負担軽減をさせることができた。

実績

【母子・父子家庭医療費支給】

1　助成対象者
- 母子、父子家庭の18歳の年度末までの児童
- 母子家庭の母、父子家庭の父
- 父母のいない18歳の年度末までの児童

2　助成実績

年　　度	対象者数（人）	助成件数（件）	助成額（円）
令和4年度	232	745	1,804,924
令和5年度	200	660	1,963,454
令和6年度	176	564	1,745,949

※対象者数は、各年度10月1日現在

課題方向性

当該家庭の経済的負担の軽減に寄与しており、生活の安定と児童の健全育成に資するものであるため、今後も県補助金を活用して継続的に実施していく。
また、病院窓口への申請書の提出忘れがないよう周知を図っていく。

一　般　会　計

3　款	2　項	5　目	子ども医療対策費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	56,149	49,813		5,483		35,000	9,330

目的

子どもの医療費を助成することにより、医療機会を確保し、経済的安定と福祉の向上に努める。
また、経済的負担を軽減することにより、少子化対策の一助を担うことを目的とする。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
子ども医療費支給	B	―	3.0	入通院とも対象年齢を18歳までとして医療費の一部負担金を助成することにより、子どもの医療機関受診の機会が確保され、子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。

実績

【子ども医療費支給】

1　助成対象期間
　0歳から18歳到達後の最初の3月31日まで

2　助成実績

年　　度	対象者数（人）	助成件数（件）	助成額（円）
令和4年度	1,496	19,921	40,671,606
令和5年度	1,453	22,507	50,707,195
令和6年度	1,402	20,637	48,663,220

※対象者数は、各年度10月1日現在

課題方向性

入通院ともに対象年齢を18歳までとすることにより医療機会の確保が図られ、子育て支援の一助となり子どもの福祉向上と経済的負担の軽減が図られているため、今後も継続して実施していく。

一　般　会　計

3　款	2　項	6　目	子育て支援事業費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	196,191	187,050	85,396	43,538			58,116

目的

子育てについての相談、情報提供、助言、援助を行う。また、虐待等が心配な家庭や発達に支援が必要な子どもが地域で安心して生活するため、子どもと保護者間の育児に対する負担・不安を軽減し、様々なニーズに対して柔軟に対応できるよう支援体制のネットワークの構築や指導者の育成を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
ファミリー・サポート・センター事業	A	3.3	3.0	昨年度に比べて支援活動回数が増加し、利用会員、協力会員との信頼関係が築かれ、子育ての多様なニーズに応えることができた。
子育て支援事業	A	3.7	3.7	児童館の指定管理者が変更となったが、昨年度と同様に充実した事業内容であった。親子教室は昨年度より参加者が増加し、親子の触れ合いや親同士の親睦を図ることができた。 発達に関して支援が必要な子ども及びその保護者を対象に発達相談・子育て講座「松島ペアトレ」等を実施し、各関係機関と連携して安心して子育てできるよう早期支援を行った。
施設型給付費	B	-	3.3	保護者の就労などのため、入所を希望する町外施設に対して経費を負担することで、安定的な施設運営を支援し、希望施設に継続して入所することができた。
こども家庭センター事業	B	-	3.3	全ての妊産婦、子育て世帯及び子どもを対象とした支援業務の強化が図れた。 要保護児童対策地域協議会のネットワークを活用し、要保護児童の見守りの強化や早期発見に努めた。
次世代育成支援対策費	A	4.3	3.7	令和7年度から令和11年度までの5か年を計画期間とした、子ども・子育て支援事業計画（第三期）を策定した。 子ども・子育て会議では、計画の策定にあたり内容の審査や意見交換を実施した。 子育て支援ホームページについては、町事業の案内、保育所や児童館等でのイベント情報の周知を積極的に行った。
認定こども園運営事業	A	3.7	3.7	認定こども園に対して、施設型給付費及び子育て支援事業に対して補助金を交付し、安定的な施設運営を支援した。

実績

【ファミリー・サポート・センター事業】

・会員数

利用会員	協力会員	両方会員	合計
39人	8人	2人	49人

・支援活動回数

預かり		送迎		合計
未就園児	小学生	未就園児	小学生	51件
1件	13件	0件	37件	

（次頁へ続く）

実績

【子育て支援事業】

1 各種相談事業

分　　類	実施回数（回）	利用者（延べ人数）
巡回心理相談	8	71
電話相談	7	7
訪問相談（こんにちは赤ちゃん訪問等）	34	91
来館相談	3	3
発達相談（子育てひろば）	6	74
計	58	246

2 仲間づくり支援事業

事　業　名	実施回数（回）	参加者（延べ人数）
あそびの広場	292	1,988

3 親子教室関係

教　室　名	実施回数(回)	参加者（延べ人数）
読み聞かせの会	11	161
リズム遊びの会	6	80
親子ヨガ教室	4	87
なかよし教室	12	159
人形劇	1	145
計	34	632

（参加者は、保護者と子どもの人数）

4 社会全体の子育てへの関心を高めるための取り組み

事　業　名	回数（回）	備考
児童館だよりの発行	12	毎月5,600部 （※全戸配布）

※広報紙に児童館だよりを掲載

5 障がい児等育児支援

事　業　名	実施回数（回）	参加者（延べ人数）
親の会定例会（いるかの会）	6	34
発達障害児支援 （のびっこクラブ）	6	111
ペアレント・トレーニング講座 （子育て講座）	6	64
ティーチャーズ・トレーニング 講座（支援者向け講座）	4	64
計	22	273

6 子育てボランティア協力・育成事業

事　業　名	実施回数（回）	参加者（延べ人数）
読み聞かせの会	11	23

7 小学校入学祝金　　17 人　510,000 円

【出産・子育て応援給付金】

・出産応援給付金　　33 人　1,650,000 円
・子育て応援給付金　　35 人　1,750,000 円

（次頁へ続く）

3　款	2　項	6　目

実績

【施設型給付費】

・利府町利府第二おおぞら幼稚園　1,764,280 円
・利府町利府葉山保育園　3,902,730 円
・天童市天童しぜん幼稚園　748,040 円
・大衡村ききょう平保育園　2,836,810 円
・大崎市さくら保育園　2,534,870 円
・大崎市太陽認定こども園　56,730 円
・大郷町すくすくゆめの郷こども園　332,150 円

【施設等利用給付費】

・一時預かり保育利用料　10,500 円

【次世代育成支援対策費】

1　委員報酬　154,500 円

令和7年度から令和11年度を計画期間とする松島町子ども・子育て支援事業計画（第三期）を策定するため、子ども・子育て会議を4回開催した。
委員10名（会長1名、委員9名）

2　委託料　5,214,000 円

・子育て支援ホームページ保守管理業務委託
・子ども・子育て支援事業計画（第三期）策定等業務委託

【こども家庭センター事業事業】

・子ども虐待防止事業（要保護児童対策地域協議会関係）

事　業　名	実施回数（回）	参加者（延べ人数）
代表者会議	1	21
実務者会議	2	43
ケース会議	6	51
計	9	115

訪問･面談　12回　（延べ47人）
電話件数　85件

・こども家庭センター事業（会議・研修関係）

事　業　名	実施回数（回）	参加者（延べ人数）
松島町こども家庭センター連携会議	8	52
虐待対応研修合同復命会	1	9

【認定こども園運営事業】

1　施設型給付費　136,888,910 円
2　地域子ども・子育て支援事業補助金　18,153,000 円

課題方向性

親子教室やファミリーサポートセンター事業等は、指定管理者制度を導入していることから、今後も民間事業者の豊富な知識や柔軟な発想により、事業の更なる充実と参加者の増加を図り、引き続き、広報紙や子育て支援サイト等を通じて、サービス内容をPRしていく。

令和7年度から子ども・子育て支援事業計画（第三期）がスタートすることから、計画に則り各種子育て支援施策を推進していく。

令和6年度は、こども家庭センターが設置され、母子保健担当と児童福祉担当とで、平時の情報共有の他、合同会議を重ねることで連携強化が図れた。引き続き切れ目ない支援のため連携を密にしていく。

令和5年度から新たに開始した子育て講座（ペアレント･トレーニング講座）は、令和6年度も効果的な子育てや発達特性に合わせた養育スキルを保護者と関係者が学ぶ場として大変好評であった。また、支援者向け講座（ティーチャーズ･トレーニング講座）を幼稚園・保育所を会場に実施した。日々子どもたちを保育する教諭・保育士がペアトレを学ぶことは、直接支援として効果が高まり、更なる保育の質の向上が期待される。今後も保護者と支援者の両輪の子育て講座を検討していく。

一　般　会　計

3　款	2　項	7　目	児童福祉施設費
担当部署名	建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,798	4,992					4,992

目的

児童等の健康増進や情緒を豊かにすることを目的とし、安全かつ健全な遊び場を提供するため、公園環境の適切な維持管理を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
児童公園・遊園維持管理費	C	－	－	公園内の事故を未然に防ぐため、遊具の定期点検及び修繕を実施し、安全に遊べる箇所を提供した。 また、経年劣化した垣の内児童公園外周フェンスの更新を行い安全対策を図った。

実績

【児童公園・遊園維持管理費】

児童公園（21箇所）の維持管理　※磯崎児童公園(令和6年3月31日廃止)

1　需用費（修繕料）	290,620 円
・高城児童公園（ブランコ）	108,240 円
・城内児童公園（配電盤・外灯）	99,000 円
・くぬぎ台児童公園（ジャングルジム・浄化槽ブロワー）	51,700 円
・白萩児童公園（水飲み場・大便器）	31,680 円
2　委託料	1,438,088 円
・児童公園公衆便所清掃業務委託（11箇所：月1回）	330,000 円
・児童公園遊具定期点検業務委託（19箇所：年1回）	334,400 円
・垣の内児童公園樹木剪定他業務委託	638,000 円
・くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）	47,688 円
・くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）	88,000 円
3　工事請負費	2,536,600 円
・垣の内児童公園フェンス等整備工事 （フェンス工　L=98.5m　・　防草シート設置工　A=70㎡）	

課題方向性

安全に利用できる公園環境を継続して提供するために、遊具の定期点検を行い修繕対応及びトイレ清掃作業を実施していく。防犯面や衛生面においては、地域住民の理解と協力を得ながら健全な公園環境維持に努めていく。

なお、経年劣化している遊具の更新を検討していく必要がある。

一　般　会　計

3　款	2　項	8　目	児童館費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,594	40,512	8,262	8,262		3,929	20,059

目的

子育て家庭支援の拠点施設として、子どもたちへ遊びの場を提供し、遊びを通して子どもの心身の健全な発達を促す。

また、留守家庭児童学級では、就労等で放課後保護者が家庭にいない子どもに適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
児童館運営費	A	3.7	3.7	小・中学生の自由来館は昨年度と比較して減少したが、新規事業等各種イベントを実施し、多くの児童及び親子が交流を深めることに寄与した。 また、市町村地域づくり振興等助成金を活用し、児童館に防犯カメラを設置することで、児童館利用者の安全確保に努めた。
留守家庭児童学級運営経費	A	3.7	3.7	児童の安全に配慮した運営を行い、大きな事故等がなく過ごすことができた。 また、専門的知識を有する指定管理者主催の研修に、支援員等が積極的に受講したことで資質の向上が図られた。 児童の安全対策を講じながら学級活動を行い、子どもたちが安心して放課後を過ごすことができる場を提供するとともに、保護者の就労の機会を確保することができた。

実績

【児童館運営費】

1　年間利用者数

内　訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生	273	181	219	258	228	91	164	81	41	40	34	104	1,714
中学生	24	5	21	15	6	0	12	14	18	4	0	5	124
高校生	3	0	3	2	0	1	9	0	2	0	0	0	20
一　般	17	21	28	0	2	1	14	27	32	20	24	63	249
合　計	317	207	271	275	236	93	199	122	93	64	58	172	2,107

2　出前事業

事業名	実施回数（回）	参加者（人）
被災地探検隊	2	46
ぼうさい探検隊	1	59
ベガルタ仙台交流会	1	73
計	4	178

3　イベントの開催

事業名	実施回数（回）	参加者（人）
こどもまつり	1	383
ハロウィーンまつり	1	54
クリスマスコンサート	1	115
リサイクル広場	5	144
親子サッカー教室	2	108
計	10	804

（次頁へ続く）

実績

4 施設修繕等
・児童館デッキ手摺修繕 175,322 円

5 工事請負費
・防犯カメラ設置工事 N=2基 524,150 円

6 備品購入費
・バスケットゴール他（3品目・9個） 215,600 円

【留守家庭児童学級運営費】

1 学級児童数（令和7年3月31日現在） （単位：人）

学級名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
たんぽぽ学級（松島第一小学校）	34	24	25	8	5	0	96
ひまわり学級（松島第二小学校）	13	8	12	11	8	1	53
どんぐり学級（松島第五小学校）	3	2	3	1	1	0	10
計	50	34	40	20	14	1	159

※実施場所
一小：児童館（土曜日は合同学級）
二小：旧松島第二幼稚園
五小：品井沼農村環境改善センター

2 年間利用児童数及び開設日数

上段：延べ利用児童数 （単位：人）
下段：開設日数 （単位：日）

学級名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
たんぽぽ学級	1,301	1,287	1,299	1,454	1,265	1,193	1,321	1,170	1,221	1,012	1,097	1,251	14,871
（松島第一小学校）	25	24	25	26	26	23	25	24	24	25	22	25	294
ひまわり学級	878	937	884	896	703	859	886	790	802	757	741	767	9,900
（松島第二小学校）	21	21	19	22	17	19	22	20	20	21	18	20	240
どんぐり学級	136	140	149	171	141	147	168	147	129	144	132	148	1,752
（松島第五小学校）	21	21	19	22	17	19	22	19	20	21	18	20	239
計(児童数)	2,315	2,364	2,332	2,521	2,109	2,199	2,375	2,107	2,152	1,913	1,970	2,166	26,523

3 施設等修繕 206,580 円
・ひまわり学級外部配管詰まり修繕
・ひまわり学級蛍光灯修繕

4 地域子ども・子育て支援事業補助金 2,522,000 円
・対象留守家庭児童学級数 3 学級

課題
方向性

児童館のPRは、広報誌、子育て支援サイト、フェイスブック等を活用した情報発信により、新たな利用者が増えており、今後も最新の情報の更新に努める。
子どもたちの自主性や豊かな創造性を育成するため、年間を通して季節を感じることができるイベントを開催していく。
留守家庭児童学級のニーズが高まり、入級希望者が増加傾向にあるため、より安全に配慮し、安心して過ごすことができる学級運営を行い、子どもが健康で楽しく過ごせる場となるよう努める。特にたんぽぽ学級は定員を超える入級希望者となっているため、受け入れ場所の確保を図っていく。
令和6年度から指定管理者が変更となったが、引き続き適正な施設の管理運営と地域の子育て支援活動の拠点としてサービスの向上等に努めていく。

一　般　会　計

3　款	2　項	9　目	令和6年度低所得者の子育て世帯への加算給付金事業費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,605	1,605	1,605				

目的

エネルギーや食料品等の物価高騰に伴う影響が大きい低所得者の子育て世帯に対し、子育て世帯加算給付金を支給し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
令和6年度低所得者の子育て世帯への加算給付金事業	B	―	3.0	エネルギーや食料品等の物価高騰に伴う影響を受けた低所得者の子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。

実績

【令和6年度低所得者の子育て世帯への加算給付金事業】

1　給付対象者
　令和6年度住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯で、基準日の令和6年6月3日時点において、18歳以下の子どもがいる世帯の世帯主（令和5年度給付金の支給対象となった世帯は除く）

2　支給額
・対象児童1人につき　50,000 円

3　支給実績
・対象世帯数　18 世帯
・対象児童数　32 名
・支給児童数　32 名
・支給率　100 ％
・支給額　1,600,000 円

一　般　会　計

3　款	2　項	10　目	令和6年度低所得者の子育て世帯への加算給付金事業（第二号）
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,716	1,920	1,920				

目的

エネルギーや食料品等の物価高騰に伴う影響が大きい低所得者の子育て世帯に対し、子育て世帯加算給付金を支給し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
低所得の子育て世帯への加算給付金事業（第二号）	B	―	3.0	エネルギーや食料品等の物価高騰に伴う影響を受けた低所得者の子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。 なお、申請期限を令和7年5月30日までとしたため、令和7年度へ繰越を行った。

実績

【低所得の子育て世帯への加算給付金事業（第二号）】

1　給付対象者
　令和6年度住民税非課税世帯で、基準日の令和6年12月13日時点において、18歳以下の子どもがいる世帯の世帯主

2　支給額
・対象児童1人につき　20,000 円

3　支給実績（令和7年3月31日現在）
・対象世帯数　63 世帯
・対象児童数　113 名
・支給児童数　96 名
・支給率　84.9 %
・支給額　1,920,000 円

一　般　会　計

3　款	2　項	11　目	低所得者の子育て世帯への加算給付金事業費
担当部署名	町民福祉課こども支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,214	3,331	3,307				24

目的

エネルギーや食料品等の物価高騰に伴う影響が大きい低所得者の子育て世帯に対し、加算給付金を支給し、子育て世帯の経済的負担を軽減する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
低所得の子育て世帯への加算給付金事業	B	―	3.0	エネルギーや食料品等の物価高騰に伴う影響を受けた低所得者の子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。

実績

【低所得の子育て世帯への加算給付金事業】（令和5年度からの繰越事業）

1　給付対象者
　令和5年度住民税非課税世帯及び均等割のみ課税世帯で、基準日の令和5年12月1日時点において、18歳以下の子どもがいる世帯の世帯主

2　支給額
・対象児童1人につき　50,000 円

3　支給実績
・対象世帯数　35 世帯
・対象児童数　66 名
・支給児童数　66 名
・支給率　100 %
・支給額　3,300,000 円

一　般　会　計

4　款	1　項	1　目	保健衛生総務費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	83,182	82,244		720		3,828	77,696

目的

町民が生涯にわたり、安心して健康的な生活ができるように、保健・医療・福祉の連携を図りながらライフコースアプローチを踏まえた健康づくりを推進する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
保健活動事業経費	A	4.3	3.7	乳幼児から高齢者まで継続した歯科保健事業を実施し、健康の保持・増進に寄与した。 健康増進総合計画及び計画書概要版を作成し、町の今後12年間の健康増進の取組を明確にした。
塩釜地区休日急患診療センター運営事業	A	3.3	3.0	塩釜地区休日急患診療センターを一次診療、7病院を二次医療機関として指定し、休日急患医療体制を確保し、町民の健康保持と安心につながった。
休日歯科診療に要する経費	A	3.0	3.0	休日及び年末年始の在宅当番医制による急患歯科診療体制を確保し、町民の健康保持と安心につながった。
休日昼夜間診療に要する経費	A	3.3	3.3	松島病院において休日・昼夜間の急患診療受入体制を確保し、年間を通して地域住民に有効に利用されており、町民の安心と健康の保持に寄与した。
献血推進事業に要する経費	B	―	3.0	必要とする血液を確保することができ、安全な輸血用血液製剤の安定かつ円滑な確保につながった。
地域医療対策事業に要する経費	B	―	3.3	塩釜地区地域医療対策委員会に参画し、管内の医師会、歯科医師会、薬剤師会、消防事務組合、保健福祉事務所等が連携して地域医療体制の充実を図った。
栄養指導業務に要する経費	B	―	3.0	住民の健康づくり及び栄養・食生活の改善を図るとともに、地域における食育推進活動を支援し、町民の食生活改善に寄与した。
自死対策強化事業	A	3.7	3.0	メンタルヘルスケア等に取り組む人材育成や個別支援体制づくりをすすめた他、自殺総合対策大綱に基づく自死対策計画を策定し、自死予防対策の充実が図れた。

実績

【保健活動事業経費】

健康増進総合計画策定業務委託（計画書及び概要版作成、成果品データ納品）　2,740,000円
健康増進総合計画策定委員会　委員：10人

【塩釜地区休日急患診療センター運営事業】　2,756,739円

塩釜地区休日急患診療（塩釜地区休日急患診療センター）　（単位：人）

年度＼市町名		松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
令和6年度	土・日祝日	72 （ 3.8% ）	604 （ 31.8% ）	596 （ 31.4% ）	92 （ 4.8% ）	343 （ 18.0% ）	194 （ 10.2% ）	1,901 （ 100% ）
令和5年度	土・日祝日	131 （ 6.3% ）	597 （ 28.8% ）	636 （ 30.7% ）	106 （ 5.1% ）	410 （ 19.8% ）	195 （ 9.4% ）	2,075 （ 100% ）

（次頁へ続く）

4　款	1　項	1　目

実績

【休日歯科診療に要する経費】　248,832 円

休日歯科診療（輪番制）　（単位：人）

市町名／年度	松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
令和6年度	13 (4.3%)	105 (34.8%)	84 (27.8%)	33 (10.9%)	28 (9.3%)	39 (12.9%)	302 (100%)
令和5年度	10 (3.6%)	89 (32.4%)	77 (28.0%)	33 (12.0%)	33 (12.0%)	33 (12.0%)	275 (100%)

【休日昼夜間診療に要する経費】　6,750,000 円

休日昼夜間診療（松島病院）　（単位：人）

市町名／年度	松島町	東松島市	その他	計
令和6年度	208 (73.5%)	24 (8.5%)	51 (18.0%)	283 (100.0%)
令和5年度	253 (71.1%)	24 (6.7%)	79 (22.2%)	356 (100.0%)

【献血推進事業に要する経費】

献血種別	採血目標（人）	採血者数（人）	構成比（%）	達成率（%）
全血献血（200ml）	3	14	11.2	466.7
全血献血（400ml）	126	111	88.8	88.1
計	129	125	100.0	96.9

・ 献血推進事業補助金　160,000 円

【栄養指導業務に要する経費】

事業名	回数（回）	参加人数（人）
食生活改善推進員育成講習会	11	186
うす味定着化事業（訪問事業）	385	385
シニアカフェ（フレイル予防の講話・調理実習）	3	50
計	399	延べ　621

・ 食生活改善推進事業補助金　130,000 円

【自死対策強化事業】　3,948,219 円

事業名	実施状況
自死対策計画策定	地域自殺実態プロファイルやアンケート調査結果を踏まえ、自死対策事業を推進するための計画を策定
精神保健福祉ネットワーク研修	「アルコール依存症とどう向き合うか」をテーマに、医師による研修を開催（2月26日実施：支援者20人参加）
自死対策本部会議 （庁舎内戦略会議）	自死対策計画概要について報告、若年層へのメンタルヘルスの取組について説明（3月27日実施:本部員15人参加）
自死対策研修事業	心の健康サポーター（一般町民）を対象にフォローアップ研修を開催（11月29日実施：14人参加）

【骨髄バンクドナー助成事業補助金】　補助件数：0

課題
方向性

町民が安心して暮らし、健康寿命が延伸できるよう、塩釜地区二市三町及び宮城県塩釜医師会と連携して救急医療体制を確保する。

また、健康増進総合計画（健康増進計画・自死対策計画※計画期間：令和7年度～令和18年度）に基づき、保健・医療・福祉等の関係機関と連携・協働よる実効性のある取組を推進していく。

一　般　会　計

4　款	1　項	2　目	予防費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	99,716	97,183	731	1,139		6,175	89,138

目的

個人の生活を尊重した保健・栄養指導を実施することで町民の主体的な健康づくりの取組を支援し、生涯にわたって健やかな生活を送ることができるよう取組をすすめ、健康寿命の延伸を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
健康教育	A	3.3	3.3	生活習慣病予防教室の他、各種事業を実施することで町民の健康意識の向上と生活習慣の改善が図られた。
健康診査	A	5.0	3.0	休日健診の実施等により受診機会の確保を図った他、受診勧奨に力を入れた。健診の実施により疾病の早期発見、生活習慣病の予防、健康増進につながった。
予防接種事業	A	5.0	3.7	新型コロナワクチンの定期予防接種化に伴う接種体制確保を図った。HPVの啓発に力を入れ、接種率の向上を図れた他、従前の定期予防接種について適切に実施・管理し、感染症のまん延防止につながった。

実績

【健康教育】　514,251 円

1　健康増進事業（対象：40～64歳まで）

事　業　名	回数（回）	参加人数（人）	実施内容
総合健康相談	6	58	個別健康相談
重点健康相談	28	148	病態別・歯周病・骨粗しょう症等の健康相談
集団健康教育	57	278	生活習慣病予防、がん予防、一般健康教育

2　健康教育・健康相談事業（対象：全年齢）

事　業　名	回数(回)	人数(人)	実施内容
まつしまちょいGYM	5	81	BMI24.0以上の者を対象に運動や栄養に関する健康教育・保健指導を実施（講師：健康運動指導士）
ちょいGYMフォローアップセミナー	1	11	まつしまちょいGYMを修了した者を対象に運動の継続を推進する健康教育を実施
まちかど健康相談	6	142	町内6カ所の事業所等において、生活習慣病予防や心の健康等について普及啓発及び健康相談を実施
食生活改善推進員育成事業	11	186	健康講話、実技研修、調理実習 （食生活改善推進員数22人）
いちおし健康塾	5	30	食生活改善推進員養成講座 健康講話、実技研修、調理実習、他
地域栄養教室	4	84	保健師・栄養士による健康講話、食生活改善推進員会によるレシピの紹介、調理実習
地域運動普及講習会	4	55	「スタイルアップセミナー」「男性限定！これからの身体づくり講座」「産後のボディケアセミナー」 内容：健康教育、健康運動指導士等の運動指導
ノルディックウォーキング教室	2	34	ノルディックウォーキングの実技指導
ウォーキングマップ普及事業	通年	－	ウォーキングマップ（手樽編、北部編、西部編、海岸編）の普及
運動フォローアップセミナー	1	15	健康運動指導士による実技指導（筋トレなど）

（次頁へ続く）

事　業　名	回数(回)	人数(人)	実施内容
歯科保健指導	15	144	口腔ケア・歯周疾患予防等に関する指導、口腔機能向上トレーニング
いきいきフレイル予防講習会	1	11	骨密度測定及び結果説明、保健師及び栄養士によるフレイル予防のための健康講話
出前健康講座	5	85	申込のあった団体に対して保健師や栄養士による健康講話を実施
健康ポイント事業	―	100	生活習慣病予防のための自主的な取組を実施した者へのインセンティブの付与
訪問指導事業	延18	実16	健診の要指導者、医療機関未受診者など保健指導が必要な者に対し訪問指導を実施

【健康診査】　29,981,448 円

1　各種健（検）診受診状況

検診名	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
結核・肺がん検診	5,719	2,010	35.1
胃がん検診	5,213	936	18.0
大腸がん検診	5,504	1,666	30.3
乳がん検診　(※1)	1,567	571	36.4
子宮がん検診	3,694	1,019	27.6
前立腺がん検診	1,930	500	25.9
青年健康診査	1,351	126	9.3
骨粗しょう症検診	339	80	23.6
肝炎ウイルス検査　(※2)	140	19	13.6
歯周病検診　(※3)	希望者	14	―

各種健診の対象者は、健診申込み者と総合健康診断申込書の未提出者とした。

(※1) 乳がん検診は、マンモグラフィー検査により実施した。対象者は40歳以上の女性で偶数年齢とした。
(※2) 肝炎ウイルス検査の対象者は40歳であるが、受診者は過去にウイルス検査を受けたことのない41歳以上も含む。
(※3) 歯周病検診は20・30・40・50・60・70歳を対象に一般社団法人塩釜歯科医師会に委託して実施した。

実績

2　申し込み状況　(人)

項目 / 検診名	申込	学校・職場で受ける	病院で受ける（入院・入所含む）	受けない	その他（不備含む）	未提出	計
結核・肺がん検診	2,342	1,523	1,239	435	389	3,377	9,305
胃がん検診	1,252	1,585	1,630	1,170	768	3,961	10,366
大腸がん検診	2,112	1,348	1,142	750	561	3,392	9,305
乳がん検診	695	169	210	379	188	872	2,513
子宮がん検診	1,513	391	415	911	443	2,181	5,854
青年健康診査	205	620	32	82	71	1,146	2,156

3　脳検診費用助成事業　1,520,000 円

40・45・50・55・60・65・70・75歳を対象に頭部MRI検査を含む脳検診費用の一部（上限10,000円）を助成した。
助成人数：152人

4　がん患者医療用補正具等購入費用助成事業　152,870 円

がん患者の治療と就労の両立や療養生活の質の向上を図るため、医療用ウィッグ及び乳房補正具購入に係る経費の一部（上限20,000円）を助成した。
助成件数：医療用ウィッグ 7件、乳房補正具 2件

（次頁へ続く）

4　款	1　項	2　目

実績

【予防接種事業】　66,686,612円

1　定期予防接種事業　48,447,591円

（単位：回）

種類	接種回数	備考
ロタ	78	
B型肝炎	109	
ヒブ	56	
小児肺炎球菌	155	
五種混合	97	
四種混合	67	
二種混合	71	償還払い（1件）含む
麻しん風しん混合1期	43	
麻しん風しん混合2期	71	
水痘	80	
日本脳炎1期	149	
日本脳炎2期	93	
BCG	37	
HPV（子宮頸がん予防ワクチン）	75	県外施設との個別契約　1件
HPVキャッチアップ接種	163	
風しん第5期（追加的対策）	7	抗体検査受検者数20人（費用全額助成）
高齢者肺炎球菌	32	
高齢者インフルエンザ	3,173	償還払い（2件）含む
新型コロナワクチン	1,441	償還払い（3件）含む
合計	5,997	

＊定期予防接種とは：予防接種法に基づき、誰もが受けるべき「A類疾患」（原則公費負担）と、一部公費負担の「B類疾患」（高齢者の肺炎球菌感染症、季節性インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症）に分類される。

2　任意予防接種に対する接種費用助成事業　19,800 円

・風しんワクチン
対 象 者：風しん抗体価が低く、かつ19歳～49歳までの女性または妊婦の配偶者及び同居者
内　　容：風しんワクチン接種費用を全額助成した
助成人数：2人

課題方向性

健康診査の受診率は国・県と比較して高いが、働き盛り世代については低い状態が続いていることから、世代の特性に合わせた受診率向上対策を実施する。

予防接種については新たに定期接種化された帯状疱疹ワクチンの接種体制の確保に努めるとともに適切に接種勧奨し、感染症の発症及びまん延予防に努める。

一　般　会　計

4　款	1　項	3　目	健康館費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,067	2,834				1,189	1,645

目的

住民が生涯にわたり安心して健康な生活が送れるよう地域との連携を図り、高齢になっても住み慣れたところでお互いに支え合いながら暮らせるまちづくりを推進する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
健康館管理運営経費	B	－	3.0	デイサービス事業を安全かつ安心して運営できるよう指定管理者と連絡調整のうえ、施設の定期点検及び清掃業務を実施した。また、設備等の故障や破損が生じた際には早急に対処し、必要な修繕を行った。

実績

【健康館管理運営経費】

1　松島町健康館デイサービスセンター利用状況

・指定管理期間　　令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）
・指定管理者　　社会福祉法人　松島町社会福祉協議会

	年間活動日数（日）	延べ人数（人）	1日平均利用人数（人）
令和6年度	289	4,467	15.5
令和5年度	283	3,948	14.0

2　修繕等の実施状況

・研修ホール照明器具及び誘導灯修繕　　49,500　円

課題方向性

施設・設備等の老朽化により定期的な点検や危険箇所の補修が必要となっているが、基本協定書に基づき健康館デイサービスセンターの指定管理者である松島町社会福祉協議会と協議を行い、施設の維持管理を継続して実施する。

一　般　会　計

4　款	1　項	4　目	母子衛生費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,806	9,456	1,718	265		705	6,768

目的

妊娠や出産を希望する方を様々な側面から支援し、安心、安全に出産や育児ができるよう環境を整えるとともに、良好な親子関係の形成に努め、子どもの健やかな発育・発達を促す。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
母子保健事業	A	4.7	3.0	不妊治療に要する経費を助成し、不妊に悩む夫婦の負担軽減が図れた。 妊娠期から学童期まで切れ目のない支援体制のもと、個々のニーズに合わせた支援を実施した。

実績

【母子保健事業】　9,455,519 円

1　母子健康手帳交付・育児相談等

事業名	回数（回）	人数 ＊延べ（人）
母子健康手帳交付	32	32
妊婦支援プラン作成	34	34
妊産婦・新生児訪問指導	54	113
モグモグ教室	6	35
赤ちゃんほっとサロン	11	76
どんぐり保健室	11	90
2歳児ダイレクトメール事業	12	55
保育所・幼稚園児対象わんぱく教室	20	311
小学校歯科指導	10	148
希望園歯科指導	3	保護者13、子14
栄養だよりの発行	3	3,285
まつしまの健康食育通信	12	総アクセス数1,703

2　思春期保健指導

内容	場所・対象	回数(回)	参加人数(人)
講話「たばことアルコールの害、薬物乱用防止、インターネット・ゲーム障害について」	松島第五小学校 6学年	1	11

3　健康相談・訪問指導

電話相談（件）			来所相談（延人）		訪問指導（人）			
					乳児		幼児	
健診	予防接種	発育・発達	健康相談日	随時	実	延	実	延
59	65	252	201	64	2	3	11	28

4　乳幼児健康診査事業

健診名	対象(人)	受診者(人)	受診率(%)
3～4か月児健康診査	37	36	97.3
1歳6か月児健康診査	54	53	98.1
2歳6か月児歯科健康診査	43	43	100
3歳6か月児健康診査	51	49	96.1

※前年度対象者含む

（次頁へ続く）

実績

5 乳幼児精神発達精密健康診査事業 197,043 円

対象 ： 発達に遅れや偏りが疑われる乳幼児（保護者等の希望による）

内容 ： 臨床心理士、公認心理士に依頼し、乳幼児精神発達精密健康診査を実施した。保護者等への結果説明、報告書の作成、事後指導を行い、所属する幼稚園・保育所の支援計画作成や療育等の継続支援につながった。

実施回数：8回

6 乳児一般健康診査 434,160 円

健診時期	2か月	8～9か月	合計
受診人数	37人	35人	72人

7 妊婦健康診査 3,909,230 円

妊娠週数	初回	12～15週	16～19週	20～23週	24～25週	26～27週	28～29週	30～31週	32～33週	34～35週	36週	37週	38週	39週	合計
受診人数（人）	32	31	33	35	36	38	38	34	34	34	33	31	26	19	454

計14回の妊婦健診自己負担分を助成（実人数：52人）

8 産婦健康診査 393,420 円

健診時期	2週間	1か月	合計
受診人数	37人	37人	74人

9 新生児聴覚検査 303,430 円

受診人数：38人

＊乳児一般（2か月児・8～9か月児）健康診査、妊婦健康診査、産婦健康診査、新生児聴覚検査は公益社団法人宮城県医師会に委託して指定医療機関で実施した。

10 妊産婦・乳児健康診査費助成事業 46,080 円

宮城県医師会登録外の医療機関で健康診査を受診した場合の費用について、償還払いによる助成を行った。

助成人数：1人

11 新生児聴覚検査費助成事業 8,000 円

助成人数：1人

12 産後ケア事業 265,610 円

類型	家庭訪問	デイサービス（3時間型）	デイサービス（集団型）
回数	2回	15回	11回

13 伴走型相談支援事業

時期	妊娠届出時	妊娠8か月時
人数	32人	35人

14 不妊治療費助成事業 152,300 円

区分	不妊検査費	不妊治療費		
		一般不妊治療	生殖補助医療	先進医療
件数	2件	0件	1件	1件

課題方向性

不妊検査・不妊治療費用助成の周知を徹底し、子どもを持ちたい夫婦の経済的・精神的負担の軽減を図る。

産後ケア事業の拡充により産後の母子への支援を強化し、安心して出産・子育てできる支援体制の充実を図る。

一　般　会　計

4　款	1　項	5　目	環境衛生費
担当部署名	総務課環境防災班・水道事業所施設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	45,687	41,335	138	6,419		2,824	31,954

目的

健全で安心な町民の生活環境の確保と自然環境保護を目的に、ごみゼロ運動や秋の一斉清掃活動を全町で実施し、環境美化の推進とごみの減量化の意識向上に努める。また、狂犬病の発生を防止するため、飼い犬の登録と予防注射接種を行う。

公共下水道計画区域以外の区域（一部区域内を含む）において、対象者に補助金を交付し合併処理浄化槽の設置補助を推進し、水洗化による町民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
環境衛生経費	A	3.7	3.7	ごみゼロ運動や秋の一斉清掃等の環境美化活動を実施し、環境保全とともに環境美化に対する意識の向上を図り、さらには、環境美化推進員による不法投棄の巡回パトロールなどにて、地域環境美化の推進を図ることができた。また、プラグインハイブリッド（PHEV）車の購入や地球温暖化対策に関する町民の意識醸成、行動変容を促すガイドブックを作成するなど、ゼロカーボンシティの実現に向けた施策を展開した。 犬の登録事務等については、正確な台帳の登録等に努めながら、狂犬病予防注射の集合接種を実施したことにより、狂犬病の発生を未然に防止することができた。
塩釜地区斎場運営経費	B	－	3.7	塩釜地区消防事務組合に対して、りふ斎苑(火葬場)の管理運営等に係る負担金を支出し、適正な管理下において運営することができた。
合併処理浄化槽設置事業	A	4.7	3.7	公共下水道計画区域以外における合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付し、生活環境の向上及び公共用水域の水質保全に寄与した。

実績

■総務課 環境防災班所管

【環境衛生経費】

1　ごみゼロ運動・秋の一斉清掃

各地域にてごみ拾い等の清掃活動を実施し、環境美化意識の高揚を図った。
清掃活動時においては、環境保全への積極的な参加の機会を設けたことで、きれいなまちづくりへの気運を高めることができた。

・一斉清掃実施回数　　2回（ごみゼロ運動：6月、秋の一斉清掃：9月）
　※各地区や各種団体においては、年間を通じて清掃活動を実施
・ごみ回収量　　80 m^3

2　松島町環境美化推進員の設置

・環境美化推進員　　24名（各行政区2名）
・不法投棄防止巡回パトロール　延べ 203回

3　犬の登録及び狂犬病予防注射

窓口において、犬の登録等の申請手続き並びに狂犬病予防注射済票の交付事務を実施した。
また、4月･5月に町内各会場において狂犬病予防注射集合接種を行い、狂犬病予防注射

・飼い犬台帳登録数　　501 頭　※令和7年3月31日現在
・飼い犬新規登録数　　29 頭
・狂犬病予防注射済票交付数　　459 頭
　※接種率91.62%（R5:89.60%）
・狂犬病予防注射集合接種　（1次集合）　4月24日～26日　　11 会場
　　（2次集合）　5月12日　　1 会場

（次頁へ続く）

4　地球温暖化対策に係る取組
　市町村が創意工夫して行う地域課題解決に向けた事業に対して、宮城県が補助を行う「みやぎ環境交付金（市町村提案型）」を活用し、PHEV車の購入、EV充電設備の設置、ガイドブックの作成を行い、地球温暖化対策及びゼロカーボンシティの実現に向けた取組を実施した。

・PHEV車購入　5,670,700 円
・EV充電設備設置工事　330,000 円
・ガイドブック作成業務委託　968,330 円

5　地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定　※令和7年度までの2ヵ年事業
　地域の自然的社会的条件に応じて、地球温暖化対策を行うための施策を定める「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定にあたり、基本情報の収集や温室効果ガス排出量の把握、課題の分析などを行った。

・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定業務委託　2,560,000 円
（令和6年度分）

【塩釜地区斎場運営経費】
1　利用実績

年度／種別	令和6年度（件）	令和5年度（件）	令和4年度（件）
火葬件数	219	239	222
前年比	△ 20	17	18

2　塩釜地区斎場負担金　17,428,000 円
・管理費負担金　6,792,000 円
・投資的経費負担金　10,636,000 円

実績

■水道事業所 施設班所管
【合併処理浄化槽設置事業】

1　補助金交付実績

(1)公共下水道計画区域外

人槽区分	補助基数（基）	補助金額（円）
5人槽	3（　0）	996,000
6 ～ 7人槽	0（　0）	0
8 ～ 10人槽	0（　0）	0
合計	3（　0）	996,000

※（　）の数字は、優良田園住宅「くぬぎ台」設置分

(2)公共下水道計画区域内

人槽区分	補助基数（基）	補助金額（円）
5人槽	0	0
6 ～ 7人槽	1	414,000
8 ～ 10人槽	0	0
合計	1	414,000

（次頁へ続く）

4　款	1　項	5　目

実績

2　浄化槽法関連権限移譲事務処理実績

①浄化槽の設置等に関する届出受理件数（建築確認経由分を含む） ※法第5条第1項、第2項、第4項、法第10条の2に基づく事務	6　件
②浄化槽管理者等への立入検査・報告徴収件数 ※法第12条、第53条に基づく事務	0　件
③浄化槽工事業者への指示件数 ※法第32条第1項に基づく事務	0　件

3　合併処理浄化槽設置等改造資金斡旋状況

斡旋申請件数(件)	斡旋金額（円）	利子補給金額	
		予算額（円）	決算額（円）
0	0	97,000	0

課題
方向性

■総務課　環境防災班所管

2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、町民、事業者、町が一体となって温暖化対策に取り組む指針となる「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定するとともに、令和6年度に作成したゼロカーボンに向けたガイドブックの配布等により、自らが実行できる身近な取り組みや、ごみ減量化、適正分別の周知を図り、地球温暖化の防止に繋げる。

また、ごみゼロ運動や秋の一斉清掃、不法投棄の抑止に向けた巡回等を通じて、住みよい環境を整備するとともに、環境美化意識の向上を図り、ごみのない綺麗なまちづくりに努める。

■水道事業所 施設班所管

合併処理浄化槽は下水道を使用できない区域においては生活排水の処理対策として有効な手段であることから事業を継続していく必要がある。設置されるタイミングが住宅の新築もしくは改築時が主となることから、広報誌等による住民周知を複数回行い、合併処理浄化槽の普及促進を図る。

合併処理浄化槽設置整備事業の整備状況

年　度	設置基数（基）	整備済人口（人）	設置基数内訳（基）				総事業費（千円）	内訳（千円）			備　考
			5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上		国庫補助金	県補助金	一般財源	
平成 3～30 令和 元 年度	452	30,697	103	239	102	8	224,431	74,294	56,421	93,716	
令和 2 年度	8	1,994	3	4	1	0	3,200	1,067	0	2,133	下水道計画区域外　8基 下水道計画区域内　0基
令和 3 年度	9	2,011	4	4	1	0	3,532	1,380	0	2,152	下水道計画区域外　9基 下水道計画区域内　0基
令和 4 年度	8	2,027	4	3	1	0	3,118	1,380	0	1,738	下水道計画区域外　6基 下水道計画区域内　2基
令和 5 年度	7	1,975	5	2	0	0	2,488	698	0	1,790	下水道計画区域外　7基 下水道計画区域内　0基
令和 6 年度	4	1,977	3	1	0	0	1,410	138	0	1,272	下水道計画区域外　3基 下水道計画区域内　1基
計	488		122	253	105	8	238,179	78,957	56,421	102,801	

※補助金額（平成19年度より改定）　（単位：千円）

	5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上
17年度まで	354	411	519	981
18年度まで	342	414	537	939
現行(19年度から)	332	414	548	939

合併処理浄化槽地域別設置状況

（単位：基）

年　度	磯　崎	高　城	桜渡戸	手　樽	根　廻	初　原	幡　谷	竹　谷	北小泉	計
平成 3～30 令和 元 年度	3	26	17	104	27	32	170	52	21	452
令和 2 年度	0	1	0	1	0	1	4	1	0	8
令和 3 年度	0	0	1	2	1	1	4	0	0	9
令和 4 年度	0	2	0	1	1	1	2	1	0	8
令和 5 年度	0	0	0	0	1	0	5	1	0	7
令和 6 年度	0	1	0	0	1	0	2	0	0	4
計	3	30	18	108	31	35	187	55	21	488

し尿処理の状況（人口内訳の推移）

年度	計画処理区域面積	計画処理区域内世帯数	総人口	計画処理区域内人口	非水洗化人口			水洗化人口									水洗化率	備考
						し尿汲取り人口	自家処理人口		公共下水道人口	コミプラ人口	浄化槽人口	合併処理浄化槽人口				単独処理浄化槽人口		
													補助	農業	その他			
	(km^2)	(世帯)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	
平成 27 年度	53.56	5,683	14,817	14,817	896	896	0	13,921	9,251	0	4,670	2,929	1,873	0	1,056	1,741	93.9	
平成 28 年度	53.56	5,676	14,632	14,632	626	626	0	14,006	9,238	0	4,768	3,027	1,926	0	1,101	1,741	95.7	
平成 29 年度	53.56	5,652	14,366	14,366	565	565	0	13,801	8,950	0	4,851	3,116	1,984	0	1,132	1,735	96.0	
平成 30 年度	53.56	5,630	14,073	14,073	1,752	1,752	0	12,321	8,993	0	3,328	3,158	2,015	0	1,143	170	87.5	
令和 元 年度	53.56	5,637	13,820	13,820	1,654	1,654	0	12,166	8,939	0	3,227	3,073	1,991	0	1,082	154	88.0	
令和 2 年度	53.56	5,676	13,594	13,594	1,635	1,635	0	11,959	9,182	0	2,777	2,626	1,994	0	632	151	87.9	
令和 3 年度	53.56	5,714	13,445	13,445	1,505	1,505	0	11,940	9,155	0	2,785	2,636	2,011	0	625	149	88.8	
令和 4 年度	53.56	5,742	13,264	13,264	1,455	1,455	0	11,809	9,010	0	2,799	2,651	2,027	0	624	148	89.0	
令和 5 年度	53.56	5,718	13,019	13,019	1,363	1,363	0	11,656	8,933	0	2,723	2,578	1,975	0	603	145	89.5	
令和 6 年度	53.56	5,756	12,842	12,842	1,104	1,104	0	11,738	9,025	0	2,713	2,570	1,977	0	593	143	91.4	

○人口は各年度の3月31日現在の人数とする
○用語の解説
　コミプラ・・・コミュニティプラント　　補助・・・合併処理浄化槽設置整備事業により整備したもの　　農業・・・農業集落排水施設
○公共下水道、浄化槽等の人口は当該年度内に設置したもの

一　般　会　計

4　款	1　項	6　目	公害対策費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	586	586					586

目的

生活環境(自動車交通騒音・環境騒音)の騒音に関する実態を把握するため、町内6地点において騒音測定を実施する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
公害対策事務事業経費	C	－	－	自動車騒音測定を町内4地点で実施し、昼夜ともに規制基準値及び環境基準値以内であった。 また、環境騒音測定については、町内2地点で実施し、環境基準値以内の結果であった。

実績

【公害対策事務事業経費】

1　自動車交通騒音測定（主要幹線道路4地点）　（単位：dB）

測定地点	調査結果	
	昼　間	夜　間
①根廻交差点（国道45号・三陸自動車道）	66	62
②初原町営住宅入口（県道仙台松島線・三陸自動車道）	66	62
③磯崎長田（奥松島松島公園線）	67	63
④磯崎美映の丘（町道根廻磯崎線）	60	48
環境基準値	70	65
規制（要請限度）基準値	75	70

※測定実施日：令和6年10月17日・18日（昼間：6時～22時／夜間：22時～6時）

2　環境騒音測定（町内2地点）　（単位：dB）

測定地点	調査結果	
	昼　間	夜　間
⑤華園集会場	47	38
⑥垣ノ内集会場	47	43
環境基準値	55	45

※測定実施日：令和6年10月17日・18日（昼間：6時～22時／夜間：22時～6時）

○ 環境基準値

環境基本法に基づき、騒音に係る環境基準について、都市計画法に基づく用途地域の区分毎に設定している。

①・②：市街化調整区域で適用外だが、③・④を準用　昼間：70db／夜間：65db
③・④：第2種住居地域で2車線以上の道路に面する地域　昼間：70db／夜間：65db
⑤・⑥：第1種低層住居専用地域・第1種住居地域　昼間：55db／夜間：45db

○ 規制（要請限度）基準値

騒音規制法により、自動車騒音の限度を設定している。

①～④：高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道に近接する区域
昼間：75db／夜間：70db

○ 測定時期

騒音が1年間を通じて平均的な状況を呈する日(秋期の平日)を選定している。

課題方向性

測定した6地点全てが環境基準値以内であったが、道路整備や住宅建築などによる生活環境の変化に引き続き注視しながら、生活環境の保全及び健康の保護に資することを目的に今後も継続して測定を実施する。

なお、基準値を超える測定結果や騒音に係る苦情、相談があった場合については、実情を把握し、県や関係機関と連携を図りながら早期解決に努める。

一　般　会　計

4　款	1　項	7　目	長寿健康対策費
担当部署名	健康長寿課健康づくり班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	18,603	18,067				15,899	2,168

目的

後期高齢者の特性を踏まえ、要介護状態や寝たきりになるリスクを低減させ、健康寿命の延伸につながるよう高齢者保健事業を実施する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
長寿健康対策費	A	4.3	3.0	健康診査、集団健康教育、保健指導を実施し、生活習慣の改善を推進することにより、健康状態の保持・増進を図った。

実績

【後期高齢者健康診査事業】　5,101,992 円

後期高齢者医療保険加入者に対し健康診査を実施した。
75～79歳の未受診者に受診勧奨を実施した。

健診名	対象者	受診者	受診率
お達者健康診査	2,732人	764人	28.0%

【長寿・健康増進事業】　3,137,652　円

宮城県後期高齢者医療広域連合の受託事業として、被保険者の心身の健康保持・増進を目的に、75歳以上を対象とする転倒・骨折予防及び運動器の機能向上のための運動教室を実施した。

事業名	内　容	人　数
健康体操教室	ストレッチ・座位立位運動・歩行練習・リズム運動（年48回）	受講者 39人、延べ 663人
健康水中運動教室	ストレッチ・水中ウォーキング・バランス及び筋力トレーニング（年16回）	受講者 11人、延べ 133人

【高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業】　9,826,640円

高齢者の医療・介護データ等を分析して地域の健康課題を把握し、疾病予防・重症化予防につながるよう、医療専門職が通いの場等へ関与したり、保健指導等を行い、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施した。

事業名	内　容	人　数
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症重症化予防に対する通知、電話による受診勧奨及び保健指導	実 37人
	糖尿病性腎症重症化予防プログラムによる保健指導（面接、電話）	実 5人、延べ 13人
通いの場における健康教育事業	通いの場の参加者に対し、フレイル予防、生活習慣病重症化予防をテーマに健康教育を実施	実 9団体、延べ 18団体（延べ 202人）

課題方向性

後期高齢者健康診査の受診勧奨実施により、受診率が約4%上昇したが、県平均と比較し低い状況である。今後も、受診率向上の取組を継続していく。
後期高齢者では、慢性腎不全患者（透析あり）が多く、脳血管疾患、心疾患の標準化死亡比が高い状況が続いているため、今後も健康教育や保健指導の対象者を拡大して実施していく。

一　般　会　計

4　款	2　項	1　目	塵芥処理費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	222,921	222,232	4,607			22,927	194,698

目的

一般廃棄物の処理に関する計画に基づき、収集運搬を行うとともに廃棄物の減量化を図り、再利用を促進することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
塵芥処理経費	A	4.0	4.3	ごみの減量やプラスチックごみの焼却に伴う温室効果ガスを抑えることを目的に、プラスチック資源の分別回収を令和6年4月から開始し、ごみのリサイクルを推進した。 分別によるごみの排出については、ごみカレンダーによる周知や関係団体等との連携により、適正な収集とごみの減量化に繋がった。
宮城東部衛生処理組合負担金	B	－	4.0	宮城東部衛生処理組合に係るごみ処理施設等でのごみ処理及び施設管理に係る事務の経費に関し、構成市町が負担金を支出して適正な処理を行うことができ

実績

【塵芥処理経費】

1　ごみ処理実績　（単位：t）

区　分	種別＼年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
家庭系ごみ	可燃ごみ	2,447	2,537	2,658
	不燃ごみ	81	82	134
	プラスチック資源	115	106	99
	粗大ごみ	206	225	199
	資源物	533	572	641
	小計	3,382	3,522	3,731
事業系ごみ	可燃ごみ	1,632	1,631	1,533
	不燃ごみ	13	11	10
	小計	1,645	1,642	1,543
直接搬入ごみ		610	846	654
合計		5,637	6,010	5,928

2　松島町一般廃棄物収集運搬業務委託（家庭系ごみの収集）　70,752,000 円

3　災害廃棄物処理計画の策定

災害時に適正かつ円滑、迅速に災害廃棄物を処理することを目的とした「災害廃棄物処理計画」を策定した。

・災害廃棄物処理計画策定業務委託　5,775,000 円

【宮城東部衛生処理組合負担金】　145,146,287 円

・ごみ処理費負担金　137,427,287 円

・投資的経費負担金　7,719,000 円

課題方向性

ごみ処理実績について、家庭系ごみは減少しているが依然として1人あたりの排出量は多い傾向であることから、引き続きごみの減量化につながる施策を行う。

令和6年度から分別収集を開始した製品プラスチックについては、分別方法について町民からの問い合わせが多いことから、引き続き適正分別に向け周知を徹底し、再資源化を促進する。

なお、災害廃棄物については、有事の際は令和6年度に策定した松島町災害廃棄物処理計画に則り公衆衛生の確保に努め、早急な復旧・復興に繋げる。

一　般　会　計

4　款	2　項	2　目	し尿処理費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	66,590	66,590					66,590

目的

町内のし尿・浄化槽汚泥の処理を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
塩釜地区環境センター負担金	B	－	3.7	各家庭や事業所から出された、し尿及び汚泥について、塩釜地区環境センターで処理を行ったことにより、公衆衛生の保全を行うことができた。

実績

【塩釜地区環境センター負担金】　66,590,000 円

○ し尿・汚泥処理実績

（単位：t）

種別＼年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
し　　尿	2,314	2,423	2,565
汚　　泥	1,328	1,326	1,170
合　　計 （前 年 比）	3,642 （△ 107）	3,749 （ 14）	3,735 （△ 66）

課題方向性

施設の老朽化（平成11年4月供用開始）と搬入量が減少している状況を鑑み、維持管理を通して行う延命化や基幹的設備改良工事を実施して行う延命化などの整備方針を検討している。

当施設については、性能水準を保ちつつ長期的に運営する必要があることから、整備方針の検討内容把握に努めるとともに、適切な処理方法により公衆衛生の向上が図られるよう、構成市町と協議を重ねていく。

一　般　会　計

5　款	1　項	1　目	勤労青少年ホーム費
担当部署名	勤労青少年ホーム		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,504	11,670				556	11,114

目的

図書室の充実と勤労青少年ホームの維持管理及び社会教育事業等を実施することにより、生涯学習の振興を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
管理運営費	B	－	3.0	町民や自主グループが利用しやすいよう、施設維持に努めた。図書室では蔵書の充実を図り、季節ごとに工夫することで、町民等の学習、調査、研究の場を提供し、社会教育の推進が図られた。

実績

【管理運営費】　11,669,834 円

1　事業

名　称	内　容	期　日	回数/参加者数
WINDまつり ～夕涼みお話会～	勤労青少年ホームの施設PRと図書室の利用促進を兼ねて実施した。 (読み聞かせ、夏の音楽会、縁日広場など)	7月20日	1回/63人

2　施設利用状況

	音楽室	集会室	講座室	調理室	研修室	合計
人数（人）	1,287	2,410	303	61	494	4,555
件数（件）	260	317	61	8	67	713

3　図書室利用人数等

（単位：人、冊）

		区　分	利用人数及び貸出冊数		1日平均	
			人数	冊数	人数	冊数
松　島　町　内		一　般	4,726	17,063	15.7	56.7
		児　童	1,268	6,839	4.2	22.7
松島町外	仙台都市圏	一　般	51	121	0.2	0.4
	その他町外	一　般	21	115	0.1	0.4
県　図　書		一　般	136	358	0.5	1.2
団　体			43	263	0.1	0.9
閲　覧　者		全	1,642	－	5.5	－
合　計			7,887	24,759	26.2	82.3

※開館日数　301　日　　※上表に、図書巡回文庫の利用は含んでいない。
※仙台都市圏…仙台市、塩竈市、名取市、多賀城市、岩沼市、富谷市、亘理町、山元町、七ヶ浜町、利府町、大和町、大郷町、大衡村の利用者

4　ブックラリー等参加者

事業名	実施期間	参加者数（人）	貸出冊数（冊）
春のブックラリー	4月20日　～　5月26日	26	260
秋のブックラリー	10月19日　～　11月24日	28	280
夏休み読書マラソン	7月19日　～　8月25日	27	340
冬ごもりキャンペーン	12月14日　～　2月28日	638	6,042

※上表は、「利用人数等」の利用人数、冊数に含む。

（次頁へ続く）

5　款	1　項	1　目

実績

5　巡回図書

（単位：回）

名　　称	内　　容	期　　日	回　　数
図書巡回文庫	幼稚園、保育所、児童館、小学校などに移動文庫を設置し、子どもが本と触れ合い親しむ機会を提供した。	毎月	幼稚園　11回 保育所　12回 児童館　12回 小学校　11回 こども園　11回

6　蔵書内訳

（単位：冊、%）

区分	R6年3月末現在		R6年度中の異動				R7年3月末現在	
	冊 数	構成比	受 入			除 籍	冊 数	構成比
			購 入	寄 贈	計			
一般図書	30,047	67.72	304	346	650	2,038	28,659	66.29
児童図書	13,147	29.63	117	254	371	141	13,377	30.94
洋書	96	0.22	0	0	0	0	96	0.22
参考図書	17	0.04	0	0	0	0	17	0.04
郷土資料	1,060	2.39	0	30	30	3	1,087	2.51
計	44,367	100.00	421	630	1,051	2,182	43,236	100.00

※対前年比　　1,131　冊の減少(減少率　2.55　%)

7　子どもの本移動展示会

実施期間：令和6年7月20日～7月28日までの計8日間（休館日を除く）

展示冊数：200冊（期間中の閲覧者91人）

※「子どもの本展示会」は県内の希望する市町村図書館・図書室を巡回展示し、児童書にふれる機会や新しい本との出会いの場として、また選書の参考として宮城県図書館が実施する事業である。

※「子どもの本展示会」閲覧者は、利用人数の閲覧者に含まない。

8　需用費（修繕費）　47,410円

・無線通信装置（電話機）交換修繕　25,410円

・国旗用ポールロープ張替修繕　22,000円

9　委託料　7,460,507円

・勤労青少年ホーム管理業務委託　7,043,300円

・機械警備業務委託　66,000円

・消防設備点検保守点検業務委託　32,310円

・自動開閉装置保守点検業務委託　96,800円

・清掃等業務委託　222,097円

10　備品購入費　720,758円

・庁用備品（調理室用冷蔵庫、図書室用冷風機）　220,770円

・図書　499,988円

課題方向性

町民のサークル活動や学びの場として有効に利用できるよう施設の維持管理に努める。図書室については、利用者のニーズを反映しつつ蔵書（分野ごと）の充実に努める。利用促進となる事業の企画立案を行う。

一　般　会　計

5　款	1　項	2　目	労働諸費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	38,781	38,781				33,000	5,781

目的

シルバー人材センターの支援、勤労者融資制度運営のための預託、職業訓練校の事業支援等を行う。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
労働振興経費	B	－	3.3	各補助金、預託金の支払いを行い、健全な事業運営に寄与することができた。

実績

1　松島町勤労者生活安定資金融資預託金　15,000,000円

・融資状況（令和7年3月末現在）

融資の種類	融資限度額	返済期間	金利	融資件数	融資金額
生活資金	100万円	7年以内	年2.75%	1件	62,440円
教育資金	300万円	10年以内	年1.45%	3件	4,383,313円
福祉資金	100万円	7年以内	年1.25%	0件	0円
自動車資金	200万円	7年以内	年1.45%	9件	4,484,923円
			うち新規	1件	3,000,000円

2　勤労者福祉一般預託金　18,000,000円

・融資状況（令和7年3月末現在）

資金使途	融資件数	融資金額
住宅ローン、教育ローン、マイカーローン等	305件	1,325,256,988円
うち新規	22件	138,800,000円

3　塩釜建設技能者訓練協会補助金　171,000円

・訓練生3名（松島町からの訓練生0名）

4　宮城県労働保険事務組合連合会負担金　10,000円

5　松島町シルバー人材センター事業補助金　5,600,000円

項目	令和6年度実績	令和5年度実績	前年度との比較
会員数	163人	160人	3人
うち男性	119人	116人	3人
うち女性	44人	44人	0人
受注件数	451件	467件	△16件
うち公共	20件	22件	△2件
うち民間	428件	443件	△15件
うち派遣	3件	2件	1件
契約金額	55,811,000円	52,553,000円	3,258,000円
うち公共	26,616,000円	24,790,000円	1,826,000円
うち民間	28,545,000円	27,375,000円	1,170,000円
うち派遣	650,000円	388,000円	262,000円
就業延人数	8,546人	8,293人	253人
就業率	68.7%	70.0%	△1.3%

課題方向性

勤労者に向けた融資制度については、東北労働金庫と連携し制度活用について周知を継続していき、勤労者の生活安定に努める。

シルバー人材センター事業は、会員増加、請負・派遣就業の拡大、新規就業の開拓により、高齢者の就労の促進となるよう今後も支援していく。

一　般　会　計

6　款	1　項	1　目	農業委員会費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,784	13,341		1,797		447	11,097

目的

農業委員会等に関する法律が平成27年に改正され、「農地等の利用の最適化の推進」が最も重要な必須業務として位置づけられたことにより、地域の実態に応じた取組の推進に向け、対策の強化を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
農業委員関係経費	A	3.7	3.0	遊休農地の発生防止・解消について、農地パトロールにより発生防止に努めた。 農地中間管理事業等による、担い手への農地の利用集積が図られた。 新規参入の相談、農地あっせん等の情報提供を実施した。

実績

※ 農地等の利用の最適化の推進とは
(1) 遊休農地の発生防止・解消
(2) 担い手への農地利用の集積・集約化
(3) 新規参入の促進

1　農地等の利用状況

(1)　遊休農地の発生状況

年　　度	農地面積	遊休農地面積	遊休農地割合	遊休農地面積（前年比）
令和4年度	1,041 ha	47.69 ha	4.58 %	7.71 ha 減
令和5年度	1,034 ha	49.80 ha	4.82 %	2.11 ha 増
令和6年度	1,031 ha	51.14 ha	4.96 %	1.34 ha 増

（農地面積は、農業委員会が行う農地利用状況調査から集計）

(2)　担い手への農地利用の集積・集約化

年　　度	農地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率
令和4年度	918 ha	541 ha	58.9 %
令和5年度	922 ha	542 ha	58.8 %
令和6年度	917 ha	548 ha	59.8 %

（農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積）

（次頁へ続く）

6　款	1　項	1　目

実績

2　農地法等に基づく権限に属する事務

(1)　農地法第3条に基づく許可事務
（　9 件 ：　29,713 ㎡）　（前年度　12 件 ：　34,479 ㎡）

(2)　農地転用に関する事務（意見を付して知事への送付）
（　8 件 ：　18,731 ㎡）　（前年度　17 件 ：　34,873 ㎡）

農地転用に関する事務（市街化区域内）
（　3 件 ：　31,503 ㎡）　（前年度　1 件 ：　542 ㎡）

(3)　非農地証明願
（　8 件 ：　8,127 ㎡）　（前年度　5 件 ：　5,716 ㎡）

(4)　農業経営基盤強化法促進法による農用地利用集積
所有権の移転
（　3 件 ：　20,730 ㎡）　（前年度　0 件 ：　0 ㎡）

利用権の設定
（　31 件 ：　229,327 ㎡）　（前年度　43 件 ：　459,857 ㎡）

(5)　農業者年金事業（受給者）
（　71 人）　（前年度　76 人）

課題方向性

農業従事者の高齢化や後継者不足により耕作者の確保が難しい状況となっている。農地中間管理事業を活用し、地域の担い手への農地集積・集約化の促進と新たな担い手の確保について、関係機関と連携を図りながら新規参入支援に取り組み、農地の有効活用と遊休農地の解消や発生防止等の対策の強化を図っていく。

一　般　会　計

6　款	1　項	3　目	農業振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	18,752	17,545		3,397		138	14,010

目的

経営所得安定対策により担い手農家の経営安定、米の安定供給、食料自給率・食料自給力の向上を図り、水田を最大限に有効活用できるよう、地域の特色をいかした魅力的な産地づくり等の支援を実施する。

また、新規就農者や農業関係の各種団体活動への補助金の交付を実施し、担い手の育成及び農業振興を図る。

手樽海浜公園及び農村公園3箇所の維持管理を行い、利用者の憩いの場として安全な公園環境を提供する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
経営所得安定対策等推進事業費	B	－	3.7	仙台農業協同組合等の関係機関と連携し、需要に応じた米の計画的生産と大豆・飼料用米・飼料作物の団地化や、町振興作物の作付け推進により水田の有効活用が円滑に行われるよう推進体制の整備に取り組んだ。
農業振興経費	A	3.3	3.7	次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者に対し経営を開始する上での必要経費について補助金を交付し、担い手の育成を図った。
農村環境改善センター管理運営経費	B	－	3.3	指定管理者と協議しながら、適切な管理運営がなされた。
中山間地農業ルネッサンス推進事業	A	3.3	3.7	バイオ炭を農地に施用し、収量及びｐH値等効果を検証した。 また、バイオ炭製造の副産物であるタール（木酢液）を農地へ散布し、鳥獣被害軽減効果の検証を行った。
手樽海浜公園等管理経費	B	－	3.3	手樽海浜公園及び農村公園について、適切な維持管理を行った。

実績

1　経営所得安定対策等推進事業

○事業実施主体　　松島町地域農業推進協議会

○補助額　　494,000 円

○国から農業者への交付実績

・水田活用の直接支払交付金

戦略作物助成	大豆	3 件	14,504,060 円
	飼料用米	29 件	83,399,851 円
	飼料作物（牧草）	6 件	128,000 円
産地交付金		37 件	14,649,350 円

転作実施面積	346.2 ha
一般作物	164.3 ha
大豆	37.7 ha
飼料用米	125.3 ha
飼料作物	1.3 ha
備蓄米	25.7 ha
永年作物（果樹・花木他）	6.9 ha
特例作物（野菜）	21.2 ha
自己保全管理	124.0 ha
その他	4.1 ha

対象水田：	817.4 ha
生産の目安面積換算：	469.0 ha
生産の目安割合：	57.4％
主食用水稲作付面積：	471.2 ha
主食用米作付割合：	57.6％
実施農家数：	435.0 戸

（次頁へ続く）

6　款	1　項	3　目

実績

2　農業振興対策事業補助金
○仙台農業協同組合への補助金　800,000 円
・水田計画を作成し、転作等も含めた水田農業の推進を図った。

3　新規就農者育成総合対策事業（経営開始資金）
○対象者：1名
○補助額　1,500,000 円

4　品井沼農村環境改善センター管理運営経費
○指定管理料　5,000,000 円
・利用件数：683件
・利用者数：8,212人

5　農山漁村振興交付金事業（中山間地農業ルネッサンス事業）
○バイオ炭の農地検証
・pH測定値　大きな違いなし
・収量等　大雨等による倒伏軽減
○タール（木酢液）の検証
・効果　3ヶ月未満の効果あり

6　環境保全型農業直接支払交付金
○交付対象団体：1団体　467,120 円

7　手樽海浜公園等管理経費
手樽海浜公園、古浦農村公園、上竹谷農村公園、下竹谷・北小泉農村公園の維持管理

○委託料　2,223,423 円
・手樽海浜公園他除草業務委託（年4回）　1,227,600 円
・手樽海浜公園他清掃業務委託（週1回）　605,000 円
・手樽海浜公園他遊具定期点検業務委託（年1回）　52,800 円
・手樽海浜公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）　64,783 円
・手樽海浜公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）　273,240 円

課題方向性

農業経営安定のため、実需に応じた米の生産を推進し、水田を活用した高収益作物である「ネギ、玉ねぎ、白菜、ばれいしょ」及びその他高収益作物の生産面積の拡大を図り、農業所得の向上と特色のある農産物の生産を推進していく。
また、町の農業振興として、農業従事者の高齢化に伴う離農を抑えるため、新規就農者の確保や支援を継続し、担い手の育成、後継者の育成について県やJA仙台と協力し支援体制の充実に努める。
品井沼農村環境改善センターについては、施設運営を適切に実施できるよう指定管理者と協力していく。
手樽海浜公園等については、利用者が安全安心に利用できるよう設備や遊具の点検や維持修繕を実施し維持管理に努める。

一　般　会　計

6　款	1　項	4　目	農地費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	46,833	45,891		26,551	2,800		16,540

目的

各種農業農村整備事業を実施し、基幹水利施設の更新により、湛水・冠水被害の軽減を図り、農作物の安定生産と農業経営の効率化に資する。
また、農村と農地の多面的機能の維持発揮を図り、農業振興に寄与するとともに、土地改良施設を後世まで保全する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
多面的機能支払交付金事業	B	－	3.3	各地域の6協議会によって草刈り・水路の土砂上げ等が実施され、地域環境等の保全管理が図られた。
土地改良事業費＜営農に係る経費＞	B	－	3.3	土地改良事業に係る団体の会議、研修会に参加し、地域の指導・助言を行った。
みやぎの地域資源保全活用支援事業	A	3.3	3.3	歴史旧跡や農村・農地等の地域資源の保全並びに活性化が図られた。
県営土地改良事業	B	－	3.3	県営土地改良事業により、志田谷地排水機場のポンプ設備整備工事と不来内排水機場のポンプ設備復旧工事を実施し、機能保全が図られた。
土地改良施設維持管理経費	A	3.3	4.0	土地改良施設の各管理団体により、施設の運転管理等が実施され、適切な維持管理が図られた。
農業水利施設危機管理対策事業	A	3.3	3.3	農業用ため池にネットフェンス等を設置し、ため池への転落事故防止が図られた。

実績

【多面的機能支払交付金事業】

・協議会数　6協議会
・補助金　21,762,180 円

【みやぎの地域資源保全活用支援事業】

・事業主体:根廻ふるさと保全隊
・補助金　200,000 円

【土地改良施設維持管理経費】

1　委託料
・土地改良施設維持管理業務委託　1,518,000 円

2　負担金及び補助金　6,049,754 円

・土地改良施設維持管理等負担金　4,407,754 円
　国営造成施設2箇所、排水機場14箇所　他
・土地改良施設維持管理補助金　1,642,000 円

（次頁へ続く）

6　款	1　項	4　目

実績

【農業水利施設危機管理対策事業】

・瀬戸沢１ため池他ネットフェンス設置工事　10,157,400 円
　ネットフェンス設置工　N=7箇所、L=510.0m
・六合沢１ため池他ネットフェンス設置工事　2,123,000 円
　ネットフェンス設置工　N=2箇所、L=101.0m
・農業用ため池安全施設設置工事　724,900 円
　安全施設設置工　N=12箇所
　小型救命浮かん設置工　N=10箇所

【県営土地改良事業 】

水利施設整備事業負担金

・県営湛水防除事業負担金（志田谷地地区）　1,462,000 円
　負担割合　関係市町負担7.49%（うち松島町分4.18%）
　事 業 費　467,112,000 円
　事業内容　1号・2号ポンプ設備整備工事

・県営災害復旧事業負担金（不来内排水機場）　43,000 円
　負担割合　関係市町負担3.79%（うち松島町分1.6%）
　事 業 費　71,815,830 円
　事業内容　ポンプ設備復旧工事

【北小泉地区農村環境整備事業 】

・北小泉地区農村環境整備工事　979,000 円
　板石ベンチ設置工　N=4箇所
　散策路整備　A=72㎡

課題方向性

多面的機能の維持活動のため、農道等の草刈りや補修等、農家と地域が連携して農村環境の保全を図り、今後も継続して6協議会への支援を行う。
県営土地改良事業については、宮城県や関係市町と連携しながら事業の完了を目指す。

一　般　会　計

6　款	1　項	5　目	園芸振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,782	1,633				31	1,602

目的

本町で開催する地産地消イベントへの支援等を行い、町内の生産者と消費者の交流を深めながら、地産地消の推進を図り、地域産業の活性化に寄与していく。さらに町花である石斛の再生を目指し、培養事業を支援していく。また、農村婦人の家の適切な施設維持管理を引き続き行っていく。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
園芸振興経費	A	3.3	3.0	松島町地産地消実行委員会が実施する「まつの市」及び「まつしま産業まつり」においては、集客に繋がるイベントの企画・運営を行い、昨年度を上回る来場者となり、本町の地産地消の推進が図られた。
農村婦人の家等維持管理経費	B	－	3.0	適切な施設維持管理を行うことができた。

実績

【園芸振興関係経費】

1　松島町地産地消実行委員会への補助金　700,000 円

・実施イベント

イベント名	開催日	会場	来場者数
第1回まつの市	6月30日	松島町文化観光交流館駐車場	500人
第2回まつの市	9月29日	石田沢防災センター駐車場 (松島・利府地区商業まつり同時開催)	2,500人
第3回まつの市	11月30日	石田沢防災センター駐車場	300人
まつしま産業まつり	10月27日	松島町文化観光交流館駐車場 (文化観光交流まつり同時開催)	4,200人
計			7,500人

・滑川まつり出店

11月3日に埼玉県滑川町で開催された「滑川まつり」において、松島産カキを始めとする海産物の他、松島ブランド認定品等を販売し、関東圏へ向け本町の地場産品のPRを実施した。

2　松島・夢・農業農村活性化推進協議会への補助金　500,000 円

町花「石斛」の再生を目指し、培養作業を再開した。

培養作業　47日間　延べ92人

【農村婦人の家等維持管理経費】

・利用実績　みそづくり　5件

課題方向性

地産地消の推進を図るため、これまで以上に関係機関との連携を深め、地産地消イベントの開催、地産地消推進へ向け来場者の増加に繋がる検討を進めていく。

町花「石斛」については、培養作業を再開し今後も町花の再生に向けて支援を継続していく。

また、農村婦人の家については、引き続き加工施設として適切な維持管理に努める。

一　般　会　計

6　款	1　項	6　目	畜産振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	105	103					103

目的

稲作と畜産の複合経営推進と優良仔牛の生産のため、引き続き畜産団体への支援を図る。
また、家畜伝染病への対策として関係機関との連携を図りながら情報収集を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
畜産業振興経費	A	3.3	3.3	本町の畜産農家は稲作との複業経営が主であり、経営推進のための支援を実施するとともに、家畜伝染の発生予防を図った。

実績

【畜産業振興関係経費】

1　和牛生産団体育成支援事業

・事業主体　松島町和牛改良組合　12戸
・補 助 金　50,000円
・事業内容　繁殖牛の資質向上による優良仔牛の生産並びに母牛の生産率向上及び町内産優良仔牛の保留

2　令和6年度出荷実績

・仔牛出荷頭数　49 頭
・仔牛出荷額（平均）　508,332 円
・高額販売額※　去勢牛　833,800 円
　牝牛　685,300 円
※松島町和牛改良組合の組合員個人が販売した牛1頭価格の最高額

3　松島町の飼養頭羽数

畜種別／年度	繁殖牛（頭）	乳用牛（頭）	採卵鶏（千羽）
令和2年度	106	34	141
令和3年度	103	33	115
令和4年度	105	38	0
令和5年度	95	40	0
令和6年度	80	42	101

課題方向性

近年、仔牛出荷額が下落及び飼料等の価格高騰により、畜産団体をとりまく環境が変化していることから、引き続き関係機関と連携を図りながら畜産団体を支援していく。
また、新たに養鶏場が開業したことから、関係機関と連携を強化し、家畜伝染病の予防に努める。

一　般　会　計

6　款	2　項	2　目	林業振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	51,611	49,708		20,038		15,975	13,695

目的

特別名勝松島の景観保全のため、松くい虫被害の拡大防止に努め、林業関係団体事業の支援と緑化推進を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
松くい虫防除事業	A	4.0	4.0	地域の松林等を守るために、薬剤の空中散布や地上散布、樹幹注入を実施し、併せて被害木の伐倒駆除などを行い、松くい虫被害の拡大防止が図られた。
林業振興経費	B	－	4.0	民有林の林業振興・担い手育成並びに特用林産の振興に寄与した。また、松島町緑化推進委員会を支援し、地域や町内小中学校の緑化活動や、町内小学生へ森林体験教室を通して緑化推進が図られた。

実績

【松くい虫防除事業】

1　特別防除事業（空中散布）

区　　分	実施面積（ha）	事業費（円）	主な実施箇所
宮城県分	40.19	3,090,324	雁金森・湯ノ原 白坂山・三十刈
松島町分	38.38	2,951,148	
全　　体	78.57	6,041,472	

事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注

2　地上散布事業

区　　分	実施面積（ha）	事業費（円）	主な実施箇所
宮城県分	5.41	523,786	大沢平・雁金森・銭神 西ノ浜・長松園
松島町分	11.2	1,084,364	
全　　体	16.61	1,608,150	

事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注

3　伐倒駆除事業（上段：R5実績・下段：R6実績）

区　分	被害本数（本）	材積（㎥）	事業費（円）
補助対象	576	532.199	20,773,334
	649	476.916	19,717,677
対象外	83	85.621	2,861,122
	71	64.674	3,088,381
計	659	617.820	23,634,456
	720	541.590	22,806,058

4　樹幹注入事業

実施本数（本）	事業費（円）	主な実施箇所
180	2,387,000	松島字犬田、雄島地内

5　松くい虫被害木調査業務委託　　913,000 円

6　ナラ枯れ被害駆除事業

実施本数（本）	材積（㎥）	事業費（円）	主な実施箇所
65	40.38	1,793,000	松島字桜岡入、手樽字銭神他地内

（次頁へ続く）

6　款	2　項	2　目

実績

【林業振興経費】

1　林業振興事業

○ 長松園等生活環境保全林施設管理及び道刈業務委託　2,420,000 円
・ 刈払面積：54,220㎡

2　林業団体活動育成事業補助

No.	団　体　名　等	補助額
1	広域森林組合運営推進事業補助	200,000 円
2	松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助	100,000 円

主な事業内容
・ 林業振興・林業諸施策等の情報提供及び林業後継者の育成・組織強化への支援
・ 町内の地域緑化活動、みどりの少年団活動への支援

3　森林環境譲与税事業

○ 森林機能回復事業業務委託　1,210,000 円
松島字雁金森周辺に抵抗性松を植樹した箇所周辺の下刈を実施

○ 松くい虫被害木除去業務委託　7,384,300 円

○ 宮城県森林クラウドシステム共同利用設定業務委託　981,200 円

課題方向性

松くい虫防除事業として、薬剤散布や伐倒駆除、松林保全のための樹幹注入、これまで植樹した抵抗性松の下刈り等保育事業を実施し、引き続き特別名勝「松島」の景観を守っていく。
また、地域緑化活動やみどりの少年団活動への継続支援や、町内小学5年生を対象とした森林体験や木工教室などの木に触れる機会を引き続き提供していく。

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（被害発生状況）

1，年度別松くい虫被害発生状況

令和7年3月末現在　（単位：m³）

年度 / 市町	昭和 58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	7	8
塩竈市	18	11	30	41	41	65	249	923	281	456	561	313	1,719	2,644
多賀城市	－	－	－	－	4	－	－	－	1	16	27	15	50	13
松島町	6	21	25	57	45	45	61	277	415	249	923	602	1,189	1,198
七ヶ浜町	7	10	11	4	19	9	63	188	158	207	306	469	362	760
利府町	6	11	3	18	13	24	7	22	23	35	19	169	370	524
東松島市（旧鳴瀬町）	107	277	846	765	1,058	1,560	1,315	1,699	1,952	2,203	1,865	2,502	3,115	3,108
特別名勝計（A）	144	330	915	885	1,180	1,703	1,695	3,109	2,830	3,166	3,701	4,070	6,805	8,247
県全体　（B）	5,826	7,797	12,841	14,060	14,324	13,952	13,756	18,552	18,255	18,402	17,651	21,185	27,731	28,986
（A）／（B）（%）	2.5%	4.2%	7.1%	6.3%	8.2%	12.2%	12.3%	16.8%	15.5%	17.2%	21.0%	19.2%	24.5%	28.5%

年度 / 市町	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
塩竈市	1,473	1,235	900	688	316	1,298	574	364	293	325	364	198	120	206
多賀城市	10	－	34	－	－	－	－	15	9	3	－	－	－	－
松島町	1,178	628	622	637	827	887	737	734	959	643	779	577	457	506
七ヶ浜町	1,863	1,060	1,351	389	1,048	907	1,276	654	429	630	256	161	125	134
利府町	1,414	896	871	651	459	734	1,037	1,198	773	1,111	672	597	260	308
東松島市（旧鳴瀬町）	3,819	4,173	5,300	2,595	1,884	1,682	1,982	1,607	2,250	1,715	1,705	1,681	1,751	2,041
特別名勝計（A）	9,757	7,992	9,078	4,960	4,534	5,508	5,606	4,572	4,713	4,427	3,776	3,214	2,713	3,195
県全体　（B）	28,353	26,195	26,287	20,465	21,562	23,447	23,455	23,132	19,253	18,428	17,445	14,213	13,742	13,742
（A）／（B）（%）	34.4%	30.5%	34.5%	24.2%	21.0%	23.5%	23.9%	19.8%	24.5%	24.0%	21.6%	22.6%	19.7%	23.2%

年度 / 市町	平成 23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6
塩竈市	261	617	708	223	518	629	442	393	178	86	170	168	223	633
多賀城市	－	－	1	－	－	2	－	4	－	－	－	－	－	－
松島町	312	655	933	1,658	3,192	2,416	2,271	1,632	1,433	1,201	797	920	750	728
七ヶ浜町	157	349	2,167	987	1,249	105	821	594	612	653	267	819	674	123
利府町	40	649	731	1,069	1,513	1,204	907	1,141	622	533	409	366	412	461
東松島市	1,014	3,357	3,665	3,503	2,884	1,786	3,109	2,386	1,944	1,511	1,297	1,779	1,148	1,496
特別名勝計（A）	1,784	5,627	8,205	7,440	9,356	6,142	7,550	6,150	4,789	3,984	2,940	4,052	3,208	3,441
県全体　（B）	11,160	15,401	17,335	15,208	16,523	13,700	14,935	13,215	9,612	10,151	9,305	9,111	8,493	8,280
（A）／（B）（%）	16.0%	36.5%	47.3%	48.9%	56.6%	44.8%	50.6%	46.5%	49.8%	39.2%	31.6%	31.6%	37.8%	41.6%

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：空中散布）

２－１，年度別松くい虫防除事業実施状況（空中散布）

（単位：ha）

	年度 / 市町	昭和 58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	7	8
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	113	150	150	150	160	160	160	160	160	100	90	90	90	90
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	33	33	33	156	156	188	189	189	182	96	75	75	73	73
	特別名勝計(D)	146	183	183	306	316	348	349	349	342	196	165	165	163	163
	県全体　(E)	327	391	424	577	622	636	654	647	625	402	312	312	310	344
	(D)／(E)　(%)	44.6%	46.8%	43.2%	53.0%	50.8%	54.7%	53.4%	53.9%	54.7%	48.8%	52.9%	52.9%	52.6%	47.4%

	年度 / 市町	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	90	90	90	90	90	90	90	98	98	98	98	98	98	98
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市（旧鳴瀬町）	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	67	67	67	67
	特別名勝計(D)	163	163	163	163	163	163	163	171	171	171	165	165	165	165
	県全体　(E)	459	388	386	418	417	415	415	434	392	392	386	386	386	386
	(D)／(E)　(%)	35.5%	42.0%	42.2%	39.0%	39.1%	39.3%	39.3%	39.4%	43.6%	43.6%	42.7%	42.7%	42.7%	42.7%

	年度 / 市町	平成 23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6
空中散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	－	－	98	98	98	98	98	98	95	95	93	93	80	79
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東松島市	－	－	67	61	58	58	57	57	57	80	80	79	79	79
	特別名勝計(D)	－	－	165	159	156	156	155	155	151	174	173	172	159	158
	県全体　(E)	－	－	386	379	377	377	376	376	370	392	388	387	374	373
	(D)／(E)　(%)	－	－	42.7%	42.0%	41.4%	41.4%	41.2%	41.2%	40.8%	44.4%	44.6%	44.4%	42.5%	42.3%

※H23,24は東日本大震災の影響のため実施せず

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：地上散布）

２－２，年度別松くい虫防除事業実施状況（地上散布）

（単位：ha）

	年度 / 市町	昭和 58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	7	8
地上散布	塩竈市	－	－	－	－	－	－	－	6	6	6	6	6	6	6
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	80	90	90	90	75	73	73	73	73	74	74	74	74	74
	七ヶ浜町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	40
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	11
	東松島市（旧鳴瀬町）	－	－	－	－	－	10	15	15	17	17	17	17	17	17
	特別名勝計(D)	80	90	90	90	75	83	88	94	96	97	97	97	97	148
	県全体 (E)	93	103	115	120	138	192	196	203	207	240	243	279	323	412
	(D)／(E) (%)	86.0%	87.4%	78.3%	75.0%	54.3%	43.2%	44.9%	46.3%	46.4%	40.4%	39.9%	34.8%	30.0%	35.9%

	年度 / 市町	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
地上散布	塩竈市	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	91	91	91	90	94	62	62	62	62	62	61	66	65	65
	七ヶ浜町	40	40	61	50	45	45	50	50	50	51	50	50	50	50
	利府町	11	14	15	15	13	8	8	8	8	9	8	8	8	8
	東松島市（旧鳴瀬町）	17	17	37	37	37	37	37	26	37	67	68	67	67	67
	特別名勝計(D)	181	184	226	214	211	174	179	168	179	211	209	213	212	212
	県全体 (E)	477	452	540	478	487	487	490	524	430	593	547	580	577	586
	(D)／(E) (%)	37.9%	40.7%	41.9%	44.8%	43.3%	35.7%	36.5%	32.1%	41.6%	35.6%	38.2%	36.7%	36.7%	36.2%

	年度 / 市町	平成 23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6
地上散布	塩竈市	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	43	65	65	64	64	61	61	52	47	40	36	29	26	17
	七ヶ浜町	－	28	36	36	35	33	25	25	25	25	25	25	25	25
	利府町	－	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	5	5	4
	東松島市	－	8	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3
	特別名勝計(D)	62	126	128	127	126	121	113	104	99	92	88	78	75	68
	県全体 (E)	106	200	227	223	221	211	183	178	157	143	139	89	86	94
	(D)／(E) (%)	58.5%	63.0%	56.4%	57.0%	57.0%	57.3%	61.7%	58.4%	63.1%	64.3%	63.3%	87.6%	87.2%	72.3%

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策（防除事業実施状況：樹幹注入）

２－３，年度別松くい虫防除事業実施状況（樹幹注入）

（単位：本）

	年度 / 市町	昭和 58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4	5	6	7	8
樹幹注入	塩竈市	－	－	－	－	－	25	20	90	66	139	69	90	69	154
	多賀城市	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	松島町	－	746	1,367	1,198	738	585	738	708	738	725	833	793	838	793
	七ヶ浜町	－	－	21	－	21	21	20	22	23	21	22	25	25	68
	利府町	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	21	58
	東松島市（旧鳴瀬町）	－	－	－	－	－	－	－	－	53	47	112	422	440	780
	特別名勝計(D)	－	746	1,388	1,198	759	631	778	820	880	932	1,036	1,330	1,393	1,853
	県全体 (E)	－	746	1,794	1,649	1,266	1,178	1,412	1,611	1,702	1,951	3,213	3,463	3,629	4,130
	(D)／(E) (%)	－	100.0%	77.4%	72.7%	60.0%	53.6%	55.1%	50.9%	51.7%	47.8%	32.2%	38.4%	38.4%	44.9%

	年度 / 市町	平成 9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
樹幹注入	塩竈市	776	848	1,097	832	841	900	799	845	－	809	797	466	258	845
	多賀城市	－	－	60	34	76	28	41	25	34	44	－	66	69	－
	松島町	838	887	819	419	588	661	430	－	691	722	363	253	696	558
	七ヶ浜町	105	114	243	466	81	269	442	－	68	256	306	96	68	203
	利府町	60	101	115	177	140	111	140	－	120	111	117	－	133	93
	東松島市（旧鳴瀬町）	702	613	366	－	596	394	453	－	325	587	364	94	673	455
	特別名勝計(D)	2,481	2,563	2,700	1,928	2,322	2,363	2,305	870	1,238	2,529	1,947	975	1,897	2,154
	県全体 (E)	4,845	4,787	4,480	3,392	4,318	4,337	4,456	3,333	3,293	5,020	2,818	2,914	3,773	4,067
	(D)／(E) (%)	51.2%	53.5%	60.3%	56.8%	53.8%	54.5%	51.7%	26.1%	37.6%	50.4%	69.1%	33.5%	50.3%	53.0%

	年度 / 市町	平成 23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6
樹幹注入	塩竈市	248	170	177	－	－	1,945	52	846	151	155	－	70	551	136
	多賀城市	73	43	70	44	68	29	51	80	37	28	29	24	－	－
	松島町	105	31	－	－	551	1,258	1,793	705	744	62	657	792	649	1,527
	七ヶ浜町	－	292	－	－	－	891	195	114	－	－	51	－	459	－
	利府町	93	115	－	－	134	432	－	－	819	1,178	200	557	20	347
	東松島市	566	108	65	－	－	183	477	152	29	－	－	－	264	239
	特別名勝計(D)	1,085	759	312	44	753	4,738	2,568	1,897	1,780	1,423	937	1,443	1,943	2,249
	県全体 (E)	2,274	1,846	2,495	1,856	2,070	6,269	4,976	4,519	3,310	2,311	2,221	2,660	2,911	2,836
	(D)／(E) (%)	47.7%	41.1%	12.5%	2.4%	36.4%	75.6%	51.6%	42.0%	53.8%	61.6%	42.2%	54.2%	66.7%	79.3%

一　般　会　計

6　款	3　項	2　目	水産業振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,616	3,557					3,557

目的　カキ・アサリ等の浅海養殖漁業の振興を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
水産業振興経費	A	3.3	3.3	高水温による生育不良等の影響等により生産経営が厳しい状況ではあったが、安心安全なカキが供給できるよう支援を継続できた。また、アサリ漁場についても資源の回復を図るなど水産振興に寄与できた。

実績

【水産業振興経費】

1　宮城県漁業協同組合松島支所への補助金

(1)　水産振興事業補助金　3,000,000 円

①　カキ衛生対策支援

・目的…　生食用カキ出荷に求められる衛生対策、検査体制の強化。

・状況…　夏場の記録的な猛暑やシロボヤ付着の影響により、例年になく厳しい生産経営となった。

・効果…　上記のような厳しい状況下において生産は落ち込んだが、処理施設を停止することなく安心安全なカキを供給できるよう、施設の衛生管理や各種検査を徹底した。

②　アサリ稚貝撒布支援・サキグロタマツメタ貝駆除支援

・目的…　混獲されるアサリ稚貝購入による再放流、自然増殖の増加及びサキグロタマツメタ貝の駆除による漁場整備。

・状況…　磯崎、名籠、古浦地区で採取時に混獲されるアサリ稚貝購入により、再放流し増殖を図った。また、サキグロタマツメタ貝の成貝又は卵塊の駆除を実施しアサリ資源の保全を図った。

・効果…　稚貝撒布や漁場環境の整備等により、徐々にではあるが資源が回復傾向に向かっている。

(2)　松島産カキPR事業補助金　300,000 円

・目的…　イベントにおけるカキの無料試食を実施し、松島産カキの魅力をPRし、消費拡大を図った。

・状況…　「まつしま産業まつり」や「まつの市」において無料試食を実施し、松島産カキのPRに努めた。
※「大漁かきまつりin磯島」はシロボヤの影響により中止。

・効果…　松島産カキの魅力を発信することにより、消費拡大を図った。

2　宮城県漁業協同組合松島支所青年研究会への補助金

漁業後継者育成支援事業補助金　50,000 円

・目的…　漁業後継者育成のための新たな養殖方法への取組等。

・状況…　従来の垂下式による養殖に加え、石巻湾や牡鹿半島周辺で実施されている延縄式による養殖を実施するための漁場の見極め等を継続して実施。

・効果…　新たな養殖方法の研究や、青年研究会によるイベントへ出店するなど、今後の後継者育成のため事業を実施した。

課題方向性

近年の厳しい気象状況や、シロボヤ等の影響によるカキの斃死、生育不良など水産業をとりまく環境が悪化しているが、生産者と関係機関の連携を図りながら、更なる水産振興を図っていく。

また、安心安全な松島産カキをPRするために町内イベントの他、県外イベントへの出店など引き続きPRに努めていく。

令和6年度　カキ水揚げ高調べ

（資料:宮城県漁業協同組合松島支所）

令和6年9月～令和7年3月

地区 / 月	磯　崎		名　込		古　浦		合　計	
	数量(kg)	金額(円)	数量(kg)	金額(円)	数量(kg)	金額(円)	数量(kg)	金額(円)
9月	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
10月	285.7	1,004,642	60.0	208,160	0.0	0	345.7	1,212,802
11月	1,034.5	2,780,815	420.0	893,860	20.0	25,000	1,474.5	3,699,675
12月	520.3	792,361	290.0	421,240	0.0	0	810.3	1,213,601
1月	627.6	1,019,690	340.0	621,980	60.0	64,940	1,027.6	1,706,610
2月	334.4	405,973	610.0	701,310	740.0	694,630	1,684.4	1,801,913
3月	90.0	87,690	1,080.0	1,092,120	130.0	137,810	1,300.0	1,317,620
計	2,892.5	6,091,171	2,800.0	3,938,670	950.0	922,380	6,642.5	10,952,221
kg当たり単価		2,105		1,406		970		1,648

一　般　会　計

6　款	3　項	3　目	漁港管理費
担当部署名	建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,200	13,886			10,800	148	2,938

目的

漁港施設の機能を適切に維持管理することにより、漁港施設の機能保全と水産物の安全供給、水産業の健全な発展を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
漁港施設機能保全事業	A	4.0	3.7	県営の磯崎漁港において、宮城県が実施する水産物供給基盤機能保全事業として、北防波堤の防食工を実施し、事業の進捗が図られた。

実績

【漁港施設機能保全事業】

1　負担金　12,000,000 円

・県営磯崎漁港機能保全事業負担金　12,000,000 円
（町負担割合　15%）
事 業 費　80,000,000円
事業内容　北防波堤防食工事 L=84m

課題方向性

漁港施設機能保全事業については、水産物供給基盤機能保全事業計画に基づき、磯崎漁港の北防波堤、東防波堤、西防波堤及び物揚場の防食工事を引き続き実施していく。

一　般　会　計

7　款	1　項	2　目	商工業振興費
担当部署名	産業観光課産業振興班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	56,244	56,213				43,000	13,213

目的

商工業振興と商工業者の経営安定等を図るため、商工団体と連携し適正な育成と指導を行うとともに、消費者保護と消費生活トラブル防止を図るため、相談や啓発活動を実施する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
商工業振興経費	A	3.3	3.3	利府松島商工会と連携し、物価高騰等の影響を受けている中小企業・小規模企業者の経営支援を行い、金融機関と連携した町制度融資のあっせんも迅速に対応することができた。
消費者生活相談員設置事業費	A	3.0	3.0	よせられた消費生活相談については、関係機関と協力しながら適切に対応した。

実績

【商工業振興経費】

1　利府松島商工会への補助金

(1)　地域総合振興事業　6,000,000円

・利府松島商工会　会員数(松島地区)

業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	その他	計
会員数	23	74	12	79	153	13	354

(2)　松島ブランド推進事業　500,000円

・令和6年度新規認定品…1品(特産品部門)

(3)　販路拡大支援事業　200,000円

・DXの実現による業務改善、販路開拓セミナー　参加者　6名
・ITを活用した業務改善、販路開拓塾の開催　参加者　7名（延べ19名）
・業務改善、事業収益向上にかかる個別相談会　参加者　2名（延べ 4名）

(4)　創業支援事業　200,000円

・「創業・第二創業塾」（全8回開催）　参加者数11名（うち修了者数10名）

2　中小企業振興資金融資預託金　42,000,000円

・融資利用状況(令和7年3月末現在)
事業者数…52件、融資残額…196,080,000円

3　保証料補給金　5,379,705円

・保証料補給件数…28件(新規融資25件、条件変更3件)

4　宮城黒川地域地場産業振興協議会負担金　65,880円

5　創業者支援事業補助金　1,800,000円

・交付件数…2件

【消費者生活相談員設置事業費】

・相談件数…19件(送りつけ商法・インターネット関連トラブル等)
・啓発活動…啓発品送付(成人式記念品に同封)

課題方向性

事業者のニーズが多様化する中、利府松島商工会や金融機関等との連携強化に努める。消費生活相談については、窓口設置や啓発活動を継続し、消費者保護と消費者トラブルの未然防止に努めていく。

一　般　会　計

7　款	1　項	3　目	観光費
担当部署名	産業観光課観光班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	60,478	58,860				9,274	49,586

目的	松島観光の復興とともに、観光客の来訪を促進するため、積極的な情報提供や宣伝活動を行う。 また、観光客の安全・安心と利便性を確保するため、観光施設等の整備・維持管理を行う。

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	観光行政費	A	3.7	3.3	松島を拠点とする広域周遊を見据えた「滞在型観光」を促進するパンフレットを作成し、宿泊客の誘客に努めた。 交流事業としては、県内外の観光キャンペーンやイベントに出展し、町のPRを行った。
	国際交流関係経費	A	3.0	3.0	世界で最も美しい湾クラブ事業として、世界海洋デーにあわせ海岸の清掃活動を行い、松島湾の取組みを各国に向けて発信した。 インバウンドについては、高付加価値の体験事業などの商品造成に向けて宮城県や関係部署と情報共有や打合せを行った他、台北で開催された「宮城県教育旅行説明会」に参加し、町のPRを行った。
	施設維持管理経費	B	－	3.7	観光施設及び駐車場、公衆トイレ等の維持管理について、適切な方法で実施し、観光客が安全で快適に利用できる環境整備に努めた。 また、維持管理業務を委託することにより、効率化を図った。

実績

【観光客等年別入込数】

- 観光客等年別入込数(令和6年1月～令和6年12月)　3,130,122 人（前年　2,952,712 人）
- 観光客等年別宿泊数(令和6年1月～令和6年12月)　458,873 人（前年　503,342 人）
- 主要観光イベント入込数　別頁（124頁）のとおり
- 観光案内所外国人観光客利用者実績　28,055 人（前年　23,917 人）

【観光行政費】

1　松島町観光審議会の開催
- 第1回　日程　令和6年12月26日
  内容　・松島町観光振興計画の進捗管理について
  ・令和6年度取組状況等について
  ・令和7年度の取組について
- 第2回　日程　令和7年3月27日
  内容　・令和7年度当初予算等について
  ・双観荘について
  ・インバウンド向け事業について

2　「日本三景の日」記念事業
日程　令和6年7月21日
場所　京都府宮津市
内容　日本三景のPR

（次頁へ続く）

3　松島ファンクラブ事業
・協力店　29店舗
・ホームページ閲覧数 特典一覧ページ（令和7年3月31日時点）　9,613件
（前年度＋839件）

4　松島湾アマモ再生事業「松島湾SDGs（探そう　誰もが　Go!!する社会）」
・「橋の日」記念イベント（アマモ生育環境整備）
日程　令和6年8月3日
場所　福浦橋
参加者 一般参加者　約1,500人

・「文化の日」記念イベント（アマモ生育環境整備）
日程　令和6年11月3日
場所　福浦橋
参加者 一般参加者　約1,500人

5　JR東日本「TRAIN SUITE　四季島」おもてなし
日程　令和6年12月5日～令和7年3月20日（全10回）
場所　JR松島駅構内

6　第70回松島芭蕉祭並びに全国俳句大会
日程　令和6年11月10日
場所　瑞巌寺本堂、松島町文化観光交流館
参加者 156人（2,091句）

7　仙石線松島海岸駅観光案内業務委託　2,534,400 円
内容　観光案内業務他
場所　JR仙石線松島海岸駅

実績

8　滞在型観光推進パンフレット制作事業　3,308,800 円
内容　滞在型観光推進パンフレットの作成及びWeb掲載
部数　30,000部
情報発信業務　パンフレット記事Web掲載

【国際交流関係経費】

1　世界で最も美しい湾事業
・世界一斉清掃プロジェクト
日程　令和6年6月5日
場所　手樽海浜公園
参加者数 18人

2　宮城県教育旅行説明会への参加
日程　令和7年3月25日～27日
場所　台北市（台北市立大安高級工業職業高校）

（次頁へ続く）

7　款	1　項	3　目

実績

【施設維持管理経費】

1　観光施設清掃業務委託　4,995,852 円
　内容　観光施設公衆便所清掃他
　場所　西行戻しの松公園公衆便所、富山観音公衆便所、
　　西行戻しの松公園防災器具庫脇公衆便所、三十刈駐車場公衆便所、
　　双観山公衆便所、松島パノラマハウス

2　観光施設除草業務委託　4,392,300 円
　内容　除草・集草・側溝清掃他
　場所　国際交流村、双観山、新富山、西行戻しの松公園

3　観光施設樹木剪定等業務委託　2,714,360 円
　内容　樹木剪定・枯枝撤去他
　場所　国際交流村、双観山、新富山、白衣観音周辺、はす池広場

4　観光施設日常清掃業務委託　2,794,000 円
　内容　観光施設清掃他
　場所　三十刈駐車場、西行戻しの松公園、国際交流村、白衣観音周辺、
　　新富山、双観山、雁金森

課題方向性

観光客入込数が新型コロナウイルス感染症の収束後初めて300万人を超えた一方、宿泊者数は前年度を下回り減少傾向にあることから、宿泊客誘致のため、県内外の関係市町や事業者等と連携を図り、松島を拠点とした広域周遊を促進する。

インバウンドについては、県の台湾訪日教育旅行誘致の強化や欧州からの誘客活動等の動きを注視し連携するとともに、交流人口の拡大を図る。

観光客年別月別入込数

年＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	年	備　考
17年	124,000	259,000	175,000	223,000	374,000	304,000	258,000	600,000	308,000	366,000	278,000	150,000	**3,419,000**	17年	東北楽天イーグルス誕生、名古屋万博「愛・地球博」
18年	120,000	240,000	173,000	211,000	395,000	303,000	279,000	816,000	313,000	366,000	342,000	153,000	**3,711,000**	18年	8月 五大堂御開帳祭典
19年	132,000	267,000	168,000	222,000	364,000	321,000	273,000	681,000	349,000	384,000	356,000	168,000	**3,685,000**	19年	3月18日：仙台空港アクセス鉄道運行開始
20年	133,000	247,000	205,000	210,000	331,000	289,000	235,000	610,000	282,000	348,000	391,000	192,000	**3,473,000**	20年	8月 松島温泉開湯、10～12月宮城デスティネーションキャンペーン
21年	138,000	246,000	203,000	216,000	379,000	295,000	280,000	719,000	380,000	343,000	381,000	155,000	**3,735,000**	21年	3月ETC1,000円割引スタート、9月シルバーウィーク、9月 瑞巌寺大改修開始
22年	137,986	216,572	183,737	192,126	337,265	287,199	281,213	714,110	302,772	341,763	385,404	188,474	**3,568,621**	22年	1～3月 天候不順、2月28日：大津波警報、7～8月 夏猛暑
23年	150,024	245,152	45,739	93,634	186,917	152,531	195,141	319,965	194,921	227,657	280,565	145,552	**2,237,798**	23年	3月11日：東日本大震災、4月7日：余震、9月 台風15号
24年	114,862	173,494	151,754	149,475	240,288	228,818	222,488	430,654	257,229	270,335	287,176	124,211	**2,650,784**	24年	8月19・20日：宮城国際ヒーローサミット
25年	120,852	189,307	173,579	187,347	290,227	258,377	235,265	446,261	259,475	272,864	360,992	186,647	**2,981,193**	25年	4～6月 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン 9月28日～10月13日：ルツェルンフェスティバルアークノヴァ松島2013
26年	140,419	170,119	179,370	181,883	284,594	253,048	218,269	434,181	273,807	280,683	365,518	149,358	**2,931,249**	26年	4月1日：消費税増税（8%） 9月20日：GLAY EXPO 2014 TOHOKU
27年	137,404	197,490	204,441	226,092	327,278	199,567	201,279	345,945	246,345	260,335	320,530	143,047	**2,809,753**	27年	3月1日：常磐自動車道全線開通、5月10日：マリンピア松島水族館営業終了 5月30日：JR仙石線全線運転再開・JR仙石東北ライン開業
28年	124,268	162,947	168,439	187,834	269,559	218,218	228,138	367,364	242,795	305,635	343,858	149,785	**2,768,840**	28年	3月26日：北海道新幹線開業、4月5日：瑞巌寺本堂再拝観開始 9月2日：ザ・ミュージアム松島開館
29年	135,376	162,751	173,411	177,345	257,875	210,339	214,368	356,531	250,260	284,240	378,292	145,997	**2,746,785**	29年	7月22日～9月10日：Reborn-Art Festival開催 9月2日：松島ファンタスティック音楽祭×Reborn-Art Festival開催
30年	129,264	173,653	181,893	193,763	272,621	300,750	233,850	387,109	282,472	328,299	400,468	170,617	**3,054,759**	30年	6月22日：国宝瑞巌寺落慶慶祝前夜祭開催、6月24日：国宝瑞巌寺落慶法要
31年 1年	137,010	181,601	190,319	221,053	316,807	239,124	234,554	399,082	266,907	259,114	371,814	164,131	**2,981,516**	31年 1年	8月3日～9月29日：Reborn-Art Festival開催 10月12日：台風19号
2年	147,773	197,429	115,921	9,957	6,708	46,128	86,997	159,264	162,208	223,674	331,578	119,535	**1,607,172**	2年	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行(4月7日：緊急事態宣言) 10月17日：宮城県松島離宮オープン
3年	35,884	29,129	69,467	39,869	74,411	63,679	111,157	132,600	91,271	168,102	264,872	158,714	**1,239,155**	3年	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行(8月27日：緊急事態宣言) 8月11日～9月26日：Reborn-Art Festiva2021-2022開催
4年	97,324	63,437	107,519	109,079	199,237	144,714	151,021	283,010	194,759	260,666	354,764	157,991	**2,123,521**	4年	3月16日：福島県沖地震発生、東北新幹線一部区間運行停止、 5月13日：完全復旧、10月28日～30日：松島町交通社会実験
5年	119,588	150,778	230,812	196,625	292,807	209,719	251,105	373,203	236,319	311,987	384,222	195,547	**2,952,712**	5年	5月8日：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）5類移行 10月14・15日松島町交通社会実験
6年	147,761	223,873	235,502	210,245	259,928	224,772	198,842	429,003	291,354	322,193	377,475	209,174	**3,130,122**	6年	7月20日～9月1日：松島離宮サマーフェスティバル(無料開放)

（過去20年分を記載）

観光客年別月別宿泊数

（単位：人）

年＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
17年	43,900	44,000	50,700	49,300	56,500	59,100	53,400	77,800	54,000	67,900	58,600	62,300	677,500
18年	47,200	43,000	48,300	45,500	56,300	58,500	56,200	80,400	56,000	66,200	60,900	57,000	675,500
19年	41,200	42,800	48,000	43,600	59,100	62,400	54,900	81,900	56,300	66,700	60,500	56,600	674,000
20年	41,100	40,700	49,700	42,600	53,900	55,500	46,700	70,500	50,000	60,100	65,600	59,500	635,900
21年	43,900	44,200	53,400	48,500	55,500	57,800	55,200	77,800	56,000	64,700	65,100	53,800	675,900
22年	46,024	46,298	51,355	48,866	50,291	55,790	55,814	78,530	58,583	65,692	67,783	64,314	689,340
23年	52,920	45,625	20,160	76,163	112,004	95,693	96,112	90,645	69,615	71,293	79,045	74,298	883,573
24年	54,141	47,519	53,988	38,062	45,862	49,791	48,300	67,930	56,037	59,760	60,032	52,867	634,289
25年	45,365	46,384	55,053	45,577	49,530	52,843	50,484	69,728	54,325	57,997	62,038	55,036	644,360
26年	47,470	42,827	53,948	42,223	48,086	50,962	48,792	63,377	49,044	57,751	58,453	55,356	618,289
27年	46,546	41,827	51,065	44,506	48,781	48,279	52,348	73,764	54,644	62,202	61,563	56,752	642,277
28年	50,178	45,779	55,307	48,836	48,407	51,041	51,221	64,660	52,888	62,426	57,760	54,828	643,331
29年	45,810	39,996	50,164	49,948	43,635	46,174	50,259	67,636	51,340	56,585	57,330	50,279	609,156
30年	43,769	42,257	51,278	43,053	47,504	51,915	43,149	62,364	51,495	56,507	55,090	51,671	600,052
31年・1年	40,633	39,006	48,477	41,905	44,838	47,644	45,317	64,063	47,142	47,869	53,754	48,997	569,645
2年	41,496	40,485	28,413	3,671	708	7,255	19,739	36,220	33,545	44,342	50,457	34,030	340,361
3年	8,628	5,341	15,088	7,245	10,984	11,312	20,037	26,690	15,333	28,466	45,086	48,180	242,390
4年	26,875	15,753	29,916	24,286	32,625	31,611	32,877	48,415	36,294	43,910	46,358	44,335	413,255
5年	31,990	31,959	49,478	35,940	39,786	36,978	41,984	56,137	42,458	47,019	47,898	41,715	503,342
6年	32,906	32,810	36,036	27,162	32,394	31,681	36,112	52,481	41,539	47,939	47,062	40,751	458,873

（過去20年分を記載）

松島町主要観光イベント入込数

（単位：人）

年度	瑞巌寺灯灯道	灯籠流し花火大会	松島流灯会 海の盆	園遊茶会	紅葉ライトアップ	芭蕉祭並びに全国俳句大会	松島かき祭り	冬のとっておき松島
17	第 9 回　63,000	110,000		第17回　3,000		第51回　275人　2,019句	第28回　115,000	7,912
18	第10回　61,000	160,000		第18回　3,500	第 1 回　15,000	第52回　250人　2,145句	第29回　120,000	10,711
19	第11回　50,000	120,000		第19回　3,000	第 2 回　22,000	第53回　250人　2,098句	第30回　100,000	11,295
20	第12回　56,500	140,000		第20回　3,500	第 3 回　32,000	第54回　250人　1,839句	第31回　100,000	10,882
21	第13回　64,000	143,000		第21回　3,500	第 4 回　39,000	第55回　250人　1,722句	第32回　73,000	14,851
22	第14回　69,100	154,000		第22回　3,000	第 5 回　52,000	第56回　300人　2,054句	第33回　95,000	8,733
23	第15回　24,800	―	第1回　58,000	―	第 6 回　33,600	第57回　280人　2,108句	第34回　67,000	3,141
24	第16回　25,900	―	第2回　42,000	―	第 7 回　43,384	第58回　250人　1,710句	第35回　52,000	―
25	第17回　16,500	―	第3回　42,500	―	第 8 回　47,926	第59回　160人　1,852句	第36回　52,500	5,046
26	第18回　10,000	―	第4回　47,000	―	第 9 回　54,065	第60回　200人　1,893句	第37回　51,500	5,047
27	―	―	第5回　28,000	―	第10回　55,005	第61回　200人　1,758句	第38回　30,000	6,196
28	―	―	第6回　42,000	―	第11回　69,546	第62回　150人　1,790句	第39回　35,000	―
29	―	―	第7回　20,000	―	第12回　76,487	第63回　160人　1,710句	第40回　36,000	―
30	―	―	第8回　33,000	―	第13回　82,696	第64回　190人　1,731句	第41回　38,000	―
31・1	―	―	第9回　33,000	―	第14回　62,050	第65回　200人　1,731句	第42回　43,000	―
2	―	―	―	―	―	第66回　―　1,536句	―	―
3	―	―	―	―	松島 ライトアップ　3,169	第67回　190人　1,820句	―	―
4	―	―	第10回　30,000	―	瑞巌寺・円通院 ライトアップ　70,000	第68回　110人　1,701句	第45回　20,000	―
5	―	―	第11回　35,000	―	瑞巌寺・円通院他 ライトアップ　76,000	第69回　130人　1,935句	第46回　40,000	―
6	―	―	第12回　45,000	―	瑞巌寺・円通院他 ライトアップ　62,499	第70回　156人　2,091句	第47回　25,000	―

（過去20年分を記載）

年度別観光案内所外国人観光客利用者実績

（単位：人）

年度 国名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
アメリカ	1,078	848	1,098	879	838	875	276	524	643	609	712	770	1,713	2,333	2,803	260	146	603	1,125	903
台湾	976	1,149	1,270	1,201	1,081	1,525	248	876	1,139	1,695	2,491	4,074	33,815	32,304	51,158	21	22	1,043	17,379	22,207
フランス	354	373	493	671	557	627	65	152	204	232	293	317	223	425	431	37	29	56	269	274
シンガポール	127	184	264	301	406	613	52	101	93	116	143	149	225	137	217	2	0	71	221	133
ドイツ	243	326	311	397	395	442	61	105	202	216	268	306	274	331	403	13	2	81	271	292
韓国	665	598	752	581	597	750	80	260	223	166	219	288	328	617	397	6	7	43	157	270
イギリス	266	245	324	337	227	239	78	112	167	255	186	291	201	244	322	26	17	74	171	209
香港	966	1,135	2,497	1,674	1,505	1,936	87	260	242	485	389	478	418	571	567	0	0	198	716	348
中国	457	271	463	499	402	646	260	605	688	908	1,886	2,206	1,042	983	1,173	91	60	114	646	647
オーストラリア	240	289	373	514	378	478	39	188	158	308	291	397	399	688	1,029	17	7	241	998	1,032
カナダ	195	144	177	211	185	217	41	78	103	98	124	136	135	138	217	6	29	26	111	106
スイス	82	51	88	125	148	154	7	51	78	64	87	105	62	71	142	0	0	6	43	63
スペイン	94	288	171	272	308	320	29	67	80	109	131	143	118	133	140	9	2	14	57	103
ブラジル	34	23	28	44	17	42	13	33	16	71	27	32	62	21	91	8	4	2	54	25
アフリカ諸国	20	6	20	19	0	0	0	0	1	21	26	41	27	50	36	6	1	9	19	16
イスラエル	30	75	55	55	53	83	16	4	44	45	46	82	146	118	186	1	0	54	74	138
タイ	107	207	472	637	779	899	94	406	936	780	603	780	1,602	1,413	5,366	18	2	305	367	233
ロシア	52	58	53	30	61	57	18	51	40	47	39	52	80	56	116	17	1	18	24	22
ポーランド	14	39	45	48	42	119	14	21	64	28	60	49	26	34	40	4	4	3	25	12
フィリピン	47	19	23	31	25	20	3	20	29	57	44	61	39	63	74	33	18	61	33	40
スウェーデン	34	36	49	41	50	24	12	38	22	26	20	38	14	25	64	3	1	19	14	9
インド	80	86	125	133	72	73	33	61	57	93	88	125	106	84	115	103	32	115	145	82
マレーシア	38	35	32	85	49	125	35	52	71	99	88	99	114	79	399	2	6	98	163	46
イタリア	34	86	95	98	167	161	7	23	29	55	84	125	56	53	107	9	7	16	56	53
その他	2,515	3,708	630	528	646	709	185	458	564	592	537	614	630	1,041	1,262	168	115	271	779	792
人　数	8,748	10,279	9,908	9,411	8,988	11,134	1,753	4,546	5,893	7,175	8,882	11,758	41,855	42,012	66,855	860	512	3,541	23,917	28,055
国　数	71	76	79	79	84	87	66	74	78	90	69	79	76	92	85	49	38	56	69	71

※平成28年度まで松島海岸駅前観光案内所外国人利用者実績
※平成29年度から松島観光協会観光案内所外国人利用者実績
※年度ごとのの数値

一　般　会　計

7　款	1　項	4　目	文化観光交流館費
担当部署名	中央公民館		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,949	23,937					23,937

目的

町の文化創造の拠点として、質の高い舞台芸術や音楽文化鑑賞などの学習機会を提供し、生涯学習の推進と芸術文化の裾野拡大を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
文化観光交流館施設維持管理経費	A	3.3	3.0	指定管理者による貸館業務や主催事業の「アトレ・るまつり」、自主事業の各種教室が行われ、利用者数は回復してきている。
文化観光交流館運営経費	A	3.3	3.0	文化観光交流館施設の維持管理等を行い、指定管理者と共に利用者が安心・安全に施設を利用できるように努めた。

実績

【文化観光交流館施設維持管理経費】　23,936,639円

1　文化観光交流館指定管理
- 指定管理料　21,949,000円（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
- 指定管理期間　令和2年10月1日～令和7年9月30日（5年間）
- 指定管理者　株式会社BBI花座

2　指定管理者主催事業

（単位：人）

名　称	内　容	実施日	来館者数
アトレ・るまつり	センダイガールズプロレスリングによるタッグマッチを開催した。また、フリーマーケット、キッチンカー、古本市、ハンドメイド小物等の販売を行った。	5月12日	1,800
Botanicalキャンドルランタン WORKSHOP	溶かしたロウにドライフラワーで装飾し、オリジナルのキャンドルランタンを作成した。	6月30日	12
焼き物人形教室 ～うさぎの餅つきセット～	ペアのうさぎとお月見団子などを手作りした。	7月7日	10
春風亭一之輔師弟落語会	「笑点」メンバーの一之輔氏と仙台市出身の若手落語家春風亭与いち氏の師弟が共演した。	7月30日	405
MACRAME Workshop	マクラメ編みでミニバックを作成した。	9月16日	9
わくわく楽しい食品サンプル体験教室	たこ焼きマグネットとくまさんマカロンパフェメモスタンドのいずれかを作成した。	3月20日	14

（次頁へ続く）

7　款	1　項	4　目

実績

3　利用状況

単位：人　　括弧内は申請件数（単位：件）

	一般	町外	社教	役場	教室	計
4月	297 (26)	271 (19)	119 (12)	199 (14)	374 (42)	1,260 (113)
5月	2,317 (88)	314 (29)	235 (20)	251 (24)	355 (42)	3,472 (203)
6月	599 (61)	1,194 (65)	225 (16)	1,621 (88)	313 (39)	3,952 (269)
7月	695 (85)	955 (94)	526 (31)	396 (44)	298 (37)	2,870 (291)
8月	612 (57)	861 (58)	48 (6)	500 (75)	330 (43)	2,351 (239)
9月	336 (37)	731 (50)	113 (8)	199 (40)	280 (37)	1,659 (172)
10月	333 (27)	263 (14)	422 (49)	3,514 (242)	345 (43)	4,877 (375)
11月	316 (29)	2,238 (289)	137 (13)	489 (100)	293 (33)	3,473 (464)
12月	379 (57)	327 (28)	66 (9)	341 (52)	323 (37)	1,436 (183)
1月	171 (28)	196 (19)	308 (34)	644 (130)	286 (34)	1,605 (245)
2月	305 (44)	466 (38)	1,323 (52)	624 (177)	280 (34)	2,998 (345)
3月	556 (50)	468 (18)	114 (10)	925 (208)	316 (34)	2,379 (320)
合計	6,916 (589)	8,284 (721)	3,636 (260)	9,703 (1,194)	3,793 (455)	32,332 (3,219)

※施設別利用状況

（単位：人）

大ホール	会議室	調理室	リハーサル室	研修室	和室	講座室	その他
19,598	2,880	322	1,236	2,385	1,358	2,417	2,136

【文化観光交流館運営経費】　1,987,639 円

1　需用費（修繕費）　613,527 円

・室内レールランナー修繕　117,427 円
・エアコン室外機修繕　496,100 円

2　委託料　810,829 円

・機械警備業務委託　389,400 円
・自家用電気工作物保守点検業務委託　289,925 円
・消防設備保守点検業務委託　108,954 円
・油分分離沈殿槽清掃業務委託　22,550 円

課題方向性

サークル活動等で利用する団体の意見徴収を行い、施設利用の利便性を高める。施設の利活用については、利用者増となるようこれまで利用の分野等も含め施設のPRを指定管理者と共に努める。

一　般　会　計

8　款	2　項	2　目	道路維持費
担当部署名	建設課建設班・管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	77,785	69,522	2,207		8,900	14,580	43,835

目的

町道等を健全な状態に保つため、補修や草刈、除雪・融雪などを実施し、住民等が利用しやすい道路環境を保全する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
道路維持工事経費	A	4.0	3.0	維持工事として側溝改修工事及び区画線工事を実施し、道路環境の保全が図られた。
道路施設長寿命化対策事業（橋梁長寿命化対策事業）	A	4.7	3.7	舗装長寿命化修繕計画に基づき道路舗装補修工事を実施し、道路環境の保全が図られた。
定期点検	A	5.0	4.0	道路法に基づき町道橋及びトンネルの状態と健全性を把握するため、専門の技術者による定期点検を5年に1度実施する必要があり、令和6年度はトンネル（2箇所）の点検を実施した。
道路維持管理経費	B	－	3.7	町道等の補修や除草・樹木伐採などの維持管理を実施した。また、地域住民による道路除草も実施され道路環境の保全が図られた。

実績

■建設課　建設班所管

【道路維持工事経費】
町道の側溝改良工事、区画線工事を実施した。

1　工事請負費　11,995,500 円

・町道松島・磯崎線外側溝改良工事　10,620,500 円
　側溝改良工　L=80m

・町道三浦線区画線工事　1,375,000 円
　区画線工　L=1,941m

【道路施設長寿命化対策事業】
町道の舗装補修工事を実施した。

1　工事請負費　9,925,300 円

・町道釜ヶ沢線外舗装補修工事　2,766,500 円
　舗装補修工　L=138m

・町道三浦線外舗装補修工事　7,158,800 円
　舗装補修工
　　町道三浦線　L=120m
　　町道磯崎・高城線　L=125m

（次頁へ続く）

8　款	2　項	2　目

実績

■建設課 管理班所管

【定期点検】

1　委託料

・道路トンネル定期点検外業務委託　3,974,300 円
（東浜トンネル、根廻トンネル　N=2箇所）

【道路維持管理経費】

1　需用費（消耗品費）

・融雪剤購入費　200袋（5,000kg）　404,800 円
融雪箱等　84箇所（補充回数39回）
・草刈機刈刃（チップソー）購入費　558枚　1,031,194 円
各行政区の道路除草作業時に支給

2　委託料　30,967,200 円

・道路維持管理業務委託（その1～その3）　14,588,200 円
道路補修、側溝補修、側溝清掃、道路支障木伐採等
・道路除草業務委託　5,577,000 円
8路線（年2回）、通学路等（随時実施）
・道路除雪業務委託（北部・南部）　6,770,500 円
幹線道路等（稼働なし）　※除雪車両賃借料等
小型除雪機3台を行政区に貸出し、地域住民と協働の除雪を実施
・道路融雪剤散布業務委託　4,031,500 円
8路線　計8回（12月1回、1月4回、2月3回）

3　原材料費

・維持管理用原材料　2,028,245 円
常温合材、砕石、セメント、側溝蓋他

課題方向性

■建設課 建設班所管
道路施設長寿命化対策事業については、各施設の長寿命化修繕計画に基づき計画的に補修工事等を実施し、適切な維持管理を継続的に行っていく。
道路維持工事経費については、交通の安全と快適性を保つため、工事を行っていく。町全体のなかで優先順位を付け、継続して進めていく。

■建設課 管理班所管
地域住民から除草箇所の要望が増加している。適切な道路維持管理のため、地域と連携を図り安全な道路環境の確保に努めていく。また、道路補修等については、地域の要望を踏まえながら優先順位を見極め実施していく。

一　般　会　計

8　款	2　項	3　目	道路新設改良費
担当部署名	建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,952	10,664				1,500	9,164

目的

砂利道や狭くて車両が通りづらい道、見通しが悪い道路などを改善して、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
品井沼地区道路整備事業	A	3.7	3.0	計画路線のうち、東北本線沿いの道路について、起点側の側溝整備及び一部舗装を実施し、事業の進捗が図られた。

実績

【品井沼地区道路整備事業】
品井沼地区道路の整備を実施した。

1　委託料　172,700 円

・品井沼地区道路整備事業に伴う標準地鑑定評価書作成業務委託　172,700 円
　不動産鑑定評価書作成　一式

2　工事請負費　1,629,100 円

・品井沼地区道路整備工事　1,629,100 円
　道路整備工　L=10m

3　公有財産購入費　21,280 円

・品井沼地区道路整備事業土地購入　21,280 円

町道整備等の状況　（令和6年度末時点）

区分	延長（m）	改良済延長（m）	改良率（%）	舗装済延長（m）	舗装率（%）
町道全体	165,616	118,665	71.65	134,880	81.44
うち幹線町道	32,883	24,716	75.17	27,916	84.89

課題方向性

品井沼地区道路整備事業について、事業計画路線の整備に向けて、今後も継続して進めていく。

一　般　会　計

8　款	3　項	1　目	河川総務費
担当部署名	建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,737	2,368					2,368

目的

河川公園施設について住民や見学者等が利用しやすい環境を整備する。また、明治潜穴の歴史構造物について見学しやすい施設管理に努める。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
明治潜穴公園等維持管理経費	C	－	－	河川公園の清掃及び除草並びに高城川桜並木の剪定を実施し、住民や施設利用者等が利用しやすい環境整備が図られた。

実績

【明治潜穴公園等維持管理経費】

明治潜穴公園、ふれあいの広場、やすらぎの水辺、かたらいの水辺の維持管理

1　委託料　1,564,879 円
- 明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託　603,900 円
  明治潜穴公園（週4回）、その他の河川公園（月2回）
- 河川公園遊具定期点検業務委託（年1回）　17,600 円
- 明治潜穴公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回）　80,979 円
- 明治潜穴公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回）　290,400 円
- 高城川桜並木樹木剪定業務委託（年1回）　572,000 円

課題方向性

河川公園施設の適切な維持管理を行い、住民や施設利用者等が利用しやすい環境を提供していく。
また、明治潜穴公園施設については、設備等の経年劣化も進んでいることから宮城県と連携を図りながら管理に努める。

一　般　会　計

8　款	5　項	1　目	都市計画総務費
担当部署名	企画調整課・建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,592	13,086	600			9	12,477

目的

本町の将来像を踏まえ、バランスのとれた計画的な土地利用を図り、緑豊かな潤いのある都市を創出する。

昭和32年に決定された都市計画道路について、社会・経済情勢の変化により未整備となっている路線や都市計画道路の周辺道路を東日本大震災後に避難道路として整備した路線があるなか、時代にあわせた計画とするため都市計画道路の見直しを図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
都市計画事業運営経費	B	-	4.0	仙塩広域都市計画用途地域の変更に向けた各種手続きを実施した。また、松島町初原土地区画整理組合と松島イノベーションヒルズに関する協議や指導及び助言等の管理を行い、整備の進捗を図った。
都市計画審議会運営経費	B	-	3.3	初原地区における用途地域の変更、地区計画の決定について諮問し、審議会からの答申により承認を得た。
地区計画事業推進経費	A	4.3	3.7	初原地区における仙塩広域都市計画地区計画の決定に向けて各種手続きを実施した。
松島町都市計画道路の見直し事業	A	4.3	4.0	都市計画道路の見直しに関する業務委託を実施した。また、都市計画道路見直し案（素案）を作成し、事業の進捗が図られた。

実績

■企画調整課所管

【都市計画事業運営経費】

1　建築の許可に関する業務（都市計画法第53条第1項）

・都市計画施設の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査及び許可証の発行を実施するもの。
　申請件数：1件（指導・助言は通年で実施）

2　初原地区における仙塩広域都市計画用途地域の変更に向けた申請はじめ各種手続きを実施

・仙塩広域都市計画用途地域の変更案に関する説明会　令和6年5月　8日
・仙塩広域都市計画用途地域の変更事前協議回答　令和6年5月　24日
・仙塩広域都市計画用途地域の変更案の縦覧　令和6年5月　29日～6月12日
・松島町都市計画審議会における諮問・答申　令和6年7月　10日
・仙塩広域都市計画用途地域の変更に関する宮城県知事協議　令和6年8月　8日
・仙塩広域都市計画用途地域の変更に関する宮城県知事協議回答　令和6年8月　21日
・仙塩広域都市計画用途地域の変更告示　令和6年9月　4日

（次頁へ続く）

8　款	5　項	1　目

実績

【都市計画審議会運営経費】

1　都市計画審議会の開催

開催日	諮問・報告内容	内容	場　所
令和6年 7月10日	（諮問事項） ・仙塩広域都市計画用途地域の変更（案）について ・仙塩広域都市計画地区計画の決定（案）について （報告事項） ・仙塩広域都市計画道路の変更（案）について	・仙塩広域都市計画用途地域の変更及び仙塩広域都市計画地区計画の決定について原案のとおり承認された。 ・仙塩広域都市計画道路の変更について、計画内容を説明した。 （出席委員:8人、欠席委員:2人）	役場3階 大会議室

【地区計画事業推進経費】

1　地区計画内における行為の届出に関する業務

・品井沼地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。
　届出件数：2件（住宅地区Ａ：0件、住宅地区Ｂ：1件、沿道地区：1件）

・明神地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。
　届出件数：1件

2　初原地区における仙塩広域都市計画地区計画の決定に向けた申請はじめ各種手続きを実施

・仙塩広域都市計画地区計画の決定案の縦覧　令和6年4月　1日～15日
・仙塩広域都市計画地区計画の決定案に関する説明会　令和6年5月　8日
・仙塩広域都市計画地区計画の決定事前協議回答　令和6年5月　24日
・仙塩広域都市計画地区計画の決定案の縦覧　令和6年5月　29日～6月12日
・松島町都市計画審議会における諮問・答申　令和6年7月　10日
・仙塩広域都市計画地区計画の決定に関する宮城県知事協議　令和6年8月　8日
・仙塩広域都市計画地区計画の決定に関する宮城県知事協議回答　令和6年8月　21日
・仙塩広域都市計画地区計画の決定告示　令和6年9月　4日

■建設課　建設班所管

【松島町都市計画道路の見直し事業】
　都市計画道路の見直し対象路線を検討した。

1　委託料　1,980,000 円

・都市計画道路見直し検討業務委託　1,980,000 円
　　都市計画道路見直し検討業務　一式

課題
方向性

■企画調整課所管
　「初原地区」は仙塩広域都市計画用途地域を工業専用地域から工業地域へ変更し、仙塩広域都市計画地区計画についても決定した。既存の地区計画決定区域と併せて、都市計画マスタープランに基づき計画的な土地利用を図っていく。

■建設課 建設班所管
　都市計画道路の見直し事業について、今後は見直し道路網（素案）の内容を精査し、都市計画審議委員会へ諮りながら最終案を策定し、都市計画変更決定を行う。

一　般　会　計

8　款	5　項	3　目	公園管理費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	73,232	67,205				53	67,152

目的

スポーツを通じた健康増進及び競技力向上のため、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用者が、安全かつ快適にスポーツを楽しめるよう施設の提供を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
運動公園管理経費	A	3.7	3.3	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方々に利用され、前年度と比較し1,812人の利用増となった。また、スポーツを通して利用者の健康増進、競技力向上が図られた。加えて、選手・チーム間交流の場を提供することができた。
温水プール管理経費	A	3.7	3.3	利用者の利便性向上に取り組み、適切な施設管理を行った。また、町の各種事業において施設利用があり、指定管理者の協力を得て、子どもから高齢者までの体力向上や健康増進に寄与した。

実績

【運動公園管理経費】　16,711,438 円

1　運動公園指定管理料　15,983,000 円

・指定管理期間　令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）

2　運動公園利用状況　（単位：人）

月	野球場	テニスコート	多目的運動広場	会議室	グラウンドゴルフ	合　計
4	262	535	2,012	60	261	3,130
5	730	659	1,691	37	95	3,212
6	595	451	2,117	51	304	3,518
7	397	449	2,271	61	113	3,291
8	805	419	2,221	94	202	3,741
9	464	483	2,084	125	330	3,486
10	320	426	2,192	167	480	3,585
11	399	384	1,530	78	105	2,496
12	110	248	1,464	49	226	2,097
1	46	191	1,356	26	107	1,726
2	23	206	1,328	72	190	1,819
3	22	313	2,064	175	219	2,793
計	4,173	4,764	22,330	995	2,632	34,894

3　運動公園リース料

・運動公園管理乗用芝刈り機リース　679,800 円

（次頁へ続く）

実績

【温水プール管理経費】 50,312,336 円

1 温水プール指定管理料 48,326,000 円
・指定管理期間 令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）

2 温水プール施設利用状況

（プール） （単位：人）

月	町内(個人)			町外(個人)			計			コース貸切		減免	幼児	合計
	学生	一般	計	学生	一般	計	学生	一般	計	利用者数	団体数			
4	71	147	218	33	188	221	104	335	439	77	11	7	9	532
5	62	143	205	62	203	265	124	346	470	79	11	11	11	571
6	115	193	308	63	245	308	178	438	616	151	16	11	19	797
7	391	255	646	189	290	479	580	545	1,125	196	18	8	47	1,376
8	357	313	670	190	356	546	547	669	1,216	213	18	8	65	1,502
9	81	238	319	57	301	358	138	539	677	201	18	14	30	922
10	40	152	192	40	272	312	80	424	504	147	14	8	15	674
11	35	130	165	51	242	293	86	372	458	142	15	5	14	619
12	42	97	139	32	260	292	74	357	431	189	14	8	14	642
1	24	99	123	35	314	349	59	413	472	55	10	11	3	541
2	30	118	148	18	343	361	48	461	509	81	11	8	16	614
3	61	139	200	61	330	391	122	469	591	73	10	6	20	690
計	1,309	2,024	3,333	831	3,344	4,175	2,140	5,368	7,508	1,604	166	105	263	9,480

（トレーニングジム） （単位：人）

月	町内計	町外計	講習会		減免	合計
			参加者数	件数		
4	317	102	7	4	0	426
5	359	96	5	4	1	461
6	329	90	8	6	0	427
7	344	90	10	4	0	444
8	321	110	8	4	0	439
9	332	121	18	7	5	476
10	261	83	4	1	0	348
11	301	94	8	3	2	405
12	267	100	9	4	1	377
1	295	128	3	3	0	426
2	392	127	20	9	1	540
3	356	126	14	4	2	498
計	3,874	1,267	114	53	12	5,267

（シルバートレーニングルーム） （単位：人）

月	町内計	町外計	健康教室		減免	合計
			参加者数	件数		
4	1	0	0	0	0	1
5	1	0	0	0	0	1
6	3	0	15	2	0	18
7	5	0	26	4	0	31
8	4	0	13	2	0	17
9	2	1	21	3	0	24
10	6	1	14	2	0	21
11	3	0	35	4	0	38
12	4	0	0	0	0	4
1	3	0	21	2	0	24
2	2	1	0	0	0	3
3	3	3	0	0	0	6
計	37	6	145	19	0	188

（スタジオ） （単位：人）

月	教室		減免	合計
	参加者数	件数		
4	0	0	0	0
5	0	0	0	0
6	0	0	0	0
7	52	2	0	52
8	62	2	0	62
9	0	0	0	0
10	0	0	0	0
11	45	4	0	45
12	65	4	0	65
1	24	2	0	24
2	0	0	0	0
3	0	0	0	0
計	248	14	0	248

（会員） （単位：人）

月	スクール会員	フルタイム会員	合計
4	1,472	530	2,002
5	1,066	612	1,678
6	1,475	503	1,978
7	1,490	487	1,977
8	1,151	495	1,646
9	1,537	462	1,999
10	1,111	419	1,530
11	1,435	448	1,883
12	1,337	422	1,759
1	1,282	403	1,685
2	1,443	432	1,875
3	1,587	522	2,109
計	16,386	5,735	22,121

【会員(施設別利用者数)】

月	プール	スタジオ	合計
4	1,331	671	2,002
5	1,136	542	1,678
6	1,344	634	1,978
7	1,348	629	1,977
8	1,121	525	1,646
9	1,350	649	1,999
10	1,039	491	1,530
11	1,291	592	1,883
12	1,205	554	1,759
1	1,164	521	1,685
2	1,322	553	1,875
3	1,411	698	2,109
計	15,062	7,059	22,121

（次頁へ続く）

8　款	5　項	3　目

実績

（温水プール全施設月別集計人数）　（単位：人）

月	プール	トレーニングジム	シルバートレーニングルーム	スタジオ	会員	合計
4	532	426	1	0	2,002	2,961
5	571	461	1	0	1,678	2,711
6	797	427	18	0	1,978	3,220
7	1,376	444	31	52	1,977	3,880
8	1,502	439	17	62	1,646	3,666
9	922	476	24	0	1,999	3,421
10	674	348	21	0	1,530	2,573
11	619	405	38	45	1,883	2,990
12	642	377	4	65	1,759	2,847
1	541	426	24	24	1,685	2,700
2	614	540	3	0	1,875	3,032
3	690	498	6	0	2,109	3,303
計	9,480	5,267	188	248	22,121	37,304

3　需用費（修繕料）　779,900 円

・温水プール防火扉修繕　779,900 円

4　温水プールリース料　599,280 円

・トレーニングマシーンリース　427,680 円
・複合機リース　171,600 円

課題方向性

経年劣化による設備等の修繕を計画的に進めると共に、物価高騰等に伴う管理運営経費への影響を踏まえて、指定管理者と連携・協議を行いながら適切な管理運営に努める必要がある。
今後も安全・安心で気軽に利用できるスポーツ施設として、また、地域・世代間交流が図れる拠点施設として適切な管理運営を行っていく。

一　般　会　計

8　款	5　項	5　目	街路事業費
担当部署名	建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	793,197	171,103	85,083		30,900	30,000	25,120

目的

松島イノベーションヒルズの開発整備に併せ、都市計画道路の整備を行い、国道346号と主要地方道大和松島線を結び、三陸縦貫自動車道ICへのアクセスや国道、県道等での渋滞に対して分散化を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
根廻・初原線道路整備事業	A	4.0	3.0	事業用地の土地購入、支障物件移転補償及び道路整備工事を実施し、事業の進捗が図られた。

実績

【根廻・初原線道路整備事業】
用地買収、移転補償、整備工事を実施した。

1　補償金　2,848,500 円
・（都）根廻・初原線道路整備事業水道管移設設計補償金

（繰越明許費）　108,254,199 円
1　委託料　6,194,100 円
・（都）根廻・初原線道路測量設計業務委託
設計延長　L=100m

2　工事請負費　97,796,600 円
・（都）根廻・初原線国道346号交差点改良工事　54,700,000 円
（前払金）
・（都）根廻・初原線道路整備その2工事　14,160,000 円
（前払金）
・（都）根廻・初原線支障建物解体工事　1,469,600 円
支障建物解体　一式
・（都）根廻・初原線水道管移設その2工事　8,800,000 円
水道管移設工　L=187.7m
・（都）根廻・初原線道路整備その3工事　18,667,000 円
植生基材吹付工　A=1,649.8㎡

3　公有財産購入費　1,483,761 円
（都）根廻・初原線道路整備事業土地購入

4　補償金　2,779,738 円
・（都）根廻・初原線道路整備事業電柱等移転補償金

（事故繰越し）　60,000,000 円
1　工事請負費
・（都）根廻・初原線道路整備工事　60,000,000 円
施工延長 L=570m　切土工 V=7,710㎥　盛土工 V=905㎥
立木伐採・伐根一式

課題方向性

根廻・初原線道路整備事業について、引き続き道路整備工事を進めていく。

一　般　会　計

8　款	6　項	1　目	住宅管理費
担当部署名	建設課管理班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,624	10,803				7,715	3,088

目的

住宅に困窮する低所得者等に低廉な家賃で住宅を提供し、町民生活の安定と福祉増進に寄与する。
また、入居者の居住性を確保するため維持管理を行う。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
町営住宅管理経費	B	－	2.7	町営住宅入居者の安全な生活の確保と住宅に困窮する町民への供給のため、早期の修繕等に努めた。 また、住宅使用料については、滞納者に対し、電話等で家賃を滞納している事実を伝え、初期の段階で滞納額が増加しないよう納付を呼びかけたことで、現年度の収納率において効果が現れた。

実績

【町営住宅管理経費】

町営住宅（156戸77棟）、災害公営住宅（52戸30棟）の維持管理

1　需用費（修繕料）

・住宅別主な修繕内容

住宅名	設置年	主な修繕内容	金　額
愛　宕	S39～43	－	0 円
上初原	S42～45	風呂敷居修繕、下屋修繕、トイレファン交換、外部建具調整	91,476 円
幡　谷	S42	台所流し台修繕	196,020 円
小石浜	S45	排水管詰まり除去修理	68,244 円
高　城	S56～57 H7	風呂給湯器、給・排水管、換気扇修繕、他 退去に伴う修繕（ハウスクリーニング、浴室・天井・壁クロス貼替、台所・洗面所排水管修理、他）	4,241,503 円
災害公営住宅 華園・美映の丘	H27	ガス給湯器漏水修繕、排水管詰まり除去修理、他 退去に伴う修繕（ハウスクリーニング、壁・天井クロス貼替、他）	2,702,770 円
合　計			7,300,013 円

2　委託料　840,400 円

・町営住宅除草業務委託　822,800 円
　愛宕住宅（年2回）　上初原住宅・幡谷住宅（年1回）

・町営住宅遊具定期点検業務委託（年1回）　17,600 円

（次頁へ続く）

実績

3　町営住宅管理戸数及び住宅使用料徴収状況

住宅名	管理戸数	年度末入居戸数	住宅使用料徴収状況				備考
			調定額（円）	収入済額（円）	収入未済額（円）	徴収率（%）	
愛　宕	11	10	770,400	770,400	0	100.0%	
上初原	50	28	1,790,900	1,649,300	141,600	92.1%	
幡　谷	10	6	256,800	256,800	0	100.0%	
小石浜	7	0	32,000	32,000	0	100.0%	
高　城	78	65	19,347,500	18,159,000	1,188,500	93.9%	
災害公営住宅華園・美映の丘	52	51	14,489,700	13,468,650	1,021,050	93.0%	
現年度分	208	160	36,687,300	34,336,150	2,351,150	93.6%	
滞納繰越分			8,831,300	678,300	8,153,000	7.7%	
合計			45,518,600	35,014,450	10,504,150	76.9%	

※小石浜住宅は令和7年3月31日に用途廃止

4　町営住宅駐車場使用数及び駐車場使用料徴収状況（高城住宅）

区　分	使用数	駐車場使用料徴収状況				備考
		調定額（円）	収入済額（円）	収入未済額（円）	徴収率（%）	
現年度分	31	738,000	738,000	0	100.0%	
合計		738,000	738,000	0	100.0%	

5　町営住宅敷金会計別状況

	戸　数（戸）	金　額（円）	備　考
一般会計分	60	1,713,000	6世帯退去　△ 89,700円
歳計外現金分	63	3,051,480	6世帯退去　△137,100円 11世帯入居　759,300円
合計	123	4,764,480	

課題方向性

町営住宅の需要等を勘案し、老朽化が進む既存団地においては、環境の改善とストックの有効活用を図るため団地別に適切な事業手法を選定し、長寿命化に向けた維持管理及び改善計画の位置づけが必要である。

また、住宅使用料の収納については、収納率向上に向けた滞納者との納付相談や納付指導を行いながら滞納者数及び滞納額の縮減を目指す。

一　般　会　計

8　款	6　項	2　目	木造住宅等震災対策事業費
担当部署名	建設課管理班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	395	390	152	35			203

目的

昭和56年5月以前に建築確認許可を受けた旧耐震基準の木造住宅に対して耐震化促進を図り、今後発生する恐れのある大規模地震での被害を最小限に抑えるため助成を行う。
また、通学路等に面した危険ブロック塀の倒壊による事故を未然に防止するため、ブロック塀等の除却及び除却箇所への新たなフェンス等の設置に対し助成を実施する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
木造住宅等震災対策事業	B	－	4.3	木造住宅の耐震診断助成事業及び耐震改修工事助成事業並びに危険ブロック塀等除却事業の実施にあたり、広報による周知や戸別訪問を行い事業の推進に努めた。

実績

【木造住宅等震災対策事業】

1　木造住宅耐震診断助成事業業務委託

・事業概要　町が耐震診断士の派遣を行い耐震一般診断及び耐震改修計画を作成し、木造住宅の地震に対する安全性の確保・向上を図り、震災に強いまちづくりを推進する。

・実　　績　1件（耐震性あり0件　・　耐震性なし1件）　142,400 円
※国1/2・県1/4の補助あり

2　木造住宅耐震改修工事助成事業補助金

・事業概要　大規模地震による住宅被害を軽減するため、木造住宅の所有者が住宅の耐震改修工事、又は同じ場所で建替工事を実施する場合に補助金を交付する。

・実　　績　申請者なし

3　危険ブロック塀等除却事業補助金

・事業概要　通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、通行人の安全を確保するため、ブロック塀の除却及び除却箇所に生垣・フェンス等を設置する場合に補助金を交付する。

・実　　績　1件（除却事業1件　・　設置事業1件）　163,000 円
※国1/2の補助あり

課題方向性

地震防災対策は生命の安全面も踏まえて重要な事業であるが、近年は事業実施件数が少ない傾向である。引き続き広報等での周知を行うほか、積極的な事業推進に取り組んでいく。木造住宅耐震改修工事助成事業及び危険ブロック塀等除却事業は所有者の経済的負担があるため、事業対象となる所有者に対して耐震助成事業の活用を促し、細やかな対応を実施していく。

一　般　会　計

9　款	1　項	1　目	非常備消防費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,172	36,000		10,134		3	25,863

目的

住民の生命、財産を火災や自然災害から守るため、消防団員の確保に努めるとともに、常備消防や防災関係機関等との連携強化、情報共有の促進、資機材等の充実を図り、相互協力の下、消防防災活動に努める。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
消防団活動運営経費	B	－	4.7	消防団活動を安全かつ円滑に行うため、高視認性の雨衣を配備し、装備品の充実を図った。 また、松島町を会場として開催された塩釜地区消防団連合演習では、塩釜地区管内の二市三町消防団が合同で演習を行ったことで連携強化が図られ、さらには、ポンプ操法や総合防災訓練における放水訓練並びに倒壊家屋からの救出訓練など、実働的な訓練を実施したことで、各種災害への対応力を強化することができた。 火災現場においては、各種訓練の成果を発揮して常備消防の後方援護を行うとともに、台風等の警戒活動時においては、各分団が巡回、広報を行い、人的被害を未然に防ぐことができた。
消防施設整備事業	A	5.0	4.7	火災をはじめとした各種災害時に機能が果たせるよう、消防車両の更新及び小型動力ポンプの点検整備などを行ったほか、分団配備の消防ホースを更新し、消防資機材の充実強化と適正な管理を行った。
自主防災組織運営経費	A	4.0	3.0	各種災害に備え、共助の中心となる自主防災組織の防災力の強化を図るべく、各地区の訓練時において、防災マップを用いての危険箇所の説明や訓練実施における支援を行った。

実績

1　松島町内における火災発生状況　※期間は、各年1月1日から12月31日まで　（単位：件）

	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
発生件数	7	6	7	9	4	3
建物火災	3	5	4	3	1	1
林野火災	2	1	1	3	0	0
車両火災	0	0	0	1	1	1
そ の 他	2	0	2	2	2	1

2　消防団員数　191人　（令和6年4月1日現在）

役職：団長1人　・副団長2人・分団長6人・副分団長14人・班長37人・団員131人

本　部	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	第6分団
3 人	23 人	39 人	53 人	20 人	36 人	17 人

3　消防団員出場状況

○ 火災出場　17 人

○ 警戒出場

・災害警戒（台風対応に伴う警戒）　11 人

・火気警戒（行事等）　86 人

○ 訓練

・放水訓練及び規律訓練　66 人

・塩釜地区消防団連合演習（事前訓練含む）　225 人

・松島町総合防災訓練（事前訓練含む）　65 人

・文化財防火デー警防演習（事前会議含む）　25 人

・防災訓練等（各地区及び自主防災組織等）　3 人

（次頁へ続く）

実績

○ 研修
・警防研修会(消防団安全管理セミナー) 9 人
・松島町消防団幹部研修(福島県) 19 人
・防災講演会(七ヶ浜町) 6 人
○ 火災予防啓発
・春及び秋の火災予防運動一斉広報、防火査察及び消防水利点検等 160 人
○ 出初式(リハーサル含む) 188 人

4 防火思想啓発事業
・火災予防運動 秋：令和6年11月9日～15日 春：令和7年3月1日～7日
活動内容 消防団一斉広報、防火指導、消防水利点検、広報活動（防災行政無線他）
・文化財防火デー警防演習(令和7年1月25日)

5 災害時の消防団活動状況
・令和6年8月11日、16日 台風5号、7号に係る警戒活動等 21 人
活動内容（警戒巡回、防潮堤閉鎖）

6 車両及び安全装備品等購入
・消防小型動力ポンプ付軽積載車（第4分団配備） 7,282,000 円
・消防ホース 80本 3,080,000 円
・高視認性雨衣 220着 3,630,000 円

7 自主防災組織育成事業
・自主防災組織訓練運営補助金 227,500 円 （実施団体数 5団体）

訓練実施地区	実施日
1 高城区	9 月 15 日
2 初原区	9 月 22 日
3 根廻区	9 月 22 日
4 磯崎区磯崎4地区	10 月 6 日
5 松島区松島1地区	11 月 17 日

課題方向性

火災等の有事に即応できるよう常備消防と連携し、夏季訓練や総合防災訓練等の各種訓練にて資機材の取り扱い及び操作等の習熟を高めるとともに、火災現場において確実に消防水利が機能するよう老朽化した消火栓の更新を行うなど、対応力の向上並びに消防水利の充実を図る。

自主防災組織については、宮城県と連携し宮城県防災指導員の養成に努めるとともに、各自主防災組織の活動や訓練を自発的に実施できるよう助言や支援を行い、自助及び共助の意識向上に努め地域防災力の強化を図る。

一　般　会　計

9　款	1　項	2　目	水防費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	702	600		401			199

目的

大雨による河川氾濫等の洪水や津波被害による水災害を警戒、防御及び抑制するため、定期的な水防関連施設の確認や点検を行い被害の軽減を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
水防活動経費	B	－	3.7	鳴瀬川水系吉田川及び高城川水系高城川が特定都市河川に指定されたことにより、国、県、流域市町村にて流域治水を効果的かつ計画的に進めることができるよう、総合的な推進計画を定めた。 また、河川の重要水防合同巡視では、危険が予測される箇所等の実態把握に努めるとともに、水防施設の点検及び操作方法の確認を毎月実施し、有事の際に的確に対応できる体制を整備した。

実績

【水防活動経費】

1　漁港・海岸・河川の陸閘点検（毎月1回）　延べ 153人

対象箇所：・松島区　15箇所（第1分団）
・高城区　6箇所（第2分団）（河川）
・磯崎区　6箇所（第3分団）
・手樽区　23箇所（第3分団）

2　河川（吉田川等）の重要水防箇所合同巡視

目　　的：台風等に伴う本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる重要水防箇所や要注意区間を関係機関が合同で巡視を行い、迅速な水防活動に必要な情報共有を図る。
実 施 日：令和6年6月19日
巡視箇所：① 吉田川右岸　10.1km付近　重要水防箇所（黒森排水ピット付近）
② 吉田川右岸　11.0km付近　重要水防箇所（堤防嵩上げ要望箇所）
参 加 者：26人

北上川下流河川事務所（河川管理者）	9人
各行政区代表　：北小泉区長、下竹谷区長、上竹谷区長、幡谷区長	4人
水防団（消防団）：団長、副団長2人、第5副分団長、第6分団長	5人
松島消防署　署長	1人
松島町　：町長、総務課、産業観光課、建設課	7人

課題方向性

定期的な水防施設の点検や合同巡視等にて水害の防止や被害の軽減を図るとともに、特定都市河川指定に伴い策定した流域治水推進計画に基づき、関係機関と連携し流域全体の持つ保水、貯留機能の適正な維持、向上や流域市町村とのホットラインによる情報共有などにより効果的かつ円滑な水害対策を推進し、治水安全度の向上を図る。

一　般　会　計

9　款	1　項	3　目	災害対策費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,747	32,563	7,856		11,400		13,307

目的

地震や津波災害をはじめ、台風、高潮等の風水害から住民の生命保護と財産被害を最小化するため、防災体制の構築と地域防災力強化、更には啓発活動や訓練をとおして防災意識の高揚を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
防災会議運営経費	C	－	－	令和7年2月14日に防災会議を開催し、地域防災計画の一部見直しについての協議と防災関連業務の報告を行った。
防災行政無線関係経費	A	4.0	3.7	災害時の情報発信が確実に行えるよう、防災情報通信機器の保守を実施するなど、適正な管理運営を行った。
災害応急対策経費	C	－	－	災害対応にあたった職員に対し、手当等を支払った。
災害対策経費	A	4.0	3.3	宮城県が公表した津波浸水想定や第五次地震被害想定調査を踏まえ作成した防災マップを全戸配布するとともに、各地区の防災訓練時に内容を説明し、活用方法等の周知に努めた。 また、SNS等への一斉配信システムを活用し、気象警報等の防災情報を的確かつ迅速に発信し、被害の未然防止を図った。
避難施設整備事業	A	4.0	4.0	上竹谷地区への避難施設の整備に向け、建設設計及び用地測量等を実施した。併せて、整備予定場所の土地所有者との協議など、用地買収の手続きを行った。

実績

1　松島町総合防災訓練の実施
- 実 施 日 ： 令和6年11月2日（土）
- 想　　定 ： 地震災害発生に伴う津波災害及び土砂災害
- 訓練内容 ： 緊急地震速報対応訓練、情報伝達訓練、災害対策本部設置・運営訓練、広報訓練、映像情報共有訓練、交通誘導訓練、避難所開設運営訓練、各地区避難所自主開設運営訓練、被害状況偵察訓練、道路被害啓開訓練、倒壊家屋等救出訓練、応急手当訓練、救急救護訓練、初期消火訓練、火炎防御訓練、物資輸送訓練、炊き出し訓練
- 実施場所 ： 磯島（磯崎字磯島地内）
- 参加人数 ： 399名（各防災関係機関、行政区、自主防災組織、消防団、女性防火クラブ、町職員、一般参加者）
- そ の 他 ： アルファ米試食体験、宮城県LPガス協会・くろしおLPガス協議会展示ブース、佐川急便株式会社展示ブース、宮城三菱自動車販売株式会社展示ブース、共栄防災株式会社展示ブース、宮城県自然災害支援アプリを用いた避難訓練（高城避難所を会場に実施。※高城避難所では総合防災訓練会場と映像情報共有訓練も実施）

2　防災行政無線・全国瞬時警報システム(J-ALERT)
- 親局　　1箇所　（松島町役場）
- 遠隔操作卓　　2箇所　（松島消防署、石田沢防災センター）
- 屋外拡声子局　　38箇所　（町内各所）
- 施設スピーカー連動　2箇所　（松島海岸レストハウス、石田沢防災センター）

※ 全国瞬時警報システム(J-ALERT)は防災行政無線に連動

（次頁へ続く）

9　款	1　項	3　目

実績

3　委託料

・防災行政無線等施設保守点検業務委託　6,160,000 円
・上竹谷地区避難施設整備用地測量等業務委託　2,825,900 円
・上竹谷地区避難施設整備実施設計業務委託　7,641,700 円

4　用地購入費

・上竹谷地区避難施設整備事業土地購入費　2,206,637 円

5　補償費

・上竹谷地区避難施設整備事業建物移転等補償金　7,870,120 円

6　安全安心メール配信状況

○登録件数(令和7年3月31日現在)　2,363 件
○配信件数　107 件
・防災情報　42 件　(災害:24件、防災無線放送内容:4件、訓練関係：14件)
・防犯情報　13 件　(不審者:3件、特殊詐欺等:10件)
・交通情報　3 件　(町民バス:1件、交通安全啓発:2件)
・生活情報　49 件　(火災:2件、自衛隊訓練:9件、その他:38件)

課題方向性

防災マップやWEB版ハザードマップについては、有事の際に的確な避難行動に繋がるよう、自主防災組織の訓練などにおいて引き続き説明に努め、活用を促す。

また、内閣府との共催による地震・津波防災訓練として住民参加ワークショップの開催を検討するなど、発災時の人的被害の低減と災害対応力の向上に努める。

防災情報については、情報を発信する防災機器の維持管理に努めるとともに、新たな機能を追加した登録制メールにより、気象情報などの詳細情報を提供するなど、今後も継続して登録制メールや各種SNS等を活用し、情報発信の確実性と即時性の向上に努める。

なお、上竹谷地区への避難施設の整備については、年度内の整備に向けて適正な進捗管理を行う。

一　般　会　計

9　款	1　項	4　目	避難施設管理費
担当部署名	総務課環境防災班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,499	19,839		555		3,004	16,280

目的

避難施設や避難場所等の適正な管理を行い有事における防災機能の確保に努めるとともに、平常時の有効活用により、地域の防災拠点としての機能強化を図る。

また、災害時における食料や資機材等に不足が生じないように備蓄倉庫へ災害用備蓄品を計画的に購入し充足させるとともに、防災関連施設の維持管理に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
松島地区等避難施設管理費	C	－	－	避難施設（8施設）や緊急避難場所について、災害時に避難者を円滑に受け入れできるよう、適切な管理を行うことができた。
備蓄倉庫管理費	B	－	3.7	松島町備蓄計画に則り、災害時の避難者に対して提供する子供用オムツ、食料品、飲料水、災害時の避難所で使用する資機材などを計画的に購入し、備蓄品を充足することができた。
高城津波避難施設管理経費	B	－	3.3	災害時に避難者を受け入れできるよう、業務委託により適正な維持管理を行うことができた。
石田沢防災まちづくり拠点施設管理費	B	－	3.3	防災まちづくり拠点施設及び避難施設として災害時に避難者を受け入れできるよう、業務委託により適正な維持管理を行うことができた。
自家発電装置整備管理費	C	－	－	災害時に停電となった状況下においても避難生活等に支障がでないよう、機器の状態を常に確認し、適正に管理することができた。

実績

1　災害時用備蓄品購入事業

- 消耗品費（災害時用備蓄食料品等購入）　1,198,250 円
  - 子供用オムツ　2,544 枚
  - アルファ米　1,800 食
  - 飲料水（500ml）　2,400 本
- 備品購入費　468,600 円
  - 二ツ折担架　4 式
  - 簡易組立水槽　1 組
  - 簡易トイレ　5 台

2　委託料

- 避難施設指定管理業務委託（10施設）　3,053,192 円
- 高城避難所機械警備業務委託　620,400 円
- 石田沢防災センター浄化槽清掃業務委託　715,000 円
- 石田沢防災センター浄化槽保守点検業務委託　412,993 円
- 石田沢防災センター機械警備業務委託　290,400 円
- 石田沢防災センター清掃業務委託　836,000 円
- 石田沢防災センター草刈業務委託（年3回）　817,300 円
- 石田沢防災センター自家用電気工作物保守点検業務委託　209,141 円
- 石田沢防災センター消防設備保守点検業務委託　133,750 円
- 石田沢防災センター他施設管理業務委託　3,494,700 円
- 石田沢防災センター交通整理業務委託　277,200 円
- 東浜避難場所草刈業務委託（年3回）　273,900 円
- 東浜避難場所法面草刈業務委託　462,000 円

（次頁へ続く）

実績

3　負担金補助及び交付金

・高城避難所維持管理負担金　1,100,880 円
（清掃業務、空調設備保守点検、エレベーター保守点検）
・高城避難所防火設備点検負担金　18,480 円
・高城避難所消防設備点検負担金　66,000 円

4　石田沢防災センター利用状況

年度／内訳	令和6年度	令和5年度	令和4年度
駐車場利用台数	9,397 台	9,444 台	9,942 台
防災まちづくりセンター棟利用者数	4,272 人	2,225 人	2,077 人
会議室棟利用者数	4,249 人	4,475 人	4,378 人

5　高城避難所利用者数

年度／内訳	令和6年度	令和5年度	令和4年度
多目的室利用者数	1,775 人	1,366 人	1,325 人

課題
方向性

備蓄品については、乳幼児や高齢者など災害時は幅広い年齢層の人が訪れることを想定して確保するとともに、必要な時に即対応が可能となるよう備蓄倉庫毎の適正な台帳管理に引き続き努める。
防災拠点である石田沢防災センター及び高城避難所の管理については、有事の際に迅速に対応できるよう適正な維持管理に努める。また、施設利用者にとって利用しやすい環境を構築するとともに、施設の有効活用を図る。

一　般　会　計

10　款	1　項	2　目	事務局費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	113,588	110,826		2,571		140	108,115

目的

児童・生徒における家庭学習の習慣形成、基礎基本を着実に定着させ、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」を体感させ、学習に対する自信を持たせる。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
事務局運営経費	B	－	3.7	教育指導専門員を任用し、小・中学校・幼稚園の指導を行った。また、幼稚園・保育所・認定こども園と各小学校との連携を図ることを目的とした連絡協議会を設置し、「架け橋プログラム」の推進が図られた。
子供安全対策事業	B	－	3.3	スクールガードリーダーを配置し、週2回（月曜日・木曜日）の見守り活動を実施し、登下校時における安全確保が図られた。（長期休業時等を除く）
外国青年招致事業	B	－	3.7	外国語指導助手（ALT）を小学校、中学校、幼稚園、保育所等へ派遣し、国際教育の機会を増やすことで、外国語及び外国文化に慣れ親しむ国際理解教育の一助となった。
松島こども英語ガイド事業	A	3.3	3.3	松島在住の参加を希望する小学5年生から中学3年生の児童生徒に対し、英語を使って実際に言語活動にチャレンジできる場を提供した。また、松島の魅力を発信するYouTube動画を制作し、世界に向けて発信することで、英語を学びながら、地域を伝える、双方向的な学びが実現できた。
心のケア・不登校対策事業	B	－	3.7	スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒が抱える諸問題に対し、教職員等とのケース会議や面談を通して、児童生徒の置かれている様々な環境への働きかけや関係機関等との連携・調整を行ったことにより、学校生活復帰への一助となった。
心のケアハウス事業	B	－	3.7	心理的要因等により不登校（傾向含む）となっている児童生徒やその保護者に対し、教育相談、生活相談を行った。また、学習支援等を通して、児童生徒の自立及び学校生活への自発的な復帰に向けた支援を行った。
通学バス運行事業	A	3.7	3.3	手樽・北小泉・下竹谷地区の児童が松島第二小学校へ通学するため、送迎バスの運行を行った。

【子供安全対策事業】

○スクールガードリーダーの配置

児童・生徒の安心安全対策として登下校時に週2回（月曜日・木曜日）の見守り活動を実施

1名（活動回数　76回にかかる報酬）　480,168 円

【外国青年招致事業】

○外国語指導助手（ALT）事業

・年間指導実績　（単位:延べ日数）

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	10	10	11	8	2	12	12	12	8	10	8	6	109
松島第二小学校	5	10	10	6	2	9	8	7	7	7	6	5	82
松島第五小学校	4	8	10	6	2	9	8	8	7	7	9	5	83
小計	19	28	31	20	6	30	28	27	22	24	23	16	274
松島中学校	14	20	17	14	4	17	17	14	14	16	15	14	176
総計	33	48	48	34	10	47	45	41	36	40	38	30	450

※ 上記の学校教育活動の他、幼稚園に計24回、保育所に計11回訪問し、未就学児への英語に親しむ機会を設けた。

（次頁へ続く）

10　款	1　項	2　目

実績

【松島こども英語ガイド事業】
松島の魅力を英語で案内する動画を制作し、世界に向けて発信した。

期　間　7月24日～8月9日
（オリエンテーション1回、現地研修2回、英語サロン6回、修了式1回）
場　所　大仰寺・直秀こけし
参加者　町内の小学5年生～中学生　14名

【心のケア・不登校対策事業】
○県委託事業　SSW（スクールソーシャルワーカー）活用事業
・SSW活動にかかる報酬　642,500 円
・SSWとして雇用した実人数　2人

・年間勤務時間数及び年間勤務日数

年間勤務時間数	188.5 時間
年間勤務日数	72.0 日
平均勤務時間数	2.6 時間／日

・訪問活動の回数

学校	66 回
家庭	14 回
教育委員会	27 回
その他関係機関	2 回

・ケース会議の開催状況
①教職員等とのケース会議

開催回数	1 回
ケース件数	2 件
参加教職員数	3 人
参加関係機関の人数	0 人

②関係機関等とのケース会議

開催回数	0 回
ケース件数	0 件
参加教職員数	0 人
参加関係機関の人数	0 人

【心のケアハウス事業】
○県補助事業　みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業

・年間活動状況　（単位：延べ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童生徒支援人数（人）	3	2	5	4	1	6	6	5	4	4	3	3	46
保護者支援人数（人）	2	3	2	1	2	15	23	49	45	23	12	7	184
開所日数（日）	16	21	20	14	4	19	22	20	16	17	18	15	202

【通学バス運行事業】
通学バス運行業務委託料　7,229,095 円

通学バスリース料（2台）　3,737,910 円

通学バス運行日数
・手樽コース　209 日
・北小泉・下竹谷コース　209 日

課題
方向性

外国語青年招致事業については、引き続き外国語指導助手（ALT）を学校に配置し、幼稚園児から中学生までの全学年において、生きた英語を学ぶ機会を提供する。
松島こども英語ガイド事業については、引き続きSNSを活用し町の魅力を発信するとともに、外国人観光客への対面による観光ガイド活動を再開する。
心のケアハウス事業については、不登校等様々な問題を抱える児童生徒や保護者を支援する重要な存在となっており、引き続き事業継続について関係機関との連携をとりながら事業を継続していく。

一　般　会　計

10　款	2　項	1　目	小学校管理費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	85,779	80,897	809	739	2,700	2,700	73,949

目的

町の教育の目指す姿である「誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人」と「特色ある学校づくりの推進」のため、児童の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
第一小学校	B	－	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。
第二小学校	B	－	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。
第五小学校	B	－	3.0	児童の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。

実績

1　児童数及び学校職員数　　（令和6年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	児童数	教職員数						
		学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総　計
松島第一小学校	316	25	1	1	0	4	1	32
松島第二小学校	129	12	1	1	0	2	1	17
松島第五小学校	52	9	1	1	0	1	1	13
合計	497	46	3	3	0	7	3	62

2　校務用コンピュータ整備状況

学校名	整備年度	整備台数
松島第一小学校	令和4年度	29台
松島第二小学校	令和6年度	16台
松島第五小学校	令和2年度	17台
合計		62台

3　需用費（修繕料）　2,974,261 円

・松島第一小学校　962,060 円
1 プールろ過装置修繕（276,210円）
2 親時計修繕（336,600円）
3 窓ガラス修繕（12,100円）
4 トイレ等修繕（74,800円）
5 照明器具（教室）修繕（49,500円）
6 黒板灯修繕（170,500円）
7 照明器具（学習室）修繕（29,150円）
8 集会室暖房機修繕（13,200円）

・松島第二小学校　594,851 円
1 エントランス手摺修繕（311,051円）
2 エアコン（保健室）修繕（234,300円）
3 照明器具（教室）修繕（49,500円）

・松島第五小学校　1,417,350 円
1 プールろ過装置修繕（235,290円）
2 マンホール蓋交換修繕（22,000円）
3 防火扉修繕（709,500円）
4 トイレドアガラス修繕（55,000円）
5 手洗器配水管修繕（17,600円）
6 漏水修繕（49,500円）
7 動力盤等修繕（308,000円）
8 灯油管漏洩修繕（20,460円）

（次頁へ続く）

10　款	2　項	1　目

実績

4　工事請負費　10,335,230 円

・松島第一小学校　3,808,510 円
1 防犯カメラ設置工事（618,510円）　2 空調機設置工事（3,190,000円）
・松島第二小学校　6,058,400 円
1 防犯カメラ設置工事（393,400円）　2 トイレ洋式化工事（5,665,000円）
・松島第五小学校　468,320 円
1 防犯カメラ設置工事（468,320円）

5　備品購入費　3,998,897 円

・松島第一小学校　3,424,895 円
1 放送設備購入　2,915,000 円
2 庁用備品購入（ラミネーター・パーティション）　119,395 円
3 草刈り機購入　390,500 円

・松島第二小学校　352,440 円
1 庁用備品購入
（デジタルカメラ・机（7台）・イス（7脚）・スチールOAデスク・レーザープリンター）
・松島第五小学校　221,562 円
1 暖房機購入　180,070 円
2 庁用備品購入（巻尺・刺股・セラミックファンヒーター）　41,492 円

課題方向性

各施設の状況に合わせて、必要な維持修繕等を実施しているが、各学校とも建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが必要となる学校が多い状況である。
引き続き修繕箇所等の優先順位を検討することで経費の平準化を図りながら、今後を見据えた計画的な維持管理及び更新を行う。

一　般　会　計

10　款	2　項	2　目	教育振興費（小学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	29,409	28,422	211			6,300	21,911

目的

児童の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な児童又は就学予定者の保護者並びに特別支援学級に在籍する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
義務教育教材費	B	－	3.0	児童がよりよい環境の下、授業が受けられるように教育上必要な教材の整備等が図られた。
要保護・準要保護関係経費	B	－	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる児童の保護者に対し必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。
特別支援教育就学奨励経費	B	－	4.0	特別支援学級に在籍する児童の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。

実績

1　教育用コンピュータ整備状況

項目／学校名		松一小	松二小	松五小	計	備考
賃貸借	整備年度（教育用PC）	―	R6	R6	―	タブレットはLTE機（令和元年度整備）
	整備台数 （うちタブレット）	58 台 58 台	39 台 30 台	24 台 16 台	121 台 104 台	
購入	整備年度	R2			―	タブレットはWi-Fi機
	整備台数 （タブレット）	276 台	131 台	77 台	484 台	

2　備品購入費　598,853 円

○ 教材備品　304,160 円
- 松島第一小学校
  （電子てんびん・ライン引き・両手鍋・四線黒板・漢字イラストカード）
- 松島第二小学校
  （体積実験器）
- 松島第五小学校
  （跳び箱・逆上がり練習機・理科実験用ミニコンロ）

○図書備品　294,693 円
- 松島第一小学校　課題図書、一般図書　（　66 冊）　98,360 円
- 松島第二小学校　課題図書、一般図書　（　64 冊）　98,070 円
- 松島第五小学校　課題図書、一般図書　（　66 冊）　98,263 円

3　ICT支援員配置業務委託料　6,930,000 円
- 期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

（次頁へ続く）

10　款	2　項	2　目

実績

4　要保護・準要保護家庭及び特別支援学級児童に対する教育扶助費

（単位：円）

内容（一人当たり限度額）	学校名 該当人員	就学援助費 松一小	就学援助費 松二小	就学援助費 松五小	就学援助費 小計	特別支援教育就学奨励費	合計
		36 人	8 人	1 人	45 人	13 人	58 人
学用品費	11,630	398,326	46,520	11,630	456,476	66,445	522,921
通学用品費	2,270	64,694	9,080	2,270	76,044	11,824	87,868
校外活動費(泊有)	3,690	22,140	0	3,690	25,830	3,690	29,520
校外活動費(泊無)	1,600	27,200	1,800	0	29,000	6,760	35,760
新入学用品費	57,060	69,060	0	0	69,060	25,555	94,615
通学交通費		0	0	0	0	0	0
修学旅行費	22,690	226,900	22,690	0	249,590	10,790	260,380
医療費	(実費)	0	0	0	0	0	0
給食費	(実費)	1,726,851	201,600	49,560	1,978,011	284,340	2,262,351
入学準備金	57,060	171,180	0	0	171,180	0	171,180
支給総額		2,706,351	281,690	67,150	3,055,191	409,404	3,464,595

※ 小学校全体：　就学援助費45人【準要保護（従来要件）40人・要保護5人・就学予定者3人】
特別支援教育就学奨励費13人

課題方向性

授業に必要となる教材、備品等を整えるとともにICT支援員を有効に活用しながら充実した授業の展開を図っていく。
また、1人1台端末の更新について、ネットワーク環境の改善を図りながら令和8年度からの稼働に向け受託業者との協議を進めていく。

一　般　会　計

10　款	2　項	3　目	学校保健衛生費（小学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,077	7,469				210	7,259

目的

学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、児童及び教職員の健康保持増進に努める。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
就学時健康診断費	B	－	3.7	学校保健安全法に基づき、就学前の各種健康診断を実施した。健康な状態または就学が可能な心身の状態で入学できるように適切な治療の勧めや保健上の助言を行った。
児童健康診断費	B	－	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、児童及び教職員の健康保持増進が図られた。
その他学校保健衛生経費	B	－	3.0	小学校における児童の健康保持のため、衛生面の強化や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。

実績

1　教職員検診

（単位：人）

項　目		受診者	要精検	備考
結核検診	（全教職員対象）	62	1	※産休者を除く　※要精検異常なし ※会計年度任用職員含む
胃がん検診	（40歳以上希望者）	13	2	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く
一般健診	（20歳以上希望者）	36	6	※重篤な疾患なし

2　備品購入費　116,985 円

○ 保健衛生用備品
- 松島第一小学校　　レスキューボードベンチ
- 松島第二小学校　　ハイブリッド式加湿器、サーキュレーター

（次頁へ続く）

10　款	2　項	3　目

実績

3　児童検診

（単位：人）

項目＼学年			小学校 1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	備考
在籍者数			85	72	84	85	92	79	497	
内科	肥満傾向(軽・中・高度)		6	5	12	9	15	10	57	※肥満傾向=軽度肥満以上
内科	脊柱・胸郭・四肢		0	0	0	0	0	0	0	
内科	心臓疾患(要観察含む)		3	0	1	0	2	1	7	
内科	皮膚	アトピー	1	0	1	0	0	0	2	
内科	皮膚	その他	0	0	0	0	0	0	0	
内科	尿二次所見有り	蛋白	0	0	1	0	0	0	1	
内科	尿二次所見有り	糖	0	0	0	0	0	0	0	
内科	尿二次所見有り	潜血	0	0	0	0	0	0	0	
血液（貧血要受診）								0	0	※ 要再検（130mg/dl以下）
血液（LDLコレステロール要受診）								2	2	
心電図要受診(要観察含む)			3			1			4	
結核	問診 要検討者		0	0	0	0	0	0	0	
結核	結核対策委員会		0	0	0	0	0	0	0	
眼科	裸眼視力0.7未満		13	13	23	25	24	20	118	※裸眼視力1.0未満の割合 小学校 25.7% （R7.5.31現在： 県39.1%、国36.8%）
眼科	ｱﾚﾙｷﾞｰ結膜炎		3	4	2	2	8	4	23	
眼科	その他（斜視他）		1	1	0	3	1	2	8	
耳鼻科	聴力所見有り		1	2	0		2		5	
耳鼻科	耳疾患（中耳炎等）			15	11		12		38	
耳鼻科	鼻・副鼻腔疾患等			4	8		7		19	
歯科	健全歯者		76	67	74	74	59	57	407	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町0.48本 （県0.6本、国0.53本）
歯科	処置完了者		2	3	3	6	13	10	37	
歯科	未処置歯保有者		2	2	7	3	20	9	43	
歯科	CO所有者		4	15	12	11	28	14	84	

4　保健教育

	内　　容	対　象	日　程
松島第一小学校	歯みがき指導（DVDを見ながら歯みがき）	全学年	毎月
	保健教育（体の成長とわたし）	4年生	1月
	薬物乱用防止教室 （学校薬剤師石田先生による出前授業）	6年生	2月
松島第二小学校	第81回全国小学生歯みがき大会 (ライオン歯科衛生研究所)	5年生	6月
	防犯教室(塩釜警察署生活安全課)	全学年	7月
	薬物乱用防止教室(学校薬剤師)	6年生	10月
	歯科保健学習、食育指導(松島町保健福祉センター)	全学年	10・11月
松島第五小学校	家庭学習強調週間（メディアコントロール）	全学年	6月・12月・2月
	松島町保健福祉センター 歯科衛生士と栄養士による歯と栄養の保健指導	1～４年生	6月･7月
	松島町保健福祉センター 保健師による喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室	6年生	1月

課題方向性

児童及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を引き続き実施する。
児童へ薬物乱用防止等をテーマに各学校で保健教育を引き続き実施する。
感染症対策を継続しながら健康安全に関する教育活動を行うとともに、感染予防のための保健衛生用品の調達等を今後も継続していく。
また、肥満傾向の児童が一定数いることから、関係機関と連携を図りながら肥満減少に向けて児童や家庭への指導に取り組む。

一　般　会　計

10　款	3　項	1　目	中学校管理費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	32,432	30,350	193	196		18	29,943

目的

町の教育の目指す姿である「誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人」と「特色ある学校づくりの推進」のため、生徒の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
中学校管理経費	B	－	3.0	生徒の安全・安心な教育環境を維持するため、学校施設の維持管理等を実施した。

実績

1　生徒数及び学校職員数　（令和6年5月1日現在）

（単位：人）

学校名	生徒数	教職員数						
		学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総　計
松島中学校	246	20	1	1	1	2	1	26

2　校務用コンピュータ整備状況

学校名	整備年度	整備台数
松島中学校	令和2年度	34台

3　需用費（修繕料）　1,053,569 円
- ガラス修繕　27,500 円
- 防火シャッター修繕　602,800 円
- 電源ブレーカー修繕　165,000 円
- 火災報知器等消防設備修繕　140,800 円
- 照明器具（教室）修繕　49,500 円
- 洗面コンセント修繕　29,700 円
- 電話設備修繕　38,269 円

4　工事請負費　393,400 円
- 防犯カメラ設置工事

5　備品購入費　388,875 円
- 庁用備品購入　135,875 円
  （ラミネーター・ハンディ掃除機・黒板ふきクリーナー・スチール製戸棚）
- カーテン購入　253,000 円

課題方向性

各施設の状況に合わせて必要な維持修繕等を実施しているが、建設後の年数が経過しているため施設の修繕や備品の更新などが多い状況である。

引き続き修繕箇所等の優先順位を検討することで経費の平準化を図りながら、今後を見据えた計画的な維持管理及び更新を行う。

一　般　会　計

10　款	3　項	2　目	教育振興費（中学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,209	11,953	135				11,818

目的

生徒の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な生徒又は就学予定者の保護者並びに特別支援学級に在籍する生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
義務教育教材経費	B	－	3.0	生徒がより良い環境の下、授業が受けられるように教育上必要な教材の整備が図られた。 また、教科書改訂に伴う教師用教材の整備が図られた。
要保護・準要保護経費	B	－	4.0	経済的理由によって、就学困難と認められる生徒の保護者に対し必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。
特別支援教育就学奨励経費	B	－	4.0	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対して、負担能力に応じて必要な援助を行い、教育環境の向上・義務教育の充実が図られた。

実績

1　教育用コンピュータ整備状況

		松島中学校
賃貸借	整備年度	令和6年度
	整備台数 （うちタブレット）	8 台 0 台
購入	整備年度	令和2年度
	整備台数 （タブレット）	304 台

2　備品購入費　561,030 円

○ 教材備品　381,370 円
（地球儀・CDラジカセ・ソフト用グラブ・ハードル・鉋（かんな）・丸イス（6脚））

○ 図書備品
課題図書、一般図書　（ 145 冊 ）　179,660 円

（次頁へ続く）

10　款	3　項	2　目

実績

3　要保護・準要保護家庭及び特別支援学級生徒に対する教育扶助費

（単位：円）

内容（一人当たり限度額）	該当人員	就学援助費	特別支援教育就学奨励費	合計
		25 人	4 人	29 人
学用品費	22,730	477,330	34,110	511,440
通学用品費	2,270	40,860	1,135	41,995
校外活動費（泊有）	6,210	0	0	0
校外活動費（泊無）	2,310	1,240	3,465	4,705
新入学用品費	63,000	0	0	0
通学交通費	26,180	40,731	0	40,731
修学旅行費	60,910	523,800	28,860	552,660
体育実技用具費（柔道着）	7,650	0	0	0
医療費	（実費）	0	0	0
給食費	（実費）	1,202,850	85,635	1,288,485
入学準備金	63,000	756,000	60,980	816,980
支給総額		3,042,811	214,185	3,256,996

※ 中学校： 就学援助費37人【準要保護（従来要件）21人・要保護4人・就学予定者12人】
特別支援教育就学奨励費4人

4　教科書改訂に伴う教師用教材購入　1,512,450 円

教科＼種別	教科書		指導書		副教材		備　考
国語	6 冊	5,382 円	6 冊	46,200 円	3 冊	125,400 円	
書写	2 冊	966 円	0 冊	0 円	1 冊	25,300 円	指導書単品販売なし
地理	2 冊	1,716 円	1 冊	8,800 円	1 冊	19,800 円	
歴史	2 冊	1,716 円	1 冊	8,800 円	1 冊	19,800 円	
公民	2 冊	1,716 円	1 冊	7,700 円	1 冊	17,600 円	
地図帳	2 冊	2,440 円	1 冊	17,600 円	0 冊	0 円	
算数	6 冊	4,068 円	6 冊	46,200 円	3 冊	108,350 円	
理科	6 冊	4,944 円	0 冊	0 円	3 冊	125,400 円	副教材に含まれる指導書で足りるため指導書単品未購入
音楽	4 冊	1,132 円	8 冊	103,400 円	10 冊	126,500 円	
美術	3 冊	1,091 円	0 冊	0 円	2 冊	118,800 円	指導書単品販売なし
技術	1 冊	729 円	0 冊	0 円	1 冊	77,000 円	副教材に含まれる指導書で足りるため指導書単品未購入
家庭	1 冊	729 円	0 冊	0 円	1 冊	77,000 円	
保健	2 冊	932 円	0 冊	0 円	2 冊	70,400 円	
英語	6 冊	2,160 円	3 冊	23,100 円	3 冊	151,800 円	
道徳	9 冊	4,329 円	3 冊	23,100 円	3 冊	130,350 円	
合計	54 冊	34,050 円	30 冊	284,900 円	35 冊	1,193,500 円	

教科書…生徒が使用する教科書と同様
指導書…教科書の内容に指導内容、解答等が記載されたもの
副教材…各教科の指導に使用する問題集やワークシート、音声CD等

課題方向性

授業に必要となる教材、備品等を整えるとともに、ICT支援員を有効に活用しながら、充実した授業の展開を図っていく。
また、1人1台端末の更新について、ネットワーク環境の改善を図りながら、令和8年度からの稼働に向け、受託業者との協議を進めていく。

一　般　会　計

10　款	3　項	3　目	学校保健衛生費（中学校）
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,866	3,562				101	3,461

目的

学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
生徒健康診断経費	B	－	3.7	学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、生徒及び教職員の健康保持増進が図られた。
その他学校保健衛生経費	B	－	3.0	中学校における生徒の健康保持のため、衛生面の強化や感染症対策、災害時に適切な対応をするために必要な維持管理が図られた。

実績

1　教職員検診　（単位：人）

項　目	受診者	要精検	備考
結核検診　（全教職員対象）	26	1	※産休者を除く　※要精検異常なし ※会計年度任用職員含む ※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く ※重篤な疾患なし
胃がん検診　（40歳以上希望者）	10	0	
一般健診　（20歳以上希望者）	20	3	

2　備品購入費

○ 保健衛生用備品　　松葉杖・空気清浄機・丸イス（6脚）　　71,575 円

3　生徒検診　（単位：人）

学年／項目			中学校 1年	2年	3年	計	備考
在籍者数			79	80	87	246	
内科	肥満傾向(軽･中･高度)		7	17	7	31	※肥満傾向=軽度肥満以上
内科	脊柱・胸郭・四肢		0	0	1	1	
内科	心臓疾患(要観察含む)		3	1	2	6	
内科	皮膚	アトピー	1	2	1	4	
内科	皮膚	その他	0	0	0	0	
内科	尿二次所見有り	蛋白	0	1	0	1	
内科	尿二次所見有り	糖	0	0	0	0	
内科	尿二次所見有り	潜血	0	1	0	1	
血液（貧血要受診）				0		0	※ 要再検（130mg/dl以下）
血液（LDLコレステロール要受診）				3		3	
心電図要受診(要観察含む)			2			2	
結核	問診 要検討者		0	0	0	0	
結核	結核対策委員会		0	0	0	0	
眼科	裸眼視力0.7未満		21	19	26	66	※裸眼視力1.0未満の割合 中学校 60.5% （R7.5.31現在：県65.1%、国60.6%）
眼科	ｱﾚﾙｷﾞｰ結膜炎		0	0	0	0	
眼科	その他（斜視他）		0	0	0	0	
耳鼻科	聴力所見有り		1		1	2	
耳鼻科	耳疾患（中耳炎等）		13		12	25	
耳鼻科	鼻・副鼻腔疾患等		5		3	8	
歯科	健全歯者		65	44	43	152	※12歳永久歯平均う歯本数 松島町0.48本 （県0.6本、国0.53本）
歯科	処置完了者		6	18	24	48	
歯科	未処置歯保有者		4	14	11	29	
歯科	CO所有者		9	23	21	53	

（次頁へ続く）

10　款	3　項	3　目

実績

4　保健教育

	内　　容	対　象	日　程
松島中学校	やせ傾向・貧血予防指導	個別指導2･3年生	6月
	保健講話「防災歯科について」	1年生	5月
	薬物乱用防止教室	3年生	12月
	肥満傾向指導	個別指導1～３年	9月
	歯肉炎予防指導	個別指導1～３年	11月

課題
方向性

生徒及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を引き続き実施する。
生徒へ薬物乱用防止等をテーマに保健教育を引き続き実施する。
感染症対策を継続しながら健康安全に関する教育活動を行うとともに、感染予防のための保健衛生用品の調達等を今後も継続していく。
また、肥満傾向の生徒が一定数いることから、関係機関と連携を図りながら、肥満減少に向けて生徒や家庭への指導に取り組む。

一　般　会　計

10　款	4　項	1　目	社会教育総務費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	32,635	31,484		478			31,006

目的

松島の「自然と歴史」を通じた生涯学習を地域・学校・家庭との協働により展開し、子どもから高齢者まで自発的に学習・交流する機会を提供することで、地域への郷土愛を醸成し、生活の豊かさを育み広げていく。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
社会教育・芸術文化振興関係経費	A	3.7	3.3	社会教育団体8団体に補助金を交付し、社会教育の振興に努めた。ジュニア・リーダー育成事業では、地域行事派遣等や各種技術研修会、二市三町合同事業へ積極的に参加して研鑽を積んだほか、自主事業の企画・運営を通じて会員の主体性を育んだ。
家庭教育推進事業等経費	A	4.0	3.7	地域学校協働活動推進事業では、地域・学校・家庭が協働することにより世代を超えた交流を図ることができた。特に、松島まるごと学では、地域の歴史・文化に触れる学習を通じて郷土愛の醸成につなげることができた。また、まつしま放課後子供教室では地域人材や外部講師を活用し、子ども達の多様な体験機会を設けることができた。
マイクロバス貸出に要する経費	B	－	3.3	幼稚園や各小学校の校外学習、中体連等の学校行事にマイクロバスが多く使用された。また、社会教育団体等の使用もあり、教養を高めることに寄与することができた。
社会教育委員経費	B	－	3.7	年3回の会議を開催し、各種社会教育事業に対する貴重な意見を得た。特に、視察を行ったジュニア・リーダー育成事業については、初めて休日に実施し、今後につながる評価・検証を得ることができた。

実績

【社会教育・芸術文化振興関係経費】　1,596,921 円

1　社会教育団体の活動・育成事業補助金

- 青少年健全育成松島町民会議　180,000 円
- 松島町子ども会育成連合会　120,000 円
- 松島町女性団体連絡協議会　40,000 円
- 松島町婦人会　160,000 円
- 松島町PTA連合会　100,000 円
- 松島町芸術文化協会　80,000 円
- 松島町小・中・高生徒指導連絡協議会　36,000 円
- ジョイントコンサート　60,000 円

2　芸術文化振興事業

- 宮城県巡回小劇場（演劇公演）の実施　214,500 円
  令和6年10月3日　演目：めっきらもっきらどおんどん
  町内小学校4・5年生178人鑑賞

（次頁へ続く）

実績

3　青少年健全育成事業

・中学生リーダー研修会（夫婦町：秋田県にかほ市との中学生交流事業）
　開 催 日 ：令和6年8月8日～9日
　研修場所 ：秋田県にかほ市 金浦公民館 他
　参 加 者 ：松島中学校生徒会執行部員10人、秋田県にかほ市参加中学生11人
・青少年健全育成松島町民会議研修会「若者の消費者トラブル ～その特徴と予防策～」
　開 催 日 ：令和6年11月6日
　研修場所 ：松島町文化観光交流館　1階　会議室
　参 加 者 ：25人

4　ジュニア・リーダー育成事業
※登録者数　45人（令和7年3月末時点）

実施日	内　　容	参加人数	場　　所
令和6年 4月14日	顔合わせ会	24 人	松島町勤労青少年ホーム
令和6年 5月12日	第1回二市三町ジュニア・リーダー代表者会議	3 人	七ヶ浜町中央公民館
令和6年 5月27日	二市三町合同研修会	14 人	七ヶ浜町生涯学習センター
令和6年 6月 9日	ネイチャーゲーム研修会	7 人	福浦島・明月庵
令和6年 6月16日	宮城県ジュニア・リーダー1年生研修会	1 人	宮城県青年会館
令和6年 6月23日	「文化財探検隊セタシマクエスト」派遣	8 人	福浦島
令和6年 7月 7日	野外炊飯研修会	11 人	松島町野外活動センター
令和6年 7月 7日	宮城県ジュニア・リーダー高校生技術研修会	1 人	宮城県青年会館
令和6年 7月27日	しおかぜホーム「ふれあいキャンプ」派遣	5 人	松島町野外活動センター
令和6年 7月28日	初原分館「お楽しみ会」派遣	13 人	初原コミュニティセンター
令和6年 8月 6日	第2回二市三町ジュニア・リーダー代表者会議	2 人	松島町文化観光交流館
令和6年 8月11日	児童館「こどもまつり」派遣	13 人	松島町文化観光交流館
令和6年 8月15日	松島流灯会「海の盆」派遣	10 人	松島海岸
令和6年 8月16～17日	仙台管内ジュニア・リーダー中級研修会	3 人	宮城県仙台合同庁舎
令和6年 8月19日	松島町・東松島市ジュニア・リーダー交流会	6 人	石田沢防災センター
令和6年 8月20日	高城地区子ども会「夏祭り」派遣	8 人	高城中央広場
令和6年 9月21～22日	二市三町合同キャンプ	11 人	松島自然の家
令和6年10月13日	二市三町合同スポーツ大会	8 人	多賀城市大代地区公民館
令和6年12月22日	まつしま放課後子供教室3校合同イベント派遣	13 人	松島町文化観光交流館
令和6年12月25～27日	宮城県ジュニア・リーダー上級研修会	5 人	蔵王自然の家
令和7年 1月26日	「仙台管内青年文化祭」派遣	1 人	富谷市成田公民館
令和6年9月9日・9月30日・10月7日・令和7年1月20日・1月27日・2月10日・2月17日	「まつしま放課後子供教室」派遣	延べ14 人	町内各小学校
令和7年 2月23日	松っ子まつり	19 人	松島町文化観光交流館
令和7年 3月22～23日	初級研修会	延べ10 人	松島町文化観光交流館他

定例会　11回　　参加者数　延べ87人

（次頁へ続く）

実績

【家庭教育推進事業等経費】 717,765 円

1 「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラムの推進・推進委員会の開催）
歴史文化教育カリキュラムをもとに、町内各小学校で統一的な体験の実施

小学4年生 ：品井沼干拓学習（2学期）
（対象：84人） ・品井沼干拓に関する史跡・施設を見学

小学5年生 ：森林学習（1～3学期）
（対象：92人） ・檀山での見学、チェーンソー体験、松くい虫の講話、木工体験

小学6年生 ：歴史出前授業
（対象：79人） ・出前授業「縄文時代の松島」（1学期）
・出前授業「瑞巌寺の歴史」 （1学期）
・瑞巌寺の見学（1学期）
・座禅体験（2学期）
・松島海岸付近の史跡見学（松二小、松五小）

2 「まつしま放課後子供教室」事業
児童の安全・安心な放課後の活動拠点を確保し、地域ボランティアや外部講師による体験活動、学習の見守りを実施
・活動概要 令和6年6月～令和7年2月（各小学校月に約1回・合同イベント2回 合計23回）
各小学校体育館・特別教室を利用
参加者数 松一小：延べ265人、松二小：延べ167人、松五小：延べ83人

3 「松島町地域学校協働本部」会議
より多くのより幅広い層の地域住民、団体等が参画し、緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進

実施日	主な協議事項	出席委員数	場 所
令和6年6月27日	地域学校協働活動の内容確認 グループワーク「松島の子供たちにつけさせたい力」	12人	松島町 文化観光交流館
令和7年2月19日	地域学校協働活動の報告 グループワーク（学校支援活動に関する情報交換・まつしま放課後子供教室「防災デイキャンプ」について）	11人	松島町 文化観光交流館

4 子育て支援講座兼「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会
テ ー マ ：「親子のふれあい～絵本をひらいてみませんか～」
※宮城県版親の学びプログラム『親のみちしるべ』を活用したグループワーク
開 催 日 ：令和6年11月8日
研修場所 ：松島町文化観光交流館 和室
参 加 者 ：未就学児保護者9人、託児5人

【マイクロバス貸出に要する経費】 2,799,325 円

マイクロバス貸出件数
(1) 社会教育・社会体育等行事 21 件
(2) 学校行事 127 件
(3) その他（他課等事業への貸出） 8 件 計 156 件

（次頁へ続く）

10　款	4　項	1　目

実績

【社会教育委員経費】　183,645 円

実施日	主な協議事項	出席委員数	場　所
令和6年5月27日	年間予定並びに活動内容の確認 社会教育団体への補助金の交付について	10人	松島町役場
令和6年7月 7日	地域学校協働活動推進事業の報告と評価・検証 ※視察事業「ジュニア・リーダー育成事業」	7人	松島町野外活動センター
令和7年2月25日	令和6年度活動報告・社会教育事業報告 地域学校協働活動推進事業の評価・検証結果の情報共有	11人	石田沢防災センター

課題
方向性

青少年健全育成事業については、子ども達を取り巻く環境が目まぐるしく変化するなか、各関係機関と協力･連携し、子ども達が安心して学んでいけるよう事業を展開していく。

ジュニア・リーダー育成事業については、会員が増加する一方で活動に参加する会員が固定化していることから、県内自治体との情報共有や各種研修会で学んだことを取り入れながら、引き続き意欲を持って活動できるよう促していく。また、実践の場で活躍できる人材育成のため、地域行事や社会教育事業への参加を通じて、全体のレベルの底上げを図っていく。

地域学校協働活動推進事業については、引き続き地域・学校と連携しながら「松島まるごと学」を推進し、松島に愛着や誇りを持つ児童生徒の育成に努めていく。また、松島町地域学校協働本部会議を通じて、地域住民・団体との情報交換を促進し、地域人材や教育資源を活用した「まつしま放課後子供教室」や学校支援活動の充実を図っていく。

一　般　会　計

10　款	4　項	2　目	公民館費
担当部署名	中央公民館		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	31,999	31,191				227	30,964

目的

町民のニーズに合わせた生涯学習の環境をつくるとともに、その事業の推進に努める。また、分館活動を通じて、町民の健康の増進・生活文化の振興に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
成人教育事業	A	3.0	3.7	教室では、受講者同士が教え合ったり学び合ったりしてお互いの教養を高め、学びの場として活用された。町民が地域や健康、SDGsに関心を持つ人材の育成に努めた。
文化観光交流祭事業	A	3.0	3.0	出演・出店者の意見を生かし、参加者も楽しめるよう内容を工夫し、町民同士の交流促進と文化振興が図られた。
成人式典関係経費	B	－	3.3	成人者も保護者も二十歳の喜びを分かち合えるよう、式典や会場などを工夫したことで、家族や恩師への感謝の気持ちと責任のある大人としての自覚を持つ機会を創出できた。
分館活動経費	A	4.0	3.0	分館毎の状況に合わせて事業を実施。分館の事業実施数は増加している。分館長会議の実施により地域の情報共有の場として活かせた。
公民館一般活動経費	A	3.0	3.0	分館と意見交換をすることで、地域活動の理解と工夫に生かされ、より円滑な公民館活動（教室等）に寄与することができた。様々な年代に向けた事業づくりや学習の機会に努めた。

【成人教育事業】　584,418 円

・中央公民館教室・講座

（単位：人、回）

名　　称	内　　容	開催期間	受講者数（延べ人数）	回数
GO!町歴史探検①②	①根廻・史跡見学、第五小授業参観・学校給食試食、二子屋浄水場見学など ②松島海岸見学、日吉山王神社・雄島・観瀾亭など	① 4月19日 ② 9月 6日	16	2
プロギング①～⑥	町歩きをしながらゴミ拾いを行い、健康増進と美化清掃を融合させた事業。 距離は3～5km、2時間程度のウォーキングとなる。 参加者は歩数を記録してポイントを貯める。	① 4月24日 ② 5月15日 ③ 6月 6日 ④ 7月 3日 ⑤ 9月25日 ⑥11月 7日	55	6
アトレ・るまつり	5年ぶりの実施。センダイガールズプロレスリング無料観覧、フリーマーケット、古本市、キッチンカーなど(※指定管理者と共催)	5月12日	1,800	1
宮城県図書館複製資料展示	日本の歴史や文化に親しむ機会として絵図や絵巻物などを展示（環海異聞、鳥獣戯画巻、東海道五十三次など）	6月11日～27日	1,000	1
パレットおおさき「みんなの天文教室」	大崎市にあるパレットおおさきへ親子でバス遠足「月と夏の大三角」夏の星座の学習	7月13日	12	1
ABC DAY きゃんぷ	野外活動センターでの小学生を対象とした日帰り英語体験（英語ゲーム、自然観察、調理実習、工作など）	7月23日	16	1
町民の森スターウオッチング	親子星空観察会 仙台市天文台移動天文車「ベガ号」による天体観測	7月23日	42	1

（次頁へ続く）

10　款	4　項	2　目

実績

（単位：人、回）

名　　称	内　　容	開催期間	受講者数（延べ人数）	回数
みんなで踊ろう盆踊り	「大漁唄い込み」をはじめとした地域の盆踊り継承のための盆踊り講習会 （自由工作、盆踊り講習会、縁日広場）	7月27日	54	1
夏休み親子料理教室「みんなでつくろう　おいしいランチ」	宮城県主催の食材王国みやぎ「伝え人」事業を活用した料理教室　トマトのニョッキ、ビシソワーズなど	7月31日	23	1
「こころ・はぐくみ隊」事業①～③	①「夏の冒険～木編～」木工体験・昔ながらの遊び・火起こし体験 ②「夏の冒険～水編～」簡易プール・シャボン玉・木工体験 ③「夏の冒険～火編～」火起こし体験・空き缶炊飯・じゃがバターなど	① 8月 4日 ② 8月24日 ③ 9月14日	39	3
松島の風景作品展	松島在住の作家佐藤孝一さんの水彩画展示	11月8日～29日	1,000	1
春待ちガーデン	野外活動センター円形広場遊具撤去跡地の利活用として「チューリップ」の球根まき体験	11月16日	6	1
消しゴムはんこ教室	消しゴムを削ってはんこの製作 クリスマスやお正月のデザイン作成	12月5日	6	1
クリスマスコンサート	洋楽器と和楽器の若手演奏家による小学生以下の親子無料の演奏会（ピアノ・フルート・尺八・津軽三味線・モダンバレエ）	12月7日	130	1
メグミルクの「チーズを美味しく楽しむために」	雪印メグミルクの食のコミュニテイ事業活用講座	1月23日	14	1
(株)明治の「チョコレートの世界へようこそ」	(株)明治の健康教室活用講座	1月30日	29	1
和菓子創作教室	和菓子（ねりきり）の制作	2月8日	18	1
親子料理教室	親子でクッキー作り体験	3月2日	20	1
親子ドローン体験教室	親子でドローンの操縦体験	3月23日	24	1
こどもの料理教室	いわゆる「一汁一菜」の基本の料理を学ぶことで生きる力を養う食育事業 ご飯炊き（おにぎり）・つけもの（浅漬け）・おみそ汁・卵焼き	3月28日	9	1

【文化観光交流祭事業】　114,139 円

10月27日、まつしま産業まつりと同日開催とした。
2,052人が参加する町民の文化・芸術の発表の場となった。
展示・販売の部…32団体、舞台の部…23団体
同時開催…ハロウィン祭り、子どもアート広場

（次頁へ続く）

10　款	4　項	2　目

実績

【成人式典関係経費】　477,046 円

名　　称	内　　容	開催日	参加人数
第76回松島町成人式（二十歳を祝う会）	成人年齢が20歳から18歳に引き下げられて、3度目の開催。町では20歳となった節目のお祝いとし実施した。新成人が社会人としての自覚を高め、新しい一歩を歩む記念となるよう、式典構成も工夫した。（アトラクションの松島祭連竹谷舞、フォトスポットなど）	令和7年1月12日	新成人出席者82人

【分館活動経費】　3,305,993 円

分館毎に工夫し、夏祭りや収穫祭などの地域イベントを開催した。

○ 分館数　12 分館

○ 松島町公民館分館事業補助金　1,455,000 円

・主な分館活動
グラウンド・ゴルフ大会、夏祭り、お茶っこ飲み会、収穫祭　等

○ 分館長会議開催回数　6 回

○ 第62回町民ふれあいスポーツ大会
実施日　6月2日　分館参加者　781名
優勝　上竹谷分館
準優勝　磯崎分館
第3位　初原分館

○ 研修会
・分館長・主事・会計移動研修
実施日　11月9日　分館参加者　22名(11分館)
旧堀切邸・鯖湖湯・町並み散策・福島県立美術館・道の駅ふくしま併設施設見学（ドッグラン、多目的広場、屋内こどもあそび場）

【公民館一般活動経費】　2,334,886 円

○ 社会教育施設自習室利用
・期間　4月1日～3月31日
・対象　小学生、中学生、高校生、大学生
・利用者数

場所	令和5年度	令和6年度
文化観光交流館	89 人	270 人
勤労青少年ホーム	351 人	308 人
合　　計	440 人	578 人

※「自習室」
町内の児童及び生徒等が自学自習する場として、令和4年8月から文化観光交流館と勤労青少年ホーム内に自習スペースを設置し開放した。
学びの場として、居場所や集いの場としても活用されている。

課題方向性

社会全体の働き方や生活スタイルの見直しにより利用者層も変化していることから、生涯学習の機会が損なわれないよう引き続き利用者ニーズ調査を行い、教室・講座の創意工夫に努める。
分館活動については、地域の実情に応じた様々な活動が今後も活発に実施されるよう分館長会議等で情報共有を図りながら支援に努める。
芸術文化活動については、毎年実施の「文化観光交流まつり」を軸にし、発表の場や催しを継続していく。

一　般　会　計

10　款	4　項	3　目	文化財保護費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,470	20,443	1,736	194		1,924	16,589

目的

文化財の保全・活用を通じて、町の歴史文化に対する町民の理解を深め、ふるさとを誇りに思う人材を育み、松島の魅力を広く発信する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
文化財関係一般経費	A	3.7	3.3	特別名勝松島の現状変更申請及び埋蔵文化財の発掘届受理・進達事務を通じて文化財の保護に努めた。活用面では宮城県や近隣市町と連携して各種事業の実施や各種講座を開催し、PR活動を行った。また、町史編さんに関わる文化財調査として古文書確認調査を実施した。
文化財関係施設維持管理経費	B	－	3.3	国指定史跡である西の浜貝塚公園、品井沼干拓遺構及び品井沼干拓資料館の適正な施設管理に努めた。
文化財保護委員会運営経費	B	－	3.7	町内文化財の管理状況等の報告を行った。また、町史編さん事業に関する進捗状況に対する意見聴取を行い、事業の進捗が図られた。
町内遺跡出土遺物再整理事業	B	－	3.3	瑞巌寺ライフライン整備等工事に合わせて実施した発掘調査により出土した遺物の整理作業を行ったほか、西の浜貝塚出土品（動物遺存体等）の再整理を行った。また、各種講座の開催や文化財説明看板製作設置により埋蔵文化財の普及・啓発に取り組んだ。

実績

【文化財関係一般経費】　1,047,810 円

1　特別名勝松島の現状変更の指導及び許可申請受付・進達　193 件

2　埋蔵文化財の管理及び諸開発事業の事前協議書申請受付・進達　22 件

3　埋蔵文化財包蔵地の現況調査（文化財保護地区指導員と共同調査）　5 箇所

4　町内文化財調査

(1)　所在確認調査

① 幡谷O家旧蔵文書	津波被災資料レスキュー・	資料写真撮影	74 点	(464コマ)
② 松島T家文書		資料写真撮影	20 点	(421コマ)
③ 桜渡戸K家文書		資料写真撮影	38 点	(833コマ)
④ 竹谷H家文書		資料写真撮影	142 点	(267コマ)
⑤ 松島D家文書		資料写真撮影	51 点	(245コマ)
⑥ 松島R文書		資料写真撮影	276 点	(772コマ)
⑦ 松島A家文書		資料写真撮影	3 点	(115コマ)
⑧ 高城O家文書		資料写真撮影	14 点	(311コマ)
⑨ 松島I家文書		資料写真撮影	9 点	(146コマ)

(2)　その他調査対応

① 津波痕跡調査　調査主体：北海道大学

② 西の浜貝塚出土貝類　調査主体：個人

（次頁へ続く）

実績

5　文化財資料の寄贈
・戦争関係資料（日章旗、古写真）　1式

6　町所蔵資料の公開・活用に関する業務
(1)文化財の展示
① 町民スペース
・令和6年 1月24日 ～ 令和7年 2月 3日　郡山合戦関係資料（伊達政宗文書パネル）
・令和7年 2月 5日 ～　西の浜貝塚出土　縄文土器

② 松島博物館
・令和6年 1月23日 ～ 令和6年 4月23日　日本遺産パネル展
・令和6年 4月24日 ～ 令和6年 7月21日　観瀾亭のたからもの展
・令和6年 7月22日 ～ 令和6年11月18日　動物遺存体から考える縄文時代の人と海
・令和6年 9月21日 ～ 令和6年11月20日　松島湾三町文化財展
・令和6年11月20日 ～ 令和7年 2月 3日　西の浜貝塚関連資料
・令和7年 2月 3日 ～　日本遺産パネル展

③ 松島湾三町文化財展
・令和6年 7月 6日 ～ 令和6年 9月 1日　松島町史編纂資料（絵はがき類）
会場：七ヶ浜町歴史資料館
・令和6年11月30日 ～ 令和7年 2月 9日　西の浜貝塚出土資料
会場：利府町文化交流センター「リフノス」

④ 学校への民具資料展示
・令和6年 5月30日　松島第二小学校（水田稲作関連民具　75点）

(2)出前授業等の実施
・学校向け出前授業・見学学習（松島まるごと学）　19件　延べ 472人
・一般向け町内所在の文化財に関する講演、町歩き　12件　278人
（全国史跡整備市町村協議会エクスカーション対応含む）
・二市三町歴史体験事業　縄文土器づくり体験　町内参加者 13人
令和6年8月25日（土器成型）、10月19日（土器焼成）
・むすび丸春日パーキングエリア「歴史体験まつり」　来場者 108人
令和6年9月14日（宮城県道路公社・松島町近隣市町と共同開催）

(3)日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の活用
・日本ガイドプログラム「景観と信仰　雄島ほか」　1回　9人
・文化財探検隊セタシマクエスト　4回　延べ 173人

(4)松島歴史体験ボランティア養成講座の実施
・活動概要　令和6年6月～令和7年1月　計7回開催
文化財の整理、保存、調査、活用などについての座学・実習
登録者：町民8人
・体験支援　1件（二市三町歴史体験事業　縄文土器づくり体験補助）

7　指定文化財の保存修理等事業補助
・瑞巌寺、圓通院、陽徳院維持管理事業（自動火災報知設備等）　177,000円

8　文化財防火デー消防訓練
実施日：令和7年1月25日
場所：松島町松島字町内（瑞巌寺）
参加機関：瑞巌寺自衛消防隊、陸上自衛隊反町分屯地、松島町女性防火クラブ連合会、松島町消防団(第1・2・3分団)、塩釜地区消防事務組合(松島消防署)、松島町交通安全指導隊　他

（次頁へ続く）

10　款	4　項	3　目

実績

【文化財関係施設維持管理経費】　3,366,182 円

1　国指定史跡西の浜貝塚公園の維持管理（施設・樹木管理業務委託）　1,853,500 円

2　品井沼干拓遺構及び資料館の維持管理（草刈・浄化槽保守点検業務委託他）　1,058,263 円

3　品井沼干拓資料館の利用（町内小学校も含む）　35 件　391 人

【文化財保護委員会運営経費】　29,727 円

実施日	主な協議事項	出席委員数	場　所
令和7年3月24日	・各種事業報告 ・現地視察：瑞巌寺及び富山大仰寺	6人	松島町役場他

【町内遺跡出土遺物再整理事業】　3,958,460 円

(1)瑞巌寺ライフライン整備等工事に伴う文化財調査
令和2年度から施工された瑞巌寺防災設備工事及びライフライン整備工事に伴い実施した、発掘調査における出土品の整理作業を行った。また、出土品のうち動物遺存体及び炭化物について分析のため外部委託を行った。

(2)松島れきし再発見講座
① Lesson8　西の浜貝塚で出土した動物遺存体
講　演：「西の浜貝塚の動物資源利用－獲って食べて装ってー」
講　師：日本動物考古学会 動物考古学者　吉永　亜紀子　氏
開催日：令和6年5月18日　（松島町石田沢防災センター）
参加者：36人

② Lesson9　松島からエミシ再考
講　演：「幡谷の蝦穴横穴墓群は誰の墓か？」
講　師：東海大学文学博士　松本　建速　氏
開催日：令和7年3月1日　（松島町文化観光交流館）
参加者：40人

(3)文化財説明看板製作設置（愛宕館跡）　440,000 円

(4)文化財パンフレット印刷（雄島遺跡）　3,000 部

課題方向性

松島の自然景観や文化財保全における特別名勝松島の現状変更申請等の事務処理には、指導・事前協議を含め依然として時間を要している状況となっているため、特別名勝松島連絡協議会等を通じて県や関連市町と連携しながら効率的な処理手法を見出していく。
文化財の活用面においては、引き続き関連市町村や各協議会と協力・連携して普及活動等を行い文化財の魅力を発信していく。

一　般　会　計

10　款	4　項	4　目	町民の森費
担当部署名	中央公民館		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,214	14,745				1	14,744

目的　民間の活力を活かして、町民の森施設の施設管理及び生涯学習の場として有効利用促進に努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
町民の森維持管理経費	A	3.3	3.0	利用者の安全に配慮し、老朽化した大型遊具を撤去した。自然豊かな森林公園の環境維持に努めた。
町民の森運営経費	A	3.0	3.0	長松園まつり事業については、実行委員会の協力により実施し、長松園の歴史的背景等、理解を深めることができた。

【町民の森維持管理経費】　12,600,000 円

1　指定管理業務委託
- 指定管理料　12,600,000円（令和6年4月から令和7年3月まで）
- 指定管理期間　令和2年4月から令和7年3月まで（5年間）
- 指定管理者　特定非営利活動法人　ウイザス

2　利用状況

（単位：人）

	利用者数	内訳					
		センターロッジ	テント	多目的ホール	研修室	円形広場	炊事棟
4月	1,390	0	259	41	0	1,090	0
5月	1,349	0	425	3	0	921	0
6月	884	0	177	53	33	621	0
7月	1,570	108	132	226	136	873	95
8月	842	0	78	89	89	532	54
9月	990	44	122	92	93	639	0
10月	1,485	36	295	152	126	876	0
11月	1,401	0	267	198	133	792	11
12月	694	90	50	109	97	348	0
1月	325	0	0	0	0	325	0
2月	357	0	0	14	14	329	0
3月	757	0	158	19	30	533	17
合計	12,044	278	1,963	996	751	7,879	177

利用者内訳　町内　3,839 人　町外　8,205 人

3　指定管理者自主事業

（単位：人）

事　業　名	実　施　日	参加人数（延べ）
親子ヨガ教室・ワークショップ	6月30日	15
行政書士による無料相談会①～④	① 7月20日 ② 9月21日 ③11月16日 ④12月14日	16
ワークショップ①②	① 8月25日 ②12月15日	12
わんぱくキャンプ	10月20日	26
姿勢改善レッスン①～③	①10月13日 ② 2月16日 ③ 3月16日	31
太極拳教室	11月10日	11

（次頁へ続く）

10　款	4　項	4　目

実績	【町民の森運営経費】　2,144,278 円 ・工事請負費 円形広場大型遊具撤去工事　1,485,000 円 ・補助金 長松園まつり事業補助金　100,000 円
課題 方向性	円形広場などで子どもたちが自由に遊べる場所の確保と自然体験ができる施設の有効活用に継続して努める。 新たな指定管理期間では、町民の森が民間活力による自主事業実施により、「町民の憩いの場」として認識されていくよう連携を図っていく。

一　般　会　計

10　款	4　項	5　目	地域交流センター費
担当部署名	中央公民館		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,647	4,877				3	4,874

目的

地域活動の拠点施設として適切な維持管理を行い、生涯学習の場として教育講座を開催し、利用促進に努める。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
手樽地域交流センター管理費	A	3.0	3.0	適切な維持管理を継続実施した。
松島東部地域交流センター管理費	A	3.0	3.0	適切な維持管理を継続実施した。

実績

1　松島町地域交流センター施設利用一覧表

（単位：人）

区分	利用者数	内訳（手樽地域交流センター）		内訳（松島東部地域交流センター）		
		センター施設	グラウンド	センター施設	グラウンド	体育館
4月	572	57	449	0	48	18
5月	993	122	793	18	44	16
6月	597	88	400	21	52	36
7月	675	81	490	0	48	56
8月	597	30	375	15	157	20
9月	599	93	368	0	78	60
10月	1,067	615	325	18	43	66
11月	747	146	400	20	125	56
12月	121	95	0	0	26	0
1月	84	68	0	0	16	0
2月	102	64	0	0	38	0
3月	103	51	0	0	37	15
合計	6,257	1,510	3,600	92	712	343

課題方向性

施設の老朽化により、維持費も増加傾向にあるため、施設の有効活用について継続して検討していく。

一　般　会　計

10　款	4　項	6　目	町史編纂費
担当部署名	教育課町史編さん室		（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,289	2,746				10	2,736

目的

町制施行100周年記念事業として刊行する町史を編さんするもの。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
町史編纂事業	A	4.0	3.7	町史編さん委員会を開催し、方向性を定めるとともに、編さんに関わる基礎資料の収集を行った。また、町公式Facebook等を通じて情報発信を行った。

実績

【委員会等】

・町史編さん委員会　　令和6年5月22日
・執筆者打ち合わせ会　　令和7年2月20日

【町史編さんにかかる資料調査】

1　古文書資料　　12/35 件　（進捗率34%）

2　近世石碑　　440/620 基　（進捗率71%）

3　山城調査　　愛宕館跡

4　西の浜貝塚出土遺物　　土器・動物遺存体など

5　民具資料調査

【町史編さんに関する情報発信】

町公式Facebookへの投稿　　22 件

課題方向性

町史編さん委員会及び執筆者打ち合わせ会を開催し、通史の枠組みや方向性を定めた。
資料収集については、専門家の指導援助を受けながら進めることができた。その結果、新たに発見した資料も数多く、データ化して公開できるよう作業を行っていく。
また、調査した内容を広く普及していくための取組について引き続き検討する。

一　般　会　計

10　款	5　項	1　目	保健体育総務費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,701	12,451					12,451

目的

心身ともに健康で活力に溢れた生活が送れるようスポーツ活動へ取り組むきっかけづくりを行う。また、社会体育施設を健康増進とコミュニケーションづくりの場として提供し、生涯スポーツの普及と振興を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
保健体育一般経費	B	－	3.3	町民に向けてスポーツにふれあう機会や活動を継続するための事業を行うことができた。 スポーツ推進委員の協力を得て、各種スポーツ大会の開催、町民グラウンドや学校体育施設を提供することでスポーツ活動の場を確保し、選手等の体力・技術向上に加え、交流の機会を提供できた。また、町内のスポーツ団体並びにスポーツ少年団の活動・育成支援として松島町スポーツ協会に対し補助金を交付し、スポーツの普及促進に寄与した。

実績

【保健体育一般経費】　4,578,019 円

1　スポーツ推進委員会議
- 第1回　令和6年5月16日（参加委員 6人）
- 第2回　令和7年3月27日（参加委員 8人）

2　スポーツ推進委員の主な活動
- 第62回町民ふれあいスポーツ大会　運営協力
- 心の震災復興・障がい者就労支援グラウンド・ゴルフ大会　運営協力
- クイーンズ駅伝in宮城　第44回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会　運営協力
- 仙台管内スポーツ推進委員協議会等への参加

3　町民グラウンド指定管理料　1,213,000 円
- 指定管理期間　令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日（5年間）

4　町民グラウンド利用状況

月	件数（件）	人数（人）
4	19	586
5	36	1,113
6	28	1,612
7	23	702
8	19	1,150
9	30	985
10	22	972
11	28	1,181
12	13	487
1	7	280
2	8	327
3	17	362
計	250	9,757

（次頁へ続く）

10　款	5　項	1　目

実績

5　松島町立学校体育施設利用状況（一般開放分）

学校名		松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校	松島中学校	合　計
体育館	利用人数（人）	2,596	1,012	258	5,377	9,243
	利用件数（件）	192	61	14	258	525
校庭	利用人数（人）	2,555	126	130	0	2,811
	利用件数（件）	62	6	13	0	81
合計	利用人数（人）	5,151	1,138	388	5,377	12,054
	利用件数（件）	254	67	27	258	606

6　(1)クイーンズ駅伝in宮城　第44回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会の運営協力
開 催 日：令和6年11月24日（スタート地点：松島町文化観光交流館前）
内　　容：町内スポーツ団体等へのコース整理員(68人)の協力依頼、大会副賞の提供

(2)ふれあい陸上教室の開催
開 催 日：令和6年11月25日
参 加 者：松島第一小学校（2年生 47名）
内　　容：　クイーンズ駅伝参加チーム「パナソニックエンジェルス」の監督及び選手によるランニング指導及び対抗リレー

7　松島町スポーツ協会事業補助金　2,900,000 円

課題方向性

多くの町民にスポーツの楽しさや健康増進の大切さが伝わるようスポーツ推進委員や松島町スポーツ協会等と協力・連携し、さらなる周知及び活動機会の確保を図る必要がある。また、学校体育施設利用の在り方について維持管理費等を踏まえた学校開放を検討する。

各施設の管理については、利用者が安全・安心にスポーツを楽しめる施設環境を提供するため、引き続き適切な維持管理を行っていく。

一　般　会　計

10　款	5　項	2　目	海洋センター費
担当部署名	教育課生涯学習班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,512	10,508				24	10,484

目的

海洋性スポーツ事業を通して幼少期から身体を動かすことの楽しさを提供するとともに、安全・安心にスポーツに親しむことができる施設の管理運営を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
海洋センター管理運営経費	A	3.0	3.0	未就学児等を対象とした運動教室や体験活動を指定管理者と協力・連携して行い、子どもたちが楽しく気軽にスポーツに親しむ機会を提供することができた。

実績

【海洋センター管理運営経費】　10,507,202 円

1　B&G海洋センター指定管理料　10,172,000 円
・指定管理期間　令和5年4月1日 ～ 令和10年3月31日（5年間）

2　B&G海洋センター事業

名称	実施日	内容・目的	参加人数	会場
2024B&G宮城･東北ブロック合同マリンスポーツフェスティバル	令和6年7月26日	青少年の健全育成、自然環境を活かした海洋性スポーツの普及と参加者の交流を図る。	全参加者数74人(町内5人参加)	登米市迫長沼ボート場
2024B&G宮城ウインタースポーツフェスティバル	令和7年1月25日	青少年の健全育成、雪のふれあいを通して、生涯スポーツの推進と参加者の交流を図る。	全参加者数31人(町内2人参加)	蔵王町みやぎ蔵王えぼしリゾート

3　海洋センター利用状況　（単位：人）

月	体育館	会議室	屋外多目的運動場	計
4	1,053	131	229	1,413
5	1,025	138	104	1,267
6	1,184	161	276	1,621
7	1,193	251	212	1,656
8	826	106	178	1,110
9	1,431	154	232	1,817
10	1,372	67	221	1,660
11	1,005	123	115	1,243
12	756	143	86	985
1	876	181	16	1,073
2	884	210	43	1,137
3	1,770	123	231	2,124
計	13,375	1,788	1,943	17,106

課題方向性

海洋センターの建築年数経過に伴い設備等の老朽化も見受けられるが、指定管理者と連携・協議を行いながら、利用者が安全・安心に利用できる社会体育施設として、引き続き適切な施設管理に努めていく。

一　般　会　計

10　款	5　項	3　目	給食施設費
担当部署名	学校給食センター		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	121,480	117,477				45,255	72,222

目的

栄養バランスの取れた食事の提供と、園児や児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善を図り、成長期にある子どもの健康保持や増進、望ましい食習慣の確立に努める。食事の時間を通して、豊かな人間関係を作り、共同作業を通じて、勤労の大切さや協調、感謝の心を養うことに努める。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
学校給食センター施設設備更新事業	A	3.3	3.0	経年劣化による施設設備の修繕等を実施し、安全面及び衛生面での環境整備が図られた。
学校給食センター管理運営に要する経費	B	－	3.3	栄養バランスの取れた給食提供のため、献立内容や調理方法の工夫に努め、また、予定献立表や教育委員会のホームページを活用し、食に関する情報等を広く発信することができた。
学校給食センター運営審議会に要する経費	B	－	3.3	学校給食の運営に関する重要事項を調査審議する組織であり、学校給食の運営方針や地場産品の利用促進等について審議することができた。

実績

【学校給食センター施設設備更新事業】

1　使用料及び賃借料　9,489,634円

・厨房機器等リース（浸漬槽付超高圧洗浄機、食缶洗浄機、スチームコンベクション、連続揚物機、フードスライサー）

・真空冷却機等リース（真空冷却機、包丁まな板殺菌庫）

・蒸気回転釜リース

・消毒保管機リース

2　備品購入費　1,663,200円

・給食配送用コンテナ車（大サイズ：2台、小サイズ：4台）　計6台

【学校給食センター管理運営に要する経費】

1　委託料　23,958,000円

・学校給食調理等業務委託
調理、食材の検収・保管、盛り付け・配食、食器具等の洗浄・消毒・保管、施設設備の清掃・点検、残滓・厨芥の処理、集配送（車両2台配備）、ボイラー運転及び付帯業務

（次頁へ続く）

実績

2　年間給食回数と給食費

区　分	給食人員（人）	年間給食回数(回) 最多食数	1食当たりの給食費（円）
幼稚園	47	160（年少）	260
		165（年中・年長）	
小学校	499	183	280
中学校	244	180（1･2年生）	330
		168（3年生）	

3　食育の推進

○ 栄養教諭による食育指導等
・すべての幼稚園と小・中学校において栄養教諭による食育指導を行うとともに、中学校1年生の家庭科では「献立作成のポイントについて」と題した授業を行い、実際に考案献立を提供した。（11月18日、12月4日、1月22日）
・栄養教諭が毎月作成し配布している給食に関する情報を活用し、各幼稚園・小中学校の昼食時間に校内放送でアナウンスを行い、食への知識と関心を高めるよう働きかけた。
・毎月の予定献立表・給食だよりや教育委員会のホームページを通じて、児童生徒及び保護者に対して、学校給食の目的や食育に関する情報を発信した。

○ 宮城県及び町内産の食材等を使用した給食
・食育月間（6月）や地場産物活用週間（6・11月）では、「食」に関心を持ってもらうことを目的に宮城県や松島町の地場産物を多く活用した献立を提供した。
・全国学校給食週間（1月）では、食文化や地元食材に興味を持ち地域の理解を深めることを目的に、宮城県の郷土料理や特産品を多数取り入れたメニューを提供した。

4　地場産品の利用促進

○ 松島産の野菜などの使用
　給食メニューとして使用及び納品が可能な地元産の食材については、JA仙台（東部営農センター）等関係団体の協力により、積極的に使用するよう努めた。

○ 学校給食用野菜等の使用状況
（野菜・主要品目）

品　目	令和5年度			令和6年度		
	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)
じゃがいも	3,260	330	10.1	3,018	239	7.9
白菜	579	433	74.8	721	438	60.7
大根	959	545	56.8	1,097	400	36.5
人参	2,237	0	0.0	2,276	12	0.5
ねぎ	923	726	78.7	956	640	66.9
キャベツ	2,348	207	8.8	1,983	147	7.4
玉ねぎ	3,440	662	19.2	3,620	610	16.9
きゅうり	656	29	4.4	427	0	0.0
合計	14,402	2,932	20.4	14,098	2,486	17.6

（米、その他の町内産使用数量・kg）

品　目	令和5年度	令和6年度
環境保全米	7,552	7,327
トマト	389	498
たけのこ	0	10
かぼちゃ	0	73

（次頁へ続く）

10　款	5　項	3　目

実績

5　食物アレルギー等対応

食物アレルギー等の児童生徒への対応として、保護者からの個人調査票の提出により、給食対応（給食の一部停止と詳細献立の提供）を実施した。

対　　応	人数
全部停止	1人
一部停止(牛乳停止)	8人
一部停止(パン)	3人
詳細献立の提供	17人

6　学校給食費の収入状況

・現年度分　（単位：円、%）

区　　分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
調　定　額　(A)	48,356,038	47,074,212	46,637,570
収 入 済 額　(B)	47,165,653	45,678,377	45,148,045
不納欠損額　(C)	0	0	0
収入未済額　(A-B-C)	1,190,385	1,395,835	1,489,525
徴　収　率　(B/A*100)	97.5	97.0	96.8

・滞納繰越分　（単位：円、%）

区　　分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
調　定　額　(A)	9,653,866	10,541,571	11,466,655
収 入 済 額　(B)	302,680	470,751	107,640
不納欠損額　(C)	0	0	0
収入未済額　(A-B-C)	9,351,186	10,070,820	11,359,015
徴　収　率　(B/A*100)	3.1	4.5	0.9

【学校給食センター運営審議会に要する経費】

・学校給食センター運営審議会（年1回）　7月29日開催
（ 運営委員数 10名 ）

・学校給食担当者会議（年2回）　1回目　5月24日開催
2回目　1月24日開催

課題
方向性

給食センターの設備、機器類に関しては、修繕、交換を適宜行い、適切な維持管理を努める。

また、学校給食衛生管理基準に則り、腸内細菌検査等を定期的に行い、衛生面に十分な配慮をするとともに、給食従事者に係る安全対策を徹底する。

食育の推進に関しては、各学校並びに栄養教諭等と連携を図り、「食の大切さ」「栄養バランス」等について積極的に取り組んでいく。

また、宮城県産や松島町産の地場産物の積極的な活用を図りながら、県内外の郷土料理や世界の料理を取り入れるなど献立も工夫しながら、子どもたちが「食」に興味を持ってもらうよう取り組んでいく。

学校給食費の未納対策については、翌年度に滞納を繰り越さないように、文書、電話、訪問による催告並びに納付相談を早い段階で着手し収納率の向上に努めていく。

一　般　会　計

10　款	6　項	1　目	幼稚園費
担当部署名	教育課学校教育班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	71,728	68,710	561	280		1,291	66,578

目的

幼稚園教育の基本施策に基づく、「学びの芽生えに寄り添う幼児教育」に向けた教育体制及び施設の充実を図る。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
第一幼稚園管理費	B	－	3.0	松島第一幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。様々なケースに対応できるよう研修会に積極的に参加し、円滑な園運営が図られた。
第五幼稚園管理費	B	－	3.0	松島第五幼稚園の維持管理修繕等を実施し、適切な維持管理が図られた。様々なケースに対応できるよう研修会に積極的に参加し、円滑な園運営が図られた。
保健診療費	B	－	3.7	食育・生活習慣・運動習慣の早期指導等を実施した。健診結果は各学校保健委員会等で報告し、様々な健康問題について研究協議した。
施設等利用給付費	B	－	3.0	幼児期の教育及び保育を行う施設の利用費を給付し、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図った。

実績

1　園児数及び教諭数　（令和6年5月1日現在）　（単位：人）

幼稚園名	定員	園児数	教職員数
松島第一幼稚園	70	35	8
松島第五幼稚園	40	11	5
計	110	46	13

※教職員数は、園長・教育補助員を含む

2　一時預かり保育事業　（単位：人）

幼稚園名	利用実人数	延べ利用人数	利用事由
松島第一幼稚園	21	64	・学校行事（授業参観、PTA行事、懇談会） ・健診、通院、介護等 ・交通事情等　・冠婚葬祭
松島第五幼稚園	7	22	
計	28	86	

3　幼小との交流の取組

事業名	内容
あそびうたコンサート	幼稚園合同で音楽表現活動の実施
小学校との交流	年長児が就学に向け、小学校の校舎や授業を見学した。
小学校との合同行事	合同避難訓練及び引き渡し訓練の実施

（次頁へ続く）

実績

4　幼稚園教育推進の取組

事業名	内容
体力づくり事業	マリソルボール遊びの会・リズムダンスの会の活用や外遊びの推奨
国際理解教育の推進	ALTを活用した初歩的な英語コミュニケーションの推進
保護者アンケート	保護者のニーズや教育環境についてのアンケートを実施し、行事の実施や保育環境での支援に取り入れた
巡回支援専門員整備事業（のびっ子クラブ）	発達障害支援を提供できる専門知識とスキルを習得し、保育環境での支援を実施
健康づくり事業	むし歯や歯周病の予防方法の理解と実践。食べる機能や食べ方を通した食育に関する実践的な歯・口の健康づくり指導

5　需用費（修繕料）　418,440 円
○ 松島第一幼稚園　239,800 円
・ 照明器具（職員室）修繕　49,500 円
・ エアコン室内外機修繕　149,600 円
・ 手洗場自動水栓修繕　40,700 円

○ 松島第五幼稚園　178,640 円
・ 玄関タイル修繕　35,640 円
・ 網戸張替修繕　8,800 円
・ エアコン修繕　84,700 円
・ エアコン修繕　49,500 円

6　工事請負費　1,265,440 円
・ 防犯カメラ設置工事

7　備品購入費　360,100 円
○ 松島第一幼稚園　301,000 円
・ 庁用備品購入
（蛍光灯飛散防止パック、テーブル、Bluetoothユニットスピーカー、
マグネット玩具、着せ替え抱っこ人形）
○ 松島第五幼稚園　59,100 円
・ 庁用備品購入
（シュレッダー、日除けテント）

（次頁へ続く）

10 款	6 項	1 目

実績

7　園児検診

項目＼学年			幼稚園 年少	年中	年長	計
在籍者数			16	13	17	46
内科	肥満傾向(軽・中・高度)		1	0	0	1
	脊柱・胸郭・四肢		0	0	0	0
	心臓疾患(要観察含む)		0	0	0	0
	皮膚	アトピー	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
	尿二次所見有り	蛋白	0	0	0	0
		糖	0	0	0	0
		潜血	0	0	0	0
血液（貧血要受診）						0
血液（LDLコレステロール）						0
心電図要受診(要観察含む)						0
結核	問診 要検討者					0
	結核対策委員会					0
眼科	裸眼視力0.7未満		0	0	0	0
	ｱﾚﾙｷﾞｰ結膜炎		0	0	0	0
	その他（斜視他）		0	0	0	0
耳鼻科	聴力所見有り		0	0	0	0
	耳疾患（中耳炎等）		0	0	0	0
	鼻・副鼻腔疾患等		0	0	0	0
歯科	健全歯者		10	8	8	26
	処置完了者		1	0	6	7
	未処置歯保有者		4	2	3	9
	CO所有者		4	1	4	9

8　施設等利用給付費

・子育てのための施設等利用給付	1,094,450 円
利用料（3人）	925,200 円
預かり保育料(2人)	169,250 円

課題方向性

増加傾向にある支援を必要とする園児について、巡回支援専門員整備事業や研修を通して専門知識を深め、保育園・小学校・関係機関と連携しながら相談や支援体制の充実を継続する。

むし歯や歯周病の予防方法の理解と実践。食べる機能や食べ方を通した食育に関する実践的な歯・口の健康づくり指導を継続する。

さらに、交流事業を通じた体験的な学びを大切にし、園児一人ひとりの成長に寄り添いながら、社会性・協働性を育む幼児教育の充実を図る。

一　般　会　計

11　款	1　項	1　目	農地災害復旧費
担当部署名	建設課建設班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	500	183					183

目的	令和6年6月の大雨により被災した農地の復旧を行う。

評価成果	事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
	農地災害復旧費（雨災）	B	－	3.0	令和6年6月の大雨により被災した農地について災害復旧工事が完了し、農地の復旧が図られた。

実績

【農地災害復旧費（単独・雨災）】

令和6年6月の大雨により被災した農地について、災害復旧工事を実施した。

1　工事請負費　182,600 円

・令和6年6月大雨農地災害復旧工事　182,600 円

課題方向性	令和6年6月の大雨で被災を受けた農地について、年度内ですべて完了した。

一　般　会　計

11　款	2　項	1　目	公共土木施設災害復旧費
担当部署名	建設課建設班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,526	15,322					15,322

目的

令和5年3月に完了した町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧工事に起因する家屋等への影響を確認するための事後調査及び補償を行う。
令和6年6月の大雨により被災した公共土木施設の復旧を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
公共土木施設災害復旧費（地震災）	B	－	3.0	令和5年3月に完了した町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧工事に起因する家屋等への影響を確認するための事後調査を行い、調査結果に基づいて関係者へ補償を行った。
公共土木施設災害復旧費（雨災）	B	－	3.0	令和6年6月の大雨により被災した公共土木施設の災害復旧工事が完了し、施設の復旧が図られた。

実績

【公共土木施設災害復旧費（単独・地震災）】

令和5年3月に完了した町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧工事に起因する建物等の工事損失補償を行った。

1　委託料　7,412,900 円
・町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧工事
建物等事後調査業務委託

2　補償金　7,112,402 円
・町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧工事に伴う建物等補償金

【公共土木施設災害復旧費（単独・雨災）】

令和6年6月の大雨により被災した公共土木施設について、災害復旧工事を実施した。

1　工事請負費　796,400 円
・令和6年6月大雨公共土木施設災害復旧工事

課題方向性

令和5年3月に完了した町道松島・磯崎線（松島大橋）橋梁外災害復旧工事に起因する家屋等への影響を確認するための事後調査を行い、調査結果に基づき関係者への補償を完了した。
令和6年6月の大雨で被災したすべての公共土木施設について、年度内ですべて完了した。

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

－ 款	－ 項	－ 目	国民健康保険特別会計
担当部署名	町民福祉課町民サービス班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,705,559	1,622,167	4,032	1,210,973		177,368	229,794

目的

国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び福祉の向上に寄与する。
また、国民健康保険被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行う。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
【国保】総務費	B	－	3.0	国民健康保険被保険者の資格及び給付管理を適切に行い、被保険者の適正な医療の確保に努めた。また、国民健康保険税の賦課徴収が適正に行われた。
【国保】保険給付費	B	－	3.0	被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡の際の保険給付について速やかに行うことができた。
【国保】保健事業費	B	－	3.0	特定健康診査及び特定保健指導を実施し、被保険者の健康維持増進に努めた。また、第三期データヘルス計画に基づく保健事業を実施し、生活習慣病の重症化予防、医療費の適正化を図ることができた。
【国保】国民健康保険事業費納付金	B	－	3.0	財政の運営主体である宮城県に、国民健康保険事業費納付金を納めることにより、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。
【国保】基金積立金	B	－	3.0	国民健康保険の財政を調整し、健全な財政運営を確保することができた。
【国保】諸支出金	B	－	3.0	保険税や保険給付費の還付金等、被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。

実績

1　運用状況

区分＼年度	単位	令和6年度	令和5年度	比較
年間平均世帯数	世帯	1,840	1,888	△ 48
年間平均被保険者数	人	2,695	2,826	△ 131
年間平均介護保険第2号被保険者数	人	862	891	△ 29

2　保険給付状況

区分＼年度	令和6年度		令和5年度		比較	
	件数（件）	支給額（千円）	件数（件）	支給額（千円）	件数（件）	支給額（千円）
療養給付費	51,795	1,006,541	55,780	1,024,967	△ 3,985	△ 18,426
療養費	783	6,541	761	5,052	22	1,489
高額療養費	2,907	164,865	2,956	165,243	△ 49	△ 378
出産育児一時金	2	1,000	6	2,920	△ 4	△ 1,920
葬祭費	29	1,450	30	1,500	△ 1	△ 50
傷病手当金	0	0	1	4	△ 1	△ 4
計	55,516	1,180,397	59,534	1,199,686	△ 4,018	△ 19,289

区分＼年度		令和6年度（円）	令和5年度（円）	比較（円）
療養給付費平均1人当たりの額	一般被保険者	373,485	362,692	10,793
	退職被保険者等	0	0	0
療養費平均1人当たりの額	一般被保険者	2,427	1,788	639
	退職被保険者等	0	0	0
高額療養費平均1人当たりの額	一般被保険者	61,174	58,472	2,702
	退職被保険者等	0	0	0

（次頁へ続く）

実績

3　国民健康保険事業費納付金

区分＼年度	令和6年度（千円）	令和5年度（千円）	比較（千円）
医療給付費分	245,382	264,954	△ 19,572
後期高齢者支援金分	85,705	91,880	△ 6,175
介護納付金分	26,678	31,885	△ 5,207

4　保健事業

特定健康診査

区分＼年度	令和6年度			令和5年度		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
特定健康診査	2,280人	1,161人	50.9%	2,392人	1,265人	52.9%

※受診者は、情報提供事業（83人）を含む。

特定保健指導

年度	区分	対象者（人）A	参加者（人）B	参加率（%）B／A	終了者（人）
令和6年度	動機付け支援	108	43	39.8	38
	積極的支援	33	10	30.3	8
令和5年度	動機付け支援	129	41	31.8	40
	積極的支援	52	10	19.2	9

5　データヘルス計画に基づく保健事業

事業名	事業内容	評価
特定健診・特定保健指導受診率向上事業	① 未受診者対策 ② 医療機関からの情報提供事業 ③ 特定健診・特定保健指導に関する啓発 ④ 特定健診早期介入保健指導事業	特定健診受診率　50.9% 情報提供数　83件 受診勧奨の実施：100% 特定保健指導実施率　37.6%
糖尿病重症化予防事業	① 啓発普及事業 ② 保健指導判定該当者に対する保健指導 ③ 要医療判定で未受診者に対する受診勧奨 ④ 糖尿病性腎症重症化予防事業	特定健診受診者のHbA1ｃの保健指導判定以上の割合：77.8% 糖尿病性腎症重症化予防事業申込者数：3人 新規人工透析導入者数：3人
生活習慣病予防事業	① 生活習慣病予防をテーマとした健康教育・健康相談の実施 ② 地域における運動普及の推進 ③ 健康ポイント事業の実施 ④ 大腸がん検診の受診勧奨	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合：男性45.2%　女性17.6% 運動習慣のある人の割合 男性：43.9%　女性：33.4% 生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合：男性31.4%　女性31.0% 健康ポイント目標達成者数：100人 大腸がん検診精検受診率：85%
健診異常値放置者受診勧奨事業	① 血圧異常値放置者への受診勧奨 ② 健診結果から至急受診連絡者への受診勧奨 ③ e-GFR異常値放置者への受診勧奨 ④ 健診後行動に関する普及啓発	受診行動につながった人の割合 62.2%
医療費適正化指導事業	① 重複・頻回受診者への普及啓発 ② ジェネリック医薬品差額通知事業 ③ 医療費通知事業 ④ 普及啓発事業	重複・頻回受診訪問指導：1人 多剤服薬情報通知：47人 薬と健康の講演会：21人

（次頁へ続く）

－ 款	－ 項	－ 目

実績

6　国民健康保険税課税状況

区分 ＼ 年度		令和6年度（円）	令和5年度（円）	比較（円）
現年度課税分調定済額	医療給付費分	134,110,200	135,448,100	△ 1,337,900
	後期支援金分	48,988,400	49,368,700	△ 380,300
	介護納付費分	17,701,600	17,104,800	596,800
	計	200,800,200	201,921,600	△ 1,121,400
現年度課税分収入済額	医療給付費分	130,289,711	130,860,647	△ 570,936
	後期支援金分	47,628,815	47,712,232	△ 83,417
	介護納付費分	16,932,872	16,223,220	709,652
	計	194,851,398	194,796,099	55,299

区分 ＼ 年度		令和6年度（%）	令和5年度（%）	比較（%）
収納率	医療給付費分	97.15	96.61	0.54
	後期支援金分	97.22	96.64	0.58
	介護納付費分	95.66	94.85	0.81
	計	97.04	96.47	0.57

7　国民健康保険税軽減状況

	令和6年度		令和5年度	
	（世帯数） 平等割軽減額（円）	（被保険者数） 均等割軽減額（円）	（世帯数） 平等割軽減額（円）	（被保険者数） 均等割軽減額（円）
7割軽減	564	713	586	757
	7,877,210	13,983,977	9,066,740	16,135,038
5割軽減	282	457	309	509
	2,786,635	6,576,835	3,331,798	7,930,439
2割軽減	233	382	264	456
	912,121	2,187,190	1,127,479	2,769,230
計	1,079	1,552	1,159	1,722
	11,575,966	22,748,002	13,526,017	26,834,707

※未就学児及び産前産後期間に係る保険税軽減状況

	令和6年度		令和5年度	
	（世帯数） 所得割軽減額（円）	（被保険者数） 均等割軽減額（円）	（世帯数） 所得割軽減額（円）	（被保険者数） 均等割軽減額（円）
未就学児	23	27	23	30
		214,019		247,861
産前産後	3	3	3	3
	0	15,117	6,131	8,677

8　国民健康保険税減免状況

減免事由	令和6年度		令和5年度	
	世帯数	金額（円）	世帯数	金額（円）
旧被扶養者減免	17	243,800	24	354,100
貧困により生活のため公私の扶助を受ける者に対する減免	1	6,600		
収監減免	4	81,700	1	14,200
子どもの均等割額全額減免	102	2,210,200	102	2,292,900
火災減免			1	87,300
計	124	2,542,300	128	2,748,500

課題方向性

被保険者の高齢化と医療の高度化の進展による医療費の増加及び被保険者数の減少により、1人当たりの医療費が増加傾向にあるため、医療費の適正化を図りながら若い世代からの健康意識の向上と生活習慣病等の重症化予防事業を継続的に実施し国保財政の安定的な運営に努める。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

－ 款	－ 項	－ 目	後期高齢者医療特別会計
担当部署名	町民福祉課町民サービス班		

（単位：千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	260,724	257,059				251,213	5,846

目的

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を遂行する。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
【後期高齢】一般管理費	B	-	3.0	後期高齢者医療に係る各種申請の受付、説明、勧奨等を行い、適正な医療の確保に努めることができた。12月からのマイナンバーカードと保険証の一体化については、資格確認書を交付することにより、混乱なく移行することができた。
【後期高齢】徴収費	B	-	3.0	2年に1回の保険料率改定が実施され、適正な保険料の決定及び徴収を行った。普通徴収の被保険者には、口座振替を促進し、納期内納付を推進した。
【後期高齢】納付奨励費	B	-	3.0	納税貯蓄組合は減少傾向ではあるが、一時的に納付方法が変更になった組合員の納め忘れ防止や納付状況の管理をすることができた。
【後期高齢】後期高齢者医療広域連合納付金	B	-	3.0	後期高齢者医療広域連合に保険料と保険料軽減分である保険基盤安定負担金を納付し、低所得者の負担軽減と被保険者の適切な医療の確保に努めることができた。

実績

1　被保険者数　3,017人　（令和7年3月末日現在）

2　申請書受付状況

（令和7年3月末日現在）

	申請・届書名	受付件数（件）
1	葬祭費支給申請書	184
2	受領申出・送付先届出書	187
3	高額療養費支給申請書	407
4	基準収入額適用申請書	10
5	限度額適用・標準負担額認定申請書	44
6	特定疾病認定申請書	4
7	療養費支給申請書	57
8	被保険者証（資格確認書）等再交付申請書	58
9	資格取得喪失届出書	11
10	送付先変更申請書	27
11	高額介護合算療養費等支給申請書	182
12	負担区分等証明書	10
13	資格確認書交付兼任意事項併記申請書	51
14	マイナンバーカード保険証利用登録解除申請書	1
	計	1,233

3　保険料納付方法状況　（賦課決定日：令和6年7月1日現在）

（単位：人）

特別徴収	2,744
普通徴収	575
計	3,319

※うち併徴　315人

（再掲）普通徴収内訳（単位：人）

口座振替	207
納税組合	9
納付書	359

（次頁へ続く）

－ 款	－ 項	－ 目

実績

4　保険料収納状況

現年分　（単位：円）

徴収方法	調定額	収入済額※	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	徴収率
特別徴収	136,781,700	136,797,300	0	0	15,600	100.00%
普通徴収	60,518,100	58,993,900	0	1,524,200	0	97.48%
計	197,299,800	195,791,200	0	1,524,200	15,600	99.24%

※収入済額には過誤納金還付未済額15,600円（相続放棄等）を含む

滞納繰越分　（単位：円）

調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率
1,869,220	449,320	206,200	1,213,700	24.04%

5　保険料納付方法変更申請状況　（令和7年3月末日現在）

・48人　（特別徴収から普通徴収（口座振替）へ）

6　負担割合別被保険者数　（令和7年3月末日現在）

負担割合	被保険者数
1割	2,355 人
2割	513 人
3割	149 人
計	3,017 人

課題方向性

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務を行う。被保険者の増加及び保険料率の改定、さらに物価高騰などの影響により保険料の納付が滞り、滞納額が増加している。早期に接触する機会を設け、個々の実情に合った計画的な納付を促し、滞納額の抑制に努める。

また、令和8年度の保険料率改定や子ども子育て支援金制度の開始など、高齢者の負担も増えていくため、制度の周知を図っていく。

介護保険特別会計

介護保険特別会計

－ 款	－ 項	－ 目	介護保険特別会計
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		

（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,082,078	2,043,434	525,331	287,087		930,549	300,467

目的

持続可能な介護保険制度運営を図るため、公正な要介護認定、適正な介護給付管理及び介護保険料の賦課徴収を実施する。

また、日常生活が自立している高齢者を対象に介護予防の取り組みを進め、虚弱な状態にある高齢者に対して生活機能低下の早期発見・早期対応を行うことにより、要支援状態若しくは要介護状態となることを予防する。

さらに、要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく生活し続けることができるよう、生活支援や介護サービス提供が一体的に提供される地域包括ケアシステムの取組を推進する。

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
一般管理経費（含職員人件費）	B	－	4.3	第9期介護保険事業計画のガイドブックを全戸配布し、介護保険制度や保険料改定について周知を行った。また、家族や本人からの相談対応や介護保険制度の適切な運営を図った。
介護認定審査会負担金	B	－	3.0	区分変更申請数は前年度より増加したが、全体の申請件数は前年度より減少した。申請から認定までの平均日数は前年度と同水準である。
介護保険給付費	B	－	4.3	適正な保険給付を実施するため、ケアプラン点検、介護報酬支払い点検等を実施し、給付内容に不正請求や不要なサービスがないか確認した。
介護予防・日常生活支援サービス事業	B	－	4.0	総合事業の訪問型サービス及び通所型サービスを実施することで、事業対象者及び要支援認定者の心身の機能の維持・改善に努め、介護予防の支援を図った。
介護予防ケアマネジメント事業費	B	－	4.0	介護予防・日常生活支援サービス事業を利用する事業対象者及び要支援認定者に対し、ケアマネジメントを行うことで心身の機能の維持・改善に努め、介護予防の支援を図った。
介護予防普及啓発事業	A	4.0	4.0	北部地区の町民を対象に介護予防と買い物支援事業を実施し介護予防へ繋がるよう支援した。また、介護予防教室「まつしま元気塾」を松島町社会福祉協議会に委託し介護予防を図った。
地域介護予防推進事業	A	3.3	3.0	町内の各地域で高齢者の自主グループの活動が継続できるよう、啓発事業や講師の派遣を行った。
地域リハビリテーション活動支援事業	A	3.3	3.7	総合事業の通所型サービス事業所やまつしま元気塾に、リハビリ専門職を派遣し、介護予防の取組の機能強化を図った。
包括的支援事業	A	4.0	3.0	地域包括支援センターの運営費であり、高齢者の増加により、ニーズも多様化・複雑化しているが、包括支援センター及び関係機関と連携し、適正な相談対応を行った。
在宅医療・介護連携推進事業	A	4.3	3.0	塩釜医師会、塩釜地区二市三町と研修会を開催し、広域での医療と介護の関係機関の連携推進に努めた。 また、町内医療・介護関係機関向けに研修会を行い、相互理解を図ることができた。
生活支援体制整備事業	A	4.3	3.0	事業を松島町社会福祉協議会に委託し、生活支援コーディネーターが地域のサロンや団体からの相談に対応したり、普及啓発活動や研修会を行うことで、介護予防活動を継続し、地域の繋がりが図られるよう支援した。
認知症総合支援事業	A	4.7	3.7	認知症初期集中支援チームの活動、認知症地域支援推進員や関係機関との連携により、認知症本人や家族の支援体制構築を図った。また、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症への理解について普及啓発を行った。

（次頁へ続く）

－ 款	－ 項	－ 目

評価成果

事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
地域ケア会議推進事業	B	－	3.0	個別ケース検討を行い、困難を抱えた高齢者等への支援方法を話し合い、共通認識を持って支援に繋げた。また、全体会議では主に研修会を企画し、関係機関が集い情報共有や地域包括ネットワークの構築を図った。
家族介護支援事業	B	－	3.3	家族の介護を担う介護者同士の交流や情報交換を行い、慰労が図られた。
成年後見制度利用支援事業	B	－	4.0	意思決定や契約行為、財産管理などを必要とする困難ケースなどの対応にあたり、各種制度を活用し支援しながら、高齢者の権利を守ることができた。

実績

1　第1号被保険者保険料収納状況

(1) 収納方法　（単位：人）

区分	人数
特別徴収	5,087
普通徴収	408
計	5,495

（再掲）普通徴収内訳（単位：人）

口座振替	69
納税組合	4
納付書	335

(2) 現年度分

徴収方法	調定額（円）	収入済額※（円）	収入未済額（円）	徴収率（%）	還付未済（円）
特別徴収	354,747,012	354,790,532	△ 43,520	100.0	43,520
普通徴収	30,006,580	28,024,060	1,982,520	93.4	12,916
計	384,753,592	382,814,592	1,939,000	99.5	56,436

※ 収入済額には過誤納付金還付未済額56,436円を含む。
※ 次年度への滞納繰越額は1,995,436円である。

(3) 滞納繰越分

調定額（円）	収入済額（円）	不納欠損額（円）	未納額（円）	徴収率（%）
6,566,039	1,282,634	1,895,160	3,388,245	19.5

2　要介護認定状況

(1) 申請者数　（単位：人）

令和6年度		令和5年度	
新規申請	237	新規申請	255
更新申請	320	更新申請	373
区分変更	179	区分変更	154
その他申請	4	その他申請	2
計	740	計	784

※ 区分変更申請者数には、要支援者の新規申請を含む。

(2) 要介護等認定者実人数　（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	133	92	255	150	126	130	87	973
65歳以上75歳未満	17	7	20	15	12	10	7	88
75歳以上	116	85	235	135	114	120	80	885
第2号被保険者	4	0	2	3	4	4	1	18
総　数	137	92	257	153	130	134	88	991

※「2（2）～5」の数値については、介護保険事業状況報告（令和7年3月分）より抜粋。

3　居宅介護（介護予防）サービス受給者数　（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	52	58	175	106	69	49	23	532
第2号被保険者	2	0	1	3	3	2	0	11
総　数	54	58	176	109	72	51	23	543

（次頁へ続く）

実績

4　地域密着型（介護予防）サービス受給者数　　※1号・2号含む

（単位：人）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
総数	6	1	39	29	23	11	5	114

※地域密着型サービス受給者数：松島町が指定する認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型通所介護を利用している人数

5　施設介護サービス受給者数

（単位：人）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
介護老人福祉施設	1	5	22	28	18	74
第1号被保険者	1	5	22	27	18	73
第2号被保険者	0	0	0	1	0	1
介護老人保健施設	13	10	14	17	7	61
第1号被保険者	13	10	14	17	7	61
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
介護医療院	6	14	15	27	33	95
第1号被保険者	6	14	15	27	32	94
第2号被保険者	0	0	0	0	1	1
総　　数	20	29	51	72	58	230

6　介護保険給付費の推移

（単位：千円）

年度 サービス区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
居宅介護サービス	564,737	544,663	520,183	482,998	507,402
地域密着型介護サービス	241,925	241,501	231,922	261,586	280,384
施設介護サービス	840,044	778,565	801,558	816,870	837,290
特定入所介護サービス	75,626	54,107	55,764	62,559	70,914
居宅介護サービス計画給付費	52,308	74,662	72,915	71,017	72,691
高額介護サービス	55,575	45,967	46,395	46,755	48,237
審査支払手数料	1,487	1,407	1,429	1,397	1,482
合計	1,831,702	1,740,872	1,730,166	1,743,182	1,818,400

（単位：円）

		令和6年度	令和5年度
第1号被保険者１人当たりの給付月額	町	30,471	28,521
	県	25,780	24,937
	国	27,252	26,350

※令和6年度は、令和6年3月から令和6年11月サービス利用分までの給付額から算出。

（単位：円）

	令和6年度		令和5年度	
	在宅	施設	在宅	施設
1人当たりの給付月額	83,888	324,091	98,580	319,731
月平均給付総額	47,061,409	70,003,666	55,401,942	69,061,851

7　要介護度別支給限度額利用状況（月平均）

（単位：%）

	要介護度別対支給限度額比率							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
令和6年度	31.3	17.6	56.9	64.7	69.4	83.5	83.7	58.2
令和5年度	34.3	20.0	54.9	66.1	62.1	71.8	81.5	55.8

（次頁へ続く）

実績

8　第9期介護保険事業計画値との比較（令和6年度）

区分	計画値		実　績		計画値と実績の比較		
	件 数（件）	総 額（千円）	件 数（件）	総 額（千円）	件 数（件）	総 額（千円）	率
居宅介護サービス	12,768	592,175	14,570	572,124	1,802	△ 20,051	96.6%
訪問サービス	4,224	158,895	5,807	165,807	1,583	6,912	104.4%
通所サービス	3,036	270,444	3,141	245,369	105	△ 25,075	90.7%
短期入所サービス	768	61,771	667	61,692	△ 101	△ 79	99.9%
福祉用具貸与	4,428	54,981	4,630	56,507	202	1,526	102.8%
福祉用具購入	36	1,266	79	2,424	43	1,158	191.5%
住宅改修費	48	3,962	45	5,110	△ 3	1,148	129.0%
特定施設入居者生活介護	228	40,856	201	35,215	△ 27	△ 5,641	86.2%
地域密着型介護サービス	1,548	248,666	1,495	241,925	△ 53	△ 6,741	97.3%
施設介護サービス	2,808	832,508	2,745	840,044	△ 63	7,536	100.9%
介護老人福祉施設	900	234,359	828	215,475	△ 72	△ 18,884	91.9%
介護老人保健施設	840	229,123	773	222,902	△ 67	△ 6,221	97.3%
介護医療院	1,068	369,026	1,144	401,667	76	32,641	108.8%
特定入所介護サービス	－	64,009	－	52,308	－	△ 11,701	81.7%
居宅介護サービス計画給付費	6,288	78,955	6,171	75,626	△ 117	△ 3,329	95.8%
高額介護サービス	－	47,838	－	55,575	－	7,737	116.2%
審査支払手数料	23,493	1,410	24,790	1,487	1,297	77	105.5%
合計	46,905	1,865,561	49,771	1,839,089	2,866	△ 26,472	98.6%

（対象期間：令和6年4月審査から令和7年3月審査まで）

9　介護予防・日常生活支援サービス事業
介護予防ケアマネジメント事業費

	延件数（件）	費用総額（円）
訪問型・通所型サービス費	1,634	27,873,171
介護予防ケアマネジメント	782	3,672,720
高額介護予防サービス相当事業	34	113,306
審査支払手数料	2,415	144,900
合計	4,865	31,804,097

※利用実件数：訪問型・通所型サービス　129件、介護予防ケアマネジメント　65件
審査支払手数料　194件（令和7年3月審査分）

10　一般介護予防事業
(1)　介護予防普及啓発事業　7,014,637 円
①　介護予防教室「まつしま元気塾」
事業を松島町社会福祉協議会へ委託し、概ね65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に町内8カ所（10教室）において、高齢者の「閉じこもり防止」「介護予防」の観点から、脳トレ・体操・趣味活動・各種講話等を実施した。

地区	松島	高城		磯崎		品井沼	本郷	初原	計
会場	ほほえみの家	ふれあいの家	高城避難所	白萩避難所	華園集会所	農村環境改善センター	ふれあいセンター	コミュニティセンター	
開催頻度	週2日	週4日	週1日	週2日	週1日	週2日	週1日	週1日	―
開催回数（回）	97	197	42	92	50	97	49	49	673
実人数（人）	7	16	7	10	7	13	7	11	78
延参加者数（人）	496	1,141	259	620	319	606	315	445	4,201

※実人数に3人重複あり（品井沼）

（次頁へ続く）

② 介護予防と買い物支援事業

北小泉地区、下竹谷地区に居住する70歳以上の方を対象に、介護予防事業と買い物支援事業を実施した。

・会場　高城避難所　・開催回数　各地区10回（うち合同開催3回）
・参加者実人数　10人　・参加者延人数　83人

③ 地域包括支援センター機関紙「スマイル」の発行

発行回数	配布状況	内　容
年4回	全戸配布並びに役場、保健福祉センターに配置	介護保険、介護予防に関するお知らせ、各種行事案内、災害対策、健康増進、感染症予防に関すること、高齢者虐待防止、権利擁護に関する啓発、認知症に関する情報、終活に関すること、地域活動に関すること等

(2) 地域介護予防活動支援事業　8,347,690 円

・地域サロン活動状況

時期	令和5年3月末	令和6年3月末	令和7年3月末
活動団体数	37団体	36団体	38団体

(3) 地域リハビリテーション活動支援事業　230,000 円

地域における介護予防の取組を機能強化するため、介護予防教室や総合事業通所型サービス事業所に専門職を派遣した。

リハビリテーション専門職の派遣　14回

11 包括的支援事業　29,899,313 円

(1) 総合相談支援業務

高齢者の生活全般に係る相談に対応し、不安の軽減や必要な社会資源の活用につながった。
相談件数　1,184件　うち勤務時間外対応　1件

相談方法内訳

相談方法	件数（件）
来所	347
訪問	274
電話	534
その他	29
計	1,184

※その他：医療機関

相談者内訳

相談者内訳	件数（件）
本人	316
家族・親戚	235
ケアマネジャー	397
介護サービス事業所	19
医療機関	85
行政各係	50
その他	82
計	1,184

※その他：民生委員、地域住民、警察署等

相談内容内訳

相談内容	件数（件）
介護相談	85
健康疾病	15
認知症・精神	206
医療・入退院	74
在宅医療介護連携	45
介護保険関係	77
介護保険サービス	122
保険外サービス	7
虐待関係	55
財産管理・成年後見	12
独居等把握	16
施設入所	39
高齢福祉	8
経済困窮	92
生活全般	245
予防支援	586
その他	102
計	1,786

（重複あり）

他機関への連絡

連絡先内訳

連絡先	件数（件）
ケアマネジャー	116
介護サービス事業所	22
医療機関	29
行政各係	22
県・保健所	2
家族・親戚	29
民生委員	1
その他	29
計	250

（次頁へ続く）

－ 款	－ 項	－ 目

実績

(2)　権利擁護業務

・権利擁護、財産管理に関する相談

高齢者本人の権利を擁護するため、成年後見制度、財産管理に関する手続きについて対応を行った。また、関係機関と連携し支援を行った。

相談実人数　4人

（内訳）後見申立てに関する相談　2件、後見人への後見報酬助成　1件

財産管理に関する相談　1件

・虐待相談

虐待（の疑いのあるケース）について、訪問等により状況確認を行い、その後、関係者による地域ケア会議の実施、ケアプランの見直しや、虐待者との分離の手続きなどを行い、重症化を防ぐため関係機関と連携しながら迅速に対応した。また、各種福祉関係の諸制度やサービスに繋ぎ、支援を行った。

相談実人数　11人

(3)　在宅医療・介護連携推進事業　79,664 円

ア　塩釜地区在宅医療・介護連携推進研修会

・塩釜地区在宅医療・介護連携推進事業幹事会（計４回）に参加し、塩釜医師会と二市三町担当者で協議し、研修会を企画・運営した。

日付	参加人数(延べ)	場所	主な参加者	内容
令和7年 2月14日	119人	多賀城市文化センター 小ホール	塩釜地区医療機関・介護サービス事業所、地域包括支援センター他	第一部　講演「医療と介護の相互理解を目指して」 第二部　意見交換

イ　在宅医療・介護連携推進研修会

・医療機関、介護サービス事業所を対象に、在宅医療研修会を実施した。

日付	参加人数(延べ)	場所	主な参加者	内容
令和6年 11月1日	38人	保健福祉センター 多目的ホール	町内介護サービス事業所、医療機関、薬局他	講演「高齢者がよく処方される薬とその副作用について」

ウ　その他

・塩釜地区二市三町の関係機関と協力し作成した、塩釜地区医療・介護連携シートの運用等を行っている。

・地域包括支援センターが相談窓口となり、医療・介護連携の相談対応を行っている。

(4)　生活支援体制整備事業　4,598,363 円

多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、事業を社会福祉協議会に委託し、関係機関と連携しながら、支援体制の充実・強化を図った。

・生活支援・介護サービス基盤整備事業

広報誌「つながるまつしま」の発行

・サロン活動団体への支援

相談、打合せ件数　延べ20件

訪問件数　延べ60件

・研修会、イベント

生活支援体制整備事業研修会　1回

ワイワイ情報交換会　1回

（次頁へ続く）

(5) 認知症総合支援事業　3,692,468 円

・認知症初期集中支援チーム

認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の早期診断や早期対応に向けた支援を行った。

対象者数　7件

チーム員会議

回数(回)	検討件数(件)	場所	参集者
2	新規3、継続5、終了1	文化観光交流館	認知症サポート医、地域包括支援センター職員（保健師、認知症相談員等）

・認知症への理解を深めるための普及・啓発

松島町認知症ケアパスをホームページで公開している。（令和6年1月改訂）

認知症サポーター養成講座

	実施日	対象	対象者数	啓発内容
1	10月22日	町民、町内に勤務する方	10人	・認知症の知識 ・認知症の人とのかかわり方 ・地域で支えるためにできること等
2	1月30日	認知症サポーター養成講座を受講した方	16人	
3	9月5日	松島第二小学校6年生	18人	・高齢化に関する町の現状 ・認知症の症状 ・認知症の人とのかかわり方等
4	11月19日	松島第五小学校6年生	12人	
5	11月28日	松島第一小学校6年生	56人	

・松島町認知症地域支援推進員の設置

認知症の方やその家族に対する支援体制の構築、町民等に対する認知症に関する正しい理解の普及啓発等を行うため設置している。

委嘱者　2人（令和7年3月31日時点）

・認知症カフェの開催と運営補助金交付

認知症の本人や家族、地域の人が情報交換し、認知症の知識を深めたり、本人や介護者の不安や負担の軽減を図ることを目的とし、町内3ヶ所で開設している。

名称	運営団体
SaKuRaカフェ	グループホーム桜の家
秋桜カフェ	グループホームコスモス松島
ほっと・ココア	合同会社心・愛

松島町認知症カフェ運営補助金交付団体　2団体

※カフェ開設1回8,000円に開催回数（月2回を限度）を乗じた額を上限として交付

・松島町はいかい高齢者SOSネットワーク事業

登録者数	16人　うち令和6年度新規登録8人　（令和7年3月末時点）
稼働実績	なし
協力団体	37団体（近隣自治体、警察署、消防署、タクシー会社、介護サービス事業所、シルバー人材センター、ガソリンスタンド等）

（次頁へ続く）

－ 款	－ 項	－ 目

実績

(6)　地域ケア会議　41,978 円

・個別会議

本人、家族、介護サービス事業者、行政各担当、担当ケアマネジャー、医療機関、地域包括支援センター職員等の関係者で協議、検討した。

回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容
4	27	保健福祉センター他	認知症状や精神症状のある高齢者の支援、独居困難となった高齢者の支援、虐待ケースの検討等

・全体会議

ケアマネジャーや介護事業所職員等に対し、研修会や説明会を実施した。

回数(回)	参加延べ人数(人)	場所	内容
2	62	保健福祉センター	・介護保険、地域包括、高齢福祉担当からの連絡、事業所情報交換会 ・研修会:予防ケアプラン作成の考え方

12　任意事業　35,754 円

(1)　家族介護支援事業

介護者交流会

実施回数(回)	実人数(人)	延人数(人)	内容
6	9	22	情報交換、介護保険等の情報提供、体操の実施

(2)　成年後見制度利用支援事業　216,000 円

首長申立て被後見人の支援　0件

報酬助成　1件

課題方向性

第9期介護保険事業計画に基づき事業運営を行った。

後期高齢者が増加傾向であることから要介護認定率も年々増加し、介護サービスは高齢者の日常生活を支える重要な社会資源となっている。介護が必要になっても安心して暮らし続けることができるよう今後も増加する需要に対応するため、関係機関との連携、相談体制、サービス基盤の整備、制度の周知を推進していく。

また、高齢者が自ら生きがいを持って元気に暮らせるよう介護予防の取り組みを進め、健康寿命の延伸を目指す。

介護サービス事業特別会計

介護サービス事業特別会計

1　款	1　項	1　目	介護サービス事業特別会計 居宅介護支援事業費
担当部署名	健康長寿課高齢者支援班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,696	9,251				9,251	

目的

要支援認定者及び総合事業対象者に、心身の状況等に応じた適切なサービスが提供されるよう介護予防サービス計画もしくは介護予防ケアマネジメントを作成する。

また、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援し、要支援状態の軽減、悪化の防止を図る。

評価成果

事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
居宅介護支援事業費	B	－	3.7	介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメントの作成を居宅介護支援事業所に委託し、要支援状態の軽減や悪化防止に繋がった。

実績

【居宅介護支援事業】

・利用実人数　241人
・作成人数　延べ　2,103人
・事業費　9,250,170 円

1　要支援認定者及び総合事業対象者サービス利用状況

（単位：人）

	要支援認定者		総合事業対象者	計	委託管理数		計	未利用者数
	支援1	支援2			介護予防サービス計画	介護予防ケアマネジメント		
令和6年度	137	92	36	265	102	68	170	95
令和5年度	127	103	29	259	112	64	176	83

※人数及び利用状況については3月末時点集計

2　介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント委託状況

（単位：件）

	事業所名	介護予防サービス計画	介護予防ケアマネジメント	計
1	介護相談センター	414	167	581
2	松島病院訪問看護ステーション居宅介護支援事業所	284	130	414
3	松島町社協指定居宅介護支援事業所	331	140	471
4	桜の家居宅介護支援事業所	95	188	283
5	松島長松園居宅介護支援事業所	82	131	213
6	ライフアップ介護相談センター	38	38	76
7	その他の事業所	53	12	65
令和6年度合計		1,297	806	2,103
令和5年度合計		1,322	857	2,179

※介護予防サービス計画：要支援認定者が介護予防給付のみ又は介護予防給付と総合事業のサービスを利用する場合の計画作成
※介護予防ケアマネジメント：要支援認定者又は総合事業対象者が総合事業のサービスのみを利用する場合の計画作成

課題方向性

要支援者や総合事業対象者のうち、現状維持している方がいる一方で要介護状態に移行した方もいることから、状態の悪化を防止するため、委託している各居宅介護支援事業所やサービス事業所と連携を図り、個々の評価を行いながら事業を進めていく。

観 瀾 亭 等 特 別 会 計

観瀾亭等特別会計

1　款	1　項	1　目	（観瀾亭等特別会計） 観瀾亭費：管理費
担当部署名	産業観光課観光班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	41,639	39,191				53	39,138

目的	松島の重要な観光財産である観瀾亭・松島博物館の運営・維持管理等を行い、誘客に努める。

評価成果	事務事業名称	業務ﾀｲﾌﾟ	必要性評価	有効性評価	成果
	観瀾亭博物館管理運営経費	A	3.3	3.0	運営については、仕入コストに留意しながら売上向上を図ったことで利益向上につながった。また、更なる魅力向上のため、高付加価値メニューの造成を行った。 維持については、樹木剪定及び除草、清掃等の委託を行ったほか、適宜修繕を行い良好な施設管理に努めた。 プロモーションについては、「月の松島in観瀾亭」を実施し、松島の月景色の魅力発信に努めた。 さらに、松島博物館において包括連携協定を締結しているNPO法人環境生態工学研究所と「松島湾生態展示」を実施した。

実績

【観瀾亭博物館管理運営経費】

1　観覧者数及び観覧料・売上収入

○ 観覧者数　（ 令和6年4月～令和7年3月 ）　42,480 人 （前年度　36,755 人）
○ 観覧収入　（ 令和6年4月～令和7年3月 ）　8,005,020 円 （前年度　6,787,950 円）
○ 売上収入　（ 令和6年4月～令和7年3月 ）　19,286,355 円 （前年度　16,209,200 円）

2　イベント開催に係る観覧者数及び観覧料・売上収入

○ 月の松島in観瀾亭
・日　程　令和6年9月17日
・観覧者数　30 人　（前年　30 人）
・売上収入　90,000 円　（前年　91,500 円）

3　観瀾亭・松島博物館及び明月庵の管理業務

○観光施設樹木剪定等業務委託　1,663,640 円
・内容　樹木剪定・枯枝撤去他

○観光施設除草業務委託　458,700 円
・内容　除草・集草・側溝清掃他

○ 観光施設清掃業務委託　303,360 円
・内容　観光施設床清掃他

○ 機械警備業務委託　382,800 円

○ 観瀾亭火災報知器保守点検業務委託　95,700 円

○ 観瀾亭厨房機器保守点検業務委託　26,400 円

（次頁へ続く）

1　款	1　項	1　目

実績	4　販売品等仕入 ○ 菓子・抹茶・土産品等　5,607,730 円
課題 方向性	美しい景観を眺めながら、抹茶を楽しむ観光施設と併せて、より特別な体験ができるコンテンツの造成・販売も検討していく。その他、原材料等の価格が高騰する中での販売価格や内容をニーズにあわせられる仕組みで提供できるように努める。

観瀾亭・松島博物館入込及び売上

観覧料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	3,835 人	3,958 人	3,475 人	2,948 人	4,046 人	4,019 人	5,232 人	5,648 人	1,944 人	1,905 人	2,263 人	3,207 人	42,480 人
	717,570 円	748,450 円	659,500 円	554,750 円	751,600 円	736,600 円	1,002,150 円	1,069,650 円	369,900 円	363,250 円	427,000 円	604,600 円	8,005,020 円
令和5年度	2,685 人	3,624 人	2,486 人	2,519 人	3,543 人	3,319 人	4,722 人	4,847 人	1,945 人	1,605 人	2,637 人	2,823 人	36,755 人
	496,450 円	654,100 円	476,750 円	475,400 円	649,500 円	636,250 円	802,600 円	916,450 円	376,600 円	302,900 円	489,200 円	511,750 円	6,787,950 円
比較増減	1,150 人	334 人	989 人	429 人	503 人	700 人	510 人	801 人	▲ 1 人	300 人	▲ 374 人	384 人	5,725 人
	221,120 円	94,350 円	182,750 円	79,350 円	102,100 円	100,350 円	199,550 円	153,200 円	▲ 6,700 円	60,350 円	▲ 62,200 円	92,850 円	1,217,070 円

令和6年度

個　　人	40,544 人	7,623,220 円
団　　体	1,936 人	381,800 円
合　　計	42,480 人	8,005,020 円

令和5年度

個　　人	35,280 人	6,496,550 円
団　　体	1,475 人	291,400 円
合　　計	36,755 人	6,787,950 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	1,792,050 円	1,826,100 円	1,475,900 円	1,268,400 円	1,771,000 円	1,960,525 円	2,297,400 円	2,539,280 円	922,750 円	902,400 円	1,091,200 円	1,439,350 円	19,286,355 円
令和5年度	1,268,330 円	1,454,600 円	945,050 円	1,123,750 円	1,557,900 円	1,629,852 円	1,941,000 円	2,078,168 円	878,300 円	748,150 円	1,265,300 円	1,318,800 円	16,209,200 円
比較増減	523,720 円	371,500 円	530,850 円	144,650 円	213,100 円	330,673 円	356,400 円	461,112 円	44,450 円	154,250 円	▲ 174,100 円	120,550 円	3,077,155 円

観瀾亭等特別会計

2　款	1　項	1　目	（観瀾亭等特別会計） 福浦橋費：管理費
担当部署名	産業観光課観光班		（単位:千円）

予算の執行状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	81,845	78,588					78,588

目的	松島の重要な観光財産である福浦橋の運営・維持管理等を行い、誘客に努める。 また、カフェ・ベイランドを利用する観光客等へのサービスの向上を図る。

評価成果	事務事業名称	業務タイプ	必要性評価	有効性評価	成果
	福浦橋等管理運営経費	A	3.3	3.3	運営については、仕入コストに留意しながら売上向上を図ったことで、利益向上につながった。また、地場産品のPRのため、販売を行った。 維持については、清掃等の委託を行ったほか、適宜、修繕を行い良好な施設管理に努めた。 プロモーションについては、日本遺産と松島湾環境保全をセットにしたツアー広告を実施した。 さらに、福浦橋において包括連携協定を締結しているNPO法人環境生態工学研究所と「アマモ場再生事業」を実施した。

実績

【福浦橋等管理運営経費】

1　通行者数及び通行料・売上収入

○ 通行者数　（ 令和6年4月～令和7年3月 ）　413,514 人（前年度　379,303 人）
○ 通行料収入　（ 令和6年4月～令和7年3月 ）　80,055,940 円（前年度　73,431,270 円）
○ 売上収入　（ 令和6年4月～令和7年3月 ）　6,324,833 円（前年度　6,013,422 円）

2　地場産品の提供

○ みそおにぎり、きゅうりの一本漬け
○ あかもくうどん（乾麺）
○ Premiumトマトジュース、トマトジェラート、いちごジェラート
○ カキおにぎり

3　福浦橋を活用した観光PR

○ 松島の夜の魅力発信事業
・内容　福浦橋のライトアップを実施。
（満月とその前後を含む3日間を除き夜間点灯※午後10時まで）

○ 「橋の日」記念イベント
・日程　令和6年8月3日
・内容　観光客を対象とした藻場造成のための底質改善活動（砂団子の投入）

○ 「文化の日」記念イベント
・日程　令和6年11月3日
・内容　観光客を対象とした藻場造成のための底質改善活動（砂団子の投入）

○ 日本遺産“伊達”な文化と松島湾環境保全バスツアー（広告料）　330,000 円
・日程　令和6年11月3日
・内容　日本遺産“伊達”な文化の周知及び松島湾の環境保全活動
・参加人数　16名（定員40名）

（次頁へ続く）

2　款	1　項	1　目

実績

4　福浦橋・福浦島パンフレット印刷　356,950 円

・部数　110,000部
・内容　漫画家の手代木史織氏（松島町出身）による表紙デザインで作成

5　福浦橋及びカフェ・ベイランド管理業務等

○ 福浦橋通行券券売機保守点検業務委託　984,720 円

○ 観光施設清掃業務委託　123,480 円
・床清掃他

○ 機械警備業務委託　72,600 円

○ 松島町役場他消防設備保守点検業務委託　7,514 円

○ カフェ・ベイランド自動扉開閉装置保守点検業務委託　110,000 円

○ カフェ・ベイランド厨房機器保守点検業務委託　105,600 円

6　主な使用料及び賃借料

○ 福浦橋券売機リース　818,400 円

○ カフェ・ベイランド施設賃貸料　686,400 円

○ 清掃用具賃貸借　194,340 円

7　販売品等仕入

○ ソフトクリーム・飲み物等　2,951,537 円

8　主な備品購入費

○ カフェ・ベイランドプレハブ物置購入　115,280 円

○ カフェ・ベイランド電話・ファクス付きプリンター購入　59,070 円

課題方向性

福浦橋を渡る観光客がスムーズな通行が可能となる設備の検討や、夏場の熱中症対策を取り入れながら、地域の魅力ある商品を販売出来るように努める。また、環境保全につながる取組みを関係機関と連携しながら積極的に観光客へ周知していく。

福浦橋カフェ・ベイランド入込及び売上

通行料

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	35,497 人	41,393 人	27,943 人	27,597 人	47,068 人	38,592 人	39,896 人	39,256 人	23,659 人	23,204 人	27,923 人	41,486 人	413,514 人
	6,816,110 円	7,997,150 円	5,442,760 円	5,299,960 円	8,919,530 円	7,552,760 円	7,759,500 円	7,666,380 円	4,606,890 円	4,484,710 円	5,469,380 円	8,040,810 円	80,055,940 円
令和5年度	29,582 人	39,631 人	22,961 人	25,405 人	45,759 人	31,773 人	34,772 人	33,421 人	20,480 人	20,840 人	29,475 人	45,204 人	379,303 人
	5,678,620 円	7,635,580 円	4,441,530 円	4,898,450 円	8,706,880 円	6,260,340 円	6,780,600 円	6,534,440 円	3,976,270 円	4,023,230 円	5,756,760 円	8,738,570 円	73,431,270 円
比較増減	5,915 人	1,762 人	4,982 人	2,192 人	1,309 人	6,819 人	5,124 人	5,835 人	3,179 人	2,364 人	▲ 1,552 人	▲ 3,718 人	34,211 人
	1,137,490 円	361,570 円	1,001,230 円	401,510 円	212,650 円	1,292,420 円	978,900 円	1,131,940 円	630,620 円	461,480 円	▲ 287,380 円	▲ 697,760 円	6,624,670 円

令和6年度

個　人	411,799 人	79,762,900 円
団　体	1,715 人	293,040 円
合　計	413,514 人	80,055,940 円

令和5年度

個　人	377,230 人	73,067,400 円
団　体	2,073 人	363,870 円
合　計	379,303 人	73,431,270 円

売上収入

年度＼月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度	590,197 円	703,760 円	594,365 円	777,482 円	1,174,771 円	728,160 円	515,320 円	322,235 円	215,291 円	203,007 円	260,692 円	239,553 円	6,324,833 円
令和5年度	294,440 円	506,235 円	434,357 円	700,606 円	1,452,345 円	808,095 円	507,848 円	388,004 円	211,279 円	179,594 円	239,742 円	290,877 円	6,013,422 円
比較増減	295,757 円	197,525 円	160,008 円	76,876 円	▲ 277,574 円	▲ 79,935 円	7,472 円	▲ 65,769 円	4,012 円	23,413 円	20,950 円	▲ 51,324 円	311,411 円